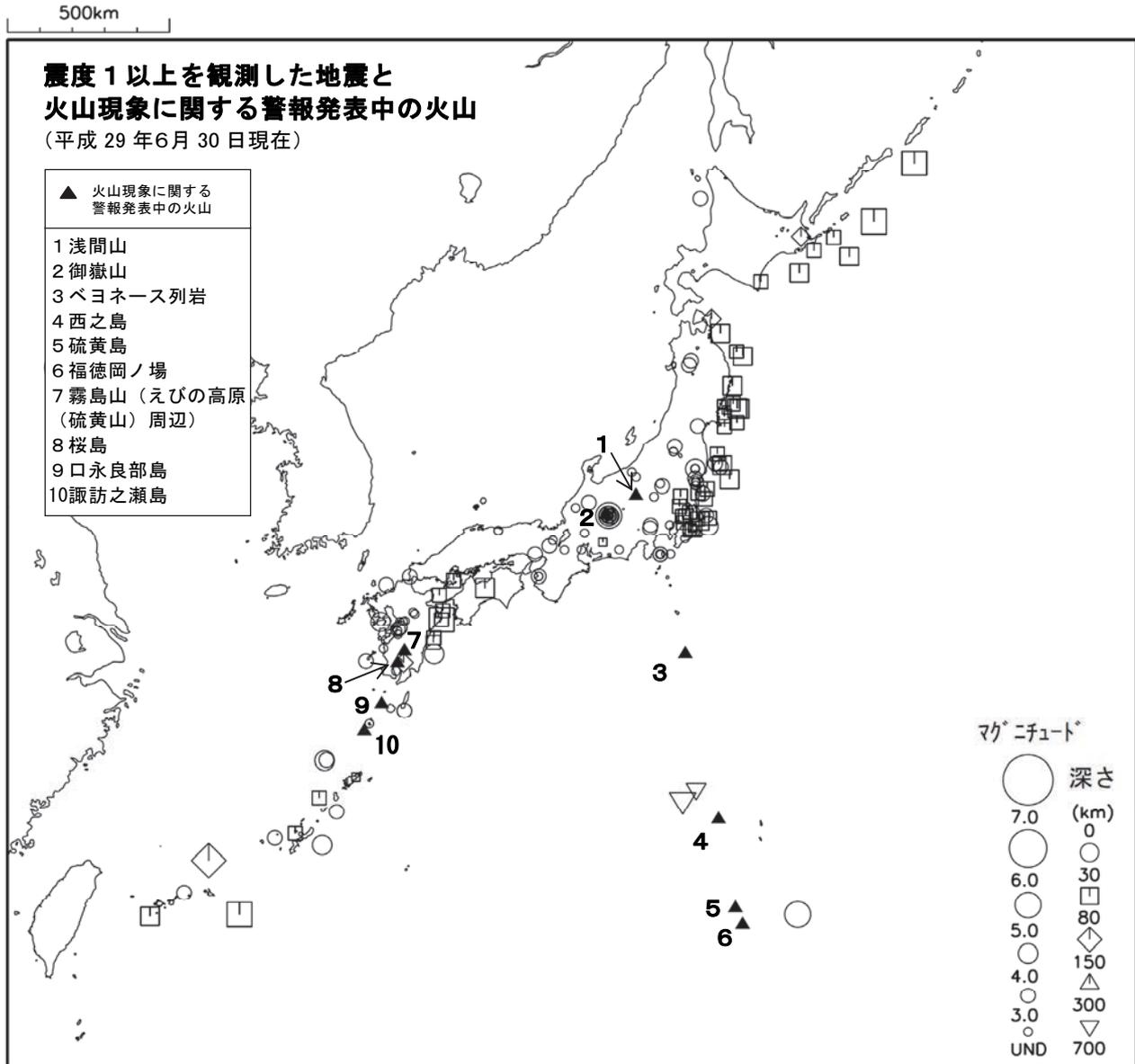


平成 29 年 6 月 地震・火山月報(防災編)

Monthly Report on Earthquakes and Volcanoes in Japan

June 2017



気 象 庁

Japan Meteorological Agency

利用にあたって

本書は、地震・火山に関連した各種防災情報や地震・火山活動に関する分析結果の最新版を防災機関等における効果的な利用に供するため、毎月刊行している。

気象庁では、平成 9 年 11 月 10 日より、国・地方公共団体及び住民が一体となった緊急防災対応の迅速かつ円滑な実施に資するため、気象庁の震度計の観測データに合わせて地方公共団体*及び国立研究開発法人防災科学技術研究所から提供されたものも震度情報として発表している。

また、気象庁では、地震防災対策特別措置法の趣旨に沿って、平成 9 年 10 月 1 日より、大学や国立研究開発法人防災科学技術研究所等の関係機関から地震観測データの提供を受け**、文部科学省と協力してこれを整理し、整理結果等を、同法に基づいて設置された地震調査研究推進本部地震調査委員会に提供するとともに、気象業務の一環として防災情報として適宜発表する等活用している。

本誌で使用している震源位置・マグニチュードは世界測地系（Japanese Geodetic Datum 2000）に基づいて計算したものである。

注* 平成 29 年 6 月 30 日現在：北海道、青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県、茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、新潟県、富山県、石川県、福井県、山梨県、長野県、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県、徳島県、香川県、愛媛県、高知県、福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県、札幌市（北海道）、仙台市（宮城県）、千葉市（千葉県）、横浜市（神奈川県）、川崎市（神奈川県）、相模原市（神奈川県）、名古屋市（愛知県）、京都市（京都府）の 47 都道府県、8 政令指定都市。

注** 平成 29 年 6 月 30 日現在：国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、青森県、東京都、静岡県、神奈川県、神奈川温泉地学研究所及び気象庁のデータを基に作成している。また、2016 年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、米国大学間地震学研究連合（IRIS）の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを利用している。

□ 本書利用上の注意

・ 震央分布図中の語句について

M：マグニチュード（通常、揺れの最大振幅から推定した気象庁マグニチュードだが、気象庁 CMT 解のモーメントマグニチュードの場合がある。）

Mw：モーメントマグニチュード（特にことわりがない限り、気象庁 CMT 解のモーメントマグニチュードを表す。）

depth：深さ（km）

UND：マグニチュードの決まらない地震が含まれていることを意味する。

N=XX：図中表示している地震の回数を表す（通常図の右肩上に示してある）

・ 発震機構解について

本書での発震機構解の図は下半球投影である。また、本書での発震機構解は、特にことわりがない限り、初動による発震機構解である。初動発震機構解が求められない場合や、十分な精度が得られない場合には、初動発震機構解に替えて CMT 解を掲載する場合がある。

・ 発震機構解の図中の語句について

P：P 軸（圧力軸）

T：T 軸（張力軸）

N：N 軸（中立軸）

・ Global CMT 解について

Global CMT 解は、米国のコロンビア大学とハーバード大学で行っている、世界で発生した規模の大きな地震の CMT 解を求めるプロジェクト（Global CMT Project）により求められた解である。

・ M-T 図について

縦軸にマグニチュード（M）、横軸に時間（T）を表示した図であり、地震活動の経過を見るために用いる。

・ 震央地名について

本書での震央地名は、原則として情報発表時に使用したものをを用いるが、震央を精査した結果等により、情報発表時とは異なる震央地名を用いる場合がある。なお、情報発表時の震央地名及びその領域については、各年の「地震・火山月報（防災編）」1 月号の付録「地震・火山月報（防災編）で用いる震央地名」を参照のこと。

・ 震源と震央について

震源とは地震の発生原因である地球内部の岩石の破壊が開始した点であり、震源の真上の地点を震央という。

・ 地震の震源要素等について

2016 年 4 月 1 日以降の震源では、M の小さな地震は、自動処理による震源を表示している場合がある。自動処理による震源は、震源誤差の大きなものが表示されることがある。

震源の深さを「CMT 解による」とした場合は、気象庁 CMT 解のセントロイド（破壊の重心）の深さをを用いている。

地震の震源要素、発震機構解、震度データ等は、再調査後、修正することがある。確定した値、算出方法については、地震月報（カタログ編）[気象庁ホームページ：<http://www.data.jma.go.jp/svd/eqev/data/bulletin/index.html>]に掲載する。

・ 火山の活動解説の火山性地震回数等について

火山性地震や火山性微動の回数等は、再調査後、修正することがある。確定した値については、火山月報（カタログ編）[気象庁ホームページ：http://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/bulletin/index_vcatalog.html]に掲載する。

・ 本書で使用した地図等について

本書中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 25000（行政界・海岸線）』を使用した（承認番号 平 26 情使、第 578 号）。また、震央分布図等に表記した活断層は、地震調査研究推進本部の長期評価による。

・ 図版作成には一部 GMT (Generic Mapping Tool [Wessel, P., and W. H. F. Smith, New, improved version of Generic Mapping Tools released, *EOS Trans. Amer. Geophys. U.*, vol. 79 (47), pp. 579, 1998]) を使用した。

目次

● 日本及びその周辺での主な地震活動	1
北海道地方の地震活動	7
東北地方の地震活動	9
関東・中部地方の地震活動	11
近畿・中国・四国地方の地震活動	14
九州地方の地震活動	16
沖縄地方の地震活動	19
その他の地域の地震活動	21
● 東海地震の想定震源域及びその周辺の地震活動と 地震防災対策強化地域判定会検討結果	22
● 日本の主な火山活動	36
北海道地方	39
東北地方	39
関東・中部地方及び伊豆・小笠原諸島	40
九州地方及び南西諸島	42
資料 1 全国の火山現象に関する特別警報・警報・予報の発表状況のまとめ	46
資料 2 第 138 回火山噴火予知連絡会について	51
● 世界の主な地震	61
● 世界の主な火山活動	63
● 付録	64
1. 震度 1 以上を観測した地震の表	64
2. 過去 1 年間に震度 1 以上を観測した地震の最大震度別の月別回数	89
3. 日本及びその周辺におけるマグニチュード (M) 別の月別地震回数	90
4. 緊急地震速報の提供状況	91
5. 長周期地震動階級 1 以上を観測した地震	93

●日本及びその周辺での主な地震活動

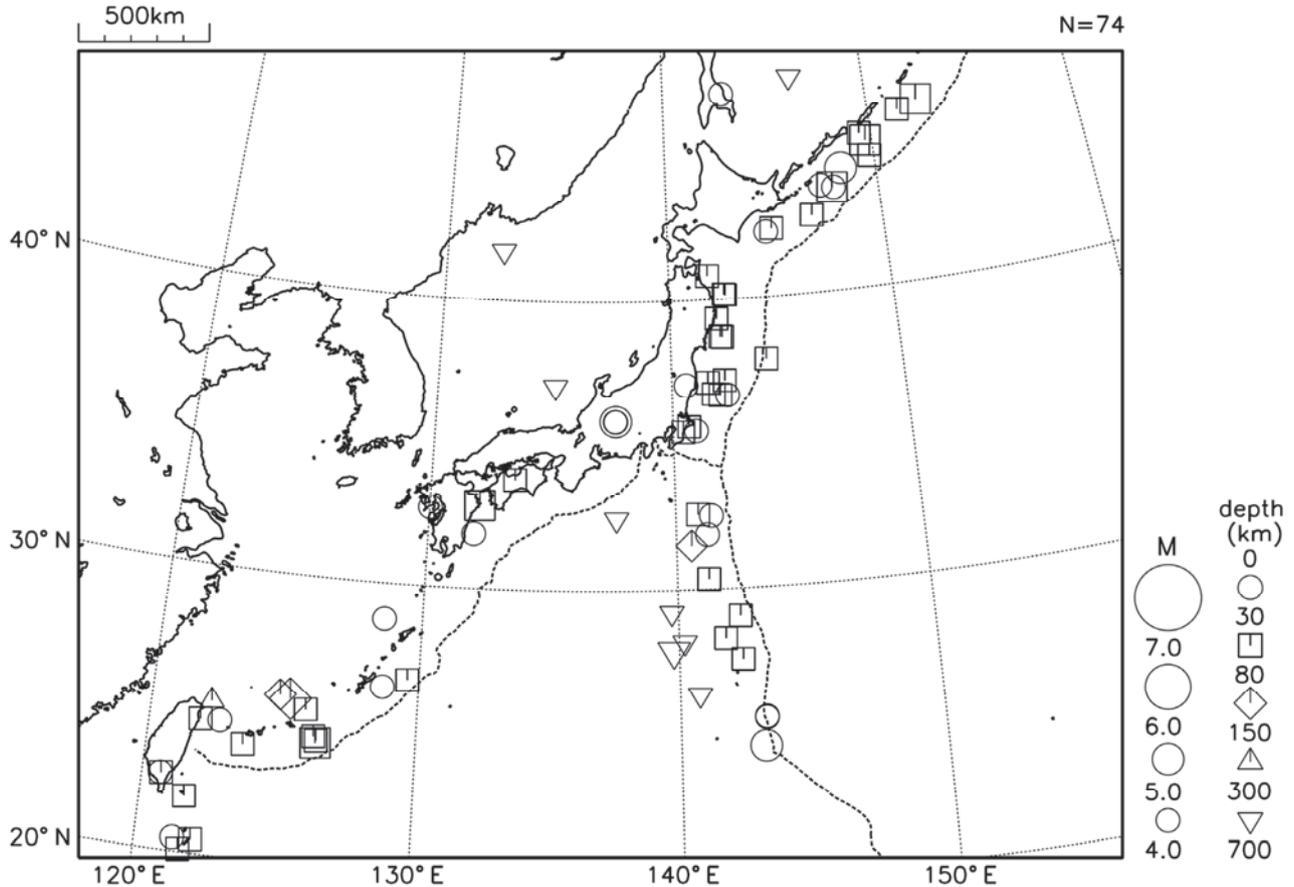


図 1 平成 29 年 6 月に日本及びその周辺で発生した M4.0 以上の地震の震央分布図

6 月 20 日 23 時 27 分に豊後水道の深さ 42km で M5.0 の地震が発生した。この地震により、大分県で震度 5 強を観測したほか、九州地方から中国・四国地方にかけて震度 4～1 を観測した。

6 月 25 日 07 時 02 分に長野県南部の深さ 7 km で M5.6 の地震が発生し、気象庁は緊急地震速報（警報）を発表した。この地震により、長野県で震度 5 強を観測したほか、中部地方を中心に関東・甲信越地方から中国・四国地方の一部にかけて震度 5 弱～1 を観測した。この地震により、軽傷 2 人等の被害が生じた（平成 29 年 7 月 3 日現在、総務省消防庁による）。

平成 29 年（2017 年）6 月に日本国内で震度 4 以上を観測した地震の回数は 5 回（5 月は 2 回）、日本及びその周辺で発生した M4.0 以上の地震の回数は 74 回（5 月は 58 回）であった（図 1）。

6 月中に発生した主な地震を表 1、M3.0 以上の地震の震央を図 2、震度 4 以上を観測した地震の震度分布図を図 3 に示す。6 月中に震度 5 弱以上を観測した地震は 2 回、津波を観測した地震はなかった（5 月は震度 5 弱以上を観測した地震及び津波を観測した地震はなかった）。

「平成 28 年（2016 年）熊本地震」の地震活動は、全体として引き続き減衰傾向がみられる。今回の一連の地震活動により、死者 230 人、負傷者 2,775 人、住家全壊 8,680 棟などの被害が発生した（平成 29 年 6 月 14 日現在、総務省消防庁による）。

表 1 平成 29 年 6 月に日本及びその周辺で発生した主な地震（注 1）（注 2）

No.	震源時 月 日 時 分	震央地名	M (注 3)	M _w (注 3)	M H S T (注 4)	最大震度・被害状況等（注 5）	掲載 ページ
1	6 9 23 36	橋湾	4.3	4.3	・ ・ S ・	4：長崎県 諫早市多良見町* 諫早市飯盛町*	4、17
2	6 14 19 24	高知県中部	4.5	—	・ ・ ・ ・	3：高知県 土佐町土居* など 5 県 15 地点	15
3	6 19 5 51	福島県中通り	4.5	4.3	・ ・ ・ ・	3：福島県 古殿町松川新桑原* 浅川町浅川* 古殿町松川横川	10
4	6 20 23 27	豊後水道	5.0	4.9	・ ・ S ・	5 強：大分県 佐伯市鶴見*	4、18
5	6 25 7 2	長野県南部	5.6	5.2	・ H S ・	5 強：長野県 王滝村役場* 木曾町三岳* 王滝村鈴ヶ沢* 緊急地震速報（警報）を発表 被害：軽傷 2 人など (平成 29 年 7 月 3 日現在)	5、 12～13
6	6 25 9 24	長野県南部	4.5	—	・ ・ S ・	4：長野県 木曾町開田高原西野*	6
7	6 25 15 17	長野県南部	4.7	4.5	・ ・ S ・	4：長野県 木曾町三岳* など 1 県 3 地点	6
8	6 28 21 7	北海道東方沖	5.7	5.5	・ ・ ・ ・	3：北海道 根室市落石東* など 1 道 3 地点	8
9	6 30 23 4	宮古島北西沖	5.2	5.2	・ ・ ・ ・	3：沖縄県 宮古島市下地*	20

(注 1) 主な地震とは、図 1 の領域内で発生した①M6.0 以上、②震度 4 以上、③内陸 M4.5 以上かつ震度 3、④海域 M5.0 以上かつ震度 3、⑤その他注目した地震を指す。

(注 2) 震源時、震央地名、マグニチュードは再調査後、修正することがある。

(注 3) M_w欄の「—」はM_wが求められていないことを示す。また、空欄については、複数の地震による活動のため、記載していない。

(注 4) M H S T の各項目について、M:M6.0 以上の地震、H:被害を伴った地震、S:震度 4 以上を観測した地震、T:津波を観測した地震、として該当項目にそれぞれの記号を記した。

(注 5) 最大震度の観測点名にある*印は地方公共団体もしくは国立研究開発法人防災科学技術研究所の震度観測点であることを表す。被害状況について出典の記載がないものは総務省消防庁による。

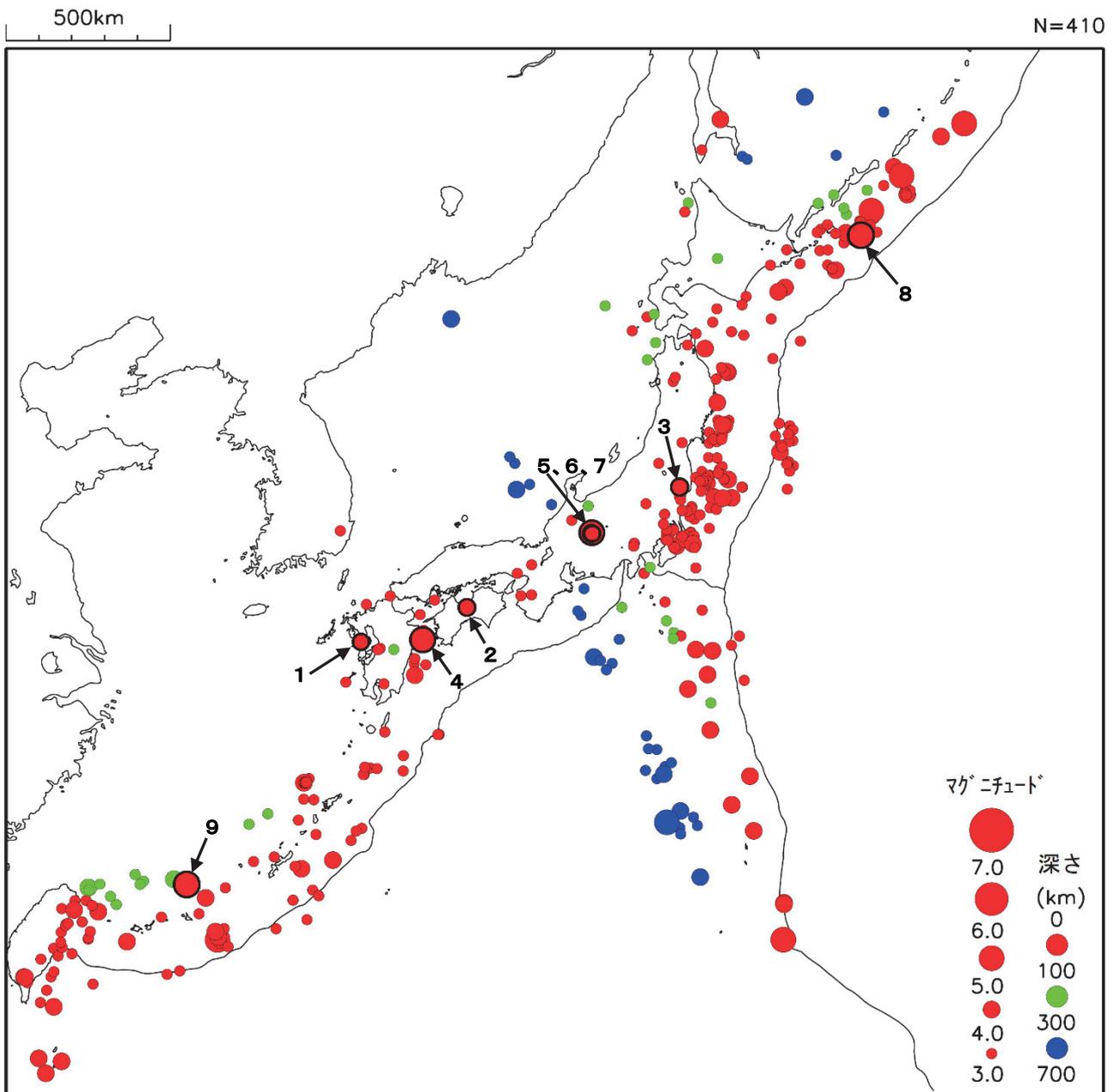
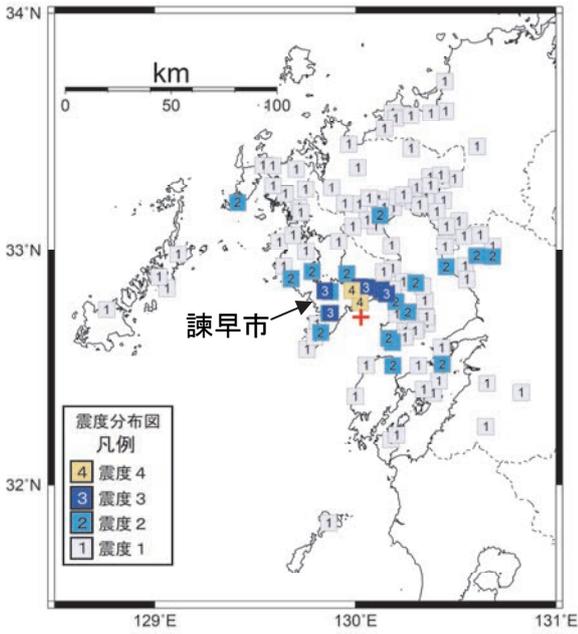
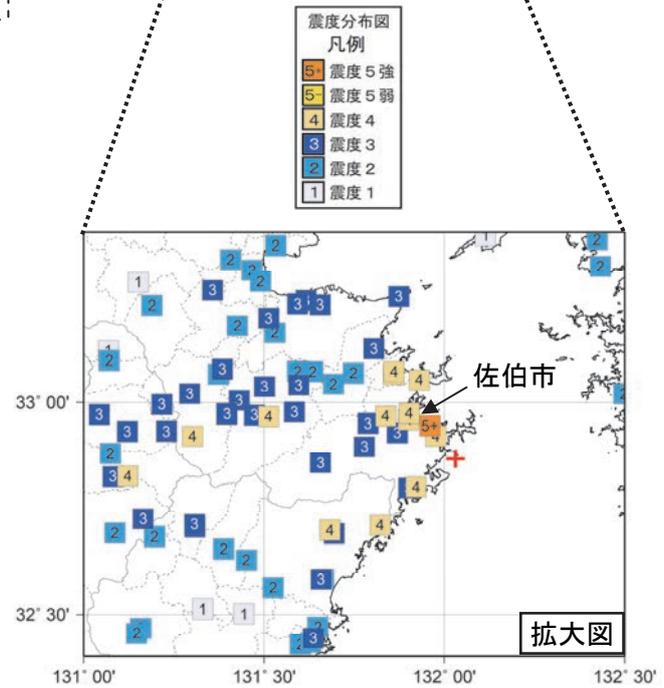
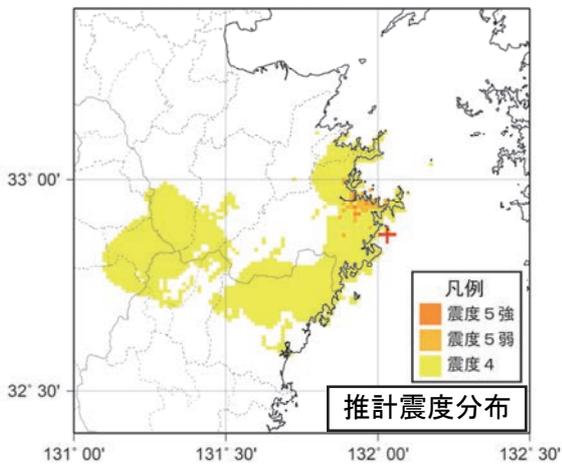
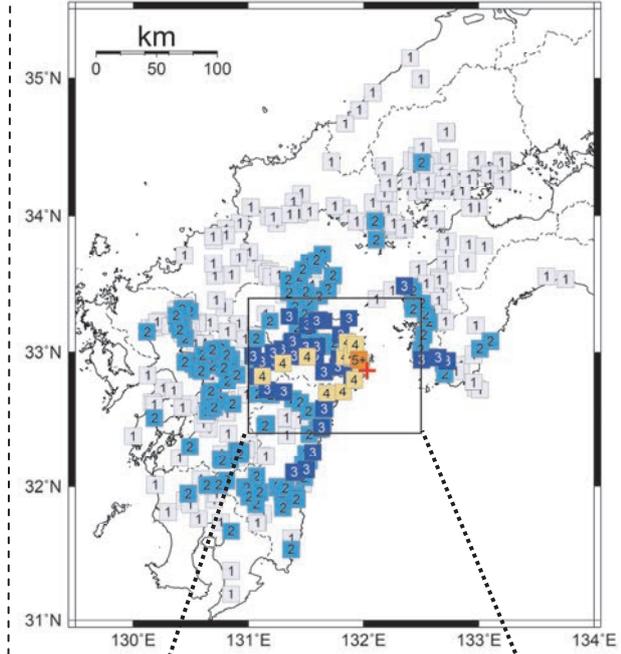


図 2 平成 29 年 6 月に日本及びその周辺で発生した M3.0 以上の地震の震央分布図
 (図中の数字は表 1 の番号に対応)

1 6月9日 23時36分 橘湾
(M4.3、深さ16km、最大震度4)



4 6月20日 23時27分 豊後水道
(M5.0、深さ42km、最大震度5強)

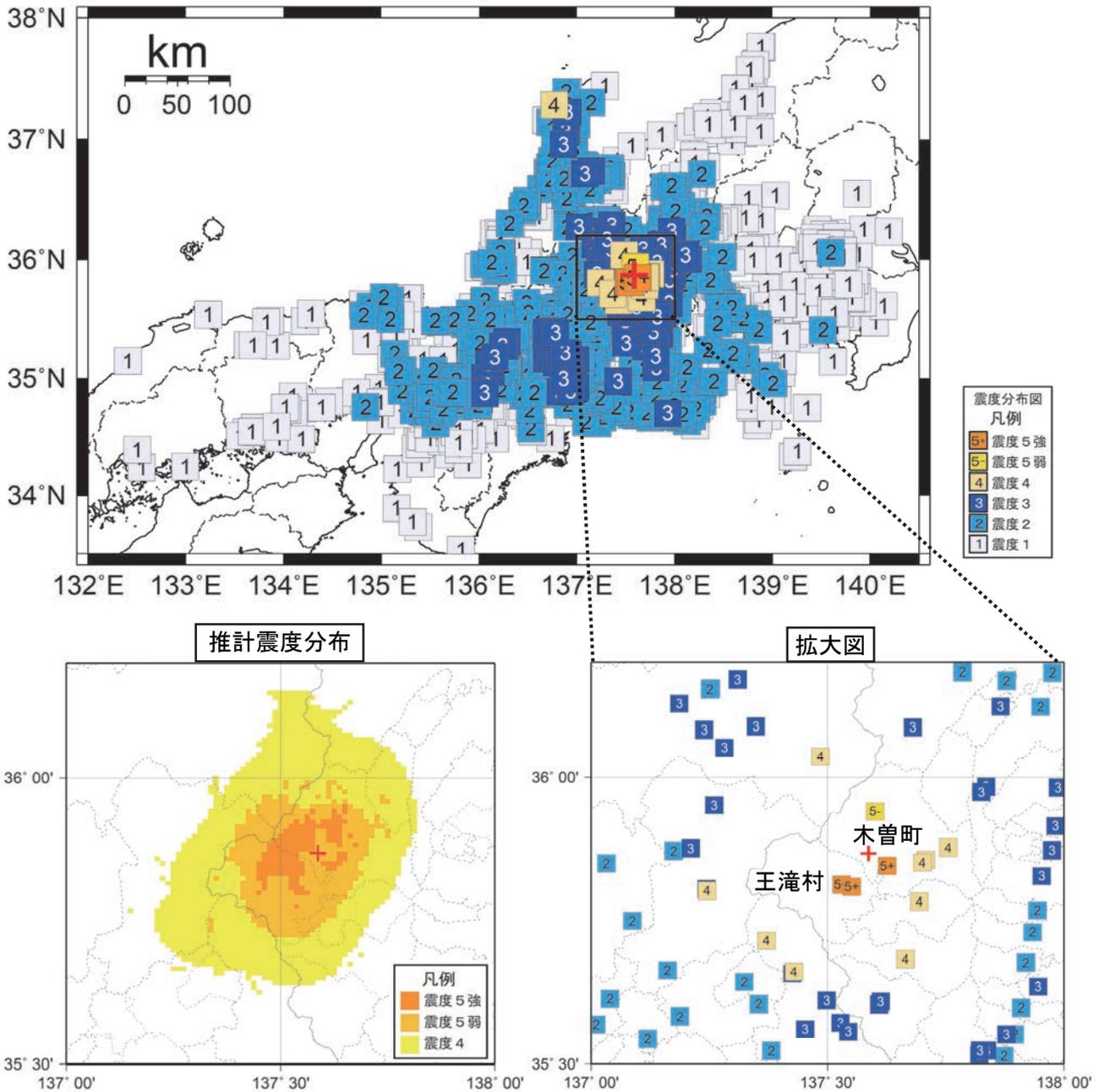


(表示範囲は震度分布図の拡大図 (右図) に等しい)

<推計震度分布図について>
地震の際に観測される震度は、ごく近い場所でも地盤の違いなどにより1階級程度異なることがある。また、このほか震度を推計する際にも誤差が含まれるため、推計された震度と実際の震度が1階級程度ずれることがある。
このため、個々のメッシュの位置や震度の値ではなく、大きな震度の面的な広がり具合とその形状に着目して利用されたい。

図3-1 震度分布図 (各図の左上の数字は表1、図2の番号に対応する。+印は震央を示す。)

5 6月25日07時02分 長野県南部
(M5.6、深さ7km、最大震度5強)

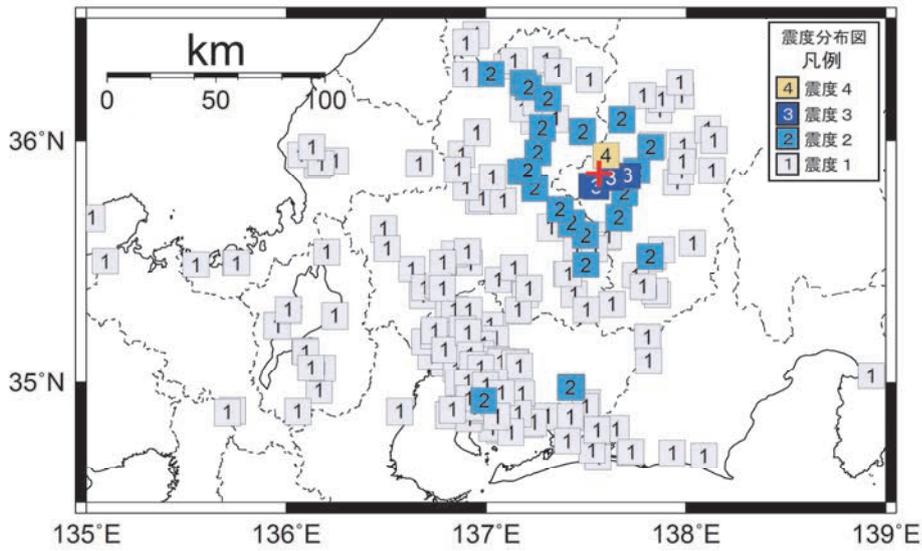


(表示範囲は震度分布図の拡大図（右図）に等しい)

＜推計震度分布図について＞
地震の際に観測される震度は、ごく近い場所でも地盤の違いなどにより1階級程度異なることがある。また、このほか震度を推計する際にも誤差が含まれるため、推計された震度と実際の震度が1階級程度ずれることがある。このため、個々のメッシュの位置や震度の値ではなく、大きな震度の面的な広がり具合とその形状に着目して利用されたい。

図3-2 震度分布図（各図の左上の数字は表1、図2の番号に対応する。+印は震央を示す。）

6 6月25日09時24分 長野県南部
(M4.5、深さ6km、最大震度4)



7 6月25日15時17分 長野県南部
(M4.7、深さ7km、最大震度4)

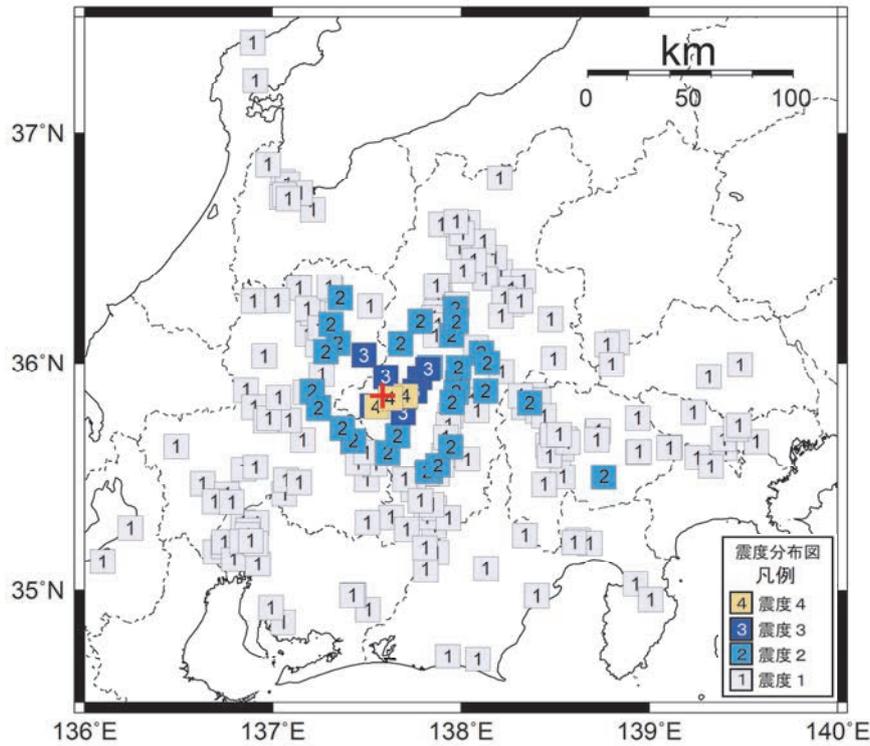


図 3 - 3 震度分布図（各図の左上の数字は表 1、図 2 の番号に対応する。+印は震央を示す。）

※その他の地震の震度分布図については、気象庁 HP の震度データベース
(<http://www.data.jma.go.jp/svd/eqdb/data/shindo/index.php>) をご覧ください。

○北海道地方の地震活動

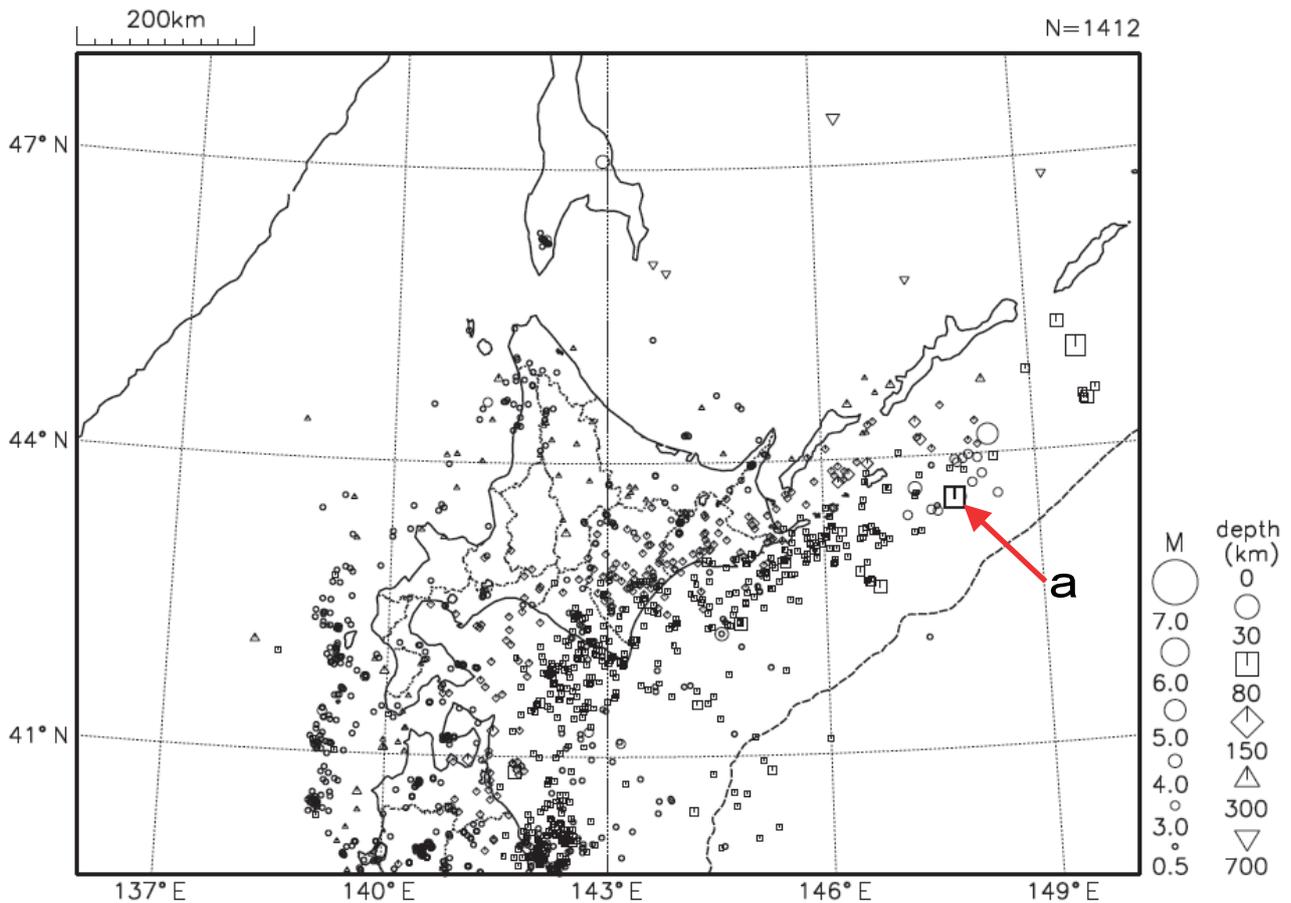


図4 北海道地方の震央分布図（2017年6月1日～6月30日、 $M \geq 0.5$ ）

〔概況〕

6月に北海道地方で震度1以上を観測した地震は10回（5月は10回）であった。6月中の主な地震活動は次のとおりである。

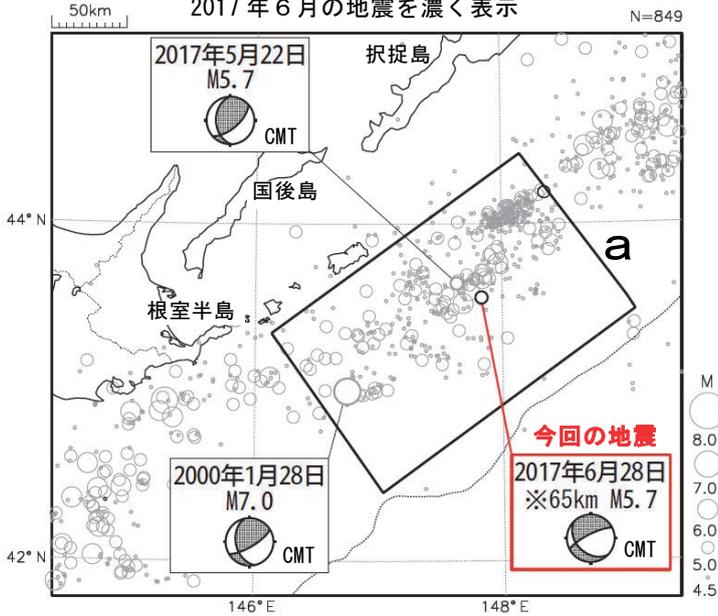
28日21時07分に北海道東方沖の深さ65km（CMT解による）でM5.7の地震（図4中のa）が発生し、北海道根室市、標津町で震度3を観測したほか、北海道から東北地方にかけて震度2～1を観測した（p8参照）。

6 月 28 日 北海道東方沖の地震

震央分布図

(1997 年 10 月 1 日～2017 年 6 月 30 日、
深さ 0～100km、 $M \geq 4.5$)

2017 年 6 月の地震を濃く表示



※今回の地震の深さはCMT解による。

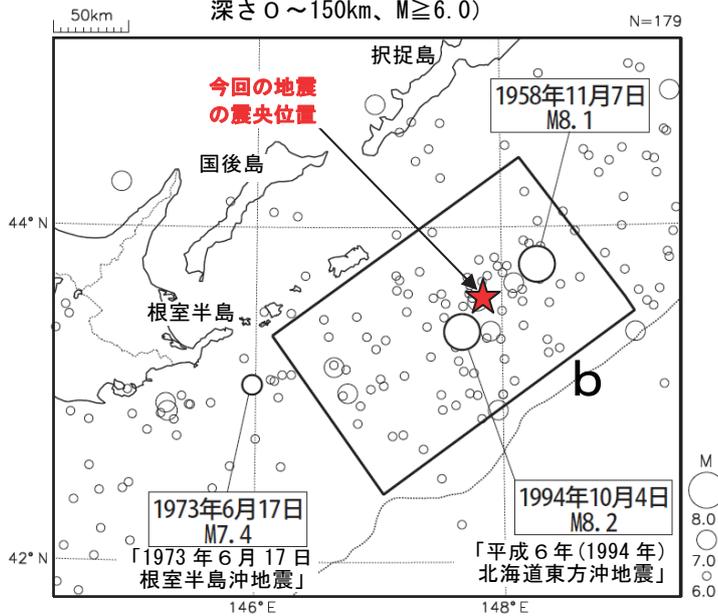
2017 年 6 月 28 日 21 時 07 分に北海道東方沖の深さ 65km (CMT 解による) で M5.7 の地震 (最大震度 3) が発生した。この地震は太平洋プレート内部で発生した。発震機構 (CMT 解) は西北西-東南東方向に圧力軸を持つ型である。

1997 年 10 月以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺 (領域 a) では、M5.0 以上の地震がしばしば発生しており、最近では、2017 年 5 月 22 日に M5.7 の地震 (最大震度 3) が発生している。最大規模の地震は、2000 年 1 月 28 日に M7.0 の地震 (最大震度 4) で、負傷者 2 人の被害が生じた (総務省消防庁による)。

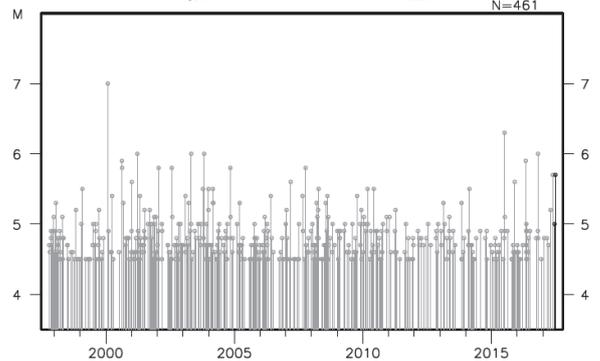
1923 年 1 月以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺 (領域 b) では、M7.0 以上の地震が時々発生しており、M8.0 以上の地震が 2 回発生している。1994 年 10 月 4 日に今回と同じ太平洋プレート内部で発生した「平成 6 年 (1994 年) 北海道東方沖地震」 (M8.2、最大震度 6) では、根室市花咲で 168cm (平常潮位からの最大の高さ) を観測するなど、北海道から沖縄県にかけて津波を観測した。この地震により、北海道では負傷者 436 人、住家被害 7,519 棟等の被害が生じた (「平成 6・7 年災害記録 (北海道)」による)。

震央分布図

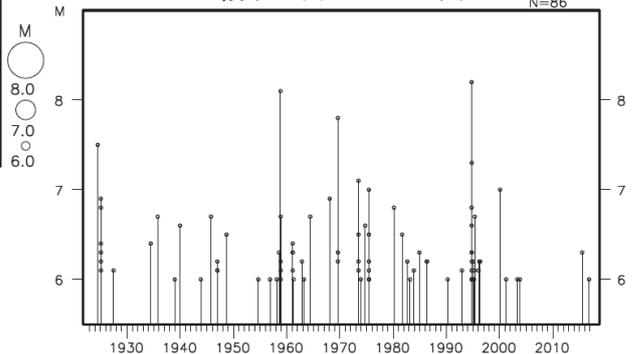
(1923 年 1 月 1 日～2017 年 6 月 30 日、
深さ 0～150km、 $M \geq 6.0$)



領域 a 内の M-T 図



領域 b 内の M-T 図



○東北地方の地震活動

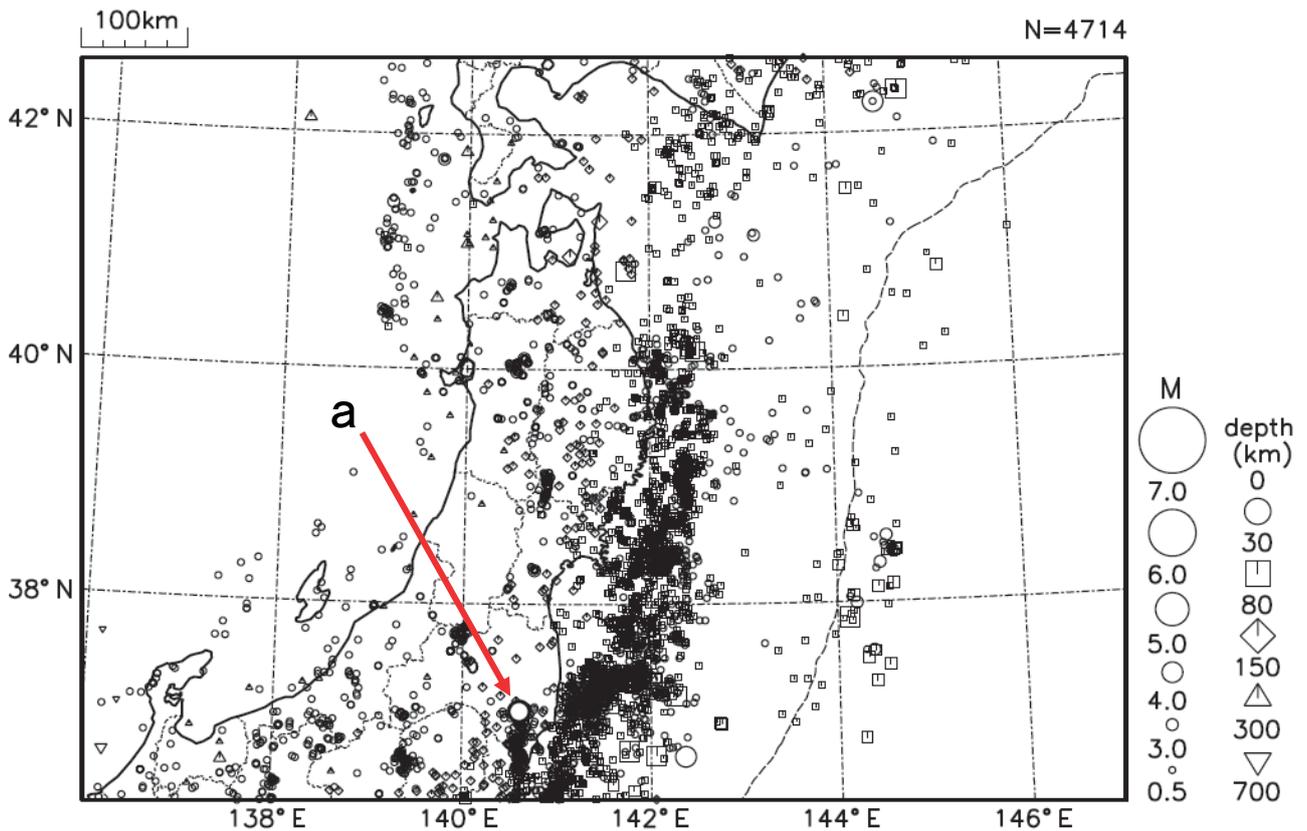


図5 東北地方の震央分布図（2017年6月1日～6月30日、 $M \geq 0.5$ ）

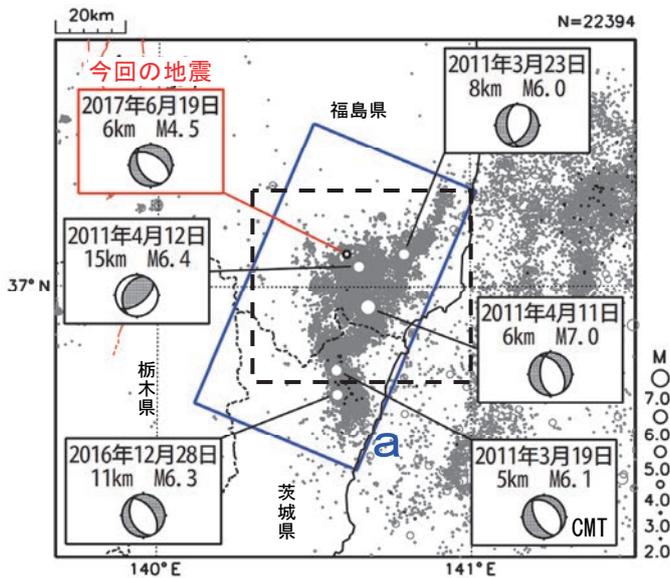
〔概況〕

6月に東北地方で震度1以上を観測した地震は35回（5月は29回）であった。6月中の主な活動は次のとおりである。

19日05時51分に福島県中通りの深さ6kmでM4.5の地震（図5中のa）が発生し、福島県浅川町、古殿町で震度3を観測したほか、東北地方南部から関東地方にかけて震度2～1を観測した（p10参照）。

6 月 19 日 福島県中通りの地震

震央分布図
 (1997 年 10 月 1 日～2017 年 6 月 30 日、
 深さ 0～30km、 $M \geq 2.0$)
 2017 年 6 月の地震を濃く表示

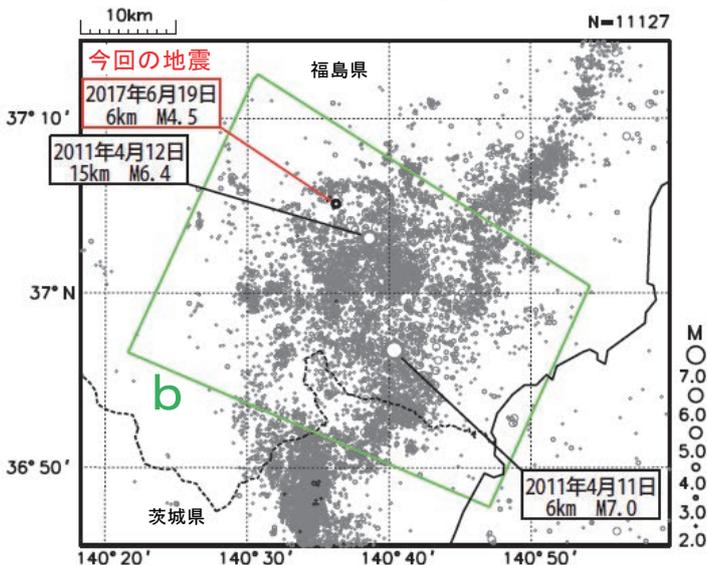


2017 年 6 月 19 日 05 時 51 分に福島県中通りの深さ 6 km で M4.5 の地震（最大震度 3）が発生した。この地震は地殻内で発生した。発震機構は北東－南西方向に張力軸を持つ正断層型である。

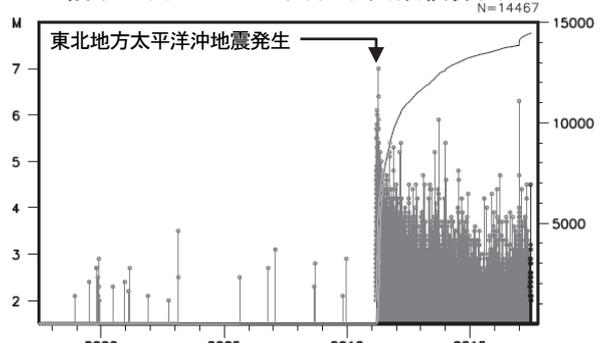
福島県浜通り・中通りから茨城県北部にかけての地殻内（領域 a）では、「平成 23 年（2011 年）東北地方太平洋沖地震」の発生後に地震活動が活発化した。その活動は、消長を繰り返し徐々に低下してきたが、2016 年 12 月 28 日の M6.3 の地震（最大震度 6 弱）後に再び活発化し、現在も茨城県内の活動域を中心にやや活発な活動が続いている。

今回の地震の震央を含む領域（領域 b）では、「平成 23 年（2011 年）東北地方太平洋沖地震」の発生以降、M4.0 以上の地震がしばしば発生しており、2011 年 4 月 11 日に M7.0 の地震（最大震度 6 弱）が発生し、死者 4 人などの被害があった（総務省消防庁による）。その翌日には、今回の地震の震央付近で M6.4 の地震（最大震度 6 弱）が発生している。

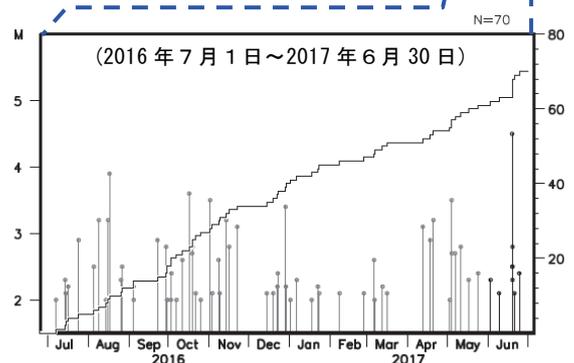
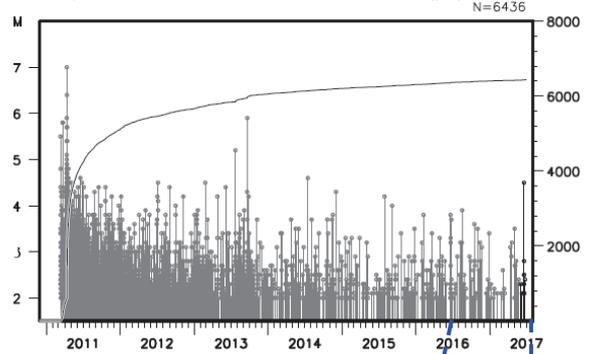
上図の点線矩形内の震央分布図
 (2011 年 3 月 1 日～2017 年 6 月 30 日、
 深さ 0～30km、 $M \geq 2.0$)
 2017 年 6 月の地震を濃く表示



領域 a 内の M-T 図及び回数積算図



領域 b 内の M-T 図及び回数積算図



○関東・中部地方の地震活動

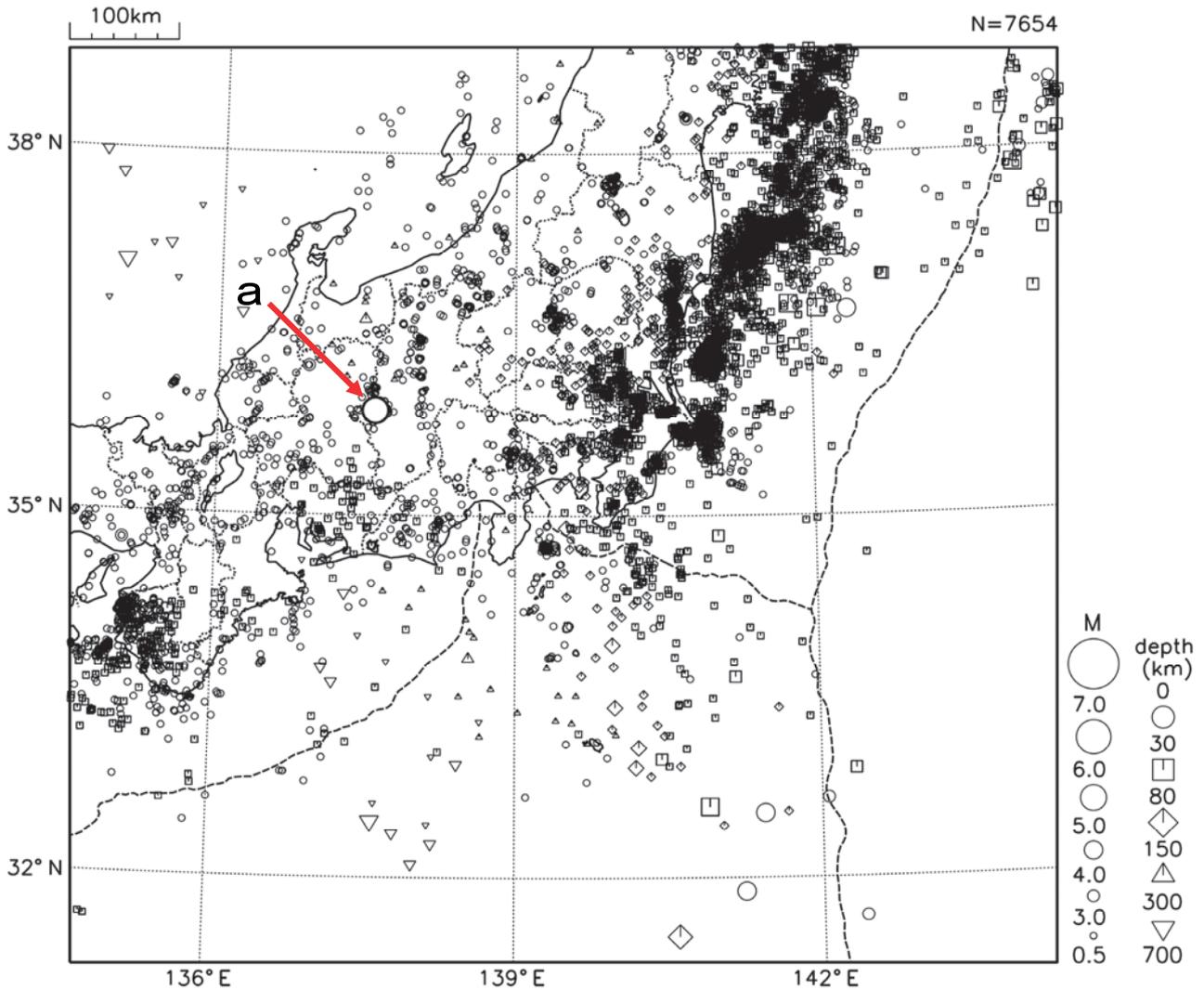


図6 関東・中部地方の震央分布図（2017年6月1日～6月30日、M \geq 0.5）

[概況]

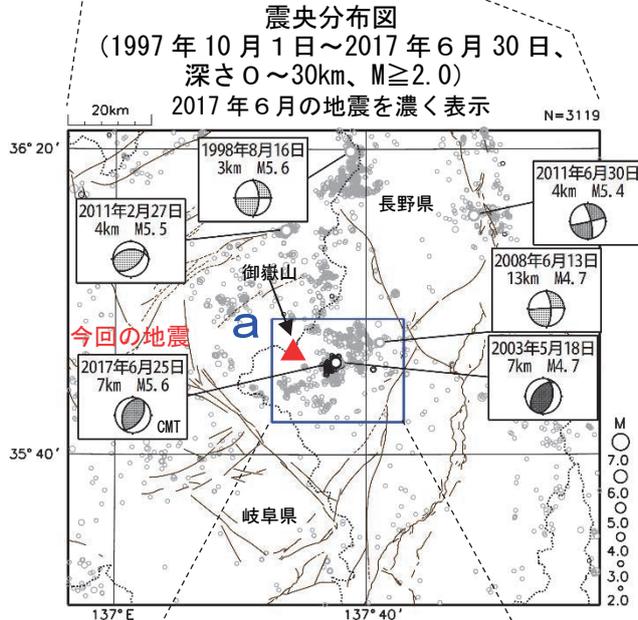
6月に関東・中部地方（三重県を含む）で震度1以上を観測した地震は129回（5月は54回）であった。6月中の主な活動は次のとおりである。

25日07時02分に長野県南部の深さ7kmでM5.6の地震（図6中のa）が発生し、長野県王滝村、木曾町で最大震度5強を観測したほか、中部地方を中心に関東・甲信越地方から中国・四国地方の一部にかけて震度5弱～1を観測した（p5、12～13参照）。

6 月 25 日 長野県南部の地震



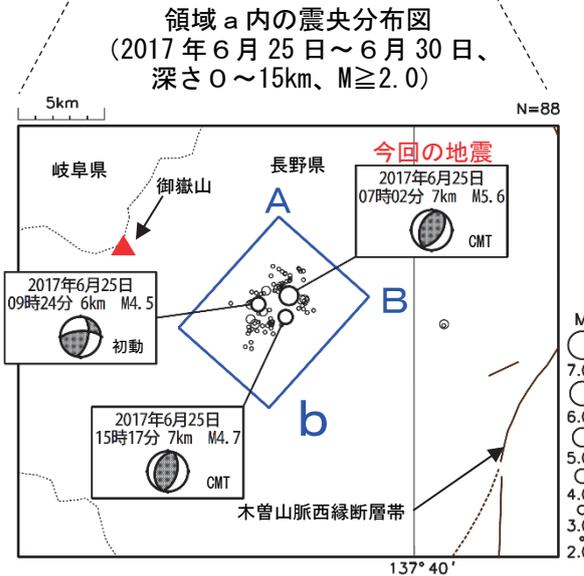
図中の細線は地震調査研究推進本部の長期評価による活断層を示す



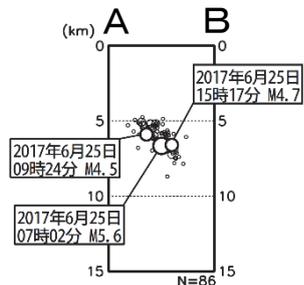
2017年6月25日07時02分に長野県南部の深さ7kmでM5.6の地震（最大震度5強）が発生した。この地震は地殻内で発生した。発震機構（CMT解）は西北西－東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型である。この地震により、軽傷2人等の被害が生じた（7月3日現在、総務省消防庁による）。また、長野地方気象台が震度5強を観測した地点の調査を実施し、周辺家屋の天井板のずれ等の被害を確認した。

この地震の発生後、まとまった地震活動がみられており、7月3日までに最大震度1以上を観測する地震が69回（震度4：2回、震度3：6回、震度2：14回、震度1：47回）発生している。

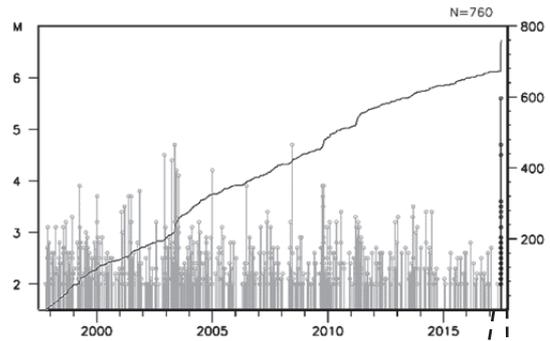
1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域a）は、定常的に地震活動がみられる領域で、今回の地震とはほぼ同じ場所で、2003年5月18日にM4.7の地震（最大震度4）が発生している。



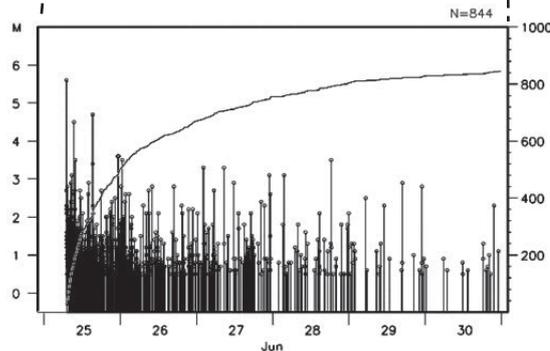
領域b内の断面図（A－B投影）



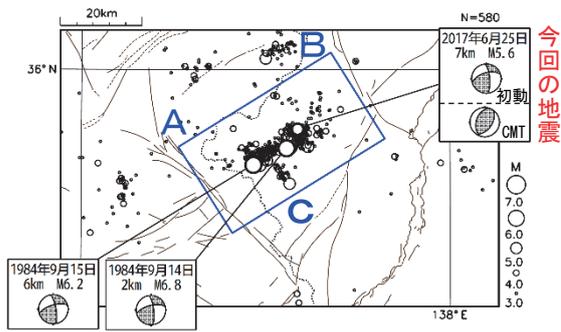
領域a内のM－T図及び回数積算図
(1997年10月1日～2017年6月30日)



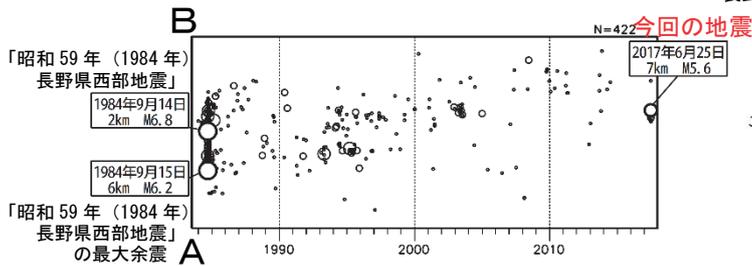
領域a内のM－T図及び回数積算図
(2017年6月25日～2017年6月30日、 $M \geq 0.5$)



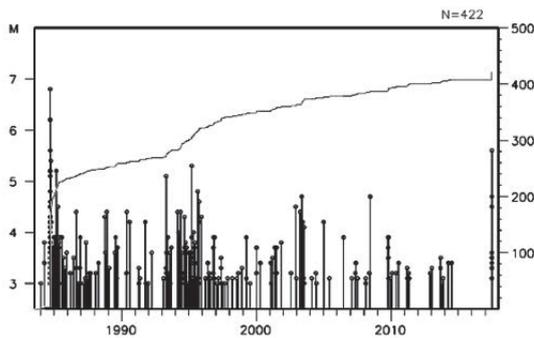
震央分布図
(1984 年 1 月 1 日～2017 年 6 月 30 日、
深さ 0～30km、 $M \geq 3.0$)



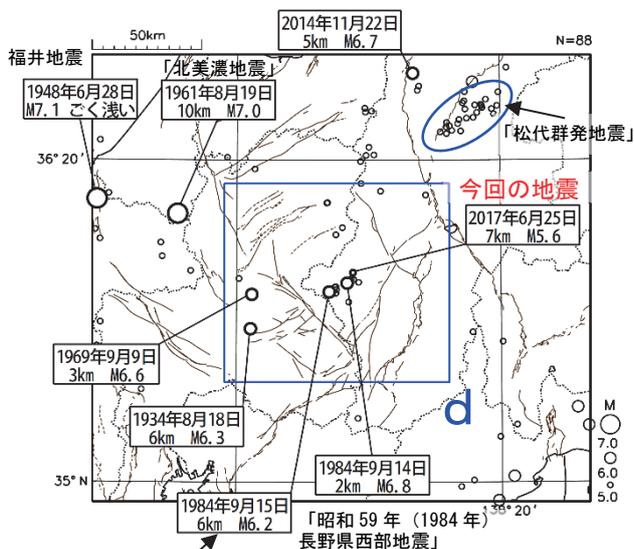
領域c内の時空間分布図 (A-B 投影)



領域c内のM-T図及び回数積算図



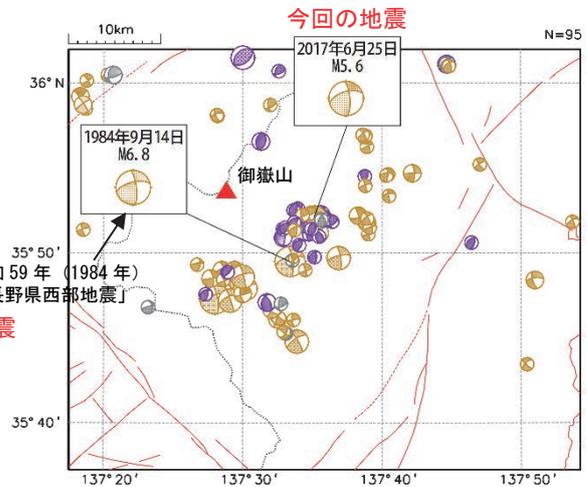
震央分布図
(1923 年 1 月 1 日～2017 年 6 月 30 日、
深さ 0～30km、 $M \geq 5.0$)



「昭和59年(1984年)長野県西部地震」の最大余震

発震機構 (初動解) 分布図
(1984 年 1 月 1 日～2017 年 6 月 30 日、
深さ 0～30km、 $M \geq 2.0$)

逆断層型の地震を紫色、横ずれ断層型の地震を黄色、
その他の地震を灰色で表示

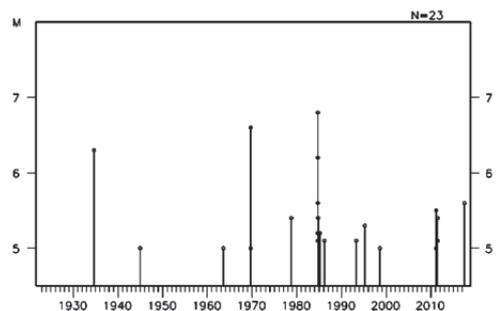


領域c内の活動をみると、1984年9月14日に、今回の地震から南西方向に約5km離れた場所で、 $M 6.8$ の地震（「昭和59年(1984年)長野県西部地震」）（以下、長野県西部地震）が発生した。この地震の発生後、 $M 6.2$ の余震が発生するなど地震活動が活発になっていた。今回の地震は、長野県西部地震とその後の活動域内で発生している。

今回の地震の周辺では、北西-南東方向に圧力軸を持つ横ずれ断層型または逆断層型で発生する地震が多い。また、今回の地震とその後の地震活動の分布はCMT解（逆断層型）の南東傾斜の節面と概ね整合している（前頁断面図参照）。

1923年1月以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域d）では、 $M 5.0$ 以上の地震が時々発生しており、 $M 6$ を超える地震も3回発生している。そのうち1984年9月14日に発生した長野県西部地震により、死者・行方不明者29人等の被害が生じた（「日本被害地震総覧」による）。

領域d内のM-T図



○近畿・中国・四国地方の地震活動

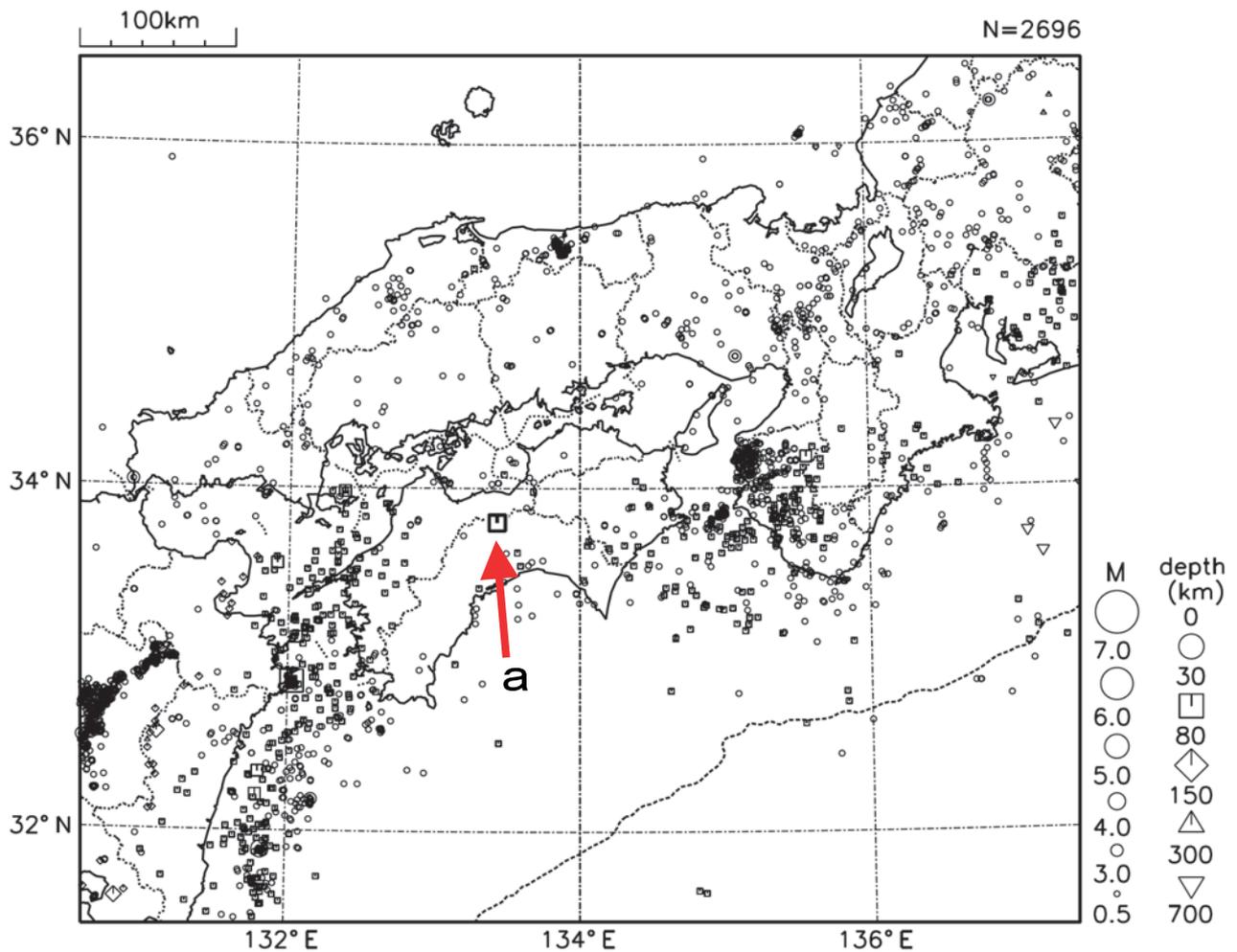


図7 近畿・中国・四国地方の震央分布図（2017年6月1日～6月30日、 $M \geq 0.5$ ）

[概況]

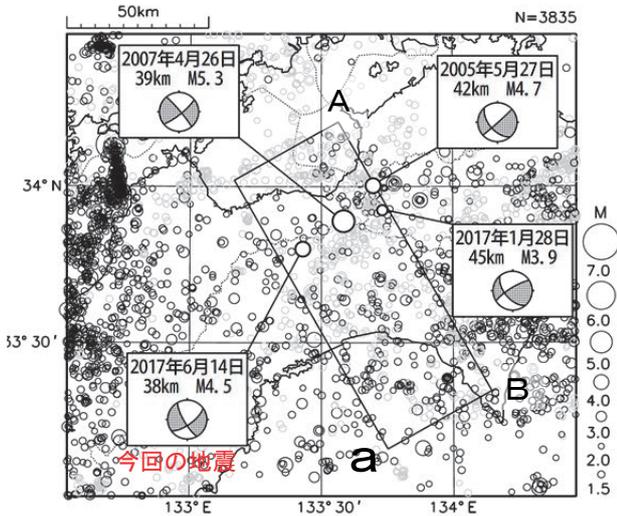
6月に近畿・中国・四国地方で震度1以上を観測した地震は20回（5月は17回）であった。6月中の主な活動は次のとおりである。

14日19時24分に高知県中部の深さ38kmでM4.5の地震（図7中のa）が発生し、広島県、徳島県、香川県、愛媛県、高知県で震度3を観測したほか、近畿・中国・四国地方で震度2～1を観測した（p15参照）。

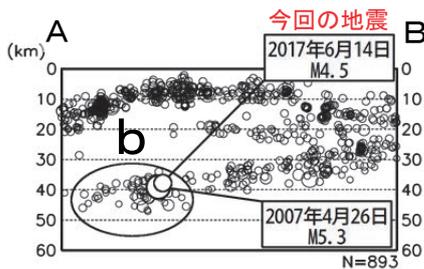
6 月 14 日 高知県中部の地震

震央分布図

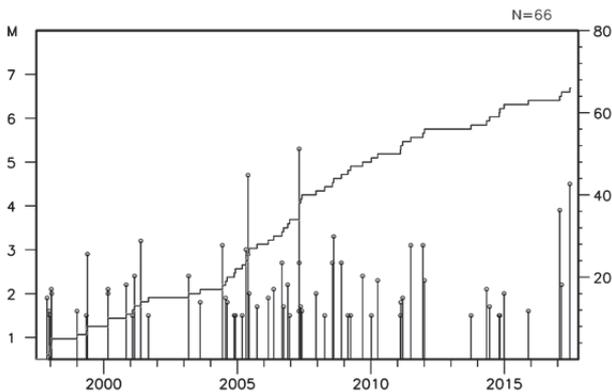
(1997 年 10 月 1 日～2017 年 6 月 30 日、
深さ：灰 0～20km、黒 20～60km、 $M \geq 1.5$)



領域 a 内の断面図 (A-B 投影)



領域 b 内の M-T 図及び回数積算図



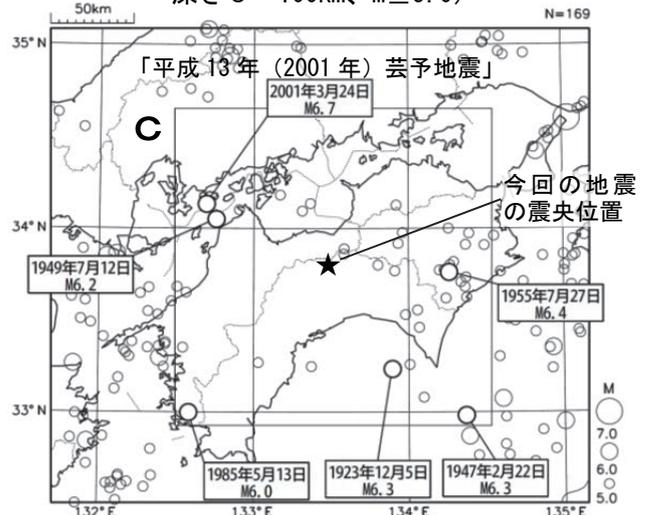
2017年6月14日19時24分に高知県中部の深さ38kmでM4.5の地震 (最大震度3) が発生した。この地震は発震機構が東西方向に張力軸を持つ横ずれ断層型で、フィリピン海プレート内部で発生した。

1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近 (領域b) では、M4.0以上の地震が3回発生しており、2007年4月26日にはM5.3の地震 (最大震度4) が発生している。

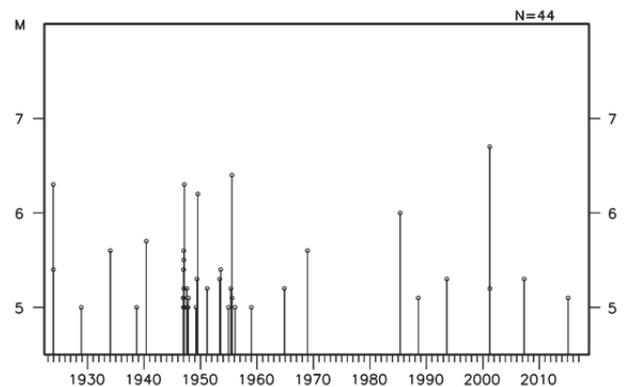
1923年1月以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺 (領域c) では「平成13年 (2001年) 芸予地震」 (M6.7、最大震度6弱) が発生している。この地震により、死者2人、負傷者288人、住家全壊70棟、半壊774棟などの被害が生じた (総務省消防庁による)。

震央分布図

(1923 年 1 月 1 日～2017 年 6 月 30 日、
深さ 0～100km、 $M \geq 5.0$)



領域 c 内の M-T 図



○九州地方の地震活動

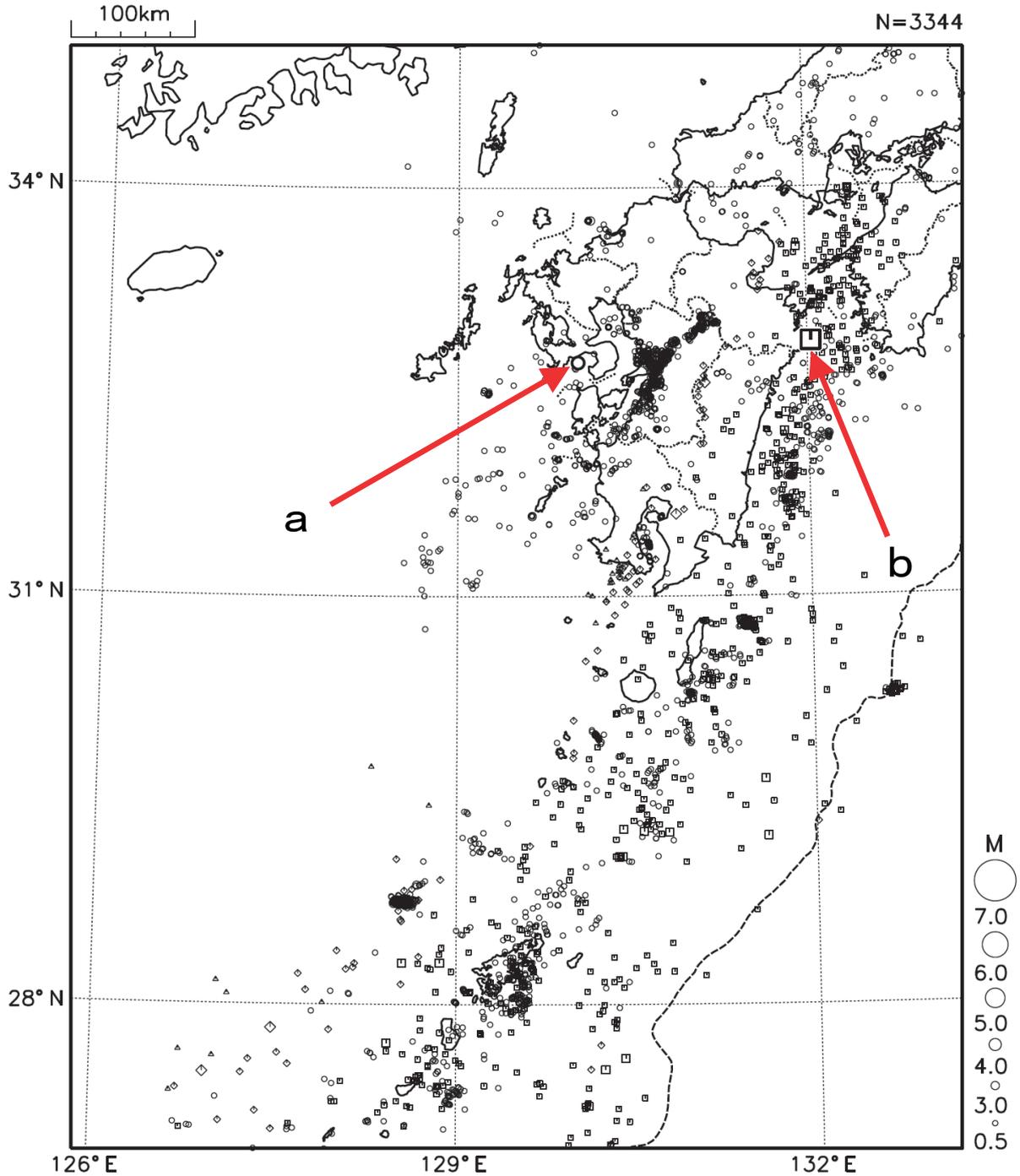


図8 九州地方の震央分布図（2017年6月1日～6月30日、M \geq 0.5）

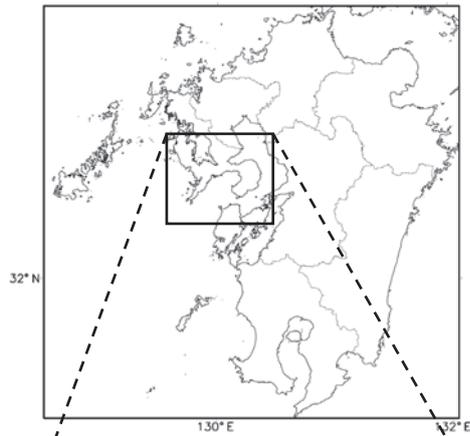
[概況]

6月に九州地方で震度1以上を観測した地震は32回（5月は55回）であった。
6月中の主な活動は次のとおりである。

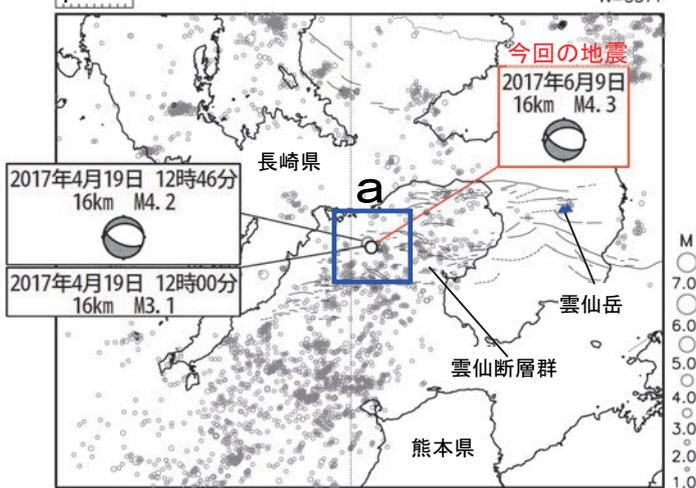
9日23時36分に橘湾の深さ16kmでM4.3の地震（図8中のa）が発生し、長崎県諫早市で震度4を観測したほか、長崎県、佐賀県、福岡県などで震度3～1を観測した（p4、17参照）。

20日23時27分に豊後水道の深さ42kmでM5.0の地震（図8中のb）が発生し、大分県佐伯市で震度5強を観測したほか、九州地方から中国・四国地方にかけて震度4～1を観測した（p4、18参照）。

6月9日 橘湾の地震

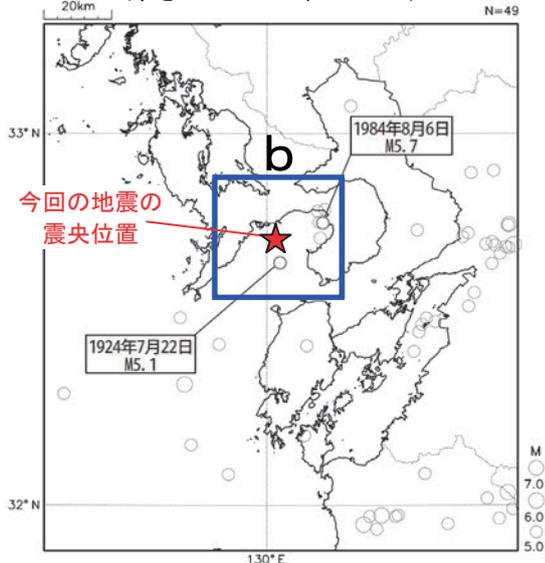


震央分布図
(2000年10月1日～2017年6月30日、
深さ0～20km、 $M \geq 1.0$)
2017年6月の地震を濃く表示



図中の細線は地震調査研究推進本部の長期評価による活断層を示す

震央分布図
(1923年1月1日～2017年6月30日、
深さ0～100km、 $M \geq 5.0$)

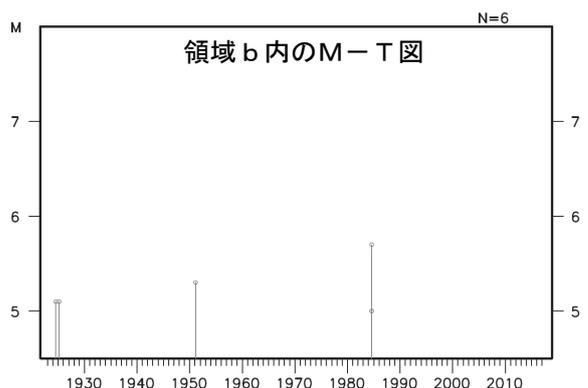
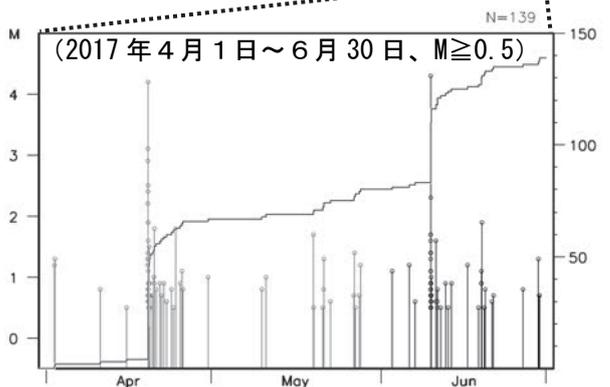
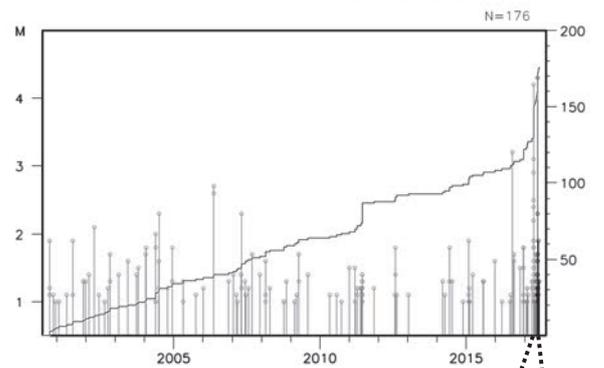


2017年6月9日23時36分に橘湾の深さ16kmでM4.3の地震（最大震度4）が発生した。この地震は地殻内で発生した。発震機構は南北方向に張力軸を持つ正断層型である。

2000年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近（領域a）は地震活動が比較的活発な領域で、M2.0以上の地震が時々発生していた。2017年4月19日には、M4.2とM3.1の地震（いずれも最大震度3）が発生するなどややまとまった地震活動がみられた。

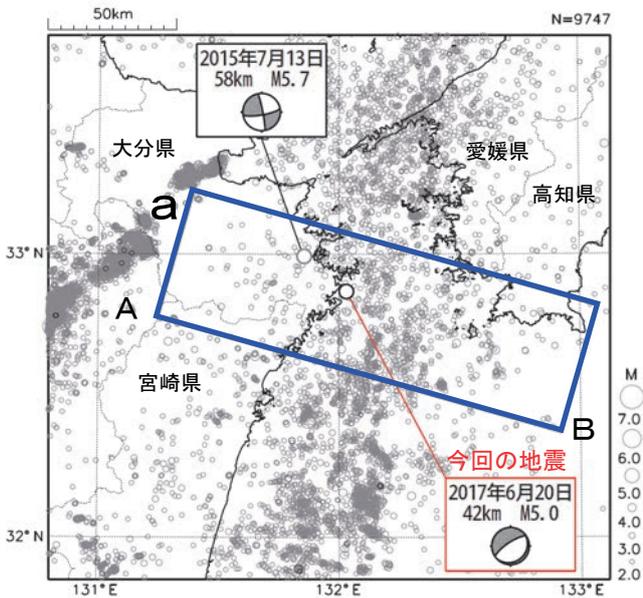
1923年1月以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域b）ではM5.0以上の地震が6回発生している。1984年8月6日には、M5.7の地震を最大として地震活動が活発となった。この地震活動により、小浜町（現在は雲仙市）で建物一部破損53棟などの被害が生じた（「日本被害地震総覧」による）。

領域a内のM-T図及び回数積算図



6 月 20 日 豊後水道の地震

震央分布図
 (1997 年 10 月 1 日～2017 年 6 月 30 日、
 深さ 0～90km、M≥2.0)
 2017 年 6 月の地震を濃く表示

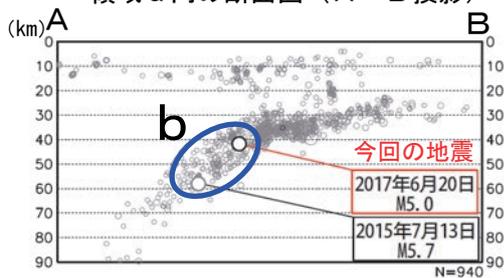


2017 年 6 月 20 日 23 時 27 分に豊後水道の深さ 42km で M5.0 の地震 (最大震度 5 強) が発生した。この地震は、発震機構がフィリピン海プレートの沈み込む方向に張力軸を持つ型で、フィリピン海プレート内部で発生した。

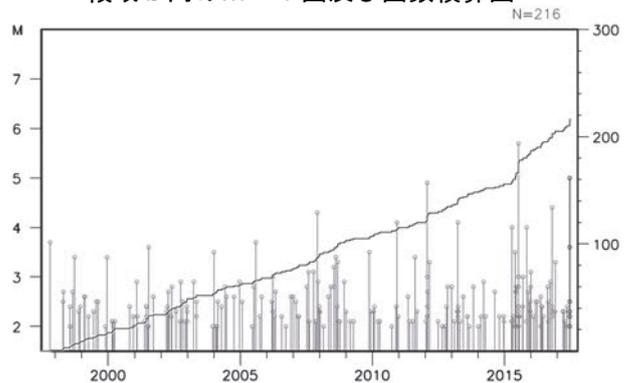
1997 年 10 月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近 (領域 b) は、M4.0 以上の地震が時々発生している。2015 年 7 月 13 日に発生した M5.7 の地震 (最大震度 5 強) では、負傷者 3 人、住家一部破損 3 棟の被害が生じた (総務省消防庁による)。

1923 年 1 月以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺 (領域 c) では、M6.0 以上の地震が時々発生している。「1968 年日向灘地震」(M7.5、最大震度 5) では、負傷者 57 人、住家被害 7,423 棟などの被害が生じた (「日本被害地震総覧」による)。また、大分県蒲江で 240cm (最大全振幅) の津波を観測した (「日本被害津波総覧」による)。

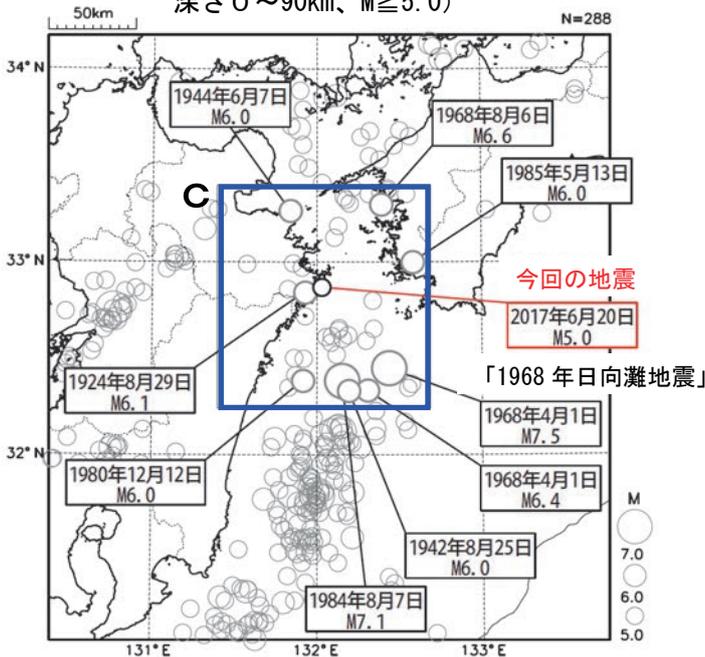
領域 a 内の断面図 (A-B 投影)



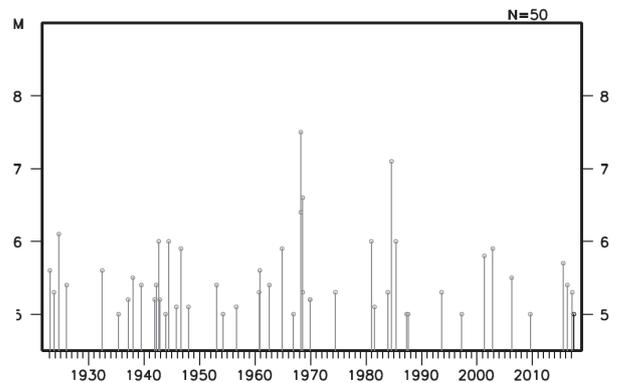
領域 b 内の M-T 図及び回数積算図



震央分布図
 (1923 年 1 月 1 日～2017 年 6 月 30 日、
 深さ 0～90km、M≥5.0)



領域 c 内の M-T 図



○沖縄地方の地震活動

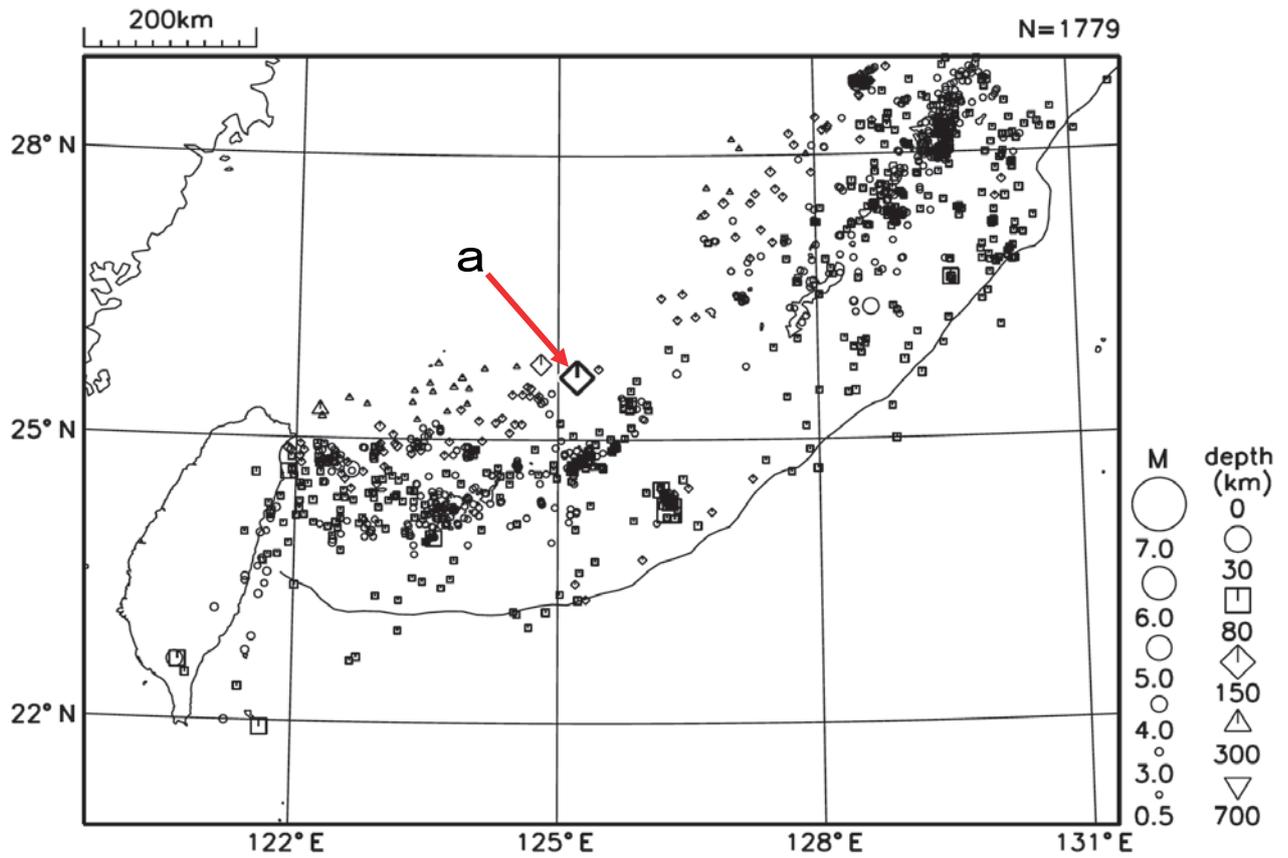


図9 沖縄地方の震央分布図（2017年6月1日～6月30日、 $M \geq 0.5$ ）

[概況]

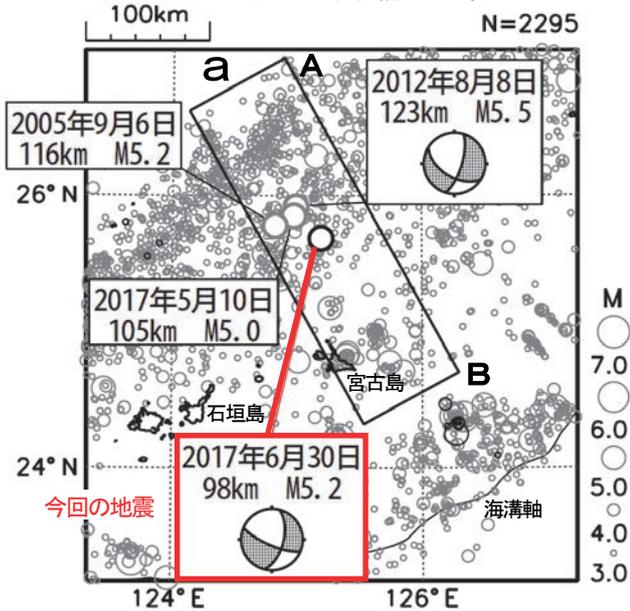
6月に沖縄地方で震度1以上を観測した地震は7回（5月は11回）であった。
6月中の主な活動は次のとおりである。

30日23時04分に宮古島北西沖の深さ98kmでM5.2の地震（図9中のa）が発生し、沖縄県宮古島市で震度3を観測したほか、宮古島から西表島にかけて震度2～1を観測した（p20参照）。

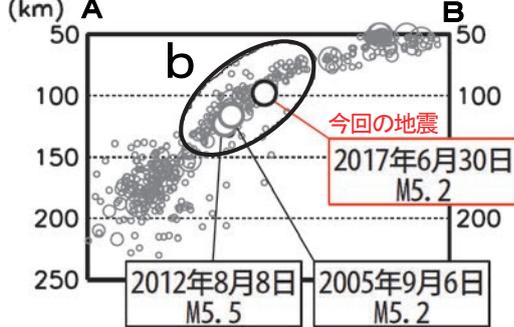
6 月 30 日 宮古島北西沖の地震

震央分布図

(2000 年 7 月 1 日～2017 年 6 月 30 日、
深さ 50km～250km、 $M \geq 3.0$)
2017 年 6 月の地震を濃く表示
図中の発震機構は CMT 解

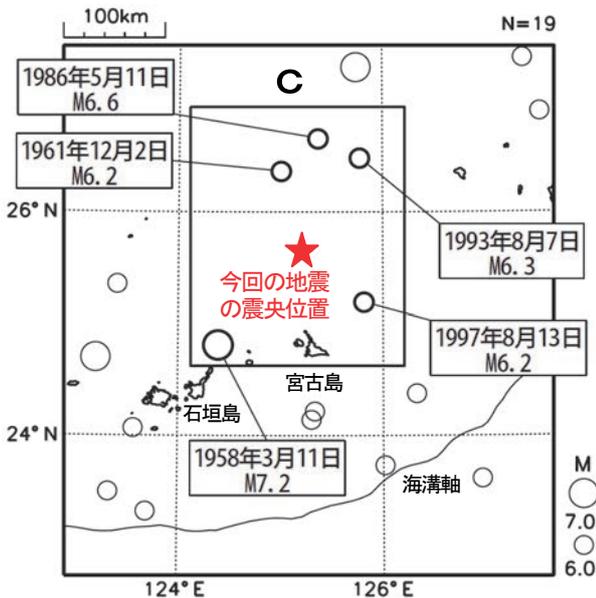


領域 a 内の断面図 (A-B 投影)



震央分布図

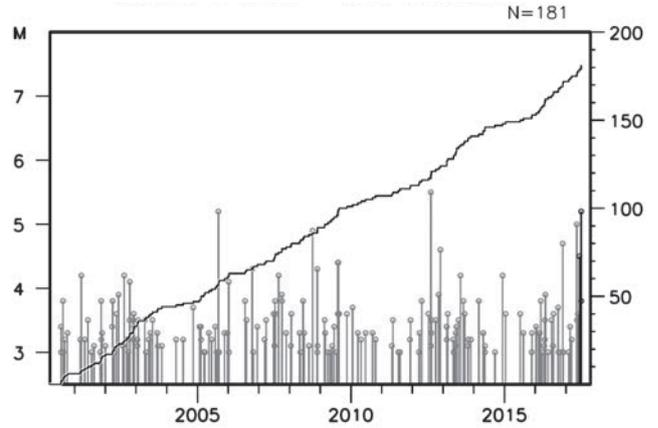
(1923 年 1 月 1 日～2017 年 6 月 30 日、
深さ 50km～250km、 $M \geq 6.0$)



2017年6月30日23時04分に宮古島北西沖（宮古島の北約100km）の深さ98kmでM5.2の地震（最大震度3）が発生した。この地震は、フィリピン海プレート内部で発生した。発震機構（CMT解）は、フィリピン海プレートが沈み込む方向に圧力軸を持つ型である。

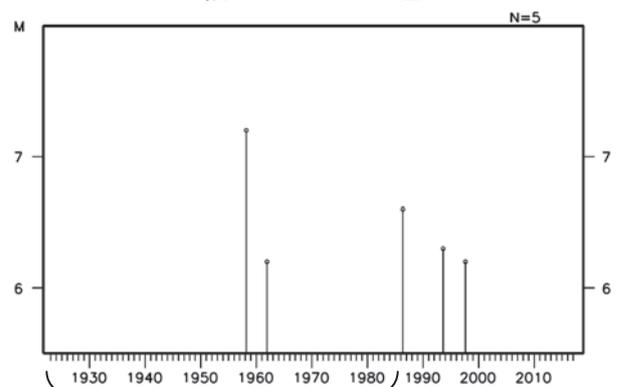
2000年7月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近（領域b）では、M5.0以上の地震が時々発生している。

領域 b 内の M-T 図及び回数積算図



1923年1月以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域c）では、1958年3月11日にM7.2の地震（最大震度5）が発生し、石垣島と宮古島で死者1人、家屋破損、道路、護岸などの陥没・決壊などの被害が生じた（被害は「日本被害地震総覧」による）。

領域 c 内の M-T 図



(この期間は検知能力が低い)

○その他の地域の地震活動

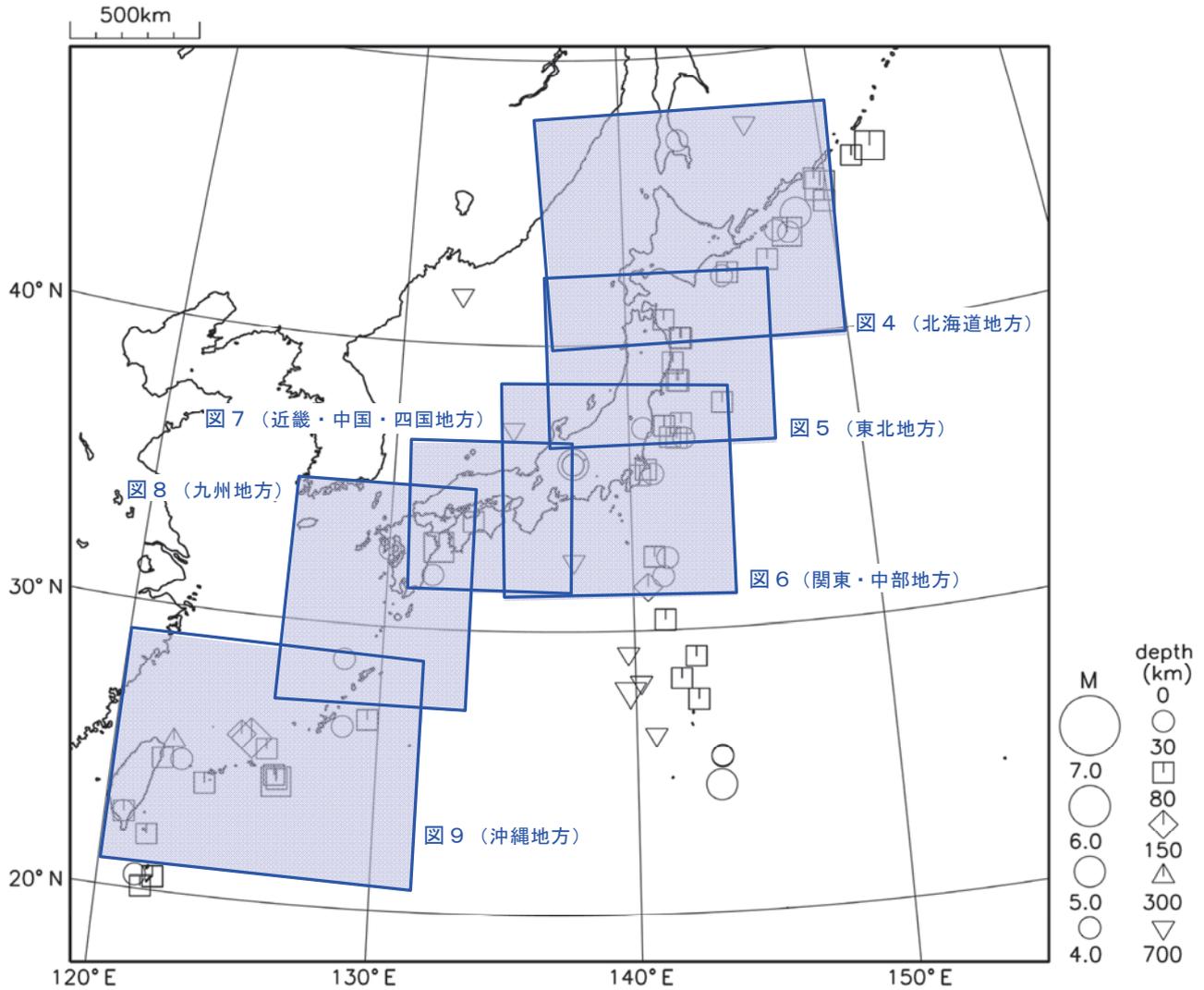


図 10 日本周辺で発生した主な地震の震央分布図（2017 年 6 月 1 日～6 月 30 日、 $M \geq 4.0$ ）

[概況]

6 月に日本周辺で発生した $M6.0$ 以上の地震はなかった（5 月はなかった）。
6 月中、図 4～9 の領域外で特に目立った活動はなかった。

●東海地震の想定震源域及びその周辺の地震活動と 地震防災対策強化地域判定会検討結果

東海地震の想定震源域及びその周辺の地震活動

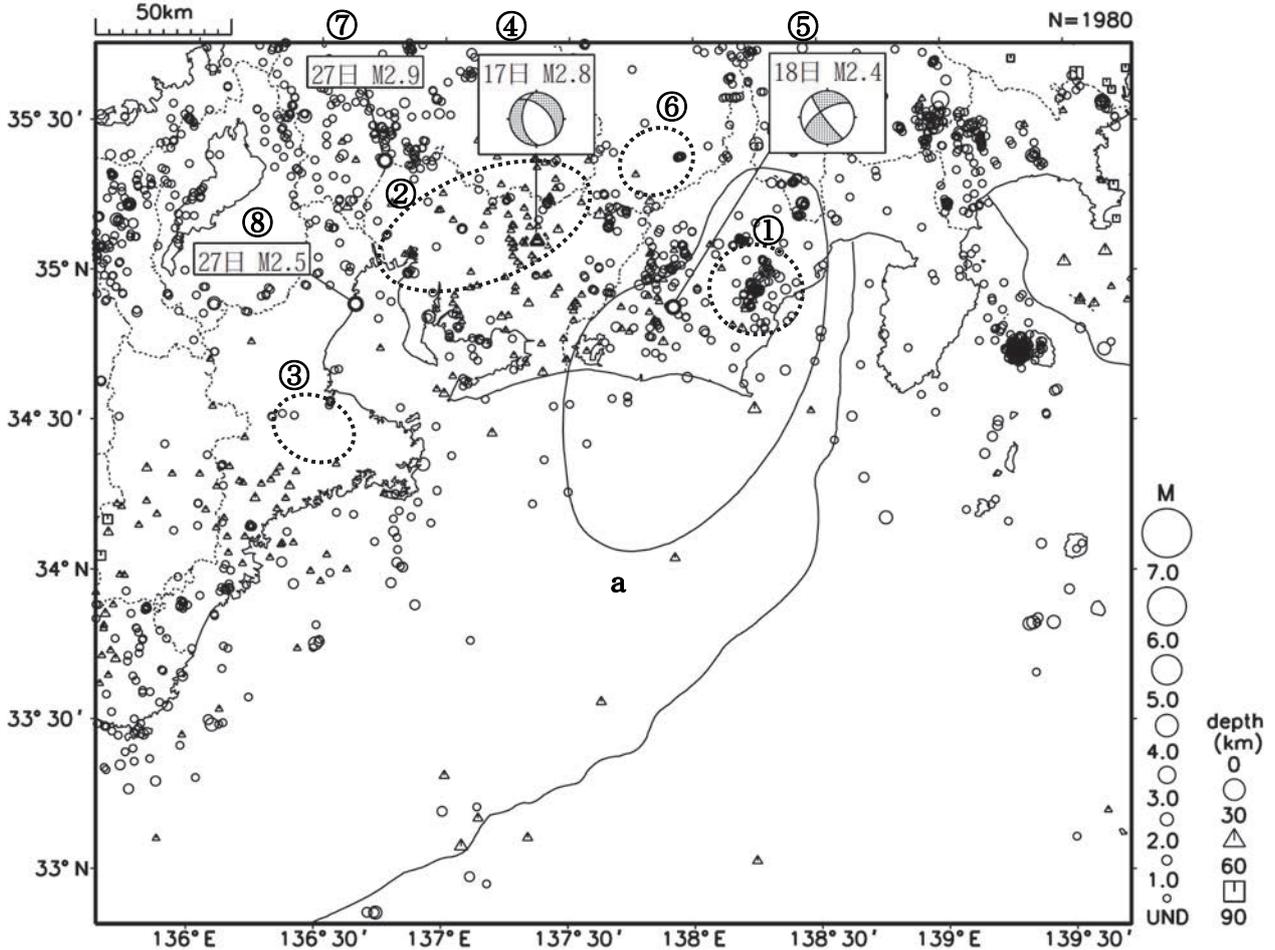


図1 震央分布図（2017年6月1日～30日：深さ0～90km、Mすべて。図中の領域aは東海地震の想定震源域。）

〔概況〕

特に目立った活動はなかった。

- ① 5月中旬以降、静岡県中部のプレート境界付近で、M2程度以下のまとまった地震活動がみられた。
- ② 6月7日と23日に、愛知県西部を震央とする深部低周波地震を観測した。
- ③ 6月15日から16日にかけて、三重県を震央とする深部低周波地震を観測した。
- ④ 6月17日19時08分に、愛知県西部の深さ42kmでM2.8の地震（最大震度1）が発生した。この地震は、発震機構が東北東－西南西方向に張力軸を持つ正断層型で、フィリピン海プレート内部で発生した。
- ⑤ 6月18日16時04分に、静岡県西部の深さ17kmでM2.4の地震（最大震度1）が発生した。この地震は、発震機構が東西方向に圧力軸を持つ横ずれ断層型で、地殻内で発生した。
- ⑥ 6月24日及び27日から28日にかけて、長野県南部を震央とする深部低周波地震を観測した。
- ⑦ 6月27日00時57分に、岐阜県美濃中西部の深さ8kmでM2.9の地震（最大震度2）が発生した。この地震は地殻内で発生した。
- ⑧ 6月27日17時29分に、三重県北部の深さ18kmでM2.5の地震（最大震度1）が発生した。この地震は地殻内で発生した。

注 冒頭の番号は図1中の数字に対応する

地震防災対策強化地域判定会検討結果

6 月 26 日に気象庁において第 374 回地震防災対策強化地域判定会（定例）を開催し、気象庁は「最近の東海地域とその周辺の地殻活動」として次の調査結果を発表した（図 2～図 13）。

現在のところ、東海地震に直ちに結びつくとみられる変化は観測していません。

1. 地震の観測状況

6 月 7 日と 23 日に愛知県、24 日に長野県のプレート境界付近を震源とする深部低周波地震（微動）を観測しました。

2. 地殻変動の観測状況

G N S S 観測及び水準測量の結果では、御前崎の長期的な沈降傾向は継続しています。

平成 25 年はじめ頃から静岡県西部から愛知県東部にかけての G N S S 観測及びひずみ観測にみられていた通常とは異なる変化は、ほぼ見られなくなっています。

3. 地殻活動の評価

平成 25 年はじめ頃から観測されている通常とは異なる地殻変動は、浜名湖付近のプレート境界において発生している「長期的ゆっくりすべり」に起因すると推定しており、現在は、「長期的ゆっくりすべり」は停滞しています。

そのほかに東海地震の想定震源域ではプレート境界の固着状況に特段の変化を示すようなデータは今のところ得られていません。

以上のように、現在のところ、東海地震に直ちに結びつくとみられる変化は観測していません。

なお、G N S S 観測の結果によると「平成 23 年（2011 年）東北地方太平洋沖地震」による余効変動が、小さくなりつつありますが東海地方においてもみられています。

大規模な地震から国民の生命・財産を保護することを目的として、昭和 53 年（1978 年）12 月に施行された「大規模地震対策特別措置法」では、大規模な地震の発生のおそれがあり、その地震によって大きな被害が予想されるような地域を予め「地震防災対策強化地域」（以下、「強化地域」という。）として指定し、地震予知のための観測施設の整備を強化し、予め地震防災に関する計画をたてる等、各種の措置を講ずることとしている。強化地域は平成 14 年（2002 年）4 月に見直しが行われ、現在、静岡県全域と東京都、神奈川・山梨・長野・岐阜・愛知及び三重の各県にまたがる 157 市町村（平成 24 年 4 月現在）が強化地域に指定されている。強化地域では、マグニチュード 8 クラスと想定されている大地震（東海地震）が起こった場合、震度 6 弱以上（一部地域では震度 5 強程度）になり、沿岸では大津波の来襲が予想されている。

気象庁では、いつ発生してもおかしくない状態にある「東海地震」を予知すべく、東海地域の地震活動や地殻変動等の状況を監視している。また、これらの状況を定期的に評価するため、地震防災対策強化地域判定会を毎月開催して委員の意見提供等を受け、現在の状況を取りまとめたコメント「最近の東海地域とその周辺の地殻活動」を発表している。

【地震防災対策強化地域判定会検討結果の頁で使われる用語】

・「想定震源域」と「固着域」

東海地震発生時には、「固着域」（プレート間が強く「くっついている」と考えられている領域）あるいはその周辺の一部からゆっくりしたずれ（前兆すべり）が始まり、最終的には「想定震源域」全体が破壊すると考えられている。

・「クラスタ」、「クラスタ除去」

地震は時間空間的に群（クラスタ：cluster）をなして起きることが多くある。「本震とその後に起きる余震」、「群発地震」などが典型的なクラスタで、余震活動等の影響を取り除いて地震活動全体の推移を見ることを「クラスタ除去」と言う。図 2 の静岡県中西部の場合、相互の震央間の距離が 3 km 以内で、相互の発生時間差が 7 日以内の地震群をクラスタとして扱い、その中の最大の地震をクラスタに含まれる地震の代表とし、地震が 1 つ発生したと扱う。

・「長期的ゆっくりすべり（長期的スロースリップ）」

主に浜名湖周辺下のフィリピン海プレートと陸のプレートの境界が、数年間にかけてゆっくりとすべる現象で、十数年程度の間隔で繰り返し発生していると考えられており、前回は 2000 年秋頃～2005 年夏頃にかけて発生した。

・「深部低周波地震（微動）」

深さ約 30km～40km で発生する、長周期の波が卓越する地震を「深部低周波地震」と言う。長野県南部～日向灘にかけては帯状につながる深部低周波地震の震央分布が見られる。深部低周波微動は、現象的には深部低周波地震と同じであるが、解析手法に違いがあるため、深部低周波地震が観測されない場合にも観測されることがある。

・「短期的ゆっくりすべり（短期的スロースリップ）」

「短期的ゆっくりすべり」は、深部低周波地震（微動）の発生領域とほぼ同じ領域でのフィリピン海プレートと陸のプレートの境界のすべりと考えられている。数日～1 週間程度継続する「短期的ゆっくりすべり（短期的スロースリップ）」が観測されるときは、ほぼ同時に深部低周波地震（微動）活動が観測されることが多い。

なお、地震活動および地殻活動の解析には Hirose et al. (2008) * によるフィリピン海プレートと陸のプレートの境界データを使用している。

* Hirose, F., J. Nakajima, and A. Hasegawa (2008), Three-dimensional seismic velocity structure and configuration of the Philippine Sea slab in southwestern Japan estimated by double-difference tomography, *J. Geophys. Res.*, 113, B09315, doi:10.1029/2007JB005274.

東海地域の地震活動指数

（参考）

（クラスタを除いた地震回数による） 2017 年 6 月 20 日現在

	① 静岡県中西部		② 愛知県		③ 浜名湖周辺			④ 駿河湾
	地殻内	フィリピン海プレート	地殻内	フィリピン海プレート	フィリピン海プレート内 全域	西側	東側	全域
短期活動指数	5	4	4	4	2	3	4	5
短期地震回数 (平均)	7 (5.29)	6 (7.00)	13 (13.16)	13 (14.15)	1 (3.72)	0 (1.43)	1 (2.28)	8 (6.06)
中期活動指数	6	4	4	2	1	3	2	5
中期地震回数 (平均)	20 (15.87)	21 (21.00)	41 (39.48)	33 (42.44)	2 (7.44)	1 (2.87)	1 (4.57)	15 (12.12)

* Mしきい値： 静岡県中西部、愛知県、浜名湖周辺：M≥1.1、駿河湾：M≥1.4

* クラスタ除去：震央距離がΔr以内、発生時間差がΔt以内の地震をグループ化し、最大地震で代表させる。

静岡県中西部、愛知県、浜名湖周辺：Δr=3km、Δt=7日

駿河湾：Δr=10km、Δt=10日

* 対象期間： 静岡県中西部、愛知県：短期30日間、中期90日間

浜名湖周辺、駿河湾：短期90日間、中期180日間

* 基準期間： おおむね長期的スロースリップ（ゆっくり滑り）発生前の地震活動を基準とする。

静岡県中西部、愛知県：1997年－2001年（5年間）、駿河湾：1991年－2000年（10年間）、

浜名湖周辺：1997年－2000年 および 2006年－2012年（11年間）

[各領域の説明]

① 静岡県中西部：プレート間が強く「くっついている」と考えられている領域（固着域）。

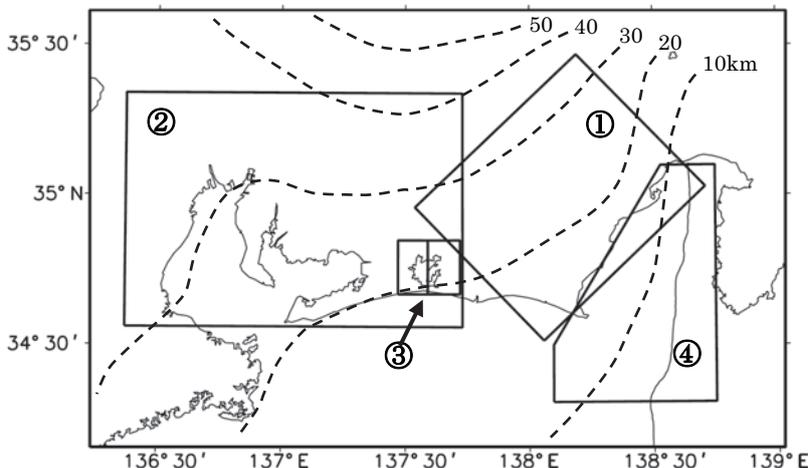
② 愛知県：フィリピン海プレートが沈み込んでいく先の領域。

③ 浜名湖周辺：固着域の縁。長期的スロースリップ（ゆっくり滑り）が発生する場所であり、同期して地震活動が変化すると考えられている領域。

④ 駿河湾：フィリピン海プレートが沈み込み始める領域。

2009年8月11日の駿河湾の地震（M6.5）と2011年8月1日の駿河湾の地震（M6.2）

の余震域の活動を除いた場合での活動指数についても求めた（次ページ）。



* Hirose et al. (2008) によるプレート境界の等深線を破線で示す

指数	確率 (%)	地震数
8	1	多い
7	4	やや多い
6	10	
5	15	
4	40	ほぼ平常
3	15	
2	10	やや少ない
1	4	
0	1	少ない

図2 東海地域の地震活動指数

気象庁作成

地震活動指数の推移（中期活動指数）

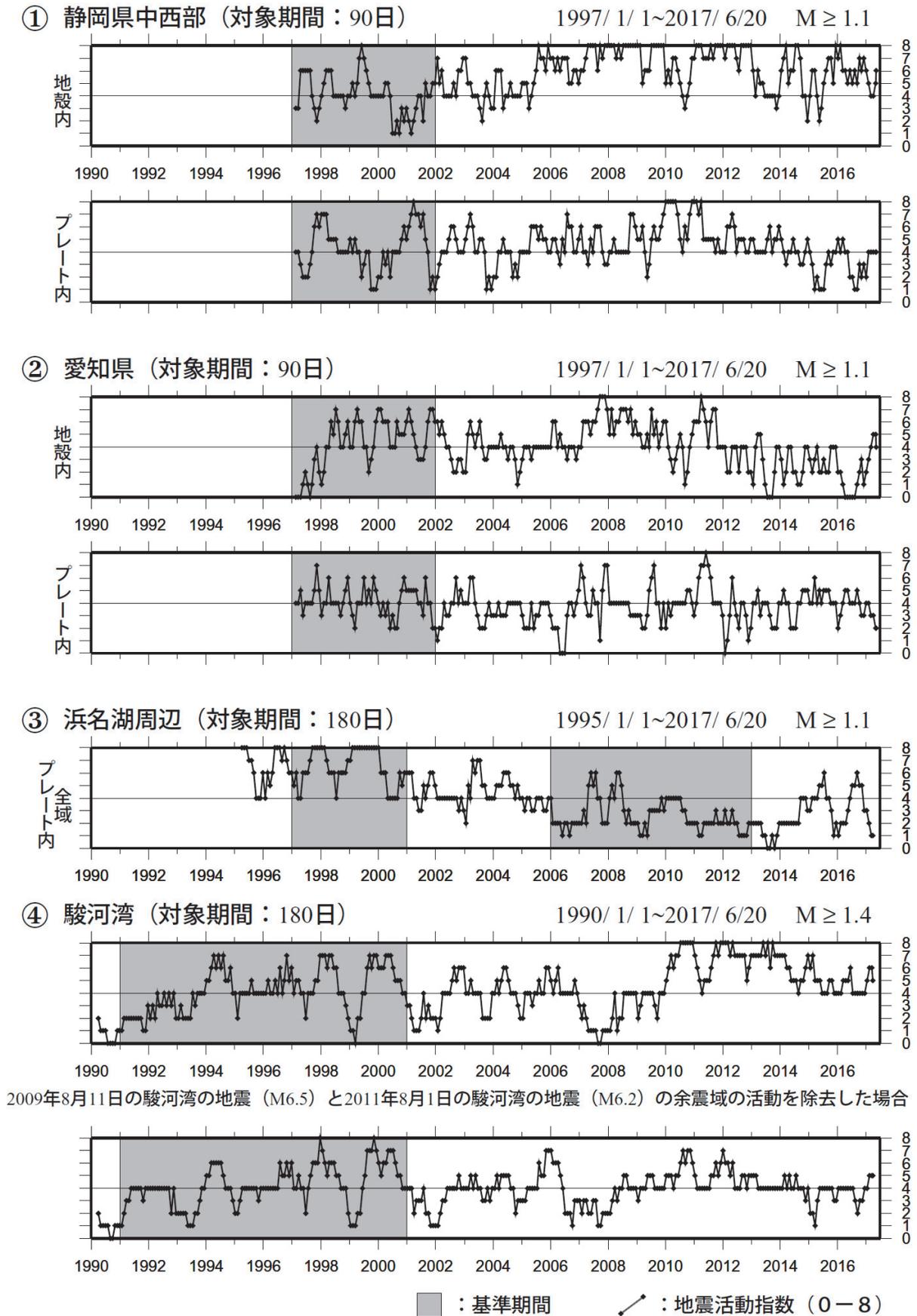


図 3 東海地域の地震活動指数の推移

深部低周波地震は、「短期的ゆっくりに密接に関連する現象とみられており、プレート境界の状態の変化を監視するために、その活動を監視している。

深部低周波地震活動（2000年1月1日～2017年6月20日）

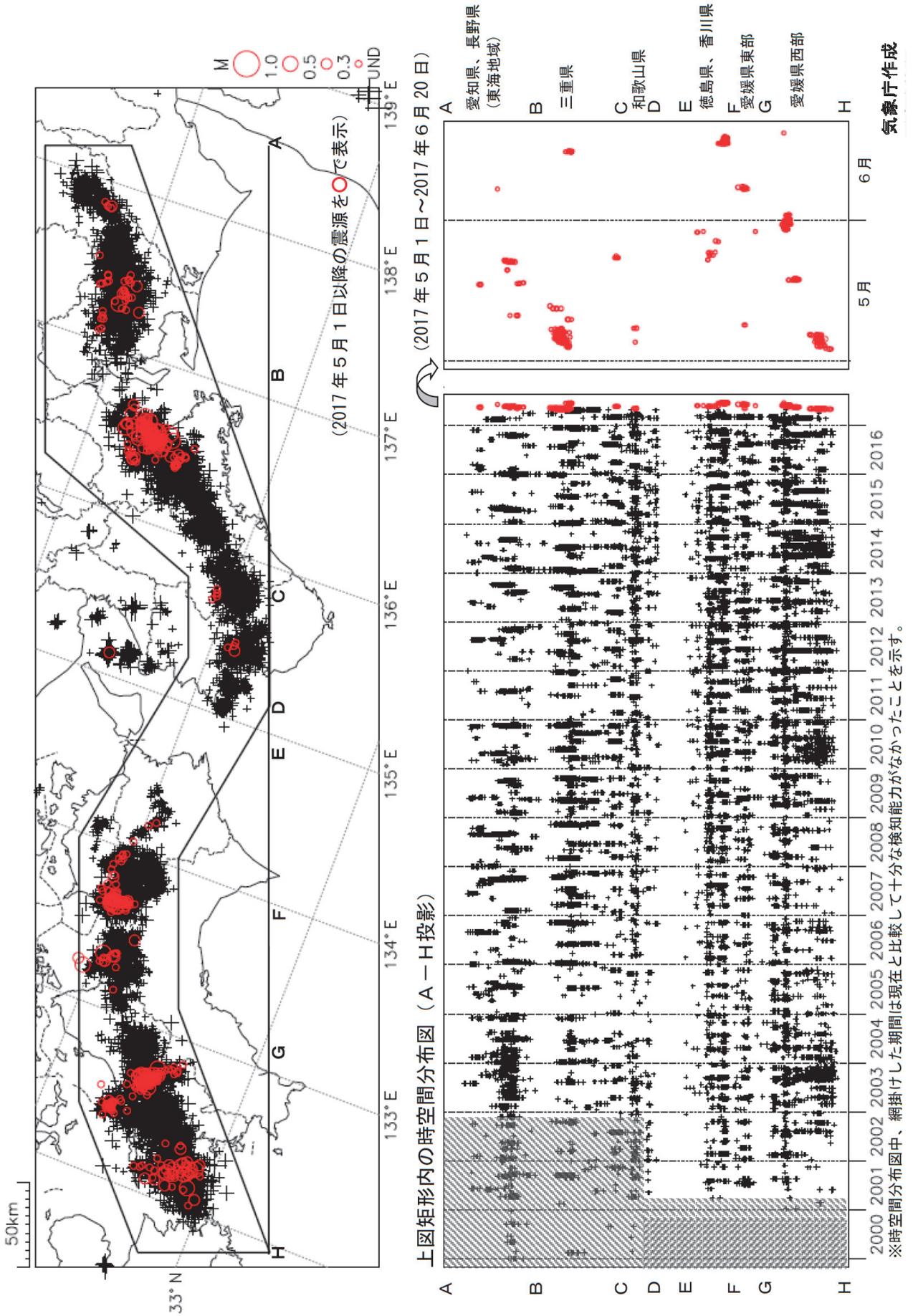
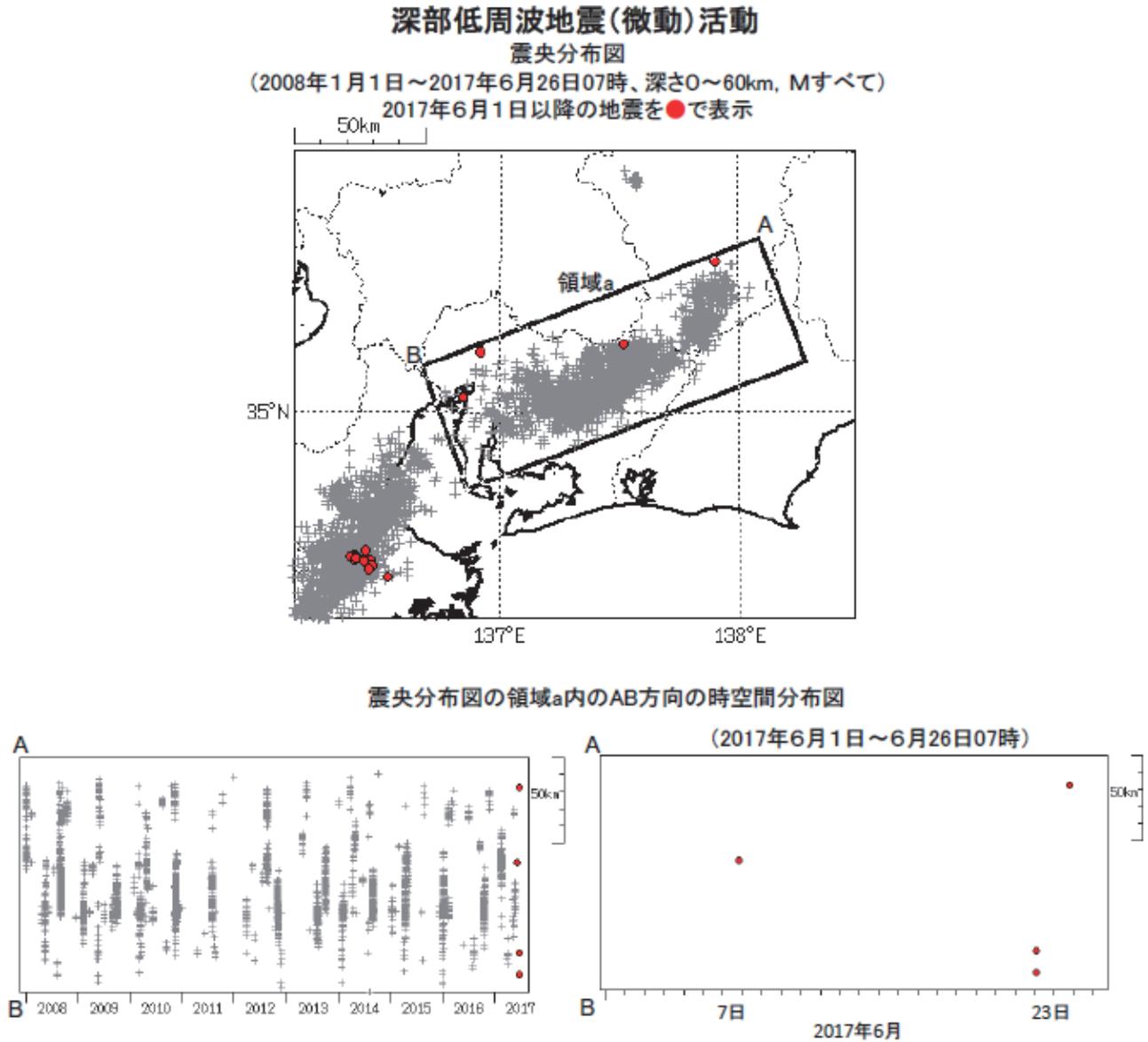


図 4 深部低周波地震活動（2000年1月1日～2017年6月20日）

愛知県から長野県にかけての深部低周波地震（微動）活動

6月7日と23日に愛知県、24日に長野県を震央とする深部低周波地震(微動)を観測した。
ひずみ計に特段の変化は観測されていない。



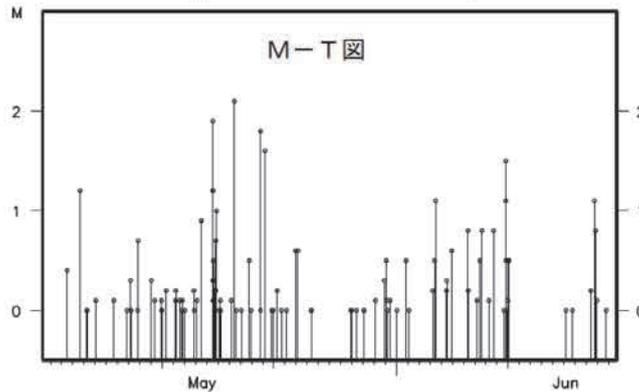
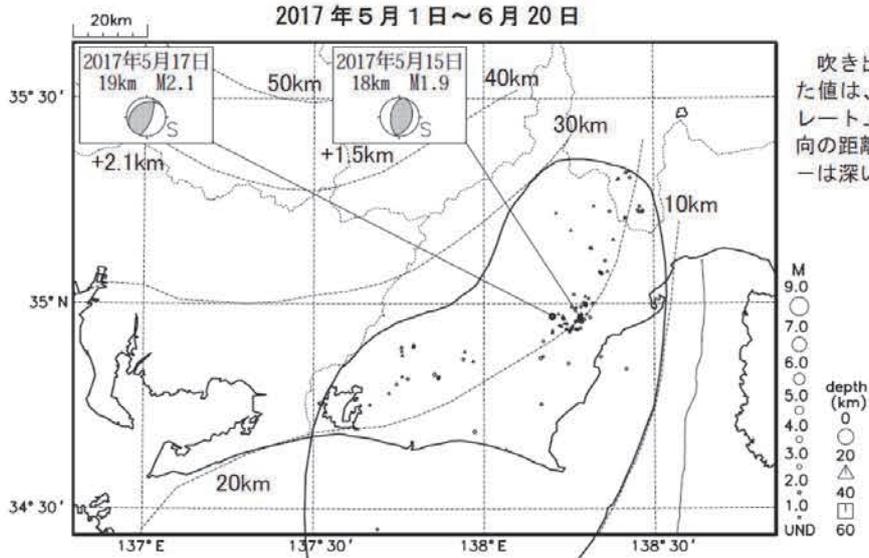
気象庁作成

図5 愛知県から長野県にかけての深部低周波地震（微動）活動

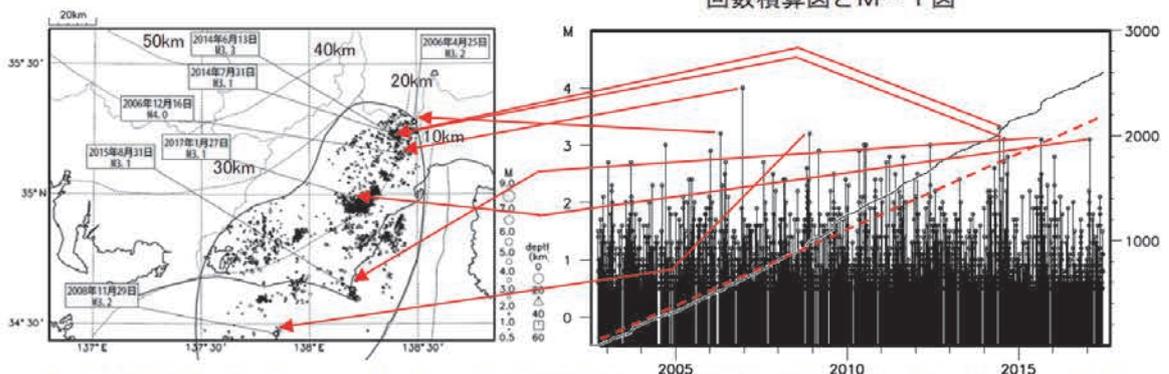
プレート境界とその周辺の地震活動（最近の活動状況）

(Hirose et al. (2008)によるフィリピン海プレート上面深さの±3kmの地震を抽出)

プレート境界とその周辺の地震の震央分布（最近約1ヶ月半、Mすべて）



プレート境界とその周辺の地震の震央分布
(2002年10月1日～2017年6月20日、M≥0.5)



2002年10月以降（ $M \geq 0.5$ ）で見ると、東海地域のプレート境界とその周辺の地震活動は、2007年中頃あたりからやや活発に見える。なお、2009年8月11日以降は、駿河湾の地震（ $M6.5$ ）の余震活動の一部を抽出している。 $M3$ を超える地震については、その震央を矢印で示しているが、これらの地震の発震機構解のうち、想定東海地震のものと類似の型に相当したものは2017年1月27日の地震である。

※震央分布図中の点線は、Hirose et al. (2008)によるフィリピン海プレート上面の深さを示す。

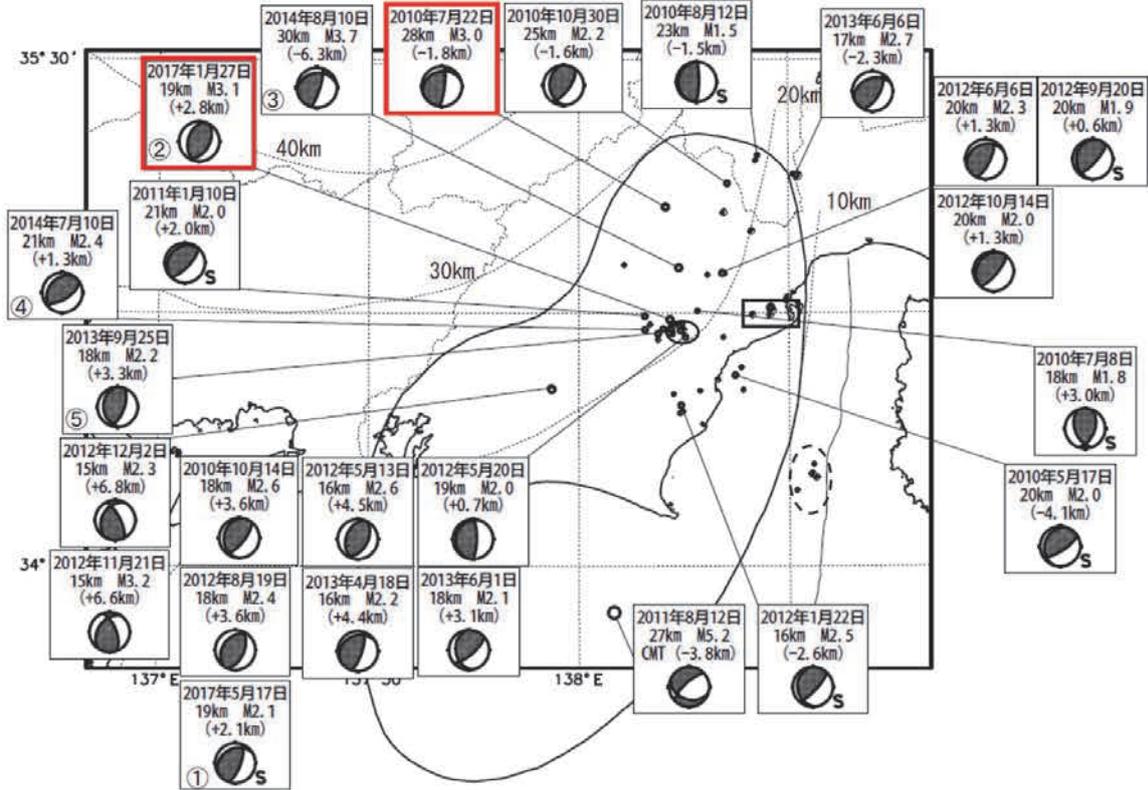
気象庁作成

図6 プレート境界とその周辺の地震活動（最近の活動状況）

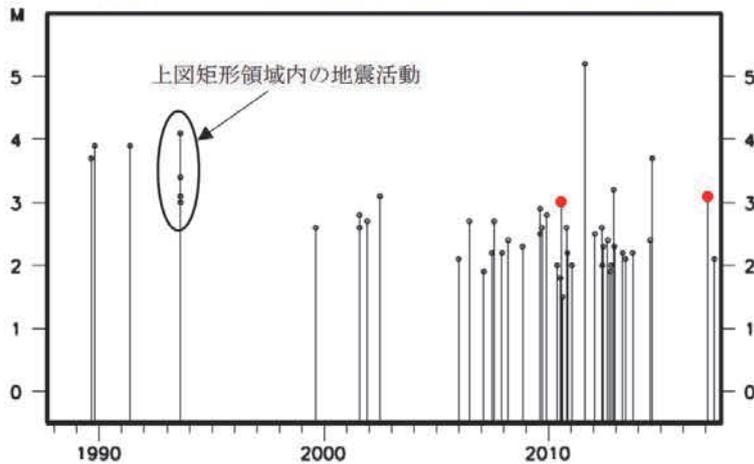
想定東海地震の発震機構解と類似の型の地震

1987 年 9 月 1 日～2017 年 6 月 20 日

(2010 年 1 月以降の地震に吹き出しを付けている)



上図イベントの、想定震源域内におけるM-T図



想定震源域内で発生した地震のうち、2010 年 1 月以降に発生した M3.0 以上かつプレート境界からの鉛直方向の距離が±3km 以内の地震の棒を赤く表示

吹き出し内に () で記載した値は、Hirose et al. (2008)によるプレート境界からの鉛直方向の距離。+はプレート境界より浅く、-は深いことを示す。

震央分布図中の点線は、Hirose et al. (2008)によるプレート境界を示す。

最近発生した5つの地震については、丸数字で順番を示す。

想定東海地震の発震機構解と類似の型の地震を抽出した。抽出条件は、P軸の傾斜角が45度以下、かつP軸の方位角が65度以上145度以下、かつT軸の傾斜角が45度以上、かつN軸の傾斜角が30度以下とした。

プレート境界で発生したと疑われる地震の他、明らかに地殻内またはフィリピン海プレート内で発生したと推定される地震も含まれている。点線楕円で囲まれた地震は、2011年8月1日に発生したM6.2の地震の余震で、フィリピン海プレート内の地震である。

なお、吹き出し図中、震源球右下隣りにSの表示があるものは、発震機構解に十分な精度がない。

気象庁作成

図7 想定東海地震の発震機構解と類似の型の地震

ひずみ日値のスタッキングによる長期的ゆっくりすべりの検出について

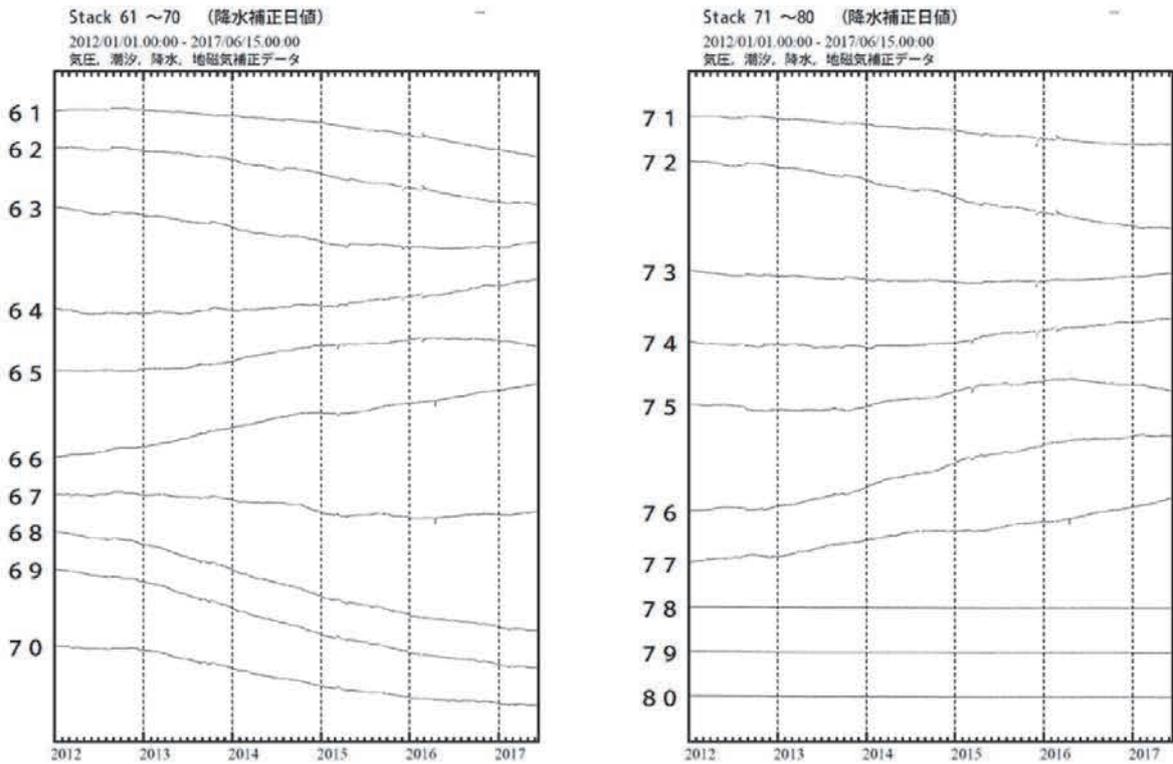


図1：日値スタッキング波形。番号は監視グリッド（図2参照）を示す。

- データ : 補正日値（体積ひずみ計と1998年から2002年整備の多成分ひずみ計）
 主な地震および短期的SSEによる変化をオフセットとして除去
 ひずみ計の長期変化について、指数関数で近似して補正
- ノイズレベル : 2011年6月～2012年12月の、60日階差（単純な階差）の標準偏差
- 理論値計算 : 0.15°ごとの各グリッドを中心とする、20×20kmの断層
- トレンド : 2012年7月～12月の期間のトレンドを除去している

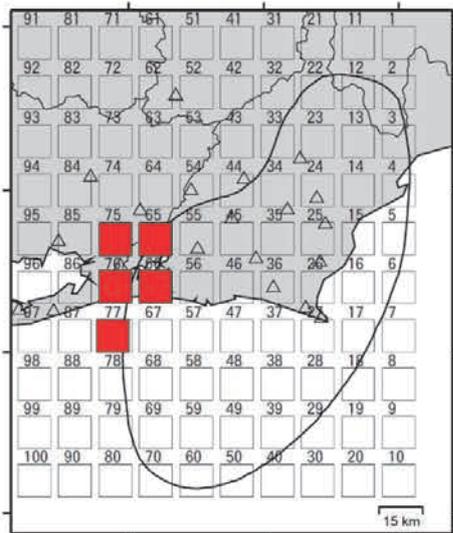


図2：グリッド配置およびすべり位置

□ スタッキンググリッド

(参考) 宮岡・横田, 地震2, 65, 205-218, 2012.
 宮岡・木村, 駿震時報, 79, 15-23, 2016.

グリッドNo.65, 66及び75～77に見られる変化が長期的ゆっくりすべりに対応していると考えられる。これらのグリッドがすべっていると仮定し、グリッドサーチにより総すべり量を求めると Mw6.8 相当となる。そのモーメントの時間変化を見ると 2015 年後半から鈍化している。

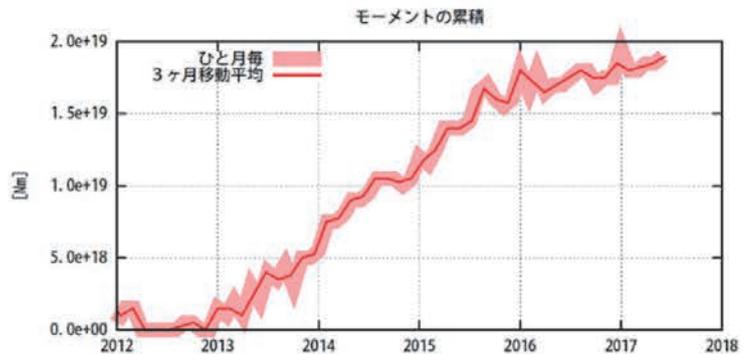


図3：グリッドサーチで求めたモーメント解放量

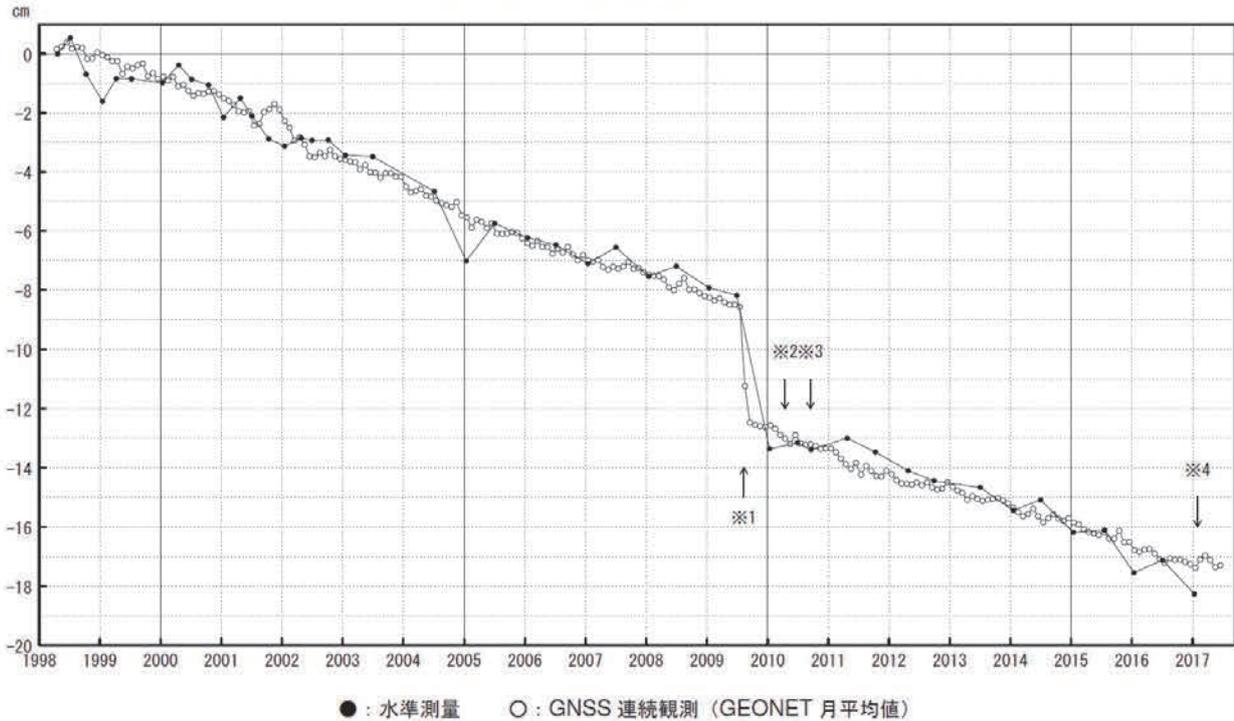
気象庁・気象研究所作成

図8 ひずみ日値のスタッキングによる長期的ゆっくりすべりの検出について

御前崎 電子基準点の上下変動 水準測量と GNSS 連続観測

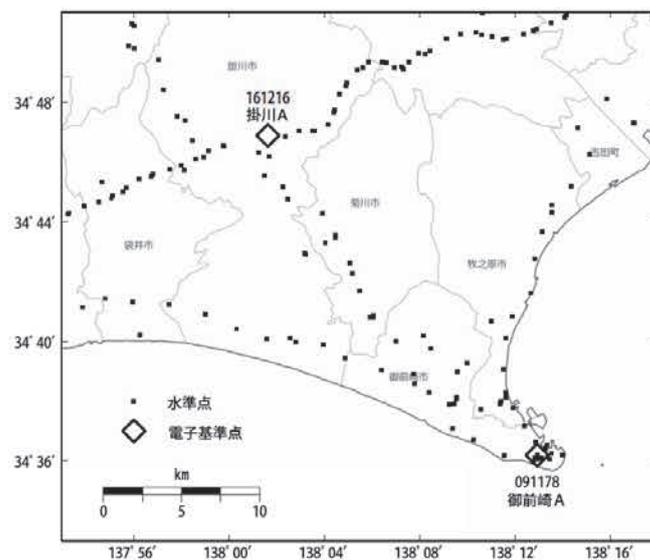
掛川に対して、御前崎が沈降する長期的な傾向が続いている。

掛川 A (161216) - 御前崎 A (091178)



・最新のプロット点は 06/01~06/03 の平均。

- ※1 電子基準点「御前崎」は 2009 年 8 月 11 日の駿河湾の地震 (M6.5) に伴い、地表付近の局所的な変動の影響を受けた。
- ※2 2010 年 4 月以降は、電子基準点「御前崎」をより地盤の安定している場所に移転し、電子基準点「御前崎 A」とした。上記グラフは電子基準点「御前崎」と電子基準点「御前崎 A」のデータを接続して表示している。
- ※3 水準測量の結果は移転後初めて変動量が計算できる 2010 年 9 月から表示している。
- ※4 2017 年 1 月 30 日以降は、電子基準点「掛川」は移転し、電子基準点「掛川 A」とした。上記グラフは電子基準点「掛川」と電子基準点「掛川 A」のデータを接続して表示している。



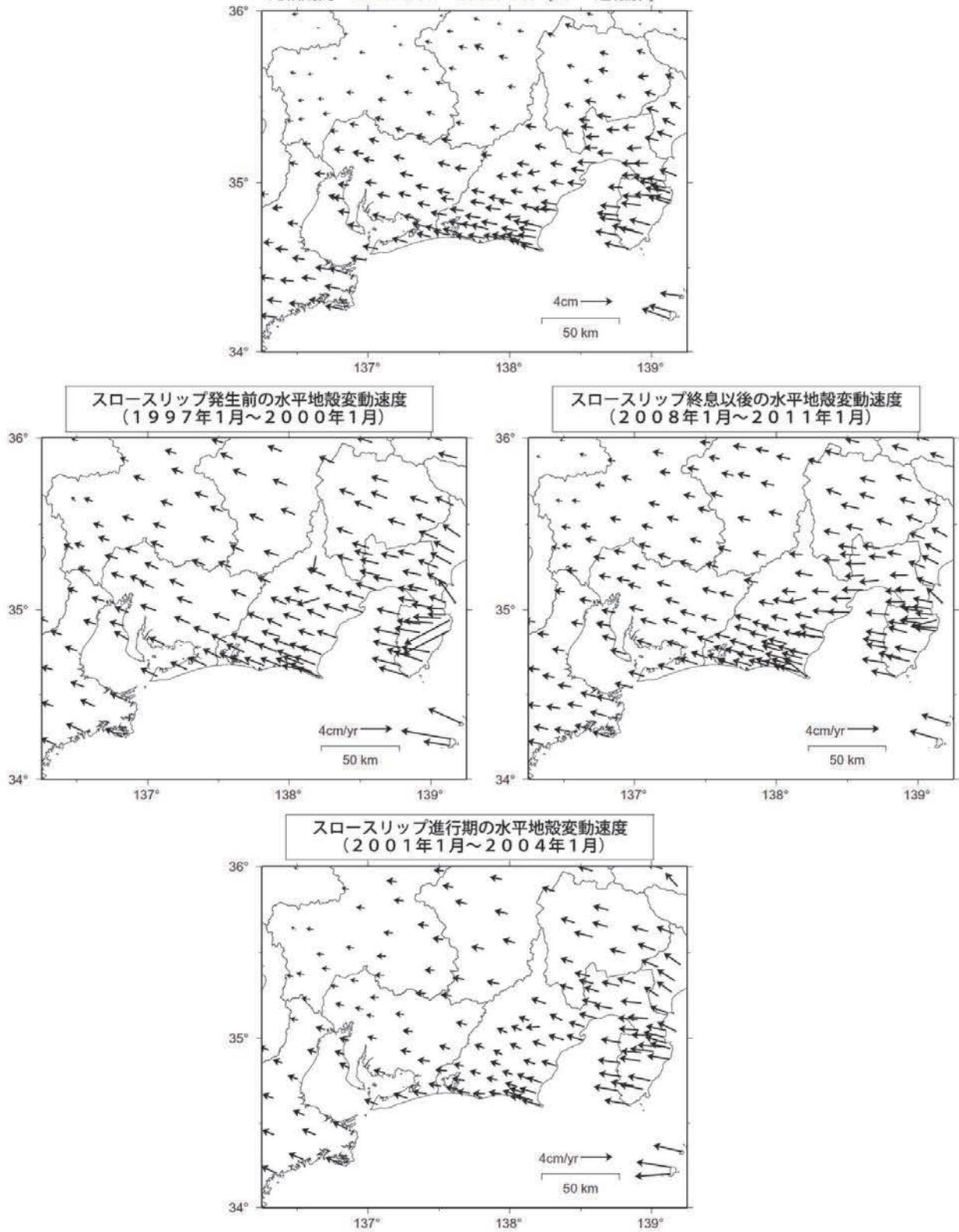
国土地理院

図 9 国土地理院 GNSS 観測結果及び水準測量による御前崎の上下変動

掛川から見た御前崎の上下変動を示したものである。掛川に対して御前崎が沈降するという長期的な傾向に変化は見られない。

東海地方の水平地殻変動【固定局：三隅】 （2016年6月～2017年6月）

基準期間：2016/6/10 - 2016/6/17 [F3：最終解]
比較期間：2017/6/10 - 2017/6/17 [R3：速報解]

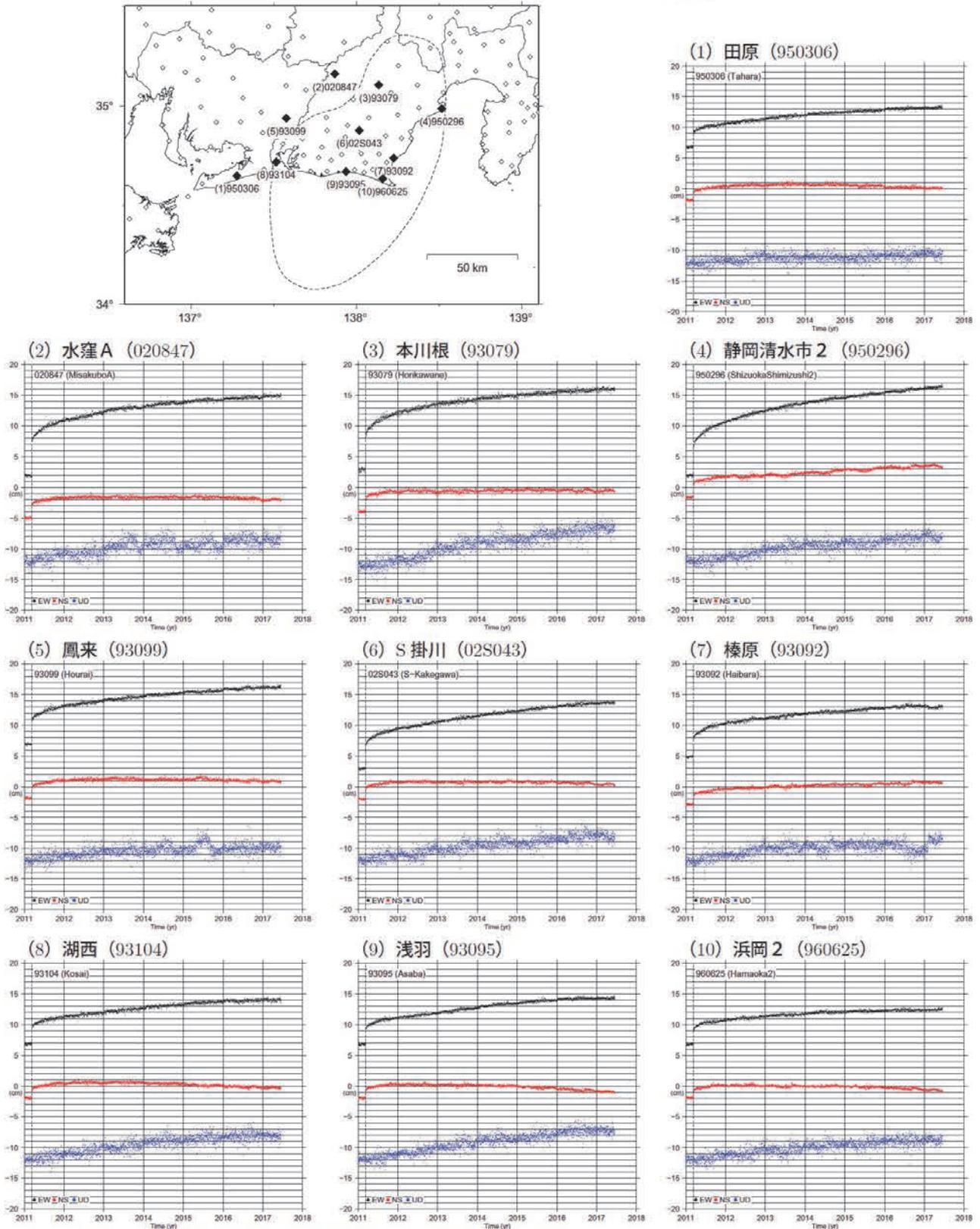


国土地理院

図 10 国土地理院 GNSS 観測結果による、東海地方の水平地殻変動

東海地方の非定常地殻変動時系列【固定局：三隅】

速報解含む 2011/1/1 - 2017/6/17



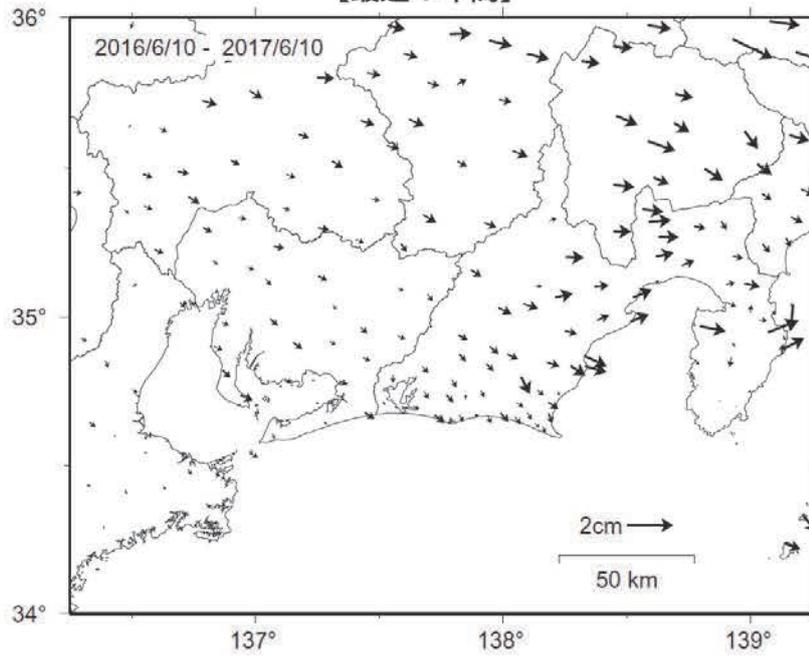
- 2011 年 3 月 11 日に発生した東北地方太平洋沖地震による地殻変動の影響は取り除いていない。
- 2008 年 1 月 1 日～2011 年 1 月 1 日のデータから平均変動速度、年周/半年周成分を推定して、元の時系列データから除去している。
- 2016 年 4 月に発生した熊本地震による固定局三隅の地殻変動は補正している。

国土地理院

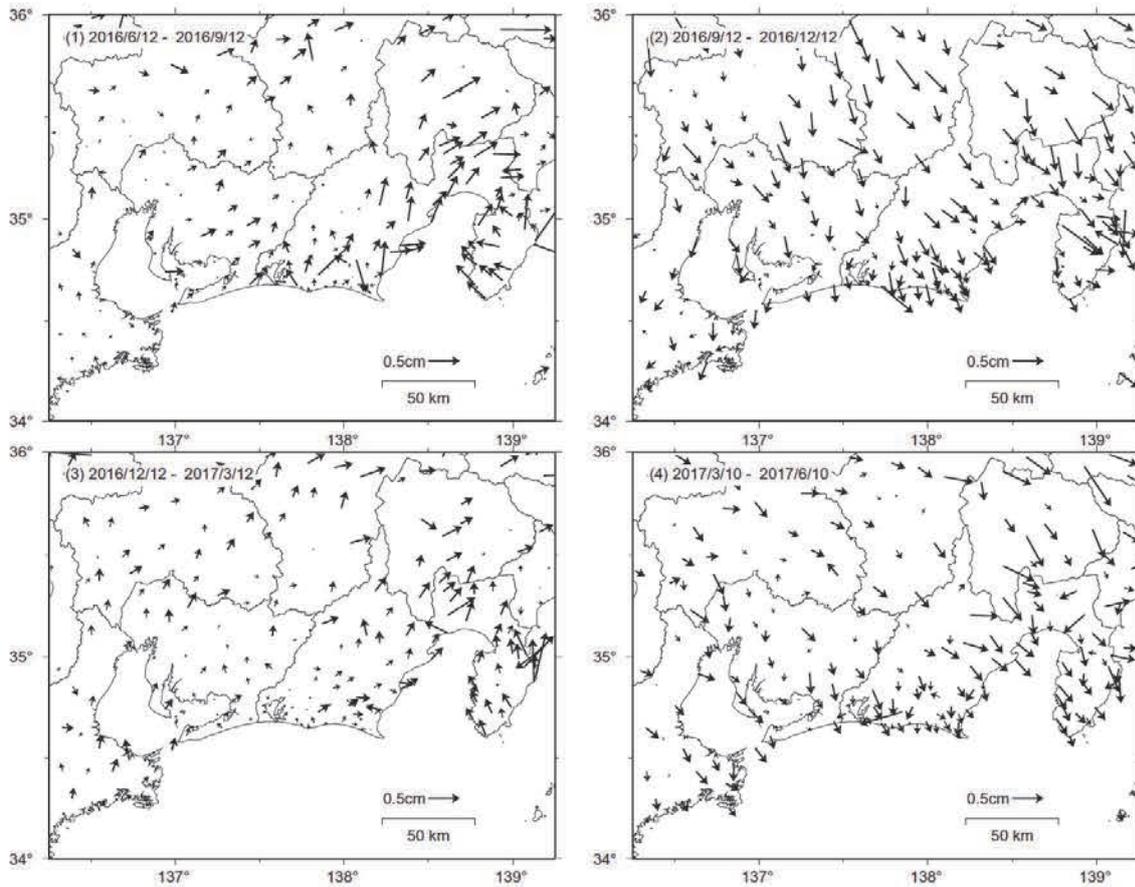
図 11 国土地理院 GNSS 観測結果による、東海地方の非定常地殻変動時系列

「平成 23 年（2011 年）東北地方太平洋沖地震」による余効変動が、小さくなりつつあるが、東海地方においてもみられている。

東海地方の非定常水平地殻変動【固定局：三隅】
（2016 年 6 月～2017 年 6 月）
【最近 1 年間】



【最近 1 年間 3 ヶ月ごと】

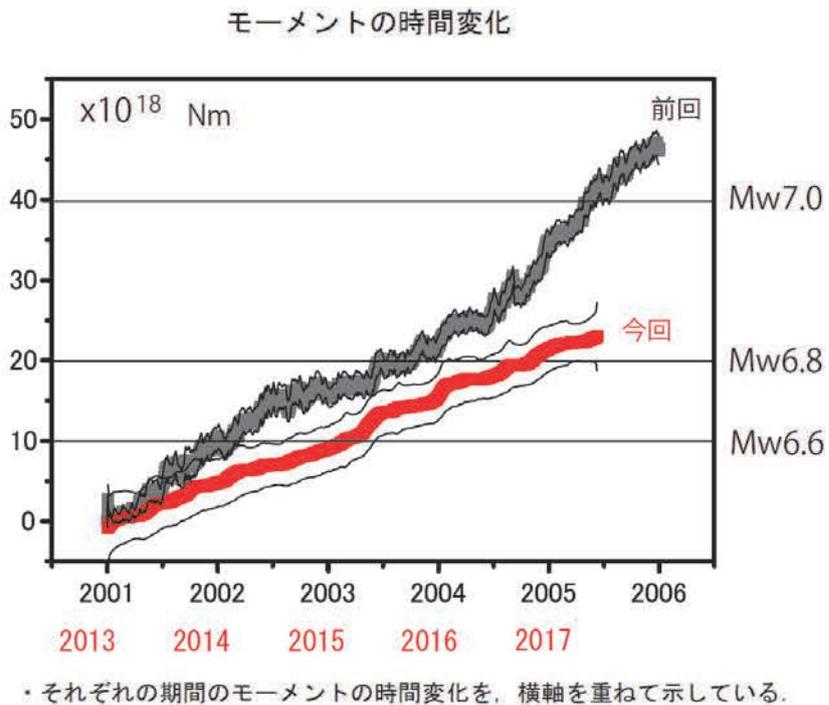
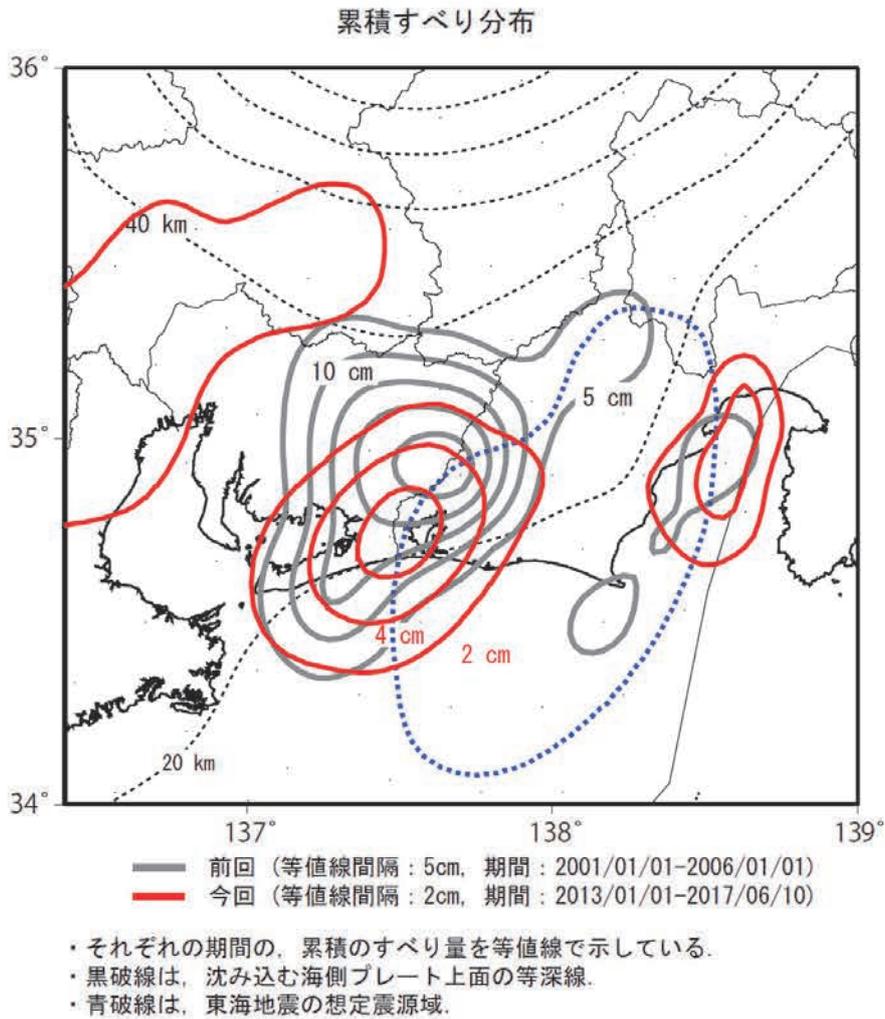


・非定常地殻変動時系列から、1 年間と 3 ヶ月間の変動量を表示している。
※非定常地殻変動時系列：
2008 年 1 月～2011 年 1 月のデータから平均変動速度、年周/半年周成分を推定して、元の時系列データから除去した時系列。

図 12 国土地理院 GNSS 観測結果による、東海地方の非定常水平地殻変動

国土地理院

非定常地殻変動から推定される累積すべり分布及びモーメントの時間変化（暫定）



国土地理院

図 13 国土地理院 GNSS 観測結果による、長期的ゆっくりすべりの発生を示唆する非定常地殻変動から推定される累積すべり分布及びモーメントの時間変化の比較

● 日本の主な火山活動

桜島の昭和火口では、噴火が 14 回発生した。南岳山頂火口では、ごく小規模な噴火が発生した。始良カルデラ（鹿児島湾奥部）の地下深部へのマグマ供給が継続しており、今後も噴火活動が継続すると考えられる。昭和火口及び南岳山頂火口から概ね 2 km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流に警戒が必要である。

口永良部島では、火山ガス（二酸化硫黄）の放出量が、2014 年 8 月の噴火前よりもやや多い状態であることから、引き続き噴火の可能性がある。新岳火口から概ね 2 km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流に警戒が必要である。向江浜地区から新岳の南西にかけての火口から海岸までの範囲では、火砕流に警戒が必要である。

西之島では、海上保安庁、第三管区海上保安本部及び気象研究所による観測で、引き続き噴火が確認されている。今後も噴火が継続する可能性があるため、火口から概ね 1.5 km の範囲では噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒が必要である。

浅間山では、山頂火口直下のごく浅い所を震源とする体に感じない火山性地震の活動は、2015 年 4 月頃から高まった状態で経過しており、火山活動はやや活発な状態で経過している。今後も火口周辺に影響を及ぼす小規模な噴火が発生する可能性があるため、山頂火口から概ね 2 km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒が必要である。

御嶽山では、噴煙活動や山頂直下付近の地震活動は緩やかな低下が続いており、火山活動は静穏化の傾向がみられている。噴火が発生する可能性は低くなっているが、当面は火口から概ね 1 km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒が必要である。

霧島山（えびの高原（硫黄山）周辺）では、熱異常域が次第に拡大し、噴気の量が増加している中で、4 月 25 日から硫黄山方向が隆起する傾斜変動が続いている。硫黄山火口のごく浅いところでわずかな膨張が続いており、火口周辺に火山灰を降らせる噴火が発生する可能性がある。えびの高原の硫黄山から概ね 1 km の範囲では、小規模な噴火に警戒が必要である。

諏訪之瀬島の御岳火口では、ごく小規模の噴火が 8 日と 21 日に発生した。今後も火口周辺に影響を及ぼす程度の噴火が発生すると予想されるため、火口から概ね 1 km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒が必要である。

草津白根山では、東京工業大学によると、2014 年以降、湯釜の湖水に含まれる高温の火山ガス由来の成分の濃度上昇が続いていたが、2017 年に入って低下傾向に転じていることが確認されたことなどから、6 月 7 日に噴火予報を発表し、噴火警戒レベルを 2（火口周辺規制）から 1（活火山であることに留意）に引き下げた。

表 1 6 月 30 日現在の火山現象に関する特別警報・警報・予報等の発表状況
 （※印のついた火山は火山現象に関する海上警報も発表中）

特別警報・警報・予報	噴火警戒レベル及びキーワード	該当火山
火口周辺警報	レベル 3（入山規制）	桜島、口永良部島
	入山危険	西之島※
	レベル 2（火口周辺規制）	浅間山、御嶽山、霧島山（えびの高原（硫黄山）周辺）、諏訪之瀬島
	火口周辺危険	硫黄島※
噴火警報（周辺海域）	周辺海域警戒	ベヨネース列岩※、福德岡ノ場※
噴火予報	レベル 1（活火山であることに留意）	アトサヌプリ、雌阿寒岳、十勝岳、樽前山、倶多楽、有珠山、北海道駒ヶ岳、恵山、岩木山、秋田焼山、岩手山、秋田駒ヶ岳、蔵王山、吾妻山、安達太良山、磐梯山、那須岳、日光白根山、草津白根山、新潟焼山、焼岳、白山、富士山、箱根山、伊豆東部火山群、伊豆大島、三宅島、鶴見岳・伽藍岳、九重山、阿蘇山、雲仙岳、霧島山（新燃岳）、霧島山（御鉢）、薩摩硫黄島
	活火山であることに留意	上記以外の火山

*噴火警戒レベルは、その活用が地域防災計画等で予め定められており、レベル毎の防災対応がキーワードで示されている。



図 1 6 月 30 日現在、火山現象に関する特別警報、警報及び火山現象に関する海上警報発表中の火山

表 2 平成 29 年 6 月の火山現象に関する特別警報、警報、予報及び情報等の発表履歴

火山名	特別警報、警報及び予報の状況	発表した火山現象に関する特別警報・警報・予報・情報		概要	
		種類、号数等	発表日時		
桜島	火口周辺警報 (噴火警戒レベル 3、入山規制)	解説情報 第 45 号～53 号	2 日、5 日、9 日、 12 日、16 日、19 日、 23 日、26 日、30 日 16 時 00 分	噴火の状況。噴煙、火山性地震・微動等火山活動の状況。 現地調査による火山ガスの状況。	
		降灰予報（速報）	1 日 09 時 49 分 2 日 04 時 03 分 6 日 08 時 05 分 15 日 12 時 16 分	噴火発生から 1 時間以内に予想される降灰量分布や小さな噴石の落下範囲を予想。	
		降灰予報（詳細）	1 日 10 時 05 分 2 日 04 時 22 分 6 日 08 時 25 分 15 日 12 時 28 分	噴火発生から 6 時間先までに予想される降灰量分布や降灰開始時刻を予想。	
口永良部島	火口周辺警報 (噴火警戒レベル 3、入山規制)	解説情報 第 42 号～50 号	2 日、5 日、9 日、 12 日、16 日、19 日、 23 日、26 日、30 日 16 時 00 分	噴煙、火山性地震等火山活動の状況。 現地調査による火山ガス等の状況。	
浅間山	火口周辺警報 (噴火警戒レベル 2、火口周辺規制)	解説情報 第 44 号～52 号	2 日、5 日、9 日、 12 日、16 日、19 日、 23 日、26 日、30 日 16 時 00 分	噴煙、火山性地震・微動等火山活動の状況。 現地調査による火山ガスの状況。	
御嶽山	火口周辺警報 (噴火警戒レベル 2、火口周辺規制)	解説情報 第 22 号～26 号	2 日、9 日、16 日、 23 日、30 日 16 時 00 分	噴煙、火山性地震等火山活動の状況。	
霧島山（えびの高原（硫黄山）周辺）	火口周辺警報 (噴火警戒レベル 2、火口周辺規制)	解説情報 第 19 号～27 号	2 日、5 日、9 日、 12 日、16 日、19 日、 23 日、26 日、30 日 16 時 00 分	噴煙、地殻変動、火山性地震・微動等火山活動の状況。 現地調査による噴気、熱活動、火山ガス等の状況。	
草津白根山	火口周辺警報 (噴火警戒レベル 2、火口周辺規制)	解説情報 第 22 号	2 日 16 時 00 分	熱活動、地殻変動、火山性地震等火山活動の状況。	
		噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることを留意）	噴火予報	7 日 14 時 00 分	噴火警戒レベルを 2（火口周辺規制）から 1（活火山であることを留意）に引下げ。
		火山活動解説資料	火山活動解説資料	7 日 14 時 00 分	

注) 表中、解説情報とは「火山の状況に関する解説情報」のことである。霧島山（えびの高原（硫黄山）周辺）、桜島、口永良部島、諏訪之瀬島においては、毎日 02 時から 3 時間毎に 8 回降灰予報（定時）を発表している。

各火山の 6 月の活動解説

【北海道地方】

めあかんだけ 雌阿寒岳 [噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）]

火山活動は概ね静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められない。

5 日から 10 日にかけて実施した現地調査では、ポンマチネシリ 96-1 火口の噴煙の勢いは引き続き弱いままであった。赤外熱映像装置¹⁾による観測では、ポンマチネシリ第 3 火口及び第 4 火口では明瞭な地熱域は引き続き認められなかった。赤沼火口西方噴気孔の最高温度は、前々回（2016 年 6 月）と同程度まで上昇していたが、噴気の勢いや地熱域に変化はなかった。これらのことからポンマチネシリ火口の熱活動は低い状態が続いているとみられる。なお、中マチネシリ火口は特段の変化はなかった。

一方、ここ数年、地震増加、地殻変動、山体浅部の熱活動の活発化を示す 96-1 火口の噴煙量増加や全磁力²⁾の変化などがみられていることから、今後の火山活動の推移に留意が必要である。

とからだけ 十勝岳 [噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）]

火山活動は概ね静穏に経過している。

20 日から 23 日にかけて実施した現地調査では、前回の調査（2016 年 9 月）と同様に、62-2 火口や振子沢噴気孔群の刺激臭を伴った噴煙や前十勝頂上付近の複数の列状の噴気を確認した。62-2 火口底では、熱泥水の湧出を確認した。赤外熱映像装置による観測では、62-2 火口周辺で熱活動が活発な状態の継続が認められた。その他の火口や地熱域について特段の変化は認められなかった。

一方、ここ数年、山体浅部の膨張、大正火口の噴煙量増加、地震増加、火山性微動の発生、発光現象及び地熱域の拡大などを確認しており、長期的にみると十勝岳の火山活動は高まる傾向にあるので、今後の火山活動の推移に留意が必要である。

たるまえん 樽前山 [噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）]

火山活動は概ね静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められない。

一方、山頂溶岩ドーム周辺では、1999 年以降、高温の状態が続いているので、突発的な火山ガス等の噴出に留意が必要である。

なお、以下に挙げる火山では、火山活動に特

段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められない。

アトサヌプリ [噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）]

たいせつざん
大雪山 [噴火予報（活火山であることに留意）]

くつたら
倶多楽 [噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）]

うすざん
有珠山 [噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）]

ほっかいどうこまがたけ
北海道駒ヶ岳 [噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）]

えさん
恵山 [噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）]

【東北地方】

あきたこまがたけ 秋田駒ヶ岳 [噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）]

女岳の山頂付近では、地熱域が引き続き確認されている。

7 日に東北地方整備局の協力により実施した上空からの観測では、女岳山頂付近の地形や噴気の状態に特段の変化は認められなかった。27 日に第二管区海上保安本部仙台航空基地が撮影した上空からの映像では、女岳山頂付近の状況に特段の変化は認められなかった。

地震活動は低調で、地殻変動及び噴気活動にも変化はみられないが、地熱活動が続いているので今後の火山活動の推移に留意が必要である。

ざおうざん 蔵王山 [噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）]

火山活動に特段の変化はなかった。

9 日に実施した現地調査では、御釜周辺に噴気及び地熱域はみられなかった。

蔵王山では、2013 年から 2015 年にかけて火山活動の高まりがみられた。その後も火山性地震や火山性微動が時々発生しているので、今後の火山活動の推移に留意が必要である。

あづまやま 吾妻山 [噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）]

火山活動に特段の変化はなかった。

大穴火口付近での熱活動は継続しているので、今後の火山活動の推移に留意が必要である。

入山する際には、火山ガスに留意が必要である。また、大穴火口付近で噴出現象が突発的に発生する可能性があることに留意が必要である。

なお、以下に挙げる火山では、火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の

兆候は認められない。

いわきさん
岩木山 [噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）]

はっこうださん
八甲田山 [噴火予報（活火山であることに留意）]

とわだ
十和田 [噴火予報（活火山であることに留意）]

あきたやけやま
秋田焼山 [噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）]

いわてさん
岩手山 [噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）]

ちようかいさん
鳥海山 [噴火予報（活火山であることに留意）]

くりこまやま
栗駒山 [噴火予報（活火山であることに留意）]

あだたらやま
安達太良山 [噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）]

ばんだいさん
磐梯山 [噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）]

【関東・中部地方及び伊豆・小笠原諸島】

くさつしらねさん
草津白根山 [噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）] ←7日に噴火警戒レベルを2（火山周辺規制）から1（活火山であることに留意）に引下げ

奥山田監視カメラ（湯釜の北約 1.5km）による観測では、引き続き湯釜北側噴気地帯の噴気孔から噴気が認められた。湯釜からの噴気は認められなかった。東京工業大学の監視カメラ（湯釜火口内）では、火口内に噴気は認められず、その他の状況にも特段の変化は認められない。

東京工業大学によると、2014 年以降、湯釜の湖水に含まれる高温の火山ガス由来の成分の濃度上昇が続き、火山活動が活発な状態であることを示していたが、2017 年に入って低下傾向に転じていることが確認された。また、火山性地震は少ない状態が続き、地殻変動観測では湯釜付近の収縮傾向がみられている。山頂火口から 1 km の範囲に影響を及ぼす噴火の可能性は低くなったと考えられることから、平成 29 年 6 月 7 日に噴火予報を発表し、噴火警戒レベルを 2（火山周辺規制）から 1（活火山であることに留意）に引き下げた。

一方、湯釜火口及び水釜火口周辺の熱活動の高まった状態は継続している。引き続き湯釜火口から概ね 500m の範囲に影響を及ぼすごく小規模な火山灰等の噴出の可能性があるので注意が必要である。また、ところどころで火山ガスの噴出がみられ、周辺の窪地や谷などでは滞留した火山ガスが高濃度になることがあるので、注意が必要である。

あさまやま
浅間山 [火山周辺警戒（噴火警戒レベル 2、火山周辺規制）]

火山活動はやや活発な状態で経過している。

山頂火口からの白色の噴煙は火口縁上概ね 500m 以下で経過している。山頂火口では、2016 年 12 月末頃から夜間に高感度の監視カメラで確認できる程度の微弱な火映³⁾ が時々観測されている。

今期間実施した現地調査では、火山ガス（二酸化硫黄）の放出量⁴⁾ は 1 日あたり 800~900 トン（5 月：500~1,400 トン）とやや多い状態であった。

山頂火口直下のごく浅い所を震源とする体を感じない火山性地震が、30 日に 115 回発生するなど多い状態で経過した。

2015 年 6 月上旬頃から 12 月にかけて、山頂の南南西にある塩野山の傾斜計⁵⁾ でみられていた北または北西上がりの緩やかな変化が、2016 年 12 月頃から再びみられている。国土地理院の GNSS⁶⁾ 連続観測によると、浅間山を南北に挟む基線で 2016 年秋頃からみられていたわずかな伸びは停止している。

今後も火口周辺に影響を及ぼす小規模な噴火が発生する可能性があるため、山頂火口から概ね 2 km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石⁷⁾ に警戒が必要である。また、風下側では降灰及び風の影響を受ける小さな噴石⁷⁾ に注意が必要である。

にいがたやけやま
新潟焼山 [噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）]

山頂部東側斜面の噴煙高度は、2016 年秋から低下傾向がみられるものの、2015 年夏以前と比べて引き続きやや高い状態である。

火山性地震は静穏だった 2014 年以前と比べるとやや多い状態が続いている。17 日から、震源が新潟焼山の東約 3 km、深さ数 km と推定される低周波地震が時々発生している。同様の地震は、2006 年、2010 年、2015 年にも発生している。震源が火山から離れていること、その他の観測データに変化がないことから、今のところ火山活動が高まっているとはみていない。

今後の火山活動の推移に引き続き注意が必要である。

みだかはら
弥陀ヶ原 [噴火予報（活火山であることに留意）]

監視カメラによる観測では、地獄谷からの噴気の高さは概ね 200m 以下で経過している。

弥陀ヶ原近傍を震源とする火山性地震の発生回数は少なく、地震活動は低調に経過している。

立山地獄谷では熱活動が活発な状態が続いている。2012 年 6 月以降の観測で噴気の拡大・活発化や温度の上昇傾向が確認されているので、今後の火山活動の推移に注意が必要である。また、この付近では火山ガスに注意が必要である。

御嶽山おんたけさん【火口周辺警報（噴火警戒レベル 2、火口周辺規制）】

噴気活動は継続しているが、長期的には低下している。監視カメラによる観測では、噴煙の高さは概ね 400m 以下で経過した。

山頂直下付近の地震活動は、徐々に低下している。27 日に火山性微動が発生したが、振幅が小さく継続時間も短いこと、火山性微動がその後は観測されていないこと、また、その他の観測データにも変化がないことから、火山活動が高まっているとはみていない。

25 日 07 時 02 分に御嶽山の東南東約 10km でマグニチュード 5.6 の地震が発生したが、山頂直下の地震活動や噴煙活動など御嶽山の火山活動に変化はない。

噴煙活動や山頂直下付近の地震活動は緩やかな低下が続いており、火山活動は静穏化の傾向がみられている。噴火が発生する可能性は低くなっているが、当面は火口から概ね 1 km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒が必要である。また風下側では、火山灰だけでなく小さな噴石が遠方まで風に流されて降るため注意が必要である。

箱根山はこねやま【噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）】

大涌谷監視カメラによる観測では、大涌谷の火口や噴気孔及び温泉供給施設から引き続き噴気が勢いよく噴出している。宮城野監視カメラ（大涌谷の東北東約 3 km）及び小塚山北東監視カメラ（大涌谷の北北東約 3 km）による観測では、大涌谷の噴気の高さは概ね 400m 以下で経過しており、状況に変化はない。

地震活動は低調で、顕著な地殻変動は観測されていないが、大涌谷周辺の想定火口域では、噴気活動が活発なところがある。大涌谷周辺の想定火口域では、噴気や火山ガスに引き続き注意が必要である。

伊豆大島いずおおしま【噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）】

14 日に実施した現地調査では、三原山山頂火口内及びその周辺で噴気が引き続き確認された。中央火口内では、ごく弱い噴気が認められた。その他、三原山山頂周辺の噴気温度に特段の変化は認められない。

12 日から 18 日にかけて、島の西方沖を中心に火山性地震が一時的に増加した。12 日及び 13 日には、島内で震度 1 以上を観測する地震が複数回発生した（最大でマグニチュード 3.1、最大震度 2）。19 日以降はやや少ない状態が続い

ている。この活動に伴って、その他の観測データに変化は認められない。

地殻変動観測によると、短期的な膨張と収縮を繰り返しながら、長期的には地下深部へのマグマ供給によると考えられる島全体の膨張傾向が続いている。伊豆大島では以前から、短期的な膨張がみられる時期に、地震活動が活発化することがある。

三宅島みやけしま【噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）】

山頂火口からの噴煙の高さは、概ね 60m 以下で経過している。

16 日に実施した現地調査では、火山ガス（二酸化硫黄）の放出量は 1 日あたり数十トン以下であった（前回 5 月 30 日：数十トン以下）。

6 日に実施した現地調査では、主火孔内及びその周辺で引き続き高温領域が認められ、前月（5 月 19 日）や前年の同じ時期（2016 年 6 月 3 日）の観測と比べて、火口内の地形及び噴気の分布に特段の変化は認められなかった。

火山性地震は少ない状態で経過している。震源は山頂火口直下に分布しており、これまでと比べて特段の変化は認められない。火山性微動は観測されていない。

主火孔における噴煙活動が継続していることから、火口内では噴出現象が突発的に発生する可能性があるため、山頂火口内⁸⁾及び主火口から 500m 以内では火山灰噴出に警戒が必要である。また、火山ガスの放出がわずかながら継続していることから、風下にあたる地域では火山ガスに注意が必要である。

ペヨネース列岩れつがん【噴火警報（周辺海域警戒）及び火山現象に関する海上警報】

第三管区海上保安本部が 5 日に実施した上空からの観測では、明神礁付近の海水面に、火山活動に関連する湧昇流によると考えられる低温部が確認されたほかには、変色水、気泡、浮遊物等は確認されなかった。また、海上保安庁が 27 日、28 日及び 29 日に実施した上空から観測では、変色水、気泡、浮遊物、低温部等は確認されなかった。

海上保安庁、第三管区海上保安本部によるこれまでの観測で、明神礁付近では火山活動によるとみられる変色水や気泡が時々観測されている。今後、小規模な海底噴火が発生する可能性があるため、明神礁付近及び周辺海域では海底噴火に警戒が必要である。また、周辺海域では海底噴火による浮遊物（軽石等）に注意が必要である。

にしのみま 西之島 [火口周辺警報（入山危険）及び火山現象に関する海上警報]

5月25日から27日にかけて（期間外）、気象研究所が気象庁海洋観測船「啓風丸」で実施した観測によると、島の中央部やや南に位置する火砕丘の山頂火口で噴火が断続的に発生し、大きな噴石の飛散や島の南西岸から南岸で溶岩流が海に流れ込んでいる様子が確認された。

また、6月3日及び6日に第三管区海上保安本部が、28日及び29日に海上保安庁がそれぞれ実施した上空からの観測でも、前述の火砕丘山頂火口で噴火が断続的に発生し、大きな噴石の飛散と灰色の噴煙が確認されており、溶岩流の流出も継続している様子が確認された。

5月26日（期間外）に気象庁及び気象研究所が合同で実施した観測船での調査では、火山ガス（二酸化硫黄）の放出量は1日あたり500トンで、前回の噴火活動中の2015年10月に実施した観測値と同程度であった。

気象衛星ひまわりの観測によると、引き続き西之島付近で周囲に比べて地表面温度の高い領域を確認している。

今後も噴火が継続する可能性があるため、火口から概ね1.5kmの範囲では噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒が必要である。

いおうとう 硫黄島 [火口周辺警報（火口周辺危険）及び火山現象に関する海上警報]

火山性地震は、やや少ない状態で経過している。火山性微動は観測されていない。

阿蘇台東監視カメラ（阿蘇台陥没孔の東北東約900m）による観測では、島西部の阿蘇台陥没孔からの噴気の高さは概ね80m以下で経過した。また、島北西部の井戸ヶ浜から高さ概ね10mの噴気を確認している。

GNSS連続観測によると、地殻変動は隆起及び停滞を繰り返している。

硫黄島の島内は全体に地温が高く、多くの噴気地帯や噴気孔があり、過去には各所で小規模な噴火が発生している。火山活動はやや活発な状態で推移しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火が発生すると予想されるため、従来から小規模な噴火が発生した地点（ミリオンダラーホール（旧噴火口）等）及びその周辺では噴火に警戒が必要である。

ふくとくおかのぼ 福德岡ノ場 [噴火警報（周辺海域警戒）及び火山現象に関する海上警報]

海上保安庁、第三管区海上保安本部、海上自衛隊及び気象庁によるこれまでの観測によると、福德岡ノ場付近の海面には長期にわたり火山活動によるとみられる変色水等が確認されている。

今後も小規模な海底噴火が発生すると予想されるため、周辺海域では海底噴火に警戒が必要である。また、周辺海域では海底噴火による浮遊物（軽石等）に注意が必要である。

なお、以下に挙げる火山では、火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められない。

なすだけ 那須岳 [噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）]

にっこうしらねさん 日光白根山 [噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）]

やけどだけ 焼岳 [噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）]

のりくらだけ 乗鞍岳 [噴火予報（活火山であることに留意）]

はくさん 白山 [噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）]

ふじさん 富士山 [噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）]

いずとうぶかざんぐん 伊豆東部火山群 [噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）]

にいしま 新島 [噴火予報（活火山であることに留意）]

こうづしま 神津島 [噴火予報（活火山であることに留意）]

はちじょうしま 八丈島 [噴火予報（活火山であることに留意）]

あおがしま 青ヶ島 [噴火予報（活火山であることに留意）]

【九州地方及び南西諸島】

くじゅうさん 九重山 [噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）]

火山性地震の月回数は、27回（5月：9回）とやや多い状態で経過した。そのうちA型地震⁹⁾は15回、B型地震¹⁰⁾は12回であった。

A型地震は2日に10回と一時的に増加したが、それ以降は少ない状態で経過した。B型地震は5日以降、時々発生した。B型地震が観測されたのは、2016年4月17日以来で、月回数10回を超えたのは1999年2月に星生山北山腹観測点で観測を開始して以来初めてである。B型地震はやや増加しているが、まだ少ない状態である。

火山性微動は2006年10月以降、観測されていない。

火山活動に特段の変化は認められないが、GNSS連続観測では一部の基線に伸びの傾向が認められており、今後の火山活動の推移に留意が必要である。

あそさん 阿蘇山 [噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）]

期間中に実施した現地調査では、火山ガス（二酸化硫黄）の放出量は、1日あたり600～2,000トンと増減を繰り返しながら、概ねやや多い状態で経過した（5月：700～1,700トン）。

期間中に実施した現地調査では、中岳第一火口内で緑色の湯だまり¹⁾を確認した。湯だまり量は、中岳第一火口底の10割と前月（5月：10割）から変化はなかった。土砂噴出は観測されていない。また、中岳第一火口底南西側及び南側火口壁では、白色の噴気が噴出しているのを確認した。

赤外熱映像装置による観測では、湯だまりの表面温度は、50～55℃と前月（5月：43～54℃）と比べて特段の変化は認められなかった。また、南側火口壁の一部で熱異常域（最高温度：約490～560℃）を確認した。前月（5月：最高温度約560～600℃）と比べて最高温度はやや低下したが、引き続き高い状態であった。熱異常域の分布に特段の変化は認められなかった。傾斜計では火山活動に伴う特段の変化は認められない。また、GNSS連続観測では、2016年7月頃から認められていた、草千里深部にあると考えられているマグマだまりの膨張を示す基線の伸びは、2016年11月中旬以降は停滞している。

火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められないが、火口内では土砂や火山灰が噴出する可能性がある。また、火口付近では火山ガスに注意が必要である。

うんせんだけ**雲仙岳** [噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）]

火山活動に特段の変化はないが、長期的には2010年頃から火山性地震の活動がやや活発となっているので、今後の火山活動の推移に留意が必要である。

きりしまやま**霧島山（えびの高原（硫黄山）周辺）** [火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）]

えびの高原（硫黄山）周辺では、2015年12月頃に出現した熱異常域が次第に拡大し、噴気の量が増加している。こうした中で、4月25日から硫黄山南西観測点の傾斜計で、硫黄山方向が隆起する傾斜変動が続いている。

硫黄山火口周辺では、火口南側で確認されている顕著な噴気孔を中心に、大きな噴気音を伴う活発な噴気活動が続いている。噴気の高さは最高で稜線上200mであった。

新たな熱水があるとの通報を受けて4日に実施した現地調査では、3月に熱異常域と噴気を確認した硫黄山の西南西側（韓国岳登山口付近）に熱水孔を確認した。熱水孔の深さは1m程度で、熱水は地下を流れており、孔の外への流出はなかった。また、30日に実施した現地調査で

は、この熱水孔が拡大していることを確認した。

4日及び17日に実施した赤外熱映像装置による観測では、硫黄山火口及び火口周辺で引き続き熱異常域が認められた。

現地調査及び硫黄山火口周辺に設置した噴出物採取器による観測では、新たな噴出物は認められなかった。

6月に実施した現地調査では、火山ガス（二酸化硫黄）を引き続き観測し、1日あたりの放出量は、数トン～20トンと前月（5月：数トン～10トン）と同程度であった。

硫黄山周辺の噴気活動の活発化は、過去にみられていた領域に限定されているが、硫黄山火口のごく浅いところでわずかな膨張が続いており、火口周辺に火山灰を降らせる噴火が発生する可能性がある。

えびの高原の硫黄山から概ね1kmの範囲では、小規模な噴火に警戒が必要である。

きりしまやま しんもろだけ**霧島山（新燃岳）** [噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）]

監視カメラによる観測では、27、28日に火口縁を越えて噴煙が上がり、27日には一時的に白色の噴煙が火口縁上400m以上に上がった。その他の期間には、火口内で消散した。西側斜面の割れ目付近では、時々噴気が上がった。

17日に韓国岳山頂から実施した赤外熱映像装置による観測では、火口内及び西側斜面の割れ目付近で、引き続きやや温度の高い部分が観測されたが、熱異常域の分布に特段の変化は認められなかった。

火山性地震は時々発生し、月回数は142回で前月（5月：58回）より増加した。

11日に継続時間が約2分の振幅の小さな火山性微動が発生した。この微動の発生前後で、噴煙の状況や地震活動に特段の変化は認められなかった。火山性微動が発生したのは2016年9月17日以来である。

地殻変動観測では、火山活動によると考えられる特段の変化は認められなかった。

火山活動に特段の変化はないが、火山性地震が時々発生しており、火口内や西側斜面の割れ目付近で、引き続きやや温度の高い部分が観測されていることから、その付近では火山灰や火山ガス等の規模の小さな噴出現象が突発的に発生する可能性があるため注意が必要である。

きくらしま**桜島** [火口周辺警報（噴火警戒レベル3、入山規制）]

桜島では噴火活動が継続している。

昭和火口では、噴火が14回発生し前月（5月：47回）より減少した。このうち爆発的噴火

¹²⁾ は 2 回であった。6 日 07 時 56 分の爆発的噴火では、やや多量以上の噴煙が火口縁上 3,200 m まで上がり雲に入った。この爆発的噴火及び 2 日 03 時 51 分の噴火では、弾道を描いて飛散する大きな噴石が 5 合目（昭和火口より 500 から 800m）まで達した。30 日の夜間には、高感度の監視カメラで確認できる程度の微弱な火映を観測した。

南岳山頂火口では、4 日及び 5 日にごく小規模な噴火が発生した。

9 日及び 19 日に実施した現地調査では、火山ガス（二酸化硫黄）の放出量は 1 日あたり 500～800 トン（5 月：300～1,700 トン）とやや少ない状態であった。

火山性地震の月回数は 350 回（5 月：192 回）と少ない状態で経過した。

火山性微動の継続時間は、月合計 75 時間 08 分（5 月：130 時間 00 分）で、前月より短くなった。火山性微動の多くは噴火に伴って発生した。

桜島島内の傾斜計及び伸縮計¹³⁾では、一部の噴火時に噴火前のわずかな山体の隆起（伸び）と噴火後のわずかな沈降（縮み）が観測された。

GNSS 連続観測では、始良カルデラ（鹿児島湾奥部）の地下深部の膨張が続いている。

始良カルデラの地下深部へのマグマ供給が継続しており、今後も噴火活動が継続すると考えられる。

昭和火口及び南岳山頂火口から概ね 2 km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流¹⁴⁾に警戒が必要である。

風下側では火山灰だけでなく小さな噴石（火山れき¹⁵⁾）が遠方まで風に流されて降るため注意が必要である。爆発的噴火に伴う大きな空振によって窓ガラスが割れるなどのおそれがあるため注意が必要である。また、降雨時には土石流に注意が必要である。

さつまいおうじま **薩摩硫黄島 [噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）]**

火山活動に特段の変化はないが、硫黄岳山頂火口では噴煙活動が続いているので、火山灰等が噴出する可能性がある。また、火口付近では火山ガスに注意が必要である。

くちのえらぶじま **口永良部島 [火口周辺警報（噴火警戒レベル 3、入山規制）]**

白色の噴煙が最高で火口縁上 800m（5 月：700m）まで上がった。

8 日及び 14 日に山麓から実施した現地調査では、これまでの観測と同様に新岳火口及び新岳火口西側割れ目付近から白色の噴煙が上がっ

ており、火口周辺の地形や噴気等の状況に変化は認められなかった。また、赤外熱映像装置による観測では、新岳火口の西側割れ目付近の熱異常域の温度は低下した状態が続いており、特段の変化は認められなかった。

15 日に古岳山頂付近から実施した現地調査では、新岳の火口縁の南東側では 2014 年 8 月 3 日の噴火で出現した割れ目を確認した。また、新岳の火口外壁南側では、前回（2014 年 5 月 18 日）と比べて熱異常域の一部が縮小していた。また、古岳火口では、前回（2014 年 5 月 18 日）と比べて熱異常域の一部が縮小していたが、引き続き火口底の主に縁辺部で熱異常域と噴気を確認した。

東京大学大学院理学系研究科、京都大学防災研究所、屋久島町及び気象庁が実施した現地調査では、火山ガス（二酸化硫黄）の放出量は 1 日あたり 40～300 トン（5 月：100～500 トン）と 2014 年 8 月の噴火前（1 日あたり概ね 100 トン以下）よりもやや多い状態で経過している。

火山性地震の月回数は 58 回（5 月：36 回）と少ない状況で経過した。火山性微動は 2016 年 9 月以降、観測されていない。

GNSS 連続観測では、火山活動によると考えられる特段の変化は認められなかった。

新岳火口から概ね 2 km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流に警戒が必要である。向江浜地区から新岳の南西にかけての火口から海岸までの範囲では、火砕流に警戒が必要である。

風下側では、火山灰だけでなく小さな噴石が風に流されて降るおそれがあるため注意が必要である。降雨時には土石流の可能性があるので注意が必要である。

すわのせじま **諏訪之瀬島 [火口周辺警報（噴火警戒レベル 2、火口周辺規制）]**

おたけ
御岳火口では、ごく小規模の噴火が 8 日と 21 日に発生したが、爆発的噴火¹²⁾は発生しなかった（5 月：2 回）。噴火に伴う噴煙は、最高で火口縁上 600m（5 月：1,900m）まで上がった。

同火口では、時々夜間に高感度の監視カメラで火映が観測された。

今後も火口周辺に影響を及ぼす程度の噴火が発生すると予想されるので、火口から概ね 1 km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒が必要である。風下側では火山灰だけでなく小さな噴石が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意が必要である。

なお、以下に挙げる火山では、火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の

兆候は認められない。

つるみだけ がらんだけ
鶴見岳・伽藍岳 [噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）]

きりしまやま おほち
霧島山（御鉢） [噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）]

- 1) 赤外熱映像装置は物体が放射する赤外線を感知して温度分布を測定する測器である。熱源から離れた場所から測定することができる利点があるが、測定距離や大気等の影響で実際の熱源の温度よりも低く測定される場合がある。
- 2) 火山体の南側で全磁力を観測した場合、全磁力値が減少すると火山体内部で温度上昇が、全磁力値が増加すると火山体内部で温度低下が生じていると推定される。
- 3) 赤熱した溶岩や高温の火山ガス等が、噴煙や雲に映って明るく見える現象。
- 4) 火口から放出される火山ガスには、マグマに溶けていた水蒸気や二酸化硫黄、硫化水素など様々な成分が含まれており、これらのうち、二酸化硫黄はマグマが浅部へ上昇するとその放出量が増加する。気象庁では、二酸化硫黄の放出量を観測し、火山活動の評価に活用している。
- 5) 火山活動による山体の傾きを精密に観測する機器。火山体直下へのマグマの貫入等により変化が観測されることがある。
- 6) GNSS (Global Navigation Satellite Systems) とは、GPSをはじめとする衛星測位システム全般を示す呼称である。
- 7) 噴石については、大きさによる風の影響の程度の違いによって飛散範囲が大きく異なる。本文中「大きな噴石」とは、「風の影響を受けず弾道を描いて飛散する大きな噴石」のことであり、「小さな噴石」とは、それより小さく「風に流されて降る小さな噴石」のことである。
- 8) 山頂火口内とは、雄山山頂にある火口及び火口縁から海岸方向に約 100m までの範囲を指す。
- 9) 火山性地震のうち、P 波、S 波の相が明瞭で比較的周期の短い地震で一般的に起こる地震と同様、地殻の破壊によって発生していると考えられ、マグマの貫入に伴う火道周辺の岩石破壊によって発生していることが知られている。
- 10) 火山性地震のうち、相が不明瞭で、比較的周期が長く、火口周辺の比較的浅い場所で発生する地震で、火道内のガスの移動やマグマの発泡などにより発生すると考えられている。
- 11) 活動静穏期の中岳第一火口には、地下水などを起源とする約 40～60℃の緑色の湯がたまっており、これを湯だまりと呼んでいる。火山活動が活発化するにつれ、湯だまり温度が上昇・噴湯して湯量の減少や濁りがみられ、その過程で土砂を噴き上げる土砂噴出現象等が起こり始めることが知られている。
- 12) 桜島では、火道内の爆発による地震を伴い、爆発音、体を感じる空気の振動、噴石の火口外への飛散、または、气象台や島内の観測点で一定基準以上の空気の振動のいずれかを観測した噴火を爆発的噴火としている。諏訪之瀬島では、島内の観測点で一定基準以上の空気の振動を観測した噴火を爆発的噴火としている。
- 13) 火山活動による地殻の伸び縮みを観測する機器。マグマ溜まりや火道内の圧力増加によって生じる火口周辺の変化が観測されることがある。
- 14) 火砕流とは、火山灰や岩塊、火山ガスや空気が一体となって急速に山体を流下する現象である。火砕流の速度は時速数十 km から時速百 km 以上、温度は数百℃にも達することがある。
- 15) 桜島では「火山れき」の用語が地元で定着していると考えられることから、付加表現している。

資料 1 全国の火山現象に関する特別警報・警報・予報の発表状況のまとめ（平成 29 年 6 月 30 日現在）

(1) 主な活火山

噴火警報、火口周辺警報及び噴火予報の発表履歴欄には、平成 19 年 12 月 1 日の警報及び予報の発表と噴火警戒レベルの運用開始からの経過を示す。この表では、主な活火山として、警報を発表している、または常時観測を行っている火山を示している。また、ここで示すレベルは噴火警戒レベルである。

	火山名	特別警報、警報及び予報の発表状況	特別警報、警報及び予報の発表履歴
北海道地方	アトサヌプリ	噴火予報（レベル 1、活火山であることに留意）	2007年12月1日 噴火予報（平常） 2016年3月23日 噴火予報（レベル 1、活火山であることに留意）
	雌阿寒岳	噴火予報（レベル 1、活火山であることに留意）	2007年12月1日 噴火予報（平常） 2008年9月29日 火口周辺警報（火口周辺危険） 2008年10月17日 噴火予報（平常） 2008年11月17日 火口周辺警報（火口周辺危険） 2008年12月16日 火口周辺警報（レベル 2、火口周辺規制） 2009年4月10日 噴火予報（レベル 1、平常） 2015年7月28日 火口周辺警報（レベル 2、火口周辺規制） 2015年11月13日 噴火予報（レベル 1、活火山であることに留意）
	大雪山	噴火予報（活火山であることに留意）	2007年12月1日 噴火予報（平常）
	十勝岳	噴火予報（レベル 1、活火山であることに留意）	2007年12月1日 噴火予報（平常） 2008年12月16日 噴火予報（レベル 1、平常） 2014年12月16日 火口周辺警報（レベル 2、火口周辺規制） 2015年2月24日 噴火予報（レベル 1、平常）
	樽前山	噴火予報（レベル 1、活火山であることに留意）	2007年12月1日 噴火予報（レベル 1、平常）
	倶多楽	噴火予報（レベル 1、活火山であることに留意）	2007年12月1日 噴火予報（平常） 2015年10月1日 噴火予報（レベル 1、活火山であることに留意）
	有珠山	噴火予報（レベル 1、活火山であることに留意）	2007年12月1日 噴火予報（平常） 2008年6月9日 噴火予報（レベル 1、平常）
	北海道駒ヶ岳	噴火予報（レベル 1、活火山であることに留意）	2007年12月1日 噴火予報（レベル 1、平常）
東北地方	恵山	噴火予報（レベル 1、活火山であることに留意）	2007年12月1日 噴火予報（平常） 2016年3月23日 噴火予報（レベル 1、活火山であることに留意）
	岩木山	噴火予報（レベル 1、活火山であることに留意）	2007年12月1日 噴火予報（平常） 2016年7月26日 噴火予報（レベル 1、活火山であることに留意）
	秋田焼山	噴火予報（レベル 1、活火山であることに留意）	2007年12月1日 噴火予報（平常） 2013年7月25日 噴火予報（レベル 1、平常）
	八甲田山	噴火予報（活火山であることに留意）	2007年12月1日 噴火予報（平常）
	十和田	噴火予報（活火山であることに留意）	2007年12月1日 噴火予報（平常）
	岩手山	噴火予報（レベル 1、活火山であることに留意）	2007年12月1日 噴火予報（レベル 1、平常）
	秋田駒ヶ岳	噴火予報（レベル 1、活火山であることに留意）	2007年12月1日 噴火予報（平常） 2009年10月27日 噴火予報（レベル 1、平常）
	鳥海山	噴火予報（活火山であることに留意）	2007年12月1日 噴火予報（平常）
	栗駒山	噴火予報（活火山であることに留意）	2007年12月1日 噴火予報（平常）
	蔵王山	噴火予報（レベル 1、活火山であることに留意）	2007年12月1日 噴火予報（平常） 2015年4月13日 火口周辺警報（火口周辺危険） 2015年6月16日 噴火予報（活火山であることに留意） 2016年7月26日 噴火予報（レベル 1、活火山であることに留意）
	吾妻山	噴火予報（レベル 1、活火山であることに留意）	2007年12月1日 噴火予報（レベル 1、平常） 2014年12月12日 火口周辺警報（レベル 2、火口周辺規制） 2016年10月18日 噴火予報（レベル 1、活火山であることに留意）
関東・中部地方	安達太良山	噴火予報（レベル 1、活火山であることに留意）	2007年12月1日 噴火予報（平常） 2009年3月31日 噴火予報（レベル 1、平常）
	磐梯山	噴火予報（レベル 1、活火山であることに留意）	2007年12月1日 噴火予報（平常） 2009年3月31日 噴火予報（レベル 1、平常）
	那須岳	噴火予報（レベル 1、活火山であることに留意）	2007年12月1日 噴火予報（平常） 2009年3月31日 噴火予報（レベル 1、平常）
	日光白根山	噴火予報（レベル 1、活火山であることに留意）	2007年12月1日 噴火予報（平常） 2016年12月6日 噴火予報（レベル 1、活火山であることに留意）
	草津白根山	噴火予報（レベル 1、活火山であることに留意）	2007年12月1日 噴火予報（レベル 1、平常） 2009年4月10日 噴火予報（レベル 1、平常）切替 2014年6月3日 火口周辺警報（レベル 2、火口周辺規制） 2017年6月7日 噴火予報（レベル 1、活火山であることに留意）

	火山名	特別警報、警報及び予報の発表状況	特別警報、警報及び予報の発表履歴
関東・中部地方	浅間山	火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制)	2007年12月1日 噴火予報(レベル1、平常) 2008年8月8日 火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2009年2月1日 火口周辺警報(レベル3、入山規制) 2009年2月3日 火口周辺警報(レベル3、入山規制)切替 2009年4月7日 火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2010年4月15日 噴火予報(レベル1、平常) 2015年6月11日 火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制)
	新潟焼山	噴火予報(レベル1、活火山であることに留意)	2007年12月1日 噴火予報(平常) 2011年3月31日 噴火予報(レベル1、平常)
	弥陀ヶ原	噴火予報(活火山であることに留意)	2007年12月1日 噴火予報(平常)
	焼岳	噴火予報(レベル1、活火山であることに留意)	2007年12月1日 噴火予報(平常) 2011年3月31日 噴火予報(レベル1、平常)
	乗鞍岳	噴火予報(活火山であることに留意)	2007年12月1日 噴火予報(平常)
	御嶽山	火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制)	2007年12月1日 噴火予報(平常) 2008年3月31日 噴火予報(レベル1、平常) 2014年9月27日 火口周辺警報(レベル3、入山規制) 2014年9月28日 火口周辺警報(レベル3、入山規制)切替 2015年1月19日 火口周辺警報(レベル3、入山規制)切替 2015年3月31日 火口周辺警報(レベル3、入山規制)切替 2015年6月26日 火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制)
	白山	噴火予報(レベル1、活火山であることに留意)	2007年12月1日 噴火予報(平常) 2015年9月2日 噴火予報(レベル1、活火山であることに留意)
	富士山	噴火予報(レベル1、活火山であることに留意)	2007年12月1日 噴火予報(レベル1、平常)
	箱根山	噴火予報(レベル1、活火山であることに留意)	2007年12月1日 噴火予報(平常) 2009年3月31日 噴火予報(レベル1、平常) 2015年5月6日 火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2015年6月30日 火口周辺警報(レベル3、入山規制) 2015年9月11日 火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2015年11月20日 噴火予報(レベル1、活火山であることに留意)
	伊豆東部火山群	噴火予報(レベル1、活火山であることに留意)	2007年12月1日 噴火予報(平常) 2011年3月31日 噴火予報(レベル1、平常)
伊豆・小笠原諸島	伊豆大島	噴火予報(レベル1、活火山であることに留意)	2007年12月1日 噴火予報(レベル1、平常)
	新島	噴火予報(活火山であることに留意)	2007年12月1日 噴火予報(平常)
	神津島	噴火予報(活火山であることに留意)	2007年12月1日 噴火予報(平常)
	三宅島	噴火予報(レベル1、活火山であることに留意)	2007年12月1日 火口周辺警報(火口周辺危険) 2008年3月31日 火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2015年6月5日 噴火予報(レベル1、活火山であることに留意)
	八丈島	噴火予報(活火山であることに留意)	2007年12月1日 噴火予報(平常)
	青ヶ島	噴火予報(活火山であることに留意)	2007年12月1日 噴火予報(平常)
	ベヨネース列岩	噴火警報(周辺海域警戒)	2007年12月1日 噴火予報(平常) 2017年3月24日 噴火警報(周辺海域警戒)
	西之島	火口周辺警報(入山危険)	2007年12月1日 噴火予報(平常) 2013年11月20日 火口周辺警報(火口周辺危険) 2014年6月3日 火口周辺警報(入山危険) 2014年6月11日 火口周辺警報(入山危険)切替 2015年2月24日 火口周辺警報(入山危険)切替 2016年2月17日 火口周辺警報(入山危険)切替 2016年8月17日 火口周辺警報(火口周辺危険) 2017年2月14日 噴火予報(活火山であることに留意) 2017年4月20日 火口周辺警報(入山危険)
	硫黄島	火口周辺警報(火口周辺危険)	2007年12月1日 火口周辺警報(火口周辺危険)
	福德岡ノ場	噴火警報(周辺海域警戒)	2007年12月1日 噴火警報(周辺海域警戒)

	火山名	特別警報、警報及び予報の発表状況	特別警報、警報及び予報の発表履歴
九州地方・南西諸島	鶴見岳・伽藍岳	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日 噴火予報（平常） 2016年7月26日 噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	九重山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日 噴火予報（レベル1、平常）
	阿蘇山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日 噴火予報（レベル1、平常） 2011年5月16日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2011年6月20日 噴火予報（レベル1、平常） 2013年9月25日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2013年10月11日 噴火予報（レベル1、平常） 2013年12月27日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2014年3月12日 噴火予報（レベル1、平常） 2014年8月30日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2015年9月14日 火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2015年11月24日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2016年10月8日 火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2016年12月20日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2017年2月7日 噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	雲仙岳	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日 噴火予報（レベル1、平常）
	霧島山（えびの高原（硫黄山）周辺）	火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）	2007年12月1日 噴火予報（平常） 2014年10月24日 火口周辺警報（火口周辺危険） 2015年5月1日 噴火予報（平常） 2016年2月28日 火口周辺警報（火口周辺危険） 2016年3月29日 噴火予報（活火山であることに留意） 2016年12月6日 噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2016年12月12日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2017年1月13日 噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2017年5月9日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）
	霧島山（新燃岳）	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日 噴火予報（レベル1、平常） 2008年8月22日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2008年10月29日 噴火予報（レベル1、平常） 2010年3月30日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2010年4月16日 噴火予報（レベル1、平常） 2010年5月6日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2011年1月26日 火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2011年1月31日 火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2011年2月1日 火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2011年3月22日 火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2012年6月26日 火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2013年10月22日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2017年5月26日 噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	霧島山（御鉢）	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日 噴火予報（レベル1、平常）

	火山名	特別警報、警報及び予報の発表状況	特別警報、警報及び予報の発表履歴
九州地方・南西諸島	桜島	火口周辺警報 (レベル 3、入山規制)	2007年12月 1 日 火口周辺警報 (レベル 2、火口周辺規制) 2008年 2 月 3 日 火口周辺警報 (レベル 3、入山規制) 2008年 2 月20日 火口周辺警報 (レベル 2、火口周辺規制) 2008年 4 月 8 日 火口周辺警報 (レベル 3、入山規制) 2008年 7 月14日 火口周辺警報 (レベル 2、火口周辺規制) 2008年 7 月28日 火口周辺警報 (レベル 3、入山規制) 2008年 8 月28日 火口周辺警報 (レベル 2、火口周辺規制) 2009年 2 月 2 日 火口周辺警報 (レベル 3、入山規制) 2009年 2 月19日 火口周辺警報 (レベル 2、火口周辺規制) 2009年 3 月 2 日 火口周辺警報 (レベル 3、入山規制) 2009年 3 月10日 火口周辺警報 (レベル 3、入山規制) 切替 2009年 4 月24日 火口周辺警報 (レベル 2、火口周辺規制) 2009年 7 月19日 火口周辺警報 (レベル 3、入山規制) 2010年 9 月30日 火口周辺警報 (レベル 2、火口周辺規制) 2010年10月13日 火口周辺警報 (レベル 3、入山規制) 2012年 3 月12日 火口周辺警報 (レベル 3、入山規制) 切替 2012年 3 月21日 火口周辺警報 (レベル 3、入山規制) 切替 2015年 8 月15日 噴火警報 (レベル 4、避難準備) 2015年 9 月 1 日 火口周辺警報 (レベル 3、入山規制) 2015年11月25日 火口周辺警報 (レベル 2、火口周辺規制) 2016年 2 月 5 日 火口周辺警報 (レベル 3、入山規制)
	薩摩硫黄島	噴火予報 (レベル 1、活火山であることに留意)	2007年12月 1 日 火口周辺警報 (レベル 2、火口周辺規制) 2012年11月29日 噴火予報 (レベル 1、平常) 2013年 6 月 4 日 火口周辺警報 (レベル 2、火口周辺規制) 2013年 7 月10日 噴火予報 (レベル 1、平常) 2017年 1 月 5 日 火口周辺警報 (レベル 2、火口周辺規制) 2017年 2 月24日 噴火予報 (レベル 1、活火山であることに留意)
	口永良部島	火口周辺警報 (レベル 3、入山規制)	2007年12月 1 日 火口周辺警報 (レベル 2、火口周辺規制) 2008年 1 月25日 噴火予報 (レベル 1、平常) 2008年 9 月 4 日 火口周辺警報 (レベル 2、火口周辺規制) 2008年10月27日 火口周辺警報 (レベル 3、入山規制) 2009年 3 月18日 火口周辺警報 (レベル 2、火口周辺規制) 2009年 8 月 4 日 噴火予報 (レベル 1、平常) 2009年 9 月27日 火口周辺警報 (レベル 2、火口周辺規制) 2009年10月30日 噴火予報 (レベル 1、平常) 2011年12月15日 火口周辺警報 (レベル 2、火口周辺規制) 2012年 1 月20日 噴火予報 (レベル 1、平常) 2014年 8 月 3 日 火口周辺警報 (レベル 3、入山規制) 2014年 8 月 7 日 火口周辺警報 (レベル 3、入山規制) 切替 2015年 5 月29日 噴火警報 (レベル 5、避難) 2015年10月21日 噴火警報 (レベル 5、避難) 切替 2016年 6 月14日 火口周辺警報 (レベル 3、入山規制)
	諏訪之瀬島	火口周辺警報 (レベル 2、火口周辺規制)	2007年12月 1 日 火口周辺警報 (レベル 2、火口周辺規制)

（２）その他の活火山

以下の活火山では平成 19 年 12 月 1 日に噴火予報（平常）を発表した（但し、*印の活火山では、活火山として選定された平成 23 年 6 月 7 日に噴火予報（平常）を発表）。その後、いずれも火山活動に特段の変化はなく、予報事項に変更はない。

	火 山 名
北海道地方	知床硫黄山、羅臼岳、天頂山*、摩周、雄阿寒岳*、丸山、利尻山、恵庭岳、羊蹄山、ニセコ、渡島大島、茂世路岳、散布山、指臼岳、小田萌山、択捉焼山、択捉阿登佐岳、ベルタルベ山、ルルイ岳、爺爺岳、羅臼山、泊山
東北地方	恐山、八幡平、鳴子、肘折、沼沢、燧ヶ岳
関東・中部地方	高原山、赤城山、榛名山、横岳、妙高山、アカンダナ山
伊豆・小笠原諸島	利島、御蔵島、須美寿島、伊豆鳥島、孀婦岩、海形海山、海德海山、噴火浅根、北福德堆、南日吉海山、日光海山
中国・九州地方 及び南西諸島	三瓶山、阿武火山群、由布岳、福江火山群、米丸・住吉池、若尊、池田・山川、開聞岳、口之島、中之島、硫黄島、西表島北北東海底火山

注）平成 27 年 5 月 18 日から（平常）は（活火山であることに留意）に変更している。

（参考）男体山は 2017 年 6 月 20 日に活火山として追加し、準備が整い次第噴火予報（活火山であることに留意）を発表する予定である。

資料 2 第 138 回火山噴火予知連絡会について

平成 29 年 6 月 20 日、第 138 回火山噴火予知連絡会が開催された。同連絡会では、全国の火山活動の評価について検討を行い、委員及び関係機関からの報告をもとにとりまとめた。その結果を気象庁が以下のとおり発表した。

第 138 回火山噴火予知連絡会による全国の火山活動の評価

本日、第 138 回火山噴火予知連絡会において、前回（第 137 回、平成 29 年 2 月 14 日）以降の全国の火山活動について以下のとおり評価を行いました。参考として、気象庁が発表している噴火警報・予報（噴火警戒レベル）についても併せてお知らせします。

全国の主な火山活動評価

桜島

南岳山頂火口では、3 月 25 日に昨年（2016 年）6 月 3 日以来の噴火が発生し、火砕流が南側へ約 1,100m 流下しました。昭和火口では、4 月 26 日に昨年 7 月 26 日以来の噴火が発生しました。その後の噴火活動は活発な状態で経過しました。始良カルデラ地下深部へのマグマ供給が継続しており、今後も同様の噴火活動が継続する可能性があります。

【参考】火口周辺警報（噴火警戒レベル 3、入山規制）発表中

昭和火口及び南岳山頂火口から概ね 2 km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流に警戒してください。

口永良部島

火山性地震は少ない状態で経過しましたが、2 月には月回数で 195 回とやや多い状態となりました。火山ガス（二酸化硫黄）の放出量は、2016 年 5 月以降、1 日あたり概ね 100～200 トンで経過していましたが、4 月以降は 1 日あたり概ね 200～500 トンと、やや多い状態が続いています。噴煙は、最高で火口縁上 800m まで上がるなど、2014 年 8 月 3 日の噴火前よりは多い状態が続いています。2015 年 5 月 29 日と同程度の噴火が発生する可能性は低下したものの、引き続き新岳火口から概ね 2 km 以内への大きな噴石の飛散、あるいは火砕流の流下を伴う噴火が発生する可能性があります。

【参考】火口周辺警報（噴火警戒レベル 3、入山規制）発表中

新岳火口から概ね 2 km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流に警戒してください。向江浜地区から新岳の南西にかけて、火口から海岸までの範囲では火砕流に警戒してください。

西之島

4 月 20 日に噴火の再開が確認されて以降、島の中央部やや南に位置する火砕丘からの大きな噴石の飛散と、北山腹からの溶岩の流出が続いています。噴火活動に伴い、島の面積は、2016 年 9 月 15 日の 2.68km² から、5 月 2 日時点で 2.75km² に拡大していることが確認されました。今回の噴火は、2013～2015 年の噴火活動と同様に、島の中央部やや南に位置する火砕丘とその周辺で発生しており、噴火様式や噴出率もほぼ同様と考えられます。今後も噴火活動が続く可能性があります。

【参考】火口周辺警報（入山危険）発表中

火口から概ね 1.5km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。

浅間山

火山性地震は概ねやや多い状態で経過しています。2016 年 12 月頃から浅間山の西側での膨張を示すと考えられるわずかな地殻変動を観測しています。火山ガス（二酸化硫黄）の放出量は、2016 年 11 月頃から増加し、2017 年 1 月 18 日に 3,600 トンになるなど多い状態が続いています。また、2016 年 12 月以降、高感度の監視カメラで確認できる程度の弱い火映を時々観測しています。今後も小規模な噴火が発生する可能性があります。

【参考】火口周辺警報（噴火警戒レベル 2、火口周辺規制）発表中

山頂火口から概ね 2 km の範囲では弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。

御嶽山

2014 年 9 月 27 日に噴火が発生した剣ヶ峰山頂の南西側の火口列からの噴煙活動や山頂直下付近の地震活動は、その後もゆっくりと低下が続いており、現在の火山活動には静穏化の傾向がみられることから、噴火が発生する可能性は低くなっています。

【参考】火口周辺警報（噴火警戒レベル 2、火口周辺規制）発表中

火口から概ね 1 km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。

霧島山（えびの高原（硫黄山）周辺）

硫黄山周辺では、2015 年 12 月頃に出現した熱異常域が次第に拡大し、噴気の量が増加しています。2017 年 4 月以降、湧水の化学成分の変化や、火山ガス（二酸化硫黄）の放出がみられ、高温の火山ガスの地下からの上昇が認められます。4 月 25 日から硫黄山南西観測点の傾斜計で、硫黄山方向が隆起する傾斜変動が繰り返しみられ、6 月 20 日現在も継続しています。SAR 及び水準測量でも硫黄山のごく浅いところに起因する地盤の変動が観測されました。5 月 8 日に実施した現地調査により、硫黄山火口西側で火山灰の堆積が確認されました。噴気活動の活発化は過去にみられていた領域に限定されていますが、硫黄山火口のごく浅いところで繰り返しわずかな膨張がみられており、火口周辺に火山灰を降らせる噴火が発生する可能性があります。今後の活動の推移に注意する必要があります。また、硫黄山周辺では硫化水素にも注意してください。

【参考】火口周辺警報（噴火警戒レベル 2、火口周辺規制）発表中

えびの高原の硫黄山から概ね 1 km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒が必要です。

諏訪之瀬島

御岳火口では、噴火が時々発生し、集落で降灰が確認されるなど、活発な噴火活動が続いています。今後も小規模な噴火が発生する可能性があります。

【参考】火口周辺警報（噴火警戒レベル 2、火口周辺規制）発表中

火口から概ね 1 km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。

草津白根山

2014 年 5 月以降、火山活動の活発化を示していた北側噴気地帯の硫化水素ガス成分は、活発化以前の状態に戻りつつあります。また、高温の火山ガスに由来する湯釜湖水の成分も 2017 年に入って低下傾向に転じ、その傾向が続いています。また、火山性地震は少ない状態が続き、地殻変動観測では収縮傾向がみられています。これらのことから、小規模な噴火の可能性は低くなったと考えられます。しかし、湯釜火口及び水釜火口周辺の熱活動の高まった状態は継続しており、今後も活動の推移に注意する必要があります。

【参考】噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）発表中

湯釜火口から概ね 500m の範囲に影響を及ぼすごく小規模な火山灰等の噴出の可能性がありますので注意してください。

阿蘇山

GNSS 連続観測で観測されていた草千里深部にあると考えられているマグマだまりの膨張を示す基線の伸びは、2016 年 11 月中旬以降停滞しています。4 月 6 日から 26 日にかけて中岳第一火口直下の膨張を示すと考えられるわずかな傾斜変動が認められた後、4 月 27 日から 29 日にかけて孤立型微動の回数が一時的に増加し、4 月 28 日以降、火山ガス（二酸化硫黄）の 1 日あたりの放出量が、1,600~1,700 トンとやや多い状態となるなど、4 月から 5 月にかけて火山活動が一時的に高まりました。今後も火山活動が一時的にやや高まることもあり、火口内では土砂や火山灰が噴出する可能性があります。

【参考】噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）発表中

火口周辺では火山ガスに注意してください。

各地方の主な活火山の火山活動評価

1. 北海道地方

① アトサヌプリ

- 火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

【参考】噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）発表中

② 雌阿寒岳

- ポンマチネシリでは、火口直下浅部の火山性地震は少なく、噴煙活動も低調に経過しています。中マチネシリ火口付近及び東山腹の地震は、2016 年 12 月頃からやや増えています。今後の火山活動の推移に注意が必要です。

- 一方で、GNSS 連続観測では、2016 年 10 月下旬からみられている山体から東方にかけて伸びの変化が継続しており、干渉 SAR による解析では、この変化に対応する変動源は雌阿寒岳北東側に推定されます。

- 雌阿寒岳南方の徹別岳周辺、阿寒湖北側では、最近数年の間にまとまった地震活動がみられています。

- なお、雄阿寒岳では、2016 年 11 月から 2017 年 1 月頃にかけて、浅い地震がやや増加しました。また、干渉 SAR による解析で、2016 年 10 月から 2017 年 5 月の間に、膨張性の地殻変動がみられています。

【参考】噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）発表中

③ 大雪山

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

【参考】噴火予報（活火山であることに留意）
発表中

④ 十勝岳

- ・火山活動は概ね静穏に経過しています。
- ・一方、ここ数年、山体浅部の膨張、大正火口の噴煙量増加、地震増加、火山性微動の発生、発光現象及び地熱域の拡大などを確認しており、長期的にみると火山活動は高まる傾向にありますので、今後の活動の推移に注意が必要です。

【参考】噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）発表中

⑤ 樽前山

- ・火山活動は概ね静穏に経過しています。山頂溶岩ドーム周辺では、1999 年以降、高温の状態が続いていますので、突発的な火山ガス等の噴出の可能性があります。

【参考】噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）発表中

突発的な火山ガス等の噴出に注意してください。

⑥ 倶多楽

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。
- ・なお、4 月 27 日に大正地獄で小規模な熱湯噴出が発生しました。この現象は、2007 年～2011 年及び 2016 年 11 月～12 月にも間欠的に発生していますが、局所的な現象であるため、火山活動の活発化に直接つながるものではないと考えられます。

【参考】噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）発表中

⑦ 有珠山

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

【参考】噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）発表中

⑧ 北海道駒ヶ岳

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

【参考】噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）発表中

⑨ 恵山

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

【参考】噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）発表中

2. 東北地方

① 岩木山

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

【参考】噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）発表中

② 八甲田山

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

【参考】噴火予報（活火山であることに留意）
発表中

③ 十和田

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

【参考】噴火予報（活火山であることに留意）
発表中

④ 秋田焼山

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

【参考】噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）発表中

⑤ 岩手山

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

【参考】噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）発表中

⑥ 秋田駒ヶ岳

- ・女岳では、2009 年以降拡大傾向にあった地熱域は、2016 年 7 月以降大きな変化は認められていません。
- ・5 月 28 日に地震回数が一時的に増加しましたが、地震活動は概ね低調で、地殻変動及び噴気活動に変化はみられません。
- ・女岳では地熱活動が続いていますので、今後の火山活動の推移に注意が必要です。

【参考】噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）発表中

⑦ 烏海山

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

【参考】噴火予報（活火山であることに留意）発表中

⑧ 栗駒山

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

【参考】噴火予報（活火山であることに留意）発表中

⑨ 蔵王山

- ・2017年4月1日と3日に火山性微動が各1回発生しました。これらの微動発生に先行してわずかな傾斜変化がみられました。
- ・坊平観測点の傾斜計では、2017年3月26日から4月6日頃まで山頂の南側上がりを示すわずかな変化がみられました。その後、山頂の南側下がりに転じ、4月下旬以降は特段の変化は認められていません。
- ・2013年から2015年にかけて火山活動の高まりがみられました。その後も火山性地震や火山性微動が時々発生していますので、今後の火山活動の推移に注意が必要です。

【参考】噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）発表中

⑩ 吾妻山

- ・火山活動に特段の変化はありませんでした。
- ・大穴火口付近では熱活動が継続していますので、今後の火山活動の推移に注意が必要です。

【参考】噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）発表中

⑪ 安達太良山

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

【参考】噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）発表中

⑫ 磐梯山

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

【参考】噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）発表中

3. 関東・中部地方、伊豆・小笠原諸島

① 那須岳

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過し

ており、噴火の兆候は認められません。

【参考】噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）発表中

② 男体山

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

③ 日光白根山

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

【参考】噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）発表中

④ 草津白根山

- ・2014年3月以降地震活動が活発化しましたが、2015年半ば以降は静穏な状態が続いています。
- ・2014年3月頃から湯釜火口直下浅部の膨張を示す地殻変動がみられていましたが、2016年半ば以降、収縮に転じています。
- ・2014年5月以降、火山活動の活発化を示していた北側噴気地帯の硫化水素ガス成分は、活発化以前の状態に戻りつつあります。
- ・高温の火山ガスに由来する湯釜湖水の成分は2017年に入って低下傾向に転じ、その傾向が続いています。また、湯釜湖水の温度も2014年3月頃の活発化以前の状態に戻りつつあります。
- ・全磁力観測では、2014年5月頃からみられていた湯釜近傍地下の温度上昇を示唆する変化は、2016年夏頃から温度下降を示す変化に転じています。
- ・火山活動には静穏化の傾向がみられています。しかし、湯釜火口の北から北東内壁及び水釜火口の北から北東側にかけての斜面では、熱活動の活発な状態が継続しています。また、2015年9月以降、北側噴気地帯で噴気活動が活発になっており、今後も活動の推移に注意する必要があります。

【参考】噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）発表中

←平成29年6月7日に噴火警戒レベルを2（火口周辺規制）から1（活火山であることに留意）に引下げ湯釜火口から概ね500mの範囲に影響を及ぼすごく小規模な火山灰等の噴出の可能性があるので注意してください。また、ところどころで火山ガスの噴出がみられ、周辺の窪地や谷などでは滞留した火山ガスが高濃度になることがありますので、注意してください。

⑤ 浅間山

- GNSS 連続観測では、浅間山を南北に挟む基線で 2016 年秋頃からみられていた小さな伸びはほぼ停止しています。一方、傾斜計では、2016 年 12 月頃から浅間山の西側での膨張を示すと考えられる地殻変動が観測されています。
- 火山性地震は概ねやや多い状態で経過しています。発生している地震はその多くが BL 型地震です。
- 火山ガス（二酸化硫黄）の放出量は、2016 年 11 月頃から増加し、2017 年 1 月 18 日に 3,600 トンになるなど多い状態が継続しています。また、2016 年 12 月以降の夜間に高感度の監視カメラで確認できる程度の弱い火映を時々観測しています。
- 今後も小規模な噴火が発生する可能性があります。

【参考】火口周辺警報（噴火警戒レベル 2、火口周辺規制）発表中

山頂火口から概ね 2 km の範囲では弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。登山者等は危険な地域には立ち入らないよう地元自治体等の指示に従ってください。風下側では、火山灰だけでなく小さな噴石が遠方まで風に流されて降るため注意してください。

⑥ 新潟焼山

- 2015 年夏頃から山頂部東側斜面の噴煙がやや高く上がる傾向が認められ、12 月下旬からは噴煙量も多くなりました。2016 年秋から噴煙高度は低下していますが、2015 年夏以前と比べてやや高い状態が続いています。また、一部の噴気孔周辺で引き続き高温領域が認められています。
- 2016 年 5 月 1 日以降、振幅の小さな火山性地震がやや増加し、5 月 4 日以降は低周波地震も時々発生しましたが、その後、火山性地震は減少していますが、静穏だった 2014 年夏以前と比べてやや多い状態が続いています。
- GNSS による地殻変動観測では、2016 年 1 月頃から新潟焼山を南北に挟む基線で伸びがみられていましたが、2016 年夏以降は停滞傾向が認められます。
- 火山活動は 2015 年以前の静穏な状態に戻っておらず、今後も想定火口内（山頂から半径 1 km 以内）に影響を及ぼす程度のごく小規模な噴火が発生する可能性があります。

【参考】噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）発表中

今後の火山活動の推移に注意してください

い。山頂から半径 1 km 以内（想定火口内）は、2016 年 3 月 2 日から、地元自治体等により立入規制が実施されています。登山者等は地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

⑦ 弥陀ヶ原

- 弥陀ヶ原近傍の地震活動は静穏な状態が続いています。
- 立山地獄谷では 2012 年 6 月以降、噴気の拡大や噴気温度の上昇など熱活動の活発化がみられており、今後の火山活動の推移には注意する必要があります。

【参考】噴火予報（活火山であることに留意）発表中

今後の火山活動の推移に注意してください。また、立山地獄谷付近では火山ガスに注意してください。

⑧ 焼岳

- 火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

【参考】噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）発表中

⑨ 乗鞍岳

- 火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

【参考】噴火予報（活火山であることに留意）発表中

⑩ 御嶽山

- 2014 年噴火後は、噴火の発生はありません。
- 2014 年 9 月 27 日に噴火が発生した剣ヶ峰山頂の南西側の火口列からの噴煙活動は、継続していますが、長期的には低下しています。
- 山頂付近直下の火山性地震の発生回数は、2015 年中頃から 1 ヶ月あたり 50~90 回前後であったのが、2017 年 4 月及び 5 月は 1 ヶ月あたり 30 回程度と徐々に低下しています。
- 地殻変動観測では、2014 年 10 月以降地下浅部が変動源とみられる山体の収縮が継続しています。
- 以上のように、火口列からの噴煙活動や山頂直下付近の地震活動は、その後もゆっくりと低下が続いており、現在の火山活動には静穏化の傾向がみられることから、噴火が発生する可能性は低くなっています。

【参考】火口周辺警報（噴火警戒レベル 2、火口周辺規制）発表中

火口から概ね 1 km の範囲では、噴火に伴

う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。風下側では降灰及び風の影響を受ける小さな噴石に注意してください。

⑪ 白山

- ・火山活動は概ね静穏に経過しています。
- ・3月17日、4月20日に山頂付近の深さ3～4kmを震源とする火山性地震が一時的に増加しましたが、低周波地震や火山性微動は観測されず、新たな噴気等もみられませんでした。

【参考】噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）発表中

⑫ 富士山

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

【参考】噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）発表中

⑬ 箱根山

- ・地震活動は低調で、顕著な地殻変動は観測されていません。
- ・2015年以降、大涌谷周辺の想定火口域では活発な噴気活動がみられており、土砂の噴出を伴うようなごく小規模な火山ガス等の噴出現象が発生する可能性があります。

【参考】噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）発表中

大涌谷周辺の想定火口域では、噴気や火山ガスに引き続き注意してください。

⑭ 伊豆東部火山群

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

【参考】噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）発表中

⑮ 伊豆大島

- ・地殻変動観測によると、長期にわたって、地下深部へのマグマ供給によると考えられる島全体の膨張傾向が継続しており、長期的には火山活動は徐々に高まっています。
- ・また、約1年周期で膨張と収縮を示す地殻変動がみられ、膨張に伴い地震活動が活発化しており、2016年11月頃からの伸びに伴う地震活動が続いています。
- ・三原山山頂火口内及びその周辺の噴気活動は低調に経過しており、ただちに噴火の兆候は認められませんが、長期的には山体の膨張が

継続していることから、今後の火山活動に注意してください。

【参考】噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）発表中

⑯ 新島

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

【参考】噴火予報（活火山であることに留意）発表中

⑰ 神津島

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

【参考】噴火予報（活火山であることに留意）発表中

⑱ 三宅島

- ・GNSS連続観測では、2017年1月頃から山体深部の膨張を示す地殻変動は停滞しています。
- ・火山ガス（二酸化硫黄）の放出量は、長期的には緩やかな減少傾向にあり、最近は1日あたり数十トン以下と少ない状態が続いていますが、2016年5月には、火山性微動とそれに伴う傾斜変動、一時的な火山ガスの増加がみられており、今後も同様の火山ガス等の噴出現象が発生する可能性があります。

【参考】噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）発表中

山頂火口及び火口内南側の主火孔から500m以内では火山灰噴出に引き続き警戒してください。

⑲ 八丈島

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

【参考】噴火予報（活火山であることに留意）発表中

⑳ 青ヶ島

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

【参考】噴火予報（活火山であることに留意）発表中

㉑ ベヨネース列岩

- ・今年3月下旬以降、明神礁付近で変色水が時々観測されています。
- ・火山活動はやや活発な状態が続いており、今

後、小規模な海底噴火が発生する可能性があります。

【参考】噴火警報（周辺海域警戒）発表中

←平成 29 年 3 月 24 日に噴火予報（活火山であることに留意）から噴火警報（周辺海域警戒）に引上げ

明神礁付近及び周辺海域では海底噴火に警戒してください。また、周辺海域では海底噴火による浮遊物（軽石等）に注意してください。

② 西之島

- ・ 4 月 20 日に実施した上空からの観測で、噴火の再開が確認され、島の中央部やや南に位置する火砕丘から大きな噴石の飛散と、北山腹から溶岩の流出が確認されました。
- ・ 西之島に設置した地震計及び空振計の記録には、4 月 18 日 07 時 37 分と 18 日 08 時 00 分に空振を伴う地震と、その後断続的に発生する火山性微動がみられました。また、気象衛星ひまわりの観測によると、19 日夜から、西之島付近で周囲に比べて地表面温度の高い領域を確認しています。これらのことから、18 日に噴火が発生し、19 日には溶岩の流出が顕著になったと推定されます。
- ・ その後も、火砕丘北山腹及び北麓からの溶岩の流出は続き、5 月 2 日の上空からの観測では、溶岩は島の西岸及び南西岸から海に流れ込み、それにより、島の面積は 2016 年 9 月 15 日の 2.68km² から 2.75km² に拡大していることが確認されました。
- ・ 5 月 26 日に実施した現地調査では、火山ガス（二酸化硫黄）の放出量は 1 日あたり 500 トンで、前回の噴火活動中の 2015 年 10 月に実施した観測値と同程度でした。
- ・ 溶岩が流出し始めたと推定される 4 月 18 日 08 時頃から 4 月 21 日までのおよそ 3 日間の平均噴出率は約 10 万 m³/day でしたが、4 月 21 日から 4 月 25 日までの平均噴出率は約 19 万 m³/day とやや増加していました。この値は 2013～2015 年噴火時の平均噴出率と同程度です。
- ・ SAR による解析では、島の西側と南西側において、海岸線の拡大が検出されました。島の面積の拡大率は 2014～2015 年噴火時と同程度です。
- ・ 以上のように、今回の噴火は、2013～2015 年の噴火活動と同様に島の中央部やや南に位置する火砕丘とその周辺で発生しており、また噴火様式や噴出率も 2013～2015 年の噴火活動と同様と考えられます。今後も噴火活動が続く可能性があります。

【参考】火口周辺警報（入山危険）発表中

←平成 29 年 4 月 20 日に噴火予報（活火山であることに

留意）から火口周辺警報（入山危険）に引上げ

火口から概ね 1.5km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。

③ 硫黄島

- ・ GNSS 連続観測では、2014 年 2 月下旬頃から隆起・停滞を繰り返しており、2016 年 9 月頃から隆起傾向がやや加速しています。
- ・ 火山性地震は増減を繰り返しながらもやや多い状態が続いています。
- ・ 島西部の阿蘇台陥没孔や井戸ヶ浜では引き続き噴気を観測しています。
- ・ 今後も小規模な噴火が発生する可能性があります。

【参考】火口周辺警報（火口周辺危険）発表中

従来から小規模な噴火が発生した地点およびその周辺では警戒してください。

④ 福岡ノ場

- ・ 長期間にわたり変色水が確認されており、今後も小規模な海底噴火が発生すると予想されます。

【参考】噴火警報（周辺海域警戒）発表中

周辺海域では海底噴火に警戒してください。また、周辺海域では海底噴火による浮遊物（軽石等）に注意してください。

4. 九州地方・南西諸島

① 鶴見岳・伽藍岳

- ・ 火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

【参考】噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）発表中

② 九重山

- ・ GNSS 連続観測によると、2012 年頃から認められていた一部の基線の伸びの傾向は、2016 年 1 月頃から鈍化しています。
- ・ その他の観測データには特段の変化はありませんが、今後の火山活動の推移に注意が必要です。

【参考】噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）発表中

③ 阿蘇山

- ・ 中岳第一火口では、2016 年 10 月 8 日に爆発的噴火が発生した後、噴火は発生していません。
- ・ GNSS 連続観測で観測されていた草千里深部に

あると考えられているマグマだまりの膨張を示す基線の伸びは、2016 年 11 月中旬以降停滞しています。

- ・ 4 月 6 日から 26 日までに傾斜計では、中岳第一火口直下の膨張を示すと考えられるわずかな変動が認められました。
- ・ 4 月 27 日から 5 月 8 日まで、火山ガス（二酸化硫黄）の放出量や孤立型微動の回数等が増加するなど一時的に火山活動がやや高まった状態で経過しました。
- ・ 火山ガス（二酸化硫黄）の 1 日あたりの放出量は、4 月 19 日までは 500～1,400 トン程度と概ねやや少ない状態で経過しましたが、4 月 28 日以降は、火山ガス（二酸化硫黄）の 1 日あたりの放出量が、1,600 トン～1,700 とやや多い状態で経過し、5 月 8 日以降は、700 トン～1,700 トンと増減を繰り返しながらやや多い状態で経過しました。
- ・ 火山性微動の振幅は、2016 年 10 月 9 日以降は 3 月に時々やや大きな状態となりましたが概ね小さな状態で経過しました。
- ・ 孤立型微動は、4 月 27 日から 29 日にかけて回数が増加しましたが、5 月 2 日以降は少なくなりました。
- ・ 中岳第一火口内に緑色の湯だまりを確認し、湯だまり量は中岳第一火口底の 10 割でした。土砂噴出は観測されていません。
- ・ 期間中、夜間に高感度の監視カメラで火映を時々観測しました。中岳第一火口内の火口壁の一部が赤熱し火映が発生しているものと推定されます。
- ・ 今後も火山活動が一時的にやや高まることがあり、火口内では土砂や火山灰の噴出する可能性があります。

【参考】噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）発表中

火口周辺では火山ガスに注意してください。なお、これまでの噴火による火山灰などの堆積等により道路や登山道等が危険な状態となっている可能性があるため、引き続き地元地方公共団体等が行う立入規制に従ってください。

④ 雲仙岳

- ・ 火山活動は概ね静穏に経過しています。長期的には 2010 年頃から火山性地震の活動がやや活発となっていますので、今後の火山活動の推移に注意が必要です。

【参考】噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）発表中

⑤ 霧島山

えびの高原（硫黄山）周辺

- ・ 硫黄山火口周辺では、2015 年 12 月から熱異常域の拡大や噴気の量の増加がみられています。2017 年 2 月以降は、硫黄山の南西から西側でもみられるようになりました。
- ・ 2017 年 4 月 25 日 11 時頃から硫黄山南西観測点の傾斜計で、硫黄山方向が隆起する傾斜変動が繰り返され、6 月 20 日現在も継続しています。その他の傾斜計には特段の変化は認められていません。これは、この傾斜変化が硫黄山の地下の局所的な変動によって生じているためと考えられます。
- ・ 干渉 SAR による解析では、硫黄山の南西部で衛星に近づく変動がみられ、その他の地域では明瞭な変動は認められませんでした。
- ・ GNSS 連続観測では、火山活動によると考えられる特段の変化は認められません。
- ・ 5 月 8～9 日に行った精密水準測量では、3 月から 5 月にかけて硫黄山北東部を中心に沈降傾向がみられ、深さ 700m に推定される圧力源は収縮傾向でした。また、硫黄山西麓の噴気が活発になった地域では、3 月に沈降がみられていましたが、5 月には反転して局所的な隆起がみられています。
- ・ 4 月 27 日から 28 日にかけては噴気の高さが一時的に稜線上 200m まで上がりました。
- ・ 5 月 8 日に実施した現地調査により、硫黄山火口内の噴気孔から西側に約 200m 程度の範囲で、火山灰が堆積しているのが確認されました。この現象は、地表下のごく浅い所にある熱水溜まりの圧力が高まり、地表を破砕し生じた土砂噴出と考えられます。
- ・ 5 月 15 日及び 16 日に実施した現地調査では、火山ガス（二酸化硫黄）の放出量が両日とも 1 日あたり 10 トンと、2015 年 12 月以降の活動で初めて観測されました。
- ・ 硫黄山西麓の湧水の C1 と SO₄ のモル比が 1 月 17 日から 4 月 27 日にかけて 0.16 から 0.50 に増加しました。これは、地下浅部への高温の火山ガスの供給量の増加によると考えられます。また、5 月 15 日には硫黄山噴気域近傍の湧水で、高温の火山ガスの寄与が大きいと考えられる C1/SO₄ モル比が 11 と高い値が認められています。
- ・ 火山性地震は、少ない状態で経過しましたが、4 月下旬には、4 月 25 日 11 時頃からの傾斜変動に先立ちわずかに増加しました。火山性微動は、観測されていません。
- ・ 硫黄山火口の噴気活動の拡大は過去に活動がみられていた領域に限定されていますが、ごく浅いところで繰り返しわずかな膨張がみられており、火口周辺に火山灰を降らせる噴火が発生する可能性があります。

- ・今後の活動の推移に注意する必要があります。また、硫黄山周辺では高濃度の硫化水素が確認されていますので、注意してください。

【参考】火口周辺警報（噴火警戒レベル 2、火口周辺規制）発表中

←平成 29 年 5 月 9 日に噴火警戒レベルを 1（活火山であることに留意）から 2（火口周辺規制）に引上げ
えびの高原の硫黄山から概ね 1 km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。風下側では、降灰及び風の影響を受ける小さな噴石（火山れき）に注意してください。

新燃岳

- ・新燃岳では、2011 年 9 月 7 日を最後に噴火は発生していません。
- ・火山性地震は少ない状態で経過しました。6 月 11 日に 2016 年 9 月 17 日以来となる火山性微動を観測しました。
- ・GNSS 連続観測によると、新燃岳の北西数 km の地下深くにあると考えられるマグマだまりの膨張を示す地殻変動は、2015 年 1 月頃から停滞しています。
- ・白色の噴煙は、ほとんどが火口内で消散する程度でした。
- ・2016 年 10 月 18 日に実施した新燃岳火口縁からの現地調査では、火口内の所々から弱い噴気が上がっており、その周辺が弱い熱異常域となっていました。
- ・2015 年 11 月頃から新燃岳火口の西側斜面の割れ目の下方で、やや温度の高い部分が引き続き観測されています。
- ・活火山であることから、火口内及び西側斜面の割れ目付近では、火山灰や火山ガス等の規模の小さな噴出現象が突発的に発生する可能性があります。

【参考】噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）発表中

←平成 29 年 5 月 26 日に噴火警戒レベルを 2（火口周辺規制）から 1（活火山であることに留意）に引下げ
火口内及び西側斜面の割れ目付近では、突発的な噴出に伴う火山灰や火山ガス等に注意してください。なお、これまでの噴火による火山灰などの堆積等により道路や登山道等が危険な状態となっている可能性があるため、引き続き地元自治体等が行う立入規制等に留意してください。

御鉢

- ・今のところ噴火の兆候は認められませんが、時折地震の増加や火山性微動の発生がみられることから、今後の火山活動の推移に注意が必要です。

【参考】噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）発表中

⑥ 桜島

- ・桜島の噴火活動は、活発な状態で経過しました。
- ・南岳山頂火口では、3 月 25 日 18 時 03 分に昨年(2016 年) 6 月 3 日以来の噴火が発生し、火砕流が南側へ約 1,100m 流下しました。今期間(2017 年 1 月から 5 月 31 日)、噴火が 6 回発生しました。爆発的噴火は観測されませんでした。
- ・昭和火口では、4 月 26 日に昨年 7 月 26 日以来の噴火が発生しました。今期間、噴火は 66 回発生しました。爆発的噴火は 11 回発生し、大きな噴石が最大で 5 合目（昭和火口より 500~800m）まで達しました。噴煙の高さが火口縁上 3,000m 以上の噴火は 8 回発生し、最も高く上がったのは 5 月 2 日の 4,000m でした。昭和火口の噴火では火砕流は発生しませんでした。
- ・浅い地震（B 型地震）は少ない状態で経過しましたが、南岳山頂火口で噴火が発生する前の 3 月 19 日からやや増加し、4 月上旬頃までやや多い状況でした。やや深い地震（A 型地震）は、少ない状態で経過しました。震源は、南岳直下の海拔下 0~3 km 付近、桜島西部の海拔下 3~9 km 付近、及び桜島東部の 5 km 付近に分布しました。
- ・桜島内の傾斜計では、2015 年 8 月 15 日の急激な変動以降、顕著な山体膨張を示す変動は認められません。
- ・GNSS 連続観測では、2015 年 8 月 15 日の急激な変動以降、顕著な山体膨張を示す急激な変動は認められません。始良カルデラ地下深部へのマグマの供給を示すと考えられる地盤の膨張傾向は継続しています。
- ・1 日あたりの火山ガス（二酸化硫黄）の放出量は、2 月から 3 月にかけては 100~300 トンと少ない状況でしたが、4 月は 300~500 トン、5 月は 300~1,700 トンとやや増加しました。
- ・以上のように、桜島の噴火活動は、引き続き現在と同様な噴火活動が継続すると思われる。

【参考】火口周辺警報（噴火警戒レベル 3、入山規制）発表中

昭和火口及び南岳山頂火口から概ね 2 km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流に警戒してください。風下側では火山灰だけでなく小さな噴石（火山れき）が遠方まで風に流され

て降るため注意してください。爆発的噴火に伴う大きな空振によって窓ガラスが割れるなどのおそれがあるため注意してください。また、降雨時には土石流に注意してください。

⑦ 薩摩硫黄島

- ・1月に増加した火山性地震は、1月下旬以降は徐々に減少し2月5日以降は日回数が10回未満と少ない状態になりました。火山性微動は2015年8月以降、観測されていません。
- ・1月10日、12日、2月8日に実施した現地調査による火山ガス（二酸化硫黄）の放出量は昨年と同様にやや少なく、1月5日、2月21日に鹿児島県からの協力を得て実施した上空からの観測では、噴煙や山体の熱異常域の状況に、地震の増加前と比べて特段の変化は認められていません。
- ・地殻変動観測では、火山活動に伴う特段の変化は認められていません。
- ・これらのことから、1月に一時的に高まった火山活動は低下した状態が継続しています。
- ・活火山であることから、火口内では火山灰等が噴出する可能性があります。

【参考】噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）発表中

←平成29年2月24日に噴火警戒レベルを2（火口周辺規制）から1（活火山であることに留意）に引下げ
火口内では突発的な噴出に伴う火山灰等に注意してください。また、火口付近では火山ガスに注意してください。なお、地元自治体を実施している立ち入り規制等に留意してください。

⑧ 口永良部島

- ・新岳では、2015年6月19日の噴火後、噴火は観測されていません。
- ・火山性地震は少ない状態で経過しましたが、2月には月回数で195回とやや多い状態となりました。3月以降は再び少ない状態で経過しています。2016年10月以降火山性微動は観測されていません。
- ・現地調査では、2015年9月以降、新岳火口の西側割れ目付近の熱異常域の温度の低下が認められていますが、噴煙は最高で火口縁上800mまで上がるなど、2014年8月3日の噴火前よりは多い状態が続いています。火映は2015年5月29日の噴火以降観測されていません。
- ・GNSS連続観測では、火山活動によると考えられる変化は認められません。
- ・火山ガス（二酸化硫黄）の放出量は、2016年5月以降、1日あたり概ね100～200トンで

経過していましたが、4月以降は200～500トンで経過しておりわずかに増加しています。

- ・2015年5月29日と同程度の噴火が発生する可能性は低いものの、火山ガス（二酸化硫黄）の放出量は、2014年8月の噴火前よりもやや多い状態で経過していることから、引き続き新岳火口から概ね2km以内への大きな噴石の飛散、あるいは火砕流の流下を伴う噴火が発生する可能性があります。

【参考】火口周辺警報（噴火警戒レベル3、入山規制）発表中

新岳火口から概ね2kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流に警戒してください。向江浜地区から新岳の南西にかけて、火口から海岸までの範囲では火砕流に警戒してください。風下側では、火山灰だけでなく小さな噴石が風に流されて降るため注意してください。降雨時には土石流の可能性があるため注意してください。

⑨ 諏訪之瀬島

- ・御岳火口では、噴火が時々発生し、爆発的噴火が2月に5回、5月に2回発生するなど、活発な火山活動が継続しています。
- ・十島村役場諏訪之瀬島出張所によると、3月25日に集落（御岳の南南西約4km）で降灰が確認されました。また、5月16日に肉眼で火映が確認されました。
- ・諏訪之瀬島南西近海を震源とするA型地震が4月13日に一時的に増加しました。
- ・火山性微動は、時々発生しています。
- ・諏訪之瀬島では活発な噴火活動が続いており、今後も小規模な噴火が発生する可能性があります。

【参考】火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）発表中

火口から概ね1kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。風下側では火山灰だけでなく小さな噴石が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意してください。

●世界の主な地震

平成 29 年（2017 年）6 月に世界で発生したマグニチュード（M）6.0 以上または被害を伴った地震の震央分布を図 1 に示す。また、その震源要素等を表 1 に示す。



図 1 平成 29 年（2017 年）6 月に世界で発生した M6.0 以上または被害を伴った地震の震央分布

表 1 平成 29 年（2017 年）6 月に世界で発生した M6.0 以上または被害を伴った地震の震源要素等

番号	地震発生時刻	緯度	経度	深さ (km)	mb	Mj	Mw	震央地名	備考 (被害状況など)	北西	遠地
1	03日07時24分	N54° 1.7'	E170° 54.6'	8			6.8	アリューシャン列島付近			
2	12日21時28分	N38° 54.9'	E026° 22.3'	12			6.3	エーゲ海	死者1人等(AFP通信による)		
3	14日16時29分	N14° 58.9'	W091° 59.3'	94			(6.9)	グアテマラ	死者5人		○
4	15日09時26分	S30° 30.8'	W178° 3.7'	34			6.0	ニュージーランド、ケルマデック諸島			
5	18日07時26分	S24° 5.6'	E179° 36.4'	511			6.1	フィジー諸島南方沖			
6	22日21時31分	N13° 45.2'	W090° 56.9'	47			6.8	グアテマラ沿岸付近			
7	25日07時02分	N35° 52.1'	E137° 35.2'	7		5.6	(5.2)	長野県南部	軽傷2人等		
8	26日02時42分	S19° 40.0'	W176° 27.8'	38			6.2	フィジー諸島付近			
9	29日03時20分	S30° 18.2'	W177° 38.8'	10			6.0	ニュージーランド、ケルマデック諸島			
10	29日16時03分	S31° 6.1'	E179° 57.0'	392			6.0	ケルマデック諸島付近			

- ・震源要素は米国地質調査所(USGS)ホームページの” Earthquake Archive Search & URL Builder” (<http://earthquake.usgs.gov/earthquakes/search/>) による (2017 年 7 月 3 日現在)。ただし、日本付近で発生した地震の震源要素、Mj の欄に記載したマグニチュード、Mw の欄に括弧を付して記載したモーメントマグニチュードは、気象庁による。
- ・被害状況は、出典のないものは OCHA (UN Office for the Coordination of Humanitarian Affairs : 国連人道問題調整事務所)、国内は、総務省消防庁による。
- ・地震発生時刻は日本時間 [日本時間=協定世界時+9時間] である。
- ・「北西」欄の○印は、気象庁が北西太平洋域に提供している北西太平洋津波情報 (NWPTA) (地震・火山月報 (防災編) 2005 年 5 月号参照) を発表したことを表す。
- ・「遠地」欄の○印は、気象庁が「遠地地震に関する情報」を発表したことを表す。
- ・深さに「*」を付したものは、気象庁による CMT 解のセントロイドの深さを表す。

6 月 14 日 グアテマラの地震

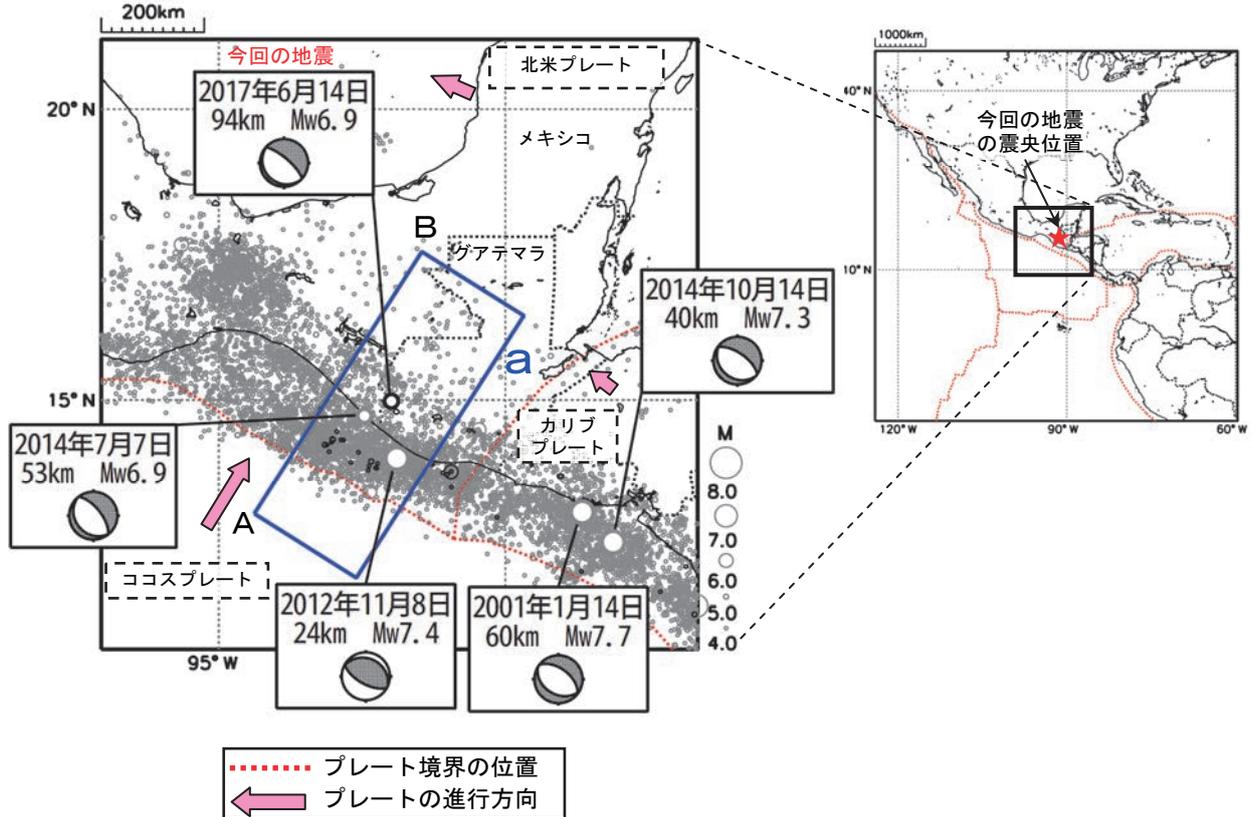
2017 年 6 月 14 日 16 時 29 分（日本時間、以下同じ）に、グアテマラの深さ 94km で Mw6.9 の地震が発生した。この地震は、発震機構（気象庁による CMT 解）は、ココスプレートが沈み込む方向に張力軸を持つ型で、北米プレートに沈み込むココスプレートの内部で発生した。

気象庁は、この地震について同日 16 時 55 分に遠地地震に関する情報（日本への津波の心配なし）を発表した。この地震により、死者 5 人などの被害が生じた。

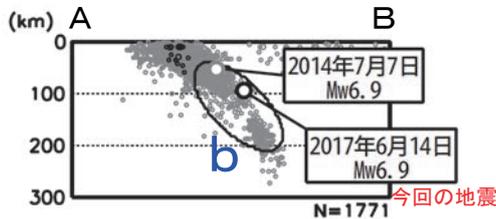
2000 年 1 月以降の地震活動を見ると、今回の地震の震源周辺（領域 b）では、2014 年 7 月 7 日には、今回の地震と同じココスプレートの内部で Mw6.9 の地震が発生し、メキシコとグアテマラで死者 6 人などの被害が生じた。また、今回の地震から東南東方向に 600km 離れた場所では、2001 年 1 月 14 日に、Mw7.7 の地震が発生し、死者 852 人、負傷者 4723 人などの被害が生じた（死者の大半は山崩れによる）。

震央分布図

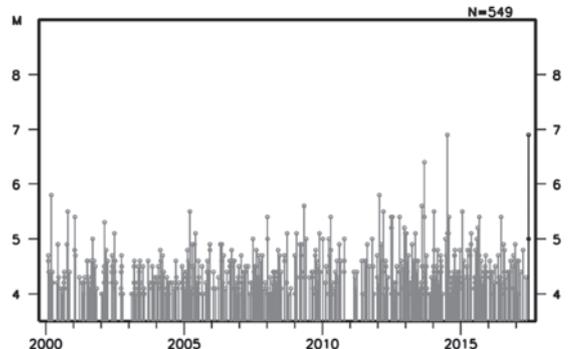
（2000 年 1 月 1 日～2017 年 6 月 30 日、深さ 0～300km、M \geq 4.0）



領域 a 内の断面図 (A-B 投影)



領域 b 内の M-T 図



※本資料中、今回の地震及び 2014 年 7 月 7 日、2014 年 10 月 14 日の地震の発震機構と Mw は気象庁による。その他の地震の発震機構及び Mw は Global CMT による。地震の震源要素は米国地質調査所 (USGS) による。今回の地震の被害は、OCHA (UN Office for the Coordination of Humanitarian Affairs: 国連人道問題調整事務所) による (6 月 16 日現在)。2014 年 7 月 7 日の地震の被害は、メキシコ・チアパス州政府 (2014 年 7 月 8 日現在) 及びグアテマラ大統領府 (2014 年 7 月 7 日現在) による。2001 年 1 月 14 日の地震の被害は、宇津の「世界の被害地震の表」による。プレート境界の位置と進行方向は Bird (2003) *より引用。

*参考文献

Bird, P. (2003) An updated digital model of plate boundaries, *Geochemistry Geophysics Geosystems*, 4(3), 1027, doi:10.1029/2001GC000252.

● 世界の主な火山活動

平成 29 年（2017 年）6 月に噴火が報告された主な火山（日本を除く）*は以下のとおり。

シベルチ（Sheveluch） ロシア（図中 A） 標高 3,283m

噴火が続くシベルチでは、噴煙高度が海拔 10km を超える爆発的噴火が度々発生した。

ベズィミアニ（Bezymianny） ロシア（図中 B） 標高 2,882m

6 月 16 日に発生した爆発的噴火では、火山灰を含む噴煙が海拔 12km まで上がり、東から南東に広がった。

ボゴスロフ（Bogoslof） アメリカ（図中 C） 標高 150m

噴火が続くボゴスロフでは、6 月 10 日に火山灰を含む噴煙が海拔 10.4km まで上がり、北西に広がった。また、23 日には火山灰を含む噴煙が海拔 11km まで上がり、東に広がった。



図 平成 29 年（2017 年）6 月に噴火した主な火山（日本を除く）*

* 米国スミソニアン自然史博物館のホームページ“Global Volcanism Program | Smithsonian / USGS Weekly Volcanic Activity Report” (http://www.volcano.si.edu/reports_weekly.cfm) による。日付は全て現地時間。火山名の読み方は、原則として気象庁：「火山観測指針（参考編）」による。

●付録 1. 震度 1 以上を観測した地震の表

※ 震度データは、震度データベース検索 [気象庁ホームページ: <http://www.data.jma.go.jp/svd/eqdb/data/shindo/index.php>] で確認できる。震源要素及び震度は再調査後、修正することがある。確定した震源要素は地震月報（カタログ編）[気象庁ホームページ: <http://www.data.jma.go.jp/svd/eqev/data/bulletin/index.html>] に掲載する。

※ 震度データは都道府県別に掲載し、各観測点の末尾に計測震度（平成 25 年 12 月 地震・火山月報（防災編）の付録 2 参照）を記す。なお、* のついてある地点は、地方公共団体もしくは国立研究開発法人防災科学技術研究所の震度観測点、（注）を付した地震については、近接した地域でほぼ同時刻に発生した地震であるため震度の分離ができないことを示す。震源の深さの後に「D」を付した地震は、その深さに仮定して震源決定していることを示す。また、本文中で震源の深さに CMT 解による深さを採用している場合があり、本表の震源決定による深さと異なる場合がある。震度 3 以上を観測した地震については、震源要素を **太字** で表示する。

地震番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度（計測震度）	緯度	経度	深さ	規模
1	1 07 35	伊予灘 愛媛県 山口県 1 伊方町湊浦* 1 八幡浜市保内町* 1 周防大島町東和総合支所*	33° 33.4' N	131° 55.1' E	64km	M: 3.2
2	1 12 03	天草灘 鹿児島県 1 鹿児島出水市野田町*	31° 58.3' N	130° 10.5' E	9km	M: 2.6
3	1 13 04	熊本県熊本地方 熊本県 1 菊池市旭志* 1 益城町木山* 1 熊本北区植木町* 1 熊本西区春日* 1 熊本中央区大江*	32° 46.8' N	130° 49.5' E	11km	M: 2.8
4	2 02 02	岐阜県飛騨地方 岐阜県 1 白川村鳩谷* 1 飛騨市河合町元田*	36° 13.9' N	136° 54.4' E	8km	M: 3.0
5	2 17 35	沖縄本島近海 沖縄県 1 国頭村辺土名*	26° 23.2' N	128° 37.5' E	24km	M: 4.0
6	2 18 20	長野県北部 長野県 1 野沢温泉村豊郷* 1 栄村北信*	36° 54.8' N	138° 32.5' E	0km	M: 2.0
7	3 02 26	宮古島近海 沖縄県 1 宮古島市城辺福北* 1 宮古島市城辺福西* 1 宮古島市下地* 1 宮古島市平良池間* 1 宮古島市上野新里* 1 宮古島市平良下里* 1 宮古島市平良狩俣* 1 宮古島市伊良部国仲*	24° 15.1' N	126° 16.1' E	68km	M: 5.3
8	3 18 02	鳥取県中部 鳥取県 1 北栄町土下*	35° 25.4' N	133° 49.4' E	9km	M: 2.1
9	3 18 46	千葉県東方沖 千葉県 1 銚子市川口町* 1 銚子市若宮町*	35° 47.7' N	140° 54.3' E	13km	M: 3.5
10	3 20 58	鳥取県中部 鳥取県 1 倉吉市葵町* 1 北栄町土下* 1 湯梨浜町龍島*	35° 25.4' N	133° 49.4' E	9km	M: 2.6
11	4 07 26	福島県沖 宮城県 福島県 1 岩沼市桜* 1 いわき市三和町* 1 南相馬市鹿島区西町* 1 双葉町両竹* 1 玉川村小高* 1 浪江町幾世橋* 1 檜葉町北田* 1 いわき市小名浜* 1 南相馬市原町区高見町* 1 南相馬市原町区三島町* 1 大熊町野上*	37° 09.0' N	141° 32.6' E	36km	M: 4.2
12	4 09 15	千葉県北東部 千葉県 1 一宮町一宮* 1 東金市東新宿* 1 大網白里市大網* 1 白子町関* 1 長南町長南* 1 山武市埴谷* 1 東金市東岩崎* 1 山武市蓮沼* 1 九十九里町片貝* 1 東金市日吉台* 1 長生村本郷* 1 横芝光町宮川* 1 市原市姉崎*	35° 27.8' N	140° 24.8' E	31km	M: 2.9
13	4 09 56	千葉県北東部 千葉県 3 大網白里市大網* 3 一宮町一宮* 3 東金市東新宿* 3 東金市東岩崎* 3 九十九里町片貝* 3 市原市姉崎* 3 千葉中央区都町* 2 東金市日吉台* 2 長南町長南* 2 山武市埴谷* 2 山武市殿台* 2 山武市蓮沼* 2 白子町関* 2 横芝光町栗山* 2 山武市蓮沼* 2 長柄町桜谷* 2 山武市松尾町富士見台* 2 横芝光町宮川* 2 山武市松尾町五反田* 2 千葉緑区おゆみ野* 2 いすみ市岬町長者* 2 長生村本郷* 2 千葉稲毛区園生町* 2 千葉若葉区小倉台* 2 千葉中央区中央港* 2 千葉中央区千葉市役所* 2 いすみ市国府台* 2 芝山町小池* 2 茂原市道表* 2 匝瑳市今泉* 2 いすみ市大原* 2 四街道市鹿渡* 2 睦沢町下之郷* 2 千葉美浜区ひび野* 2 習志野市鷺沼* 2 八街市八街* 2 成田市中台* 2 匝瑳市八日市場* 2 千葉美浜区稲毛海岸* 1 香取市仁良* 1 千葉花見川区花島町* 1 成田市花崎町* 1 市原市国分寺台中央* 1 大多喜町大多喜* 1 長柄町大津倉* 1 鎌ヶ谷市新鎌ヶ谷* 1 勝浦市墨名* 1 勝浦市新官* 1 旭市南堀之内* 1 白井市復* 1 旭市萩園* 1 多古町多古* 1 市川市八幡* 1 木更津市富士見* 1 船橋市湊町* 1 旭市高生* 1 君津市久留里市場* 1 酒々井町中央* 1 八千代市大和田新田* 1 浦安市猫実* 1 野田市鶴奉* 1 成田国際空港* 1 旭市* 1 浦安市日の出* 1 印西市大森* 1 香取市佐原諏訪台*	35° 27.7' N	140° 24.9' E	30km	M: 4.4

地震 番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
		富里市七栄*0.8 神崎町神崎本宿*0.8 香取市佐原平田=0.8 千葉佐倉市海隣寺町*0.8 印西市美瀬*0.7 鴨川市横渚*0.7 柏市旭町=0.7 栄町安食台*0.6 柏市大島田*0.5 香取市岩部*0.5 鴨川市八色=0.5				
		茨城県 1 潮来市辻*1.1 稲敷市結佐*1.0 潮来市堀之内=0.9 取手市寺田*0.9 坂東市岩井=0.9 稲敷市柴崎*0.9 茨城鹿嶋市鉢形=0.8 牛久市城中町*0.7 稲敷市江戸崎甲*0.7 石岡市柿岡=0.6 土浦市常名=0.6 笠間市石井*0.5				
		埼玉県 1 さいたま緑区中尾*0.7 草加市高砂*0.5 春日部市金崎*0.5				
		東京都 1 東京江戸川区中央=1.1 東京足立区神明南*0.9 東京江戸川区鹿骨*0.9 東京江戸川区船堀*0.9 東京千代田区大手町=0.7 東京葛飾区立石*0.6 東京品川区北品川*0.6 東京品川区平塚*0.6 東京大田区多摩川*0.5				
		神奈川県 1 横浜中区山手町=0.9 川崎宮前区宮前平*0.7 川崎川崎区中島*0.5 三浦市城山町*0.5				
14	4 10 23	千葉県北東部 千葉県 1 東金市東岩崎*0.9 一宮町一宮=0.9 東金市東新宿=0.7 大網白里市大網*0.7 白子町関*0.6	35° 28.1' N	140° 25.0' E	28km	M: 2.8
15	4 11 09	千葉県北東部 千葉県 3 大網白里市大網*2.6 長南町長南*2.5 白子町関*2.5 2 一宮町一宮=2.4 東金市日吉台*2.3 東金市東新宿=2.3 市原市姉崎*2.3 東金市東岩崎*2.2 九十九里町片貝*2.2 千葉中央区都町*2.1 山武市蓮沼二*2.1 長生村本郷*2.0 山武市殿台*2.0 長柄町桜谷*2.0 横芝光町栗山*2.0 山武市埴谷*1.9 千葉若葉区小倉台*1.9 茂原市道表*1.9 山武市松尾町富士見台=1.8 千葉緑区おゆみ野*1.7 山武市蓮沼ハ*1.7 千葉稲毛区園生町*1.6 山武市松尾町五反田*1.6 千葉中央区中央港=1.6 習志野市鷺沼*1.6 横芝光町宮川*1.6 いすみ市国府台*1.6 四街道市鹿渡*1.5 睦沢町下之郷*1.5 1 芝山町小池*1.4 香取市仁良*1.4 千葉中央区千葉市役所*1.4 鎌ヶ谷市新鎌ヶ谷*1.4 市原市国分寺台中央*1.3 千葉美浜区ひび野=1.3 いすみ市岬町長者*1.3 千葉美浜区稲毛海岸*1.2 成田市花崎町=1.2 匝瑳市今泉*1.2 千葉花見川区花島町*1.2 いすみ市大原*1.2 長柄町大津倉=1.2 旭市南堀之内*1.1 白井市復*1.1 成田市中台*1.1 匝瑳市八日市場ハ*1.1 君津市久留里市場*1.0 大多喜町大多喜*1.0 千葉佐倉市海隣寺町*1.0 野田市鶴奉*1.0 八街市八街*0.9 酒々井町中央*0.9 市川市八幡*0.9 木更津市富士見*0.9 船橋市湊町*0.9 多古町多古=0.9 八千代市大和田新田*0.9 印西市美瀬*0.8 勝浦市墨名=0.8 勝浦市新宮*0.8 柏市旭町=0.7 成田国際空港=0.7 富里市七栄*0.6 旭市二*0.5 香取市佐原諏訪台*0.5	35° 27.2' N	140° 24.9' E	30km	M: 3.8
		茨城県 1 取手市寺田*0.9 稲敷市柴崎*0.8 坂東市岩井=0.7 稲敷市江戸崎甲*0.6 茨城鹿嶋市鉢形=0.6 潮来市堀之内=0.6 石岡市柿岡=0.6 土浦市常名=0.5				
		東京都 1 東京江戸川区中央=0.7 東京江戸川区鹿骨*0.7 東京江戸川区船堀*0.7 東京千代田区大手町=0.6 東京足立区神明南*0.6				
		神奈川県 1 三浦市城山町*0.5				
16	4 12 10	千葉県北東部 千葉県 1 一宮町一宮=1.0 長南町長南*0.8 大網白里市大網*0.6	35° 27.3' N	140° 24.8' E	31km	M: 2.7
17	4 19 18	千葉県東方沖 千葉県 1 一宮町一宮=1.2 白子町関*0.9 大網白里市大網*0.9 長南町長南*0.8 東金市東新宿=0.8 東金市東岩崎*0.6 東金市日吉台*0.6 長生村本郷*0.6 山武市埴谷*0.5 千葉中央区都町*0.5	35° 27.4' N	140° 25.2' E	30km	M: 2.9
18	4 23 28	熊本県熊本地方 熊本県 2 宇城市豊野町*1.9 宇城市不知火町*1.8 八代市千丁町*1.6 八代市東陽町*1.6 宇城市小川町*1.5 八代市松江城町*1.5 氷川町島地*1.5 1 八代市坂本町*1.4 宇土市新小路町=1.4 宇城市松橋町=1.4 熊本南区富合町*1.4 上天草市大矢野町=1.4 八代市泉支所*1.3 八代市平山新町=1.3 八代市鏡町*1.1 上天草市松島町*1.0 熊本西区春日=0.9 芦北町田浦町*0.9 上天草市姫戸町*0.9 八代市泉町=0.8 氷川町宮原*0.8 甲佐町豊内*0.8 熊本美里町永富*0.8 山都町下馬尾*0.7 水俣市陸内*0.6 熊本美里町馬場*0.6 嘉島町上島*0.5 熊本南区城南町*0.5 長崎県 1 南島原市北有馬町*0.6	32° 34.4' N	130° 40.0' E	11km	M: 3.5
19	5 02 37	滋賀県南部 三重県 1 伊賀市小田町*0.6 滋賀県 1 甲賀市信楽町*0.7 湖南市石部中央西庁舎*0.5	34° 53.5' N	136° 04.4' E	9km	M: 2.5
20	5 03 45	硫黄島近海 東京都 1 小笠原村母島=0.7	24° 29.0' N	143° 09.9' E	0km	M: 5.2
21	5 15 40	栃木県北部 栃木県 3 日光市足尾町中才*2.6 日光市足尾町通洞*2.5 2 日光市中鉢石町*1.5 1 鹿沼市今宮町*1.2 日光市湯元*1.2 日光市中宮祠=1.0 茨城県 1 取手市寺田*0.6 土浦市常名=0.5 群馬県 1 沼田市利根町*1.4 桐生市黒保根町*0.8 沼田市白沢町*0.5 桐生市元宿町*0.5 沼田市西倉内町=0.5	36° 38.9' N	139° 26.2' E	5km	M: 3.4
22	5 22 19	宮古島近海 沖縄県 1 多良間村仲筋*0.6	24° 43.1' N	124° 32.2' E	13km	M: 3.3

地震番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度（計測震度）	緯度	経度	深さ	規模
23	6 12 58	鳥取県中部 鳥取県 1 北栄町土下*0.7 倉吉市葵町*0.6	35° 25.6' N	133° 49.4' E	10km	M: 2.5
24	6 15 49	福島県沖 福島県 1 浪江町幾世橋=0.7	37° 28.2' N	141° 23.4' E	36km	M: 3.6
25	6 17 04	熊本県熊本地方 熊本県 1 益城町木山=0.9 熊本西区春日=0.7 熊本南区城南町*0.7	32° 45.9' N	130° 45.9' E	11km	M: 2.7
26	7 03 03	熊本県熊本地方 熊本県 2 宇城市豊野町*1.7 1 宇城市不知火町*1.3 八代市千丁町*0.9 宇城市小川町*0.9 宇城市松橋町=0.7 八代市泉支所*0.7 甲佐町豊内*0.7 上天草市大矢野町=0.7 八代市坂本町*0.6 宇土市新小路町=0.5 山都町下馬尾*0.5 氷川町島地*0.5 八代市東陽町*0.5	32° 34.5' N	130° 39.9' E	11km	M: 3.1
27	7 18 20	熊本県阿蘇地方 熊本県 2 南小国町赤馬場*1.5 1 産山村山鹿*1.1 熊本小国町宮原*0.8	33° 02.5' N	131° 05.0' E	11km	M: 2.6
28	8 01 11	茨城県沖 福島県 茨城県 1 川俣町五百田*0.7 田村市船引町=0.5 1 日立市役所*1.3 日立市助川小学校*0.9 高萩市下手綱*0.9	36° 31.2' N	140° 59.1' E	34km	M: 3.5
29	8 09 25	千葉県東方沖 千葉県 3 旭市南堀之内*2.8 匝瑳市八日市場*2.8 匝瑳市今泉*2.6 山武市蓮沼二*2.5 2 旭市ニ*2.4 山武市蓮沼ハ*2.4 香取市役所*2.3 香取市仁良*2.3 山武市松尾町五反田*2.3 横芝光町宮川*2.2 山武市松尾町富士見台*2.2 山武市殿台*2.2 旭市萩園*2.2 多古町多古=2.1 香取市佐原平田=2.1 東金市日吉台*2.1 旭市高生*2.1 香取市岩部*2.1 成田市花崎町=2.1 横芝光町栗山*2.0 香取市羽根川*2.0 一宮町一宮=2.0 山武市埴谷*1.9 香取市佐原諏訪台*1.9 長南町長南*1.9 九十九里町片貝*1.9 芝山町小池*1.8 東金市東新宿=1.7 大網白里市大網*1.7 東庄町笹川*1.7 成田国際空港=1.7 成田市松子*1.7 神崎町神崎本宿*1.6 東金市東岩崎*1.6 銚子市若宮町*1.5 長柄町桜谷*1.5 成田市中台*1.5 成田市役所*1.5 市原市姉崎*1.5 印西市笠神*1.5 1 千葉中央区都町*1.4 茂原市道表*1.3 白子町関*1.3 千葉中央区中央港=1.3 いすみ市岬町長者*1.3 いすみ市国府台*1.3 長柄町大津倉=1.2 銚子市川口町=1.2 成田市猿山*1.2 千葉佐倉市海隣寺町*1.2 印西市大森*1.2 富里市七栄*1.2 長生村本郷*1.2 千葉美浜区ひび野=1.1 八街市八街*1.1 白井市復*1.1 栄町安食台*1.1 いすみ市大原*1.1 睦沢町下之郷*1.1 千葉若葉区小倉台*1.1 千葉花見川区花島町*1.0 市原市国分寺台中央*1.0 大多喜町大多喜*1.0 四街道市鹿渡*1.0 千葉緑区おゆみ野*1.0 千葉稲毛区園生町*0.9 八千代市大和田新田*0.9 印西市美瀬*0.9 君津市久留里市場*0.8 浦安市日の出=0.7 銚子市天王台=0.6 勝浦市墨名=0.6 勝浦市新宮*0.6 茨城県 2 稲敷市結佐*2.3 神栖市溝口*2.2 潮来市辻*1.9 潮来市堀之内=1.8 茨城鹿嶋市鉢形=1.6 河内町源清田*1.6 稲敷市江戸崎甲*1.5 稲敷市柴崎*1.5 1 茨城鹿嶋市宮中*1.4 神栖市波崎*1.4 行方市麻生*1.4 鉾田市汲上*1.3 小美玉市上玉里*1.2 龍ヶ崎市役所*1.2 行方市山田*1.2 小美玉市小川*1.1 笠間市石井*1.1 稲敷市役所*1.1 石岡市柿岡=1.0 かすみがうら市土上田*0.9 ひたちなか市南神敷台*0.9 美浦村受領*0.9 取手市寺田*0.9 利根町布川=0.8 かすみがうら市大和田*0.8 土浦市常名=0.8 筑西市舟生=0.8 つくば市天王台*0.7 鉾田市鉾田=0.6 坂東市岩井=0.5 埼玉県 1 宮代町笠原*1.1 春日部市谷原新田*1.0 草加市高砂*0.7 さいたま緑区中尾*0.7 加須市大和根*0.5 東京都 1 東京足立区神明南*0.9 東京荒川区東尾久*0.7 東京足立区伊興*0.7 東京足立区千住中居町*0.6 神奈川県 1 横浜中区山手町=0.6	35° 38.9' N	140° 40.5' E	51km	M: 4.7
30	9 07 01	根室半島南東沖 北海道 1 根室市牧の内*0.8	42° 41.0' N	146° 44.6' E	56km	M: 4.1
31	9 08 45	沖縄本島近海 鹿児島県 1 伊仙町伊仙*0.8	27° 21.3' N	129° 00.0' E	29km	M: 3.0
32	9 16 35	千葉県東方沖 千葉県 1 銚子市川口町=1.1 旭市萩園*1.1 旭市高生*1.0 銚子市若宮町*0.9	35° 42.9' N	141° 00.8' E	35km	M: 3.7
33	9 23 36	橋湾 長崎県 4 諫早市多良見町*4.3 諫早市飯盛町*3.5 3 長崎市元町*3.2 諫早市東小路町=3.0 諫早市堂崎町*2.9 雲仙市愛野町*2.6 時津町浦*2.5 諫早市森山町*2.5 2 雲仙市小浜町雲仙=2.3 南島原市加津佐町*2.3 大村市玖島*2.2 南島原市口之津町*2.1 長与町嬉里*2.1 平戸市志々伎町*2.0 雲仙市国見町=1.9 長崎市南山手=1.9 長崎市長浦町=1.8 長崎市布巻町*1.7 長崎市神浦江川町*1.5 雲仙市千々石町*1.5 1 雲仙市雲仙出張所*1.4 雲仙市瑞穂町*1.4 雲仙市吾妻町*1.4 諫早市高来町*1.3 西海市西海町*1.3 長崎市黒浜町=1.3 雲仙市小浜町北本町*1.3 佐世保市鹿町町*1.2 西海市大瀬戸町*1.2 南島原市南有馬町*1.2 島原市有明町*1.1 佐々町本田原*1.1 長崎市野母町*1.1 長崎市香焼町*1.1 南島原市北有馬町*1.1 南島原市西有家町*1.1	32° 43.0' N	130° 01.6' E	16km	M: 4.3

地震 番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
		東彼杵町蔵本* =1.0 佐世保市千尺町=0.9 平戸市鏡川町* =0.9 西海市西彼町* =0.9 南島原市有家町* =0.9 平戸市田平町* =0.9 諫早市小長井町* =0.8 新上五島町有川* =0.8 佐世保市世知原町* =0.8 西海市大島町* =0.8 松浦市志佐町* =0.8 五島市岐宿町* =0.7 新上五島町若松* =0.7 佐世保市八幡町* =0.7 南島原市布津町* =0.7 南島原市深江町* =0.7 島原市下折橋町* =0.6 平戸市岩の上町=0.6 新上五島町奈良尾* =0.6				
		佐賀県 2 白石町有明* =1.5 1 唐津市相知* =1.2 武雄市北方* =1.2 太良町多良=1.2 佐賀市三瀬* =1.1 佐賀市久保田* =1.1 佐賀市川副* =1.0 神埼市千代田* =1.0 上峰町坊所* =0.9 白石町福田* =0.9 唐津市西城内=0.9 小城市芦刈* =0.9 佐賀市東与賀* =0.9 嬉野市塩田* =0.8 嬉野市下宿乙* =0.8 大町町大町* =0.8 白石町福富* =0.8 武雄市山内* =0.8 武雄市武雄町昭和* =0.7 みやき町三根* =0.7 伊万里市立花町* =0.7 佐賀市駅前中央=0.7 神埼市神埼* =0.6 佐賀市諸富* =0.5 佐賀鹿島市納富分* =0.5				
		熊本県 2 和水町江田* =1.9 天草市五和町* =1.7 山鹿市鹿央町* =1.6 長洲町長洲* =1.6 上天草市松島町* =1.5 1 天草市有明町* =1.3 八代市坂本町* =1.1 玉名市横島町* =1.1 天草市天草町* =1.1 玉名市中尾* =1.0 南関町関町* =0.9 上天草市大矢野町=0.9 和水町板橋* =0.8 苓北町志岐* =0.7 天草市倉岳町* =0.6 球磨村渡* =0.6 上天草市龍ヶ岳町* =0.5 上天草市姫戸町* =0.5 五木村甲* =0.5 山鹿市老人福祉センター* =0.5				
		福岡県 1 福岡西区今宿* =1.3 みやま市高田町* =1.3 福岡中央区大濠=1.1 みやま市山川町* =1.1 糸島市前原東* =0.8 糸島市二丈深江* =0.8 大牟田市昭和町* =0.8 柳川市本町* =0.8 久留米市津福本町=0.7 大牟田市笹林=0.7 大木町八町牟田* =0.7 新宮町緑ヶ浜* =0.7 糸島市志摩初=0.6 福岡空港=0.5 筑前町下高場=0.5				
		鹿児島県 1 長島町伊唐島* =0.9 長島町鷹巣* =0.7 薩摩川内市上甕町* =0.7				
34	10 00 14	橘湾 長崎県 1 長崎市元町* =1.0 諫早市多良見町* =1.0	32° 43.2' N	130° 02.2' E	15km	M: 2.3
35 (注)	10 03 36 10 03 36	福島県会津 福島県会津 福島県 1 湯川村清水田* =0.7	37° 35.3' N 37° 35.6' N	139° 52.0' E 139° 52.2' E	10km 12km	M: 2.6 M: 2.5
36	10 03 54	福島県会津 福島県 1 喜多方市松山町* =0.5 喜多方市塩川町* =0.5	37° 35.6' N	139° 52.2' E	13km	M: 2.7
37 (注)	10 04 34 10 04 34	岩手県沖 岩手県沖 青森県 2 階上町道仏* =1.7 1 青森南部町苦米地* =1.3 青森南部町平* =1.3 八戸市南郷* =1.3 八戸市内丸* =1.2 八戸市湊町=1.1 野辺地町田狭沢* =1.1 五戸町古館=1.1 三戸町在府小路町* =0.9 東北町上北南* =0.9 おいらせ町中下田* =0.8 七戸町森ノ上* =0.8 野辺地町野辺地* =0.8	40° 09.1' N 40° 10.7' N	142° 30.1' E 142° 26.5' E	32km 34km	M: 4.5 M: 4.0
		岩手県 2 盛岡市薮川* =1.9 普代村銅屋* =1.8 盛岡市洪民* =1.6 1 八幡平市田頭* =1.4 宮古市五月町* =1.3 宮古市田老* =1.3 釜石市中妻町* =1.3 盛岡市山王町=1.3 紫波町紫波中央駅前* =1.3 軽米町軽米* =1.2 矢巾町南矢幅* =1.2 二戸市浄法寺町* =1.2 宮古市鉾ヶ崎=1.1 滝沢市鶴飼* =1.1 山田町大沢* =1.0 北上市相去町* =1.0 遠野市青笹町* =1.0 大船渡市大船渡町=0.9 一関市藤沢町* =0.9 釜石市只越町=0.8 宮古市川井* =0.8 住田町世田米* =0.8 山田町八幡町=0.8 一関市千蔵町* =0.8 岩手町五日市* =0.7 一関市室根町* =0.7 盛岡市馬場町* =0.7 遠野市宮守町* =0.7 葛巻町葛巻元木=0.6 田野畑村田野畑=0.6 宮古市区界* =0.6 花巻市大迫町=0.6 花巻市石鳥谷町* =0.6 雫石町千刈田=0.6 九戸村伊保内* =0.6 田野畑村役場* =0.5 北上市柳原町=0.5 八幡平市大更=0.5 久慈市川崎町=0.5 西和賀町沢内川舟* =0.5				
		宮城県 1 石巻市桃生町* =1.0 気仙沼市唐桑町* =0.7 登米市迫町* =0.7 気仙沼市赤岩=0.6 栗原市若柳* =0.6 気仙沼市笹ヶ陣* =0.5 栗原市栗駒=0.5				
38	10 15 51	西表島付近 沖縄県 1 竹富町船浮=1.4 竹富町上原* =0.8 竹富町大原=0.7	23° 56.9' N	123° 35.2' E	33km	M: 4.3
39	10 16 31	釧路沖 北海道 2 釧路市黒金町* =1.9 白糠町西 1 条* =1.7 1 釧路市音別町中園* =1.4 標茶町塘路* =1.4 釧路町別保* =1.3 釧路市阿寒町中央* =1.2 釧路市幸町=1.2 厚岸町真栄* =1.1 十勝大樹町生花* =1.1 別海町常盤=1.1 標津町北 2 条* =1.0 浜中町霧多布* =1.0 根室市落石東* =1.0 別海町本別海* =0.9 厚岸町尾幌=0.7 浜中町湯沸=0.7 鶴居村鶴居東* =0.6 根室市瑤瑤瑠* =0.5	42° 21.1' N	144° 49.1' E	34km	M: 4.6
40	10 17 00	千葉県西北部 茨城県 1 稲敷市江戸崎甲* =0.8 石岡市柿岡=0.8 土浦市常名=0.7 水戸市内原町* =0.7 つくば市小茎* =0.7 取手市寺田* =0.6 石岡市若宮* =0.6 笠間市石井* =0.5	35° 48.4' N	140° 12.0' E	61km	M: 3.5
		千葉県 1 野田市鶴奉* =0.9 千葉花見川区花島町* =0.8 八千代市大和田新田* =0.7 成田市花崎町=0.6				
		東京都 1 東京北区西ヶ原* =0.6				
41	10 18 18	根室半島南東沖 北海道 1 根室市瑤瑤瑠* =1.3	43° 15.8' N	146° 14.6' E	45km	M: 3.6
42	10 21 05	青森県東方沖 青森県 2 階上町道仏* =1.9 東通村砂子又沢内* =1.9 1 八戸市湊町=1.4 八戸市内丸* =1.4 五戸町倉石中市* =1.4 青森南部町苦米地* =1.3 東通村白糠* =1.2	40° 50.3' N	141° 44.6' E	72km	M: 4.2

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
		横浜町林ノ脇*=1.1 東通村砂子又蒲谷地=1.1 三戸町在府小路町*=1.0 野辺地町田狭沢*=1.0 八戸市南郷*=1.0 青森南部町平*=1.0 青森南部町沖田面*=0.9 五戸町古館=0.9 東北町上北南*=0.9 むつ市金曲=0.7 平内町東田沢*=0.5 北海道 1 函館市泊町*=0.8 函館市新浜町*=0.6 岩手県 1 岩手洋野町種市=1.2 久慈市枝成沢=1.1 岩手洋野町大野*=1.0 軽米町軽米*=1.0 二戸市石切所*=0.8 二戸市浄法寺町*=0.8 久慈市川崎町=0.8 九戸村伊保内*=0.8 久慈市長内町*=0.7				
43	11 05 44	福井県嶺北 福井県 1 永平寺町栗住波*=0.9 勝山市旭町=0.7 大野市天神町*=0.6	36° 05.2' N	136° 26.9' E	6km	M: 2.8
44	11 07 47	熊本県熊本地方 熊本県 1 八代市坂本町*=1.3 八代市平山新町=0.6	32° 29.2' N	130° 35.7' E	7km	M: 2.2
45	11 07 52	福島県沖 宮城県 1 岩沼市桜*=0.5	36° 44.8' N	141° 46.2' E	48km	M: 4.3
46	11 11 16	沖縄本島近海 沖縄県 1 国頭村辺土名*=0.9 今帰仁村仲宗根*=0.8 本部町役場*=0.8 名護市港*=0.7 国頭村奥=0.6	26° 39.3' N	127° 46.3' E	47km	M: 3.3
47	11 19 47	十勝沖 北海道 1 広尾町並木通=0.8	42° 11.4' N	143° 21.7' E	41km	M: 3.5
48	12 04 28	群馬県南部 群馬県 1 東吾妻町原町=0.7	36° 21.6' N	139° 08.9' E	14km	M: 2.4
49	12 04 57	日向灘 宮崎県 1 川南町川南*=1.0 宮崎都農町役場*=0.7 西都市上の宮*=0.5	32° 12.5' N	131° 47.4' E	36km	M: 3.0
50	12 05 28	伊豆大島近海 東京都 1 伊豆大島町元町=1.0	34° 44.6' N	139° 17.8' E	5km	M: 2.7
51 (注)	12 05 43 12 05 43	伊豆大島近海 東京都 2 伊豆大島町元町=1.7 1 伊豆大島町波浮港*=0.8 伊豆大島町差木地=0.5	34° 44.2' N 34° 44.2' N	139° 17.1' E 139° 17.7' E	0km 4km	M: 2.8 M: 2.3
52	12 06 16	伊豆大島近海 東京都 1 伊豆大島町元町=0.5	34° 44.2' N	139° 17.5' E	0km	M: 2.2
53	12 06 26	福島県沖 福島県 1 相馬市中村*=1.2 双葉町両竹*=1.1 浪江町幾世橋=0.5	37° 06.1' N	141° 29.6' E	28km	M: 3.9
54 (注)	12 07 40 12 07 40	伊豆大島近海 東京都 1 伊豆大島町元町=0.6	34° 44.6' N 34° 44.0' N	139° 17.4' E 139° 18.0' E	0km 0km	M: 2.4 M: 2.3
55	12 15 53	鹿児島県大隅地方 鹿児島県 1 大崎町仮宿*=1.0	31° 36.2' N	130° 51.3' E	90km	M: 3.3
56	12 18 34	山梨県東部・富士五湖 山梨県 2 大月市御太刀*=1.8 大月市大月=1.5 1 丹波山村丹波*=0.8 上野原市役所*=0.7 山梨北杜市明野町*=0.6 都留市上谷*=0.5 神奈川県 1 山北町山北*=0.6	35° 34.5' N	139° 00.1' E	24km	M: 3.1
57	12 20 39	伊豆大島近海 東京都 2 伊豆大島町元町=1.8 1 伊豆大島町波浮港*=1.4 伊豆大島町差木地=1.3 静岡県 1 東伊豆町奈良本*=0.5	34° 44.5' N	139° 17.7' E	6km	M: 3.1
58	12 20 45	秋田県内陸北部 秋田県 2 北秋田市阿仁銀山*=1.6 1 仙北市西木町上桧木内*=1.2 北秋田市阿仁水無*=1.1 大館市比内町扇田*=0.9	39° 58.7' N	140° 32.6' E	4km	M: 3.3
59	13 04 04	千葉県北西部 千葉県 2 船橋市湊町*=1.7 市川市八幡*=1.5 千葉中央区中央港=1.5 1 長南町長南*=1.4 千葉花見川区花島町*=1.4 千葉緑区おゆみ野*=1.4 千葉中央区都町*=1.3 習志野市鷺沼*=1.3 千葉稲毛区園生町*=1.3 市原市姉崎*=1.2 鎌ヶ谷市新鎌ヶ谷*=1.2 千葉中央区千葉市役所*=1.2 千葉若葉区小倉台*=1.2 千葉美浜区ひび野=1.2 野田市鶴奉*=1.2 柏市柏*=1.1 八千代市大和田新田*=1.1 浦安市日の出=1.1 浦安市猫実*=1.1 白井市復*=1.0 木更津市富士見*=1.0 柏市旭町=1.0 富津市下飯野*=0.9 成田市花崎町=0.8 君津市久留里市場*=0.8 東金市日吉台*=0.7 長柄町大津倉=0.6 木更津市太田=0.6 東京都 2 東京渋谷区本町*=1.8 小平市小川町*=1.8 東京台東区千束*=1.7 東京世田谷区三軒茶屋*=1.7 東京葛飾区立石*=1.6 東京品川区平塚*=1.6 東京千代田区大手町=1.5 東京世田谷区中町*=1.5	35° 47.5' N	140° 05.7' E	63km	M: 3.8

地震 番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
		東京中央区勝どき*=1.5 東京江戸川区鹿骨*=1.5 東京墨田区東向島*=1.5 東京江東区越中島*=1.5 東京国際空港=1.5 1 東京墨田区吾妻橋*=1.4 東京渋谷区宇田川町*=1.4 東京江戸川区船堀*=1.4 調布市西つづじヶ丘*=1.4 東京江東区青海=1.3 東京北区西ヶ原*=1.3 東京荒川区東尾久*=1.3 東京足立区千住中居町*=1.2 東京江戸川区中央=1.2 八王子市堀之内*=1.2 町田市森野*=1.2 東京大田区本羽田*=1.2 東京北区神谷*=1.2 東京足立区神明南*=1.2 東京江東区枝川*=1.1 小金井市本町*=1.1 東京品川区北品川*=1.1 東京目黒区中央町*=1.1 東京大田区多摩川*=1.1 東京世田谷区成城*=1.1 東京荒川区荒川*=1.1 東京練馬区豊玉北*=1.1 東京港区海岸=1.1 東京新宿区上落合*=1.1 東京文京区スポーツセンター*=1.1 東京墨田区横川=1.1 東京江東区東陽*=1.0 東京千代田区富士見*=1.0 国分寺市戸倉=1.0 西東京市中町*=1.0 東大和市中央*=1.0 清瀬市中里*=1.0 東京文京区大塚*=1.0 東京葛飾区金町*=1.0 東京江東区亀戸*=0.9 東京港区白金*=0.9 東京新宿区百人町*=0.9 東京足立区伊興*=0.9 武蔵野市吉祥寺南町*=0.9 東京中野区中野*=0.9 東京杉並区高井戸*=0.9 国分寺市本多*=0.9 東京江東区森下*=0.9 狛江市和泉本町*=0.8 東京品川区広町*=0.8 武蔵村山市本町*=0.8 東京千代田区麹町*=0.8 三鷹市野崎*=0.8 東京港区芝公園*=0.8 東京練馬区光が丘*=0.8 東京大田区蒲田*=0.7 東京大田区大森東*=0.7 日野市神明*=0.7 東京中央区日本橋兜町*=0.7 東京中野区江古田*=0.6 東京練馬区東大泉*=0.6 東京新宿区西新宿=0.6 神奈川県 2 横浜神奈川区神大寺*=1.9 横浜神奈川区広台太田町*=1.9 横浜鶴見区馬場*=1.8 横浜中区山手町=1.8 横浜鶴見区末広町*=1.7 横浜保土ヶ谷区上菅田町*=1.7 横浜青葉区市ヶ尾町*=1.7 川崎中原区小杉町*=1.7 横浜港北区日吉本町*=1.6 横浜瀬谷区三ツ境*=1.6 川崎川崎区宮前町*=1.6 川崎川崎区千鳥町*=1.6 横浜戸塚区平戸町*=1.5 横浜港南区丸山台東部*=1.5 川崎宮前区宮前平*=1.5 藤沢市辻堂東海岸*=1.5 1 横浜中区山下町*=1.4 横浜中区山吹町*=1.4 横浜戸塚区鳥が丘*=1.4 横浜旭区川井宿町*=1.4 横浜瀬谷区中屋敷*=1.4 三浦市城山町*=1.4 横浜西区浜松町*=1.3 横浜緑区十日市場町*=1.3 大和市下鶴間*=1.3 横浜磯子区洋光台*=1.2 横浜旭区今宿東町*=1.2 横浜旭区上白根町*=1.2 横浜緑区鴨居*=1.2 横浜青葉区榎が丘*=1.2 綾瀬市深谷*=1.2 相模原南区相模大野*=1.2 横浜保土ヶ谷区神戸町*=1.1 横浜磯子区磯子*=1.1 川崎中原区小杉陣屋町=1.1 川崎宮前区野川*=1.1 茅ヶ崎市茅ヶ崎=1.1 相模原南区磯部*=1.1 横浜金沢区白帆*=1.0 横浜旭区大池町*=1.0 横浜鶴見区鶴見*=1.0 横浜西区みなとみらい*=1.0 座間市緑ヶ丘*=1.0 横浜中区日本大通*=1.0 愛川町角田*=1.0 清川村煤ヶ谷*=1.0 相模原中央区上溝*=1.0 横浜港北区大倉山*=0.9 相模原緑区中野*=0.9 川崎麻生区片平*=0.8 藤沢市長後*=0.8 横浜戸塚区戸塚町*=0.8 横浜港南区丸山台北部*=0.8 川崎川崎区中島*=0.7 川崎多摩区登戸*=0.7 横浜金沢区釜利谷南*=0.7 横須賀市光の丘=0.7 横浜港北区綱島西*=0.7 秦野市曾屋=0.6 湯河原町中央=0.5 茨城県 1 坂東市岩井=1.2 取手市寺田*=1.0 笠間市石井*=0.7 石岡市柿岡=0.6 土浦市常名=0.5 群馬県 1 前橋市粕川町*=0.5 埼玉県 1 宮代町笠原*=1.2 さいたま南区別所*=1.1 さいたま緑区中尾*=1.1 草加市高砂*=1.1 所沢市北有楽町*=1.0 春日部市粕壁*=1.0 久喜市下早見=0.9 志木市中宗岡*=0.9 和光市広沢*=0.9 新座市野火止*=0.9 吉川市吉川*=0.9 埼玉三芳町藤久保*=0.9 さいたま大宮区天沼町*=0.8 さいたま浦和区高砂=0.8 八潮市中央*=0.8 熊谷市大里*=0.8 富士見市鶴馬*=0.7 入間市豊岡*=0.7 朝霞市本町*=0.7 春日部市金崎*=0.7 杉戸町清地*=0.7 春日部市谷原新田*=0.7 狭山市入間川*=0.7 三郷市中央*=0.6 白岡市千駄野*=0.6 越谷市越ヶ谷*=0.6 さいたま見沼区堀崎*=0.6 さいたま中央区下落合*=0.6 蕨市中央*=0.6 さいたま北区宮原*=0.5 伊奈町小室*=0.5 久喜市青葉*=0.5 山梨県 1 富士河口湖町船津=0.6 静岡県 1 東伊豆町奈良本*=0.7 伊豆市中伊豆グラウンド=0.6 熱海市網代=0.5				
60	13 05 25	伊豆大島近海 東京都	34° 44.2' N	139° 18.2' E	1km	M: 2.5
		1 伊豆大島町元町=0.7				
61	13 13 22	宮城県沖 岩手県	38° 42.2' N	142° 16.0' E	39km	M: 4.0
		2 釜石市中妻町*=1.7 1 住田町世田米*=0.9 一関市千厩町*=0.9 釜石市只越町=0.8 大船渡市大船渡町=0.6 一関市東山町*=0.6 一関市室根町*=0.6 陸前高田市高田町*=0.6 一関市藤沢町*=0.5				
		宮城県 1 気仙沼市唐桑町*=0.8 女川町女川浜*=0.5				
62	13 14 01	伊豆大島近海 東京都	34° 44.6' N	139° 18.5' E	0km	M: 1.9
		1 伊豆大島町元町=0.5				
63	13 19 41	伊豆大島近海 東京都	34° 43.9' N	139° 18.1' E	5km	M: 3.0
		2 伊豆大島町元町=1.6 1 伊豆大島町波浮港*=1.0 静岡県 1 東伊豆町奈良本*=0.9				
64	13 22 51	千葉県東方沖 茨城県	35° 29.6' N	140° 58.0' E	22km	M: 4.0
		1 稲敷市柴崎*=0.9 潮来市辻*=0.9 茨城鹿嶋市宮中*=0.8 潮来市堀之内=0.8 茨城鹿嶋市鉢形=0.8 坂東市岩井=0.5 稲敷市江戸崎甲*=0.5 石岡市柿岡=0.5 神栖市波崎*=0.5				
		千葉県 1 芝山町小池*=1.4 香取市仁良*=1.4 成田市花崎町=1.4 東金市日吉台*=1.2 千葉若葉区小倉台*=1.1 大網白里市大網*=1.1 成田市中台*=1.1 銚子市若宮町*=1.0 東金市東新宿=1.0 千葉中央区都町*=1.0 富里市七栄*=1.0 旭市南堀之内*=0.9 旭市高生*=0.9 東金市東岩崎*=0.9 山武市埴谷*=0.8 旭市萩園*=0.8 旭市ニ*=0.8 成田国際空港=0.8 匝瑳市今泉*=0.8 成田市松子*=0.8 山武市蓮沼ハ*=0.7 山武市松尾町富士見台=0.7 多古町多古=0.7 山武市蓮沼ニ*=0.6				

地震番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度（計測震度）	緯度	経度	深さ	規模
65	13 23 31	小笠原諸島西方沖 東京都 2 小笠原村母島=2.3 1 小笠原村父島三日月山=0.7 小笠原村父島西町=0.6	28° 09.8' N	140° 13.1' E	441km	M: 4.7
66	14 18 34	北海道北西沖 北海道 1 羽幌町焼尻=0.8 羽幌町南3条=0.7	44° 37.0' N	141° 17.5' E	20km	M: 3.3
67	14 19 24	高知県中部 広島県 3 尾道市向島町*=2.9 尾道市久保*=2.6 尾道市御調町*=2.5 2 呉市安浦町*=2.4 尾道市瀬戸田町*=2.2 呉市川尻町*=2.1 竹原市中央*=2.0 大崎上島町東野*=1.9 呉市豊浜町*=1.9 三原市本郷南*=1.9 福山市松永町=1.9 東広島市黒瀬町=1.9 呉市下蒲刈町*=1.9 大崎上島町木江*=1.9 呉市豊町*=1.7 呉市二河町*=1.7 大崎上島町中野*=1.7 三原市円一町=1.7 府中町大通り*=1.6 福山市神辺町*=1.5 呉市広*=1.5 尾道市長江*=1.5 安芸高田市向原町*=1.5 1 三原市久井町*=1.4 福山市東桜町*=1.4 福山市駅家町*=1.4 福山市内海町*=1.4 福山市新市町*=1.4 呉市音戸町*=1.3 呉市蒲刈町*=1.3 東広島市西条栄町*=1.3 江田島市沖美町*=1.3 尾道市因島土生町*=1.3 福山市沼隈町*=1.3 呉市郷原町*=1.3 東広島市安芸津町*=1.2 坂町役場*=1.2 呉市宝町=1.1 安芸高田市向原町長田*=1.1 広島安芸区中野*=1.0 江田島市大柿町*=1.0 東広島市河内町*=0.9 海田町上市*=0.9 熊野町役場*=0.8 広島安佐北区可部南*=0.8 江田島市江田島町*=0.8 福山市鞆町*=0.8 三原市館町*=0.8 世羅町東神崎*=0.8 広島佐伯区利松*=0.7 呉市倉橋町蕨ヶ巣=0.6 呉市焼山*=0.6 神石高原町油木*=0.6 広島南区宇品海岸*=0.6 広島西区己斐*=0.6 広島安佐南区祇園*=0.6 世羅町西上原*=0.5 広島三次市吉舎町*=0.5 徳島県 3 徳島三好市池田総合体育館=2.7 2 美馬市穴吹ふれすぽ公園=1.9 つるぎ町貞光*=1.9 東みよし町加茂*=1.9 東みよし町昼間*=1.8 美馬市穴吹町*=1.8 吉野川市山川町*=1.7 徳島三好市三野町*=1.7 徳島三好市西祖谷山村*=1.6 美馬市木屋平*=1.6 那賀町和食*=1.6 美馬市美馬町*=1.5 阿波市阿波町*=1.5 吉野川市川島町*=1.5 香川県 3 美馬市脇町=1.4 つるぎ町半田*=1.4 徳島三好市池田中学校*=1.4 徳島三好市井川町*=1.3 那賀町木頭和無田*=1.3 徳島三好市山城町*=1.2 吉野川市鴨島町=1.2 阿波市吉野町*=1.2 藍住町奥野*=1.1 阿南市山口町*=1.0 那賀町延野*=1.0 つるぎ町一字*=1.0 吉野川市美郷*=0.9 石井町高川原*=0.9 牟岐町中村*=0.8 徳島市大和町=0.8 鳴門市撫養町=0.8 阿波市市場町*=0.8 阿南市富岡町=0.7 美波町西の地*=0.7 鳴門市鳴門町*=0.6 勝浦町久国*=0.5 3 三豊市三野町*=2.8 2 観音寺市坂本町=2.3 三豊市高瀬町*=2.2 観音寺市瀬戸町*=2.1 三豊市財田町*=2.1 善通寺市文京町*=2.1 綾川町山田下*=2.0 高松市国分寺町*=1.9 さぬき市寒川町*=1.9 観音寺市豊浜町*=1.9 三豊市豊中町*=1.9 三豊市詫間町*=1.8 高松市牟礼町*=1.8 さぬき市長尾総合公園*=1.8 さぬき市志度*=1.8 さぬき市津田町*=1.8 三豊市仁尾町*=1.8 さぬき市大川町*=1.6 小豆島町安田*=1.6 丸亀市飯山町*=1.6 東かがわ市西村=1.6 観音寺市大野原町*=1.5 多度津町家中=1.5 多度津町栄町*=1.5 直島町役場*=1.5 高松市扇町*=1.5 高松市香川町*=1.5 1 さぬき市長尾東*=1.4 琴平町榎井*=1.4 三豊市山本町*=1.4 まんのう町生間*=1.4 綾川町滝宮*=1.4 高松市塩江町*=1.3 三木町氷上*=1.3 坂出市久米町*=1.3 小豆島町池田*=1.2 宇多津町役場*=1.2 東かがわ市湊*=1.2 土庄町甲=1.2 まんのう町吉野下*=1.1 高松市伏石町=1.1 丸亀市新田町*=1.1 高松市香南町*=1.1 丸亀市綾歌町*=0.9 丸亀市大手町*=0.8 高松空港=0.8 小豆島町馬木*=0.6 坂出市王越町=0.5 愛媛県 3 今治市吉海町*=2.8 今治市上浦町*=2.5 今治市宮窪町*=2.5 2 今治市大三島町*=2.2 久万高原町渡草*=2.2 今治市南宝来町二丁目=1.8 西条市丹原町鞍瀬=1.8 四国中央市金生町*=1.8 久万高原町久万*=1.8 上島町弓削*=1.7 四国中央市中曾根町*=1.7 上島町生名*=1.7 新居浜市別子山*=1.6 西条市小松町*=1.6 四国中央市新宮町*=1.6 伊予市下吾川*=1.6 大洲市脇川町*=1.6 今治市朝倉北*=1.6 今治市波方町*=1.6 今治市大西町*=1.5 砥部町総津*=1.5 久万高原町柳井川*=1.5 1 西条市新田*=1.4 伊予市中山町*=1.4 愛媛松前町筒井*=1.4 東温市南方*=1.4 今治市菊間町*=1.3 西条市丹原町池田*=1.3 久万高原町東川*=1.3 内子町小田*=1.3 上島町魚島*=1.2 砥部町宮内*=1.2 東温市見奈良*=1.2 内子町内子*=1.2 伊方町湊浦*=1.2 新居浜市一宮町=1.2 四国中央市土居町*=1.1 西予市明浜町*=1.1 松山市北持田町=1.1 新居浜市中筋町*=1.1 内子町平岡*=1.1 松山市富久町*=1.0 西予市宇和町*=1.0 松山市中島大浦*=1.0 今治市伯方町*=1.0 八幡浜市五反田*=1.0 八幡浜市保内町*=1.0 大洲市大洲*=1.0 上島町岩城*=0.9 大洲市長浜*=0.9 松山市北条辻*=0.9 松野町松丸*=0.8 愛南町城辺*=0.8 宇和島市吉田町*=0.8 宇和島市三間町*=0.8 今治市関前岡村*=0.8 大洲市河辺町*=0.8 西予市野村町=0.7 伊予市双海町*=0.7 西予市城川町*=0.7 宇和島市丸穂*=0.7 宇和島市津島町*=0.6 今治市玉川町*=0.5 愛南町柏*=0.5 高知県 3 土佐町土居*=3.4 本山町本山*=2.8 高知香南市夜須町坪井*=2.8 高知香南市赤岡支所*=2.8 高知香南市吉川町吉原*=2.6 高知市丸ノ内*=2.6 高知市池*=2.5 2 高知市高須東町*=2.4 土佐市蓮池*=2.4 高知市春野町芳原=2.3 安芸市西浜=2.3 安芸市矢ノ丸*=2.2 高知市本町=2.2 仁淀川町大崎*=2.2 佐川町役場*=2.1 香美市土佐山田町岩積*=2.1 日高村本郷*=2.0 いの町脇ノ山*=2.0 南国市オオソネ*=2.0 芸西村和食*=1.9 大川村小松*=1.9 香美市土佐山田町宝町=1.9 大豊町高須*=1.8 高知香南市香我美町下分*=1.8 安田町安田*=1.6 越知町越知*=1.6 いの町長沢*=1.6 高知市鏡小浜*=1.5 高知市土佐山*=1.5 大豊町黒石*=1.5 香美市香北町美良布*=1.5 1 田野町役場*=1.4 北川村野友*=1.4 仁淀川町土居*=1.4 香美市物部町大柄*=1.4 中土佐町久礼*=1.4 黒潮町佐賀*=1.3 室戸市浮津*=1.2 須崎市西礼町*=1.2 いの町役場*=1.2 仁淀川町森*=1.2 高知津野町永野*=1.2 奈半利町役場*=1.1 梶原町梶原*=1.1 香美市物部町神池=1.0 四万十町大正*=1.0 高知津野町力石*=1.0 宿毛市桜町*=0.9	33° 48.0' N	133° 25.7' E	38km	M: 4.5

地震番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
		榑原町広野*0.9 馬路村馬路*0.9 室戸市室戸岬町*0.7 四万十町琴平町*0.7 黒潮町入野*0.7 中土佐町大野見吉野*0.6 四万十市古津賀*0.5 東洋町生見*0.5 須崎市山手町*0.5 岡山県 2 玉野市宇野*2.4 倉敷市児島小川町*1.7 倉敷市下津井*1.5 岡山南区片岡*1.5 1 里庄町里見*1.3 笠岡市笠岡*1.2 岡山南区浦安南町*1.1 矢掛町矢掛*1.0 浅口市天草公園*1.0 浅口市金光町*1.0 倉敷市玉島阿賀崎*1.0 倉敷市船穂町*0.9 倉敷市真備町*0.9 瀬戸内市長船町*0.9 倉敷市新田*0.8 笠岡市殿川*0.8 井原市井原町*0.8 早島町前潟*0.8 浅口市寄島町*0.7 備前市東片上*0.7 岡山北区大供*0.7 岡山東区瀬戸町*0.7 倉敷市水島北幸町*0.6 真庭市禾津*0.6 瀬戸内市邑久町*0.6 岡山中区浜*0.6 赤磐市上市*0.6 赤磐市松木*0.5 兵庫県 1 赤穂市加里屋*0.6 南あわじ市福良*0.6 島根県 1 浜田市三隅町三隅*0.8 川本町川本*0.8 島根美郷町都賀本郷*0.7 山口県 1 周防大島町東和総合支所*1.0 周防大島町平野*0.6 岩国市横山*0.5 周防大島町久賀*0.5				
68	14 22 21	トカラ列島近海 鹿児島県 1 鹿児島十島村中之島徳之尾*0.8	29° 51.7' N	129° 51.8' E	4km	M: 1.7
69	15 15 54	茨城県南部 茨城県 1 鉦田市鉦田*1.0 稲敷市江戸崎甲*0.9 小美玉市上玉里*0.7 鉦田市造谷*0.7 美浦村受領*0.6 小美玉市小川*0.6 かすみがうら市大和田*0.6 笠間市下郷*0.6 取手市寺田*0.6 土浦市常名*0.5 牛久市城中町*0.5 稲敷市柴崎*0.5 千葉県 1 八千代市大和田新田*0.5	35° 54.0' N	140° 20.5' E	38km	M: 3.1
70	16 15 17	熊本県阿蘇地方 熊本県 1 阿蘇市一の宮町*1.1 南阿蘇村中松*1.0 阿蘇市波野*0.7 産山村山鹿*0.6	33° 00.0' N	131° 08.2' E	11km	M: 2.6
71	16 15 43	千葉県北東部 千葉県 1 旭市南堀之内*1.4 多古町多古*1.0 香取市仁良*1.0 芝山町小池*0.7 東金市日吉台*0.7 山武市蓮沼二*0.6	35° 42.8' N	140° 36.9' E	50km	M: 3.2
72	16 22 39	日向灘 宮崎県 3 宮崎市松橋*2.5 2 宮崎市霧島*2.2 宮崎市橋通東*2.2 宮崎市高岡町内山*1.9 国富町本庄*1.7 都城市高崎町大牟田*1.7 高鍋町上江*1.5 1 西都市上の宮*1.4 宮崎市田野町体育館*1.4 宮崎市清武町船引*1.4 日南市吾田東*1.4 新富町上富田*1.3 西都市聖陵町*1.3 綾町役場*1.3 都城市山之口町花木*1.3 小林市真方*1.3 三股町五本松*1.3 日南市中央通*1.2 木城町高城*1.2 川南町川南*1.2 串間市都井*1.1 綾町南保健センター*1.1 高千穂町三田井*1.1 都城市菖蒲原*1.1 小林市野尻町東麓*1.0 日南市油津*0.9 日南市北郷町郷之原*0.9 宮崎市佐土原町下田島*0.7 日向市大王谷運動公園*0.6 宮崎都農町役場*0.6 日南市北郷町大藤*0.6 延岡市北川町川内名白石*0.6 延岡市天神小路*0.5 大分県 2 佐伯市蒲江蒲江浦*1.6 佐伯市鶴見*1.5 熊本県 1 熊本美里町永富*0.8 宇土市新小路町*0.7 益城町木山*0.5 鹿児島県 1 霧島市福山町牧之原*1.3 始良市蒲生町上久徳*1.1 鹿屋市新栄町*0.9 霧島市国分中央*0.8 錦江町田代支所*0.8 鹿児島市喜入町*0.7 志布志市志布志町志布志*0.6	31° 53.2' N	131° 49.9' E	28km	M: 4.6
73	17 02 22	京都府南部 京都府 2 京都右京区京北周山町*1.5	35° 09.9' N	135° 40.6' E	7km	M: 2.5
74	17 04 05	小笠原諸島西方沖 東京都 1 小笠原村母島*0.6	27° 51.9' N	139° 47.2' E	525km	M: 5.3
75	17 16 53	茨城県北部 茨城県 1 日立市助川小学校*0.6	36° 45.0' N	140° 35.9' E	8km	M: 2.8
76	17 19 08	愛知県西部 岐阜県 1 恵那市上矢作町*0.5	35° 06.6' N	137° 22.3' E	42km	M: 2.8
77	18 02 16	宮城県沖 岩手県 1 一関市室根町*0.7 一関市千厩町*0.6 宮城県 1 石巻市桃生町*1.1 石巻市鮎川浜*0.7 女川町女川浜*0.7 気仙沼市笹が陣*0.6 石巻市北上町*0.5	38° 14.4' N	141° 41.8' E	51km	M: 3.7
78	18 11 23	奄美大島近海 鹿児島県 1 奄美市住用町西仲間*0.7 奄美市名瀬港町*0.6	28° 21.8' N	129° 32.2' E	35km	M: 2.9
79	18 16 04	静岡県西部 静岡県 1 浜松天竜区春野町*0.6	34° 53.4' N	137° 55.1' E	17km	M: 2.4
80	18 18 24	宮城県沖 岩手県 1 一関市室根町*0.5	38° 32.0' N	141° 43.0' E	53km	M: 3.3
81	18 20 10	岩手県沖 青森県 1 階上町道仏*0.7 八戸市内丸*0.5	40° 17.7' N	142° 17.3' E	38km	M: 3.6

地震番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度（計測震度）	緯度	経度	深さ	規模
82	18 20 30	茨城県北部 茨城県 1 日立市助川小学校*0.6	36° 49.1' N	140° 34.7' E	8km	M: 3.2
83	18 22 33	豊後水道 愛媛県 2 西予市三瓶町*1.5 1 西予市明浜町*1.4 西予市宇和町*1.1 宇和島市丸穂*0.9 伊方町三机*0.6 伊方町三崎*0.5 宇和島市吉田町*0.5 宇和島市三間町*0.5 大洲市肱川町*0.5 熊本県 2 熊本高森町高森*2.0 阿蘇市波野*1.8 1 産山村山鹿*1.4 阿蘇市一の宮町*1.0 大分県 2 佐伯市上浦*1.5 1 豊後大野市清川町*1.4 豊後大野市緒方町*1.4 豊後大野市犬飼町黒松*1.3 竹田市直入町*1.3 豊後大野市千歳町*1.1 国東市安岐町*1.0 豊後大野市大野町*1.0 由布市庄内町*0.9 津久見市宮本町*0.9 臼杵市臼杵*0.8 大分市野津原*0.7 津久見市立花町*0.6 国東市田深*0.6 大分市明野北*0.6 竹田市会々*0.6 大分市新春日町*0.5 竹田市竹田小学校*0.5 宮崎県 2 高千穂町三田井*1.7 高千穂町寺迫*1.7 1 日之影町岩井川*0.6	33° 07.5' N	132° 03.3' E	50km	M: 3.7
84	19 01 23	茨城県南部 栃木県 3 下野市笹原*2.7 2 宇都宮市中里町*2.3 佐野市中町*2.3 小山市神鳥谷*2.1 栃木那珂川町馬頭*2.0 下野市石橋*2.0 栃木市岩舟町静*1.9 日光市中鉢石町*1.9 宇都宮市明保野町*1.9 下野市田中*1.9 足利市大正町*1.8 真岡市石島*1.8 芳賀町祖母井*1.8 高根沢町石末*1.8 佐野市葛生東*1.8 宇都宮市中岡本町*1.7 日光市鬼怒川温泉大原*1.6 佐野市田沼町*1.6 鹿沼市晃望台*1.6 栃木市西方町本城*1.6 茂木町茂木*1.5 佐野市高砂町*1.5 大田原市湯津上*1.5 1 宇都宮市旭*1.4 栃木市旭町*1.4 栃木那珂川町小川*1.4 那須塩原市塩原庁舎*1.3 鹿沼市今宮町*1.3 真岡市田町*1.3 鹿沼市口栗野*1.2 野木町丸林*1.2 那須烏山市中央*1.2 日光市日蔭*1.2 矢板市本町*1.1 栃木市藤岡町藤岡*1.1 栃木市万町*1.1 栃木さくら市喜連川*1.1 日光市芹沼*1.1 上三川町しらさぎ*1.0 益子町益子*1.0 壬生町通町*1.0 塩谷町玉生*1.0 宇都宮市埴田*1.0 日光市瀬川*1.0 栃木大平町富田*1.0 日光市足尾町中才*1.0 栃木市都賀町家中*1.0 日光市今市本町*1.0 小山市中央町*1.0 市貝町市埴*0.9 栃木さくら市氏家*0.8 那須烏山市大金*0.8 日光市藤原*0.7 大田原市黒羽田町*0.7 那須町寺子*0.7 那須塩原市中塩原*0.5 日光市足尾町通洞*0.5 茨城県 2 筑西市門井*2.3 桜川市岩瀬*2.2 笠間市笠間*2.2 笠間市石井*2.2 常陸大宮市山方*2.1 筑西市舟生*2.0 笠間市下郷*2.0 常陸大宮市野口*1.9 筑西市下中山*1.9 桜川市羽田*1.9 笠間市中央*1.8 城里町石塚*1.8 水戸市内原町*1.7 日立市助川小学校*1.7 かすみがうら市上土田*1.7 東海村東海*1.7 城里町阿波山*1.7 常陸大宮市北町*1.7 日立市役所*1.6 土浦市常名*1.6 ひたちなか市東石川*1.5 常陸太田市大中町*1.5 常陸大宮市上小瀬*1.5 大子町池田*1.5 1 城里町徳蔵*1.4 石岡市柿岡*1.4 石岡市若宮*1.3 下妻市本城町*1.3 小美玉市小川*1.3 常陸太田市町田町*1.3 水戸市金町*1.2 常陸太田市町屋町*1.2 小美玉市堅倉*1.2 高萩市下手綱*1.2 ひたちなか市南神敷台*1.2 坂東市役所*1.2 茨城古河市仁連*1.1 常陸大宮市高部*1.1 高萩市安良川*1.1 取手市寺田*1.1 坂東市山*1.1 水戸市千波町*1.1 稲敷市江戸崎甲*1.1 鉾田市汲上*1.1 小美玉市上玉里*1.1 行方市玉造*1.0 結城市結城*1.0 常総市新石下*1.0 石岡市八郷*1.0 つくば市天王台*0.9 桜川市真壁*0.9 つくば市小茎*0.9 茨城鹿嶋市鉢形*0.9 茨城古河市下大野*0.9 牛久市城中町*0.9 常陸太田市高柿町*0.8 日立市十王町友部*0.8 つくば市研究学園*0.8 常総市水海道諏訪町*0.7 つくばみらい市福田*0.7 境町旭町*0.7 那珂市福田*0.7 鉾田市造谷*0.7 美浦村受領*0.6 八千代町菅谷*0.6 常陸大宮市中富町*0.6 土浦市藤沢*0.6 稲敷市結佐*0.6 茨城鹿嶋市宮中*0.6 行方市麻生*0.6 茨城町小堤*0.5 北茨城市磯原町*0.5 坂東市岩井*0.5 鉾田市鉾田*0.5 下妻市鬼怒*0.5 土浦市田中*0.5 牛久市中央*0.5 稲敷市柴崎*0.5 群馬県 2 邑楽町中野*1.5 1 太田市西本町*1.3 大泉町日の出*1.3 沼田市利根町*1.1 桐生市元宿町*1.1 桐生市新里町*1.1 沼田市西倉内町*1.0 片品村東小川*1.0 桐生市黒保根町*1.0 太田市浜町*1.0 館林市美園町*1.0 渋川市赤城町*1.0 片品村鎌田*0.9 伊勢崎市西久保町*0.8 太田市新田金井町*0.8 太田市大原町*0.8 千代田町赤岩*0.7 みなかみ町鹿野沢*0.7 桐生市織姫町*0.7 伊勢崎市今泉町*0.7 太田市粕川町*0.7 沼田市下久屋町*0.7 沼田市白沢町*0.7 群馬明和町新里*0.7 館林市城町*0.6 渋川市伊香保町*0.6 伊勢崎市東町*0.6 伊勢崎市境*0.6 群馬昭和村糸井*0.6 前橋市粕川町*0.6 前橋市鼻毛石町*0.5 埼玉県 2 東松山市松葉町*1.5 1 滑川町福田*1.1 北本市本町*1.1 熊谷市江南*0.9 加須市騎西*0.9 加須市大利根*0.9 熊谷市大里*0.8 羽生市東*0.8 深谷市川本*0.8 久喜市下早見*0.8 春日部市粕壁*0.8 上尾市本町*0.8 桶川市上日出谷*0.8 行田市本丸*0.7 加須市三俣*0.7 東松山市市ノ川*0.7 深谷市花園*0.7 春日部市金崎*0.7 川島町下八ツ林*0.7 宮代町笠原*0.7 久喜市鷲宮*0.6 蓮田市黒浜*0.6 鴻巣市川里*0.6 本庄市児玉町*0.5 鴻巣市中央*0.5 さいたま見沼区堀崎*0.5 さいたま浦和区高砂*0.5 さいたま岩槻区本丸*0.5 ときがわ町桃木*0.5 福島県 1 白河市表郷*1.3 棚倉町棚倉中居野*1.2 白河市新白河*1.1 矢祭町東館*1.0 浅川町浅川*0.9 白河市東*0.8 田村市都路町*0.8 玉川村小高*0.8 檜枝岐村上河原*0.7 矢祭町戸塚*0.7 白河市大信*0.6 石川町長久保*0.6 須賀川市岩瀬支所*0.5 千葉県 1 鎌ヶ谷市新鎌ヶ谷*1.1 柏市旭町*1.0 野田市鶴奉*0.9 白井市復*0.8 千葉稲毛区園生町*0.7 千葉花見川区花島町*0.6 八千代市大和田新田*0.6 野田市東宝珠花*0.5	36° 20.6' N	140° 03.2' E	72km	M: 3.8

地震番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度（計測震度）	緯度	経度	深さ	規模
85	19 05 51	福島県中通り 福島県	37° 05.1' N	140° 36.2' E	6km	M: 4.5
		3 古殿町松川新桑原* = 3.4 古殿町松川横川 = 2.9 浅川町浅川* = 2.5 2 鮫川村赤坂中野* = 2.4 棚倉町棚倉中居野 = 2.3 いわき市三和町 = 2.3 泉崎村泉崎* = 2.1 白河市新白河* = 2.0 田村市大越町* = 2.0 白河市東* = 2.0 白河市表郷* = 1.9 中島村滑津* = 1.9 石川町長久保* = 1.8 玉川村小高* = 1.7 檜葉町北田* = 1.6 田村市滝根町* = 1.6 平田村永田* = 1.5 矢祭町戸塚* = 1.5 1 白河市郭内 = 1.4 西郷村熊倉* = 1.4 棚倉町棚倉ヶ丘* = 1.4 矢祭町東館* = 1.4 田村市都路町* = 1.4 いわき市平梅本* = 1.4 福島広野町下北迫大谷地原* = 1.4 川内村上川内早渡* = 1.4 小野町中通* = 1.3 天栄村下松本* = 1.3 小野町小野新町* = 1.2 塙町塙* = 1.2 いわき市平四ツ波* = 1.2 新地町谷地小屋* = 1.2 いわき市錦町* = 1.1 田村市常葉町* = 1.1 鏡石町不時沼* = 1.1 本宮市白岩* = 1.1 双葉町両竹* = 1.1 二本松市油井* = 1.1 白河市八幡小路* = 1.0 浪江町幾世橋 = 1.0 川内村上川内小山平* = 1.0 相馬市中村* = 1.0 いわき市小名浜 = 0.9 郡山市開成* = 0.9 葛尾村落合落合* = 0.9 下郷町塩生* = 0.9 白河市大信* = 0.9 須賀川市八幡山* = 0.9 富岡町本岡* = 0.9 川内村下川内 = 0.9 須賀川市岩瀬支所* = 0.9 郡山市湖南町* = 0.8 田村市船引町 = 0.8 福島伊達市霊山町* = 0.8 須賀川市牛袋町* = 0.8 福島広野町下北迫苗代替* = 0.8 二本松市針道* = 0.7 川俣町五百田* = 0.7 大熊町野上* = 0.7 大玉村南小屋 = 0.7 郡山市朝日 = 0.7 本宮市本宮* = 0.7 飯館村伊丹沢* = 0.6 大玉村玉井* = 0.5 宮城県 2 岩沼市桜* = 1.6 1 石巻市大街道南* = 0.9 石巻市桃生町* = 0.9 亘理町下小路* = 0.8 名取市増田* = 0.8 利府町利府* = 0.7 蔵王町円田* = 0.7 山元町浅生原* = 0.7 松島町高城 = 0.7 大河原町新南* = 0.6 角田市角田* = 0.6 東松島市矢本* = 0.6 宮城美里町木間塚* = 0.6 大崎市古川三日町 = 0.5 柴田町船岡 = 0.5 茨城県 2 日立市役所* = 2.3 日立市助川小学校* = 2.2 高萩市下手綱* = 2.2 笠間市石井* = 2.2 土浦市常名 = 2.2 鉾田市汲上* = 2.2 ひたちなか市南神敷台* = 2.0 常陸太田市高柿町* = 1.9 東海村東海* = 1.9 大子町池田* = 1.8 那珂市福田* = 1.8 小美玉市上玉里* = 1.8 石岡市柿岡 = 1.8 かすみがうら市上土田* = 1.8 笠間市中央* = 1.8 常陸大宮市上小瀬* = 1.7 常陸太田市金井町* = 1.7 小美玉市堅倉* = 1.7 笠間市笠間* = 1.7 ひたちなか市東石川* = 1.7 水戸市内原町* = 1.7 桜川市羽田* = 1.7 日立市十王町友部* = 1.7 常陸大宮市山方* = 1.7 土浦市藤沢* = 1.6 水戸市金町 = 1.6 石岡市若宮* = 1.6 石岡市八郷* = 1.6 つくば市研究学園* = 1.6 那珂市瓜連* = 1.6 小美玉市小川* = 1.6 常総市水海道諏訪町* = 1.6 常陸大宮市北町* = 1.6 つくば市小茎* = 1.5 美浦村受領* = 1.5 笠間市下郷* = 1.5 行方市山田* = 1.5 鉾田市鉾田 = 1.5 鉾田市造谷* = 1.5 城里町石塚* = 1.5 水戸市千波町* = 1.5 茨城町小堤* = 1.5 1 常陸太田市町田町* = 1.4 高萩市安良川* = 1.4 土浦市田中* = 1.4 つくば市天王台* = 1.4 茨城鹿嶋市宮中* = 1.4 阿見町中央* = 1.4 坂東市山* = 1.4 筑西市門井* = 1.4 常総市新石下* = 1.4 城里町阿波山* = 1.3 筑西市舟生 = 1.3 常陸太田市町屋町 = 1.3 桜川市岩瀬* = 1.3 桜川市真壁* = 1.3 取手市井野* = 1.3 茨城鹿嶋市鉢形 = 1.3 常陸太田市大中町* = 1.3 潮来市辻* = 1.2 取手市寺田* = 1.2 牛久市城中町* = 1.2 行方市玉造* = 1.2 城里町徳蔵* = 1.2 稲敷市江戸崎甲* = 1.1 行方市麻生* = 1.1 大洗町磯浜町* = 1.1 常陸大宮市中富町 = 1.1 常陸大宮市野口* = 1.1 つくばみらい市加藤* = 1.1 つくばみらい市福田* = 1.1 牛久市中央* = 1.0 常陸大宮市高部* = 1.0 北茨城市磯原町* = 1.0 ひたちなか市山ノ上町 = 1.0 龍ヶ崎市役所* = 1.0 下妻市鬼怒* = 1.0 坂東市岩井 = 0.9 坂東市役所* = 0.9 稲敷市役所* = 0.9 稲敷市柴崎* = 0.8 茨城古河市下大野* = 0.8 筑西市下中山* = 0.8 下妻市本城町* = 0.8 五霞町小福田* = 0.8 境町旭町* = 0.8 稲敷市結佐* = 0.7 潮来市堀之内 = 0.5 宇都宮市明保野町 = 1.8 芳賀町祖母井* = 1.7 大田原市湯津上* = 1.5 市貝町塙* = 1.5 栃木県 1 那須町寺子* = 1.4 益子町益子 = 1.4 那須烏山市中央 = 1.4 栃木市岩舟町静* = 1.3 栃木那珂川町馬頭* = 1.3 下野市石橋* = 1.3 下野市田中* = 1.3 宇都宮市中里町* = 1.2 栃木市旭町 = 1.2 栃木市大平町富田* = 1.2 茂木町茂木* = 1.2 高根沢町石末* = 1.2 鹿沼市見台* = 1.1 小山市神鳥谷* = 1.1 真岡市石島* = 1.1 栃木那珂川町小川* = 1.1 下野市笹原* = 1.1 日光市今市本町* = 1.1 矢板市本町* = 1.0 真岡市田町* = 1.0 日光市瀬川 = 1.0 大田原市本町* = 1.0 足利市大正町* = 0.9 栃木市藤岡町藤岡* = 0.9 鹿沼市今宮町* = 0.9 日光市中鉢石町* = 0.9 日光市芹沼* = 0.8 那須烏山市大金* = 0.8 宇都宮市旭* = 0.8 日光市鬼怒川温泉大原* = 0.8 那須塩原市あたご町* = 0.7 野木町丸林* = 0.7 栃木市万町* = 0.7 佐野市中町* = 0.7 大田原市黒羽田町 = 0.7 那須塩原市鍋掛* = 0.7 栃木さくら市喜連川* = 0.6 茂木町北高岡天矢場* = 0.5 群馬県 2 邑楽町中野* = 1.5 1 千代田町赤岩* = 1.2 大泉町日の出* = 1.2 前橋市粕川町* = 1.1 太田市西本町* = 1.1 渋川市赤城町* = 1.1 伊勢崎市西久保町* = 1.0 館林市城町* = 1.0 安中市安中* = 0.8 前橋市鼻毛石町* = 0.8 前橋市富士見町* = 0.7 桐生市元宿町* = 0.7 桐生市黒保根町* = 0.7 伊勢崎市境* = 0.7 太田市粕川町* = 0.7 板倉町板倉 = 0.7 群馬明和町新里* = 0.7 桐生市新里町* = 0.6 玉村町下新田* = 0.6 太田市浜町* = 0.6 館林市美園町* = 0.6 太田市新田金井町* = 0.5 伊勢崎市今泉町* = 0.5 前橋市堀越町* = 0.5 高崎市高松町* = 0.5 山形県 1 山辺町緑ヶ丘* = 0.5 埼玉県 1 行田市本丸* = 1.1 鴻巣市吹上富士見* = 1.1 熊谷市大里* = 1.0 行田市南河原* = 1.0 熊谷市妻沼* = 0.9 加須市大利根* = 0.9 久喜市下早見 = 0.9 春日部市金崎* = 0.9 宮代町笠原* = 0.9 加須市騎西* = 0.8 鴻巣市中央* = 0.8 春日部市粕壁* = 0.8 羽生市東* = 0.7 鴻巣市川里* = 0.7 春日部市谷原新田* = 0.7 さいたま岩槻区本丸* = 0.7 川島町下八ツ林* = 0.6 本庄市児玉町 = 0.6 本庄市本庄* = 0.6 熊谷市宮町* = 0.6 草加市高砂* = 0.6 吉川市吉川* = 0.6 埼玉美里町木部* = 0.5 加須市三俣* = 0.5 加須市北川辺* = 0.5 杉戸町清地* = 0.5 さいたま大宮区天沼町* = 0.5 千葉県 1 鎌ヶ谷市新鎌ヶ谷* = 1.3 野田市鶴泰* = 1.2 香取市仁良* = 1.0 野田市東宝珠花* = 1.0 成田市花崎町 = 1.0 成田国際空港 = 1.0 香取市役所* = 0.9 香取市佐原平田 = 0.8 柏市旭町 = 0.8 白井市復* = 0.8 多古町多古 = 0.7 千葉美浜区ひび野 = 0.7 富里市七栄* = 0.7 香取市佐原諏訪台* = 0.6 栄町安食台* = 0.6 東金市日吉台* = 0.5 芝山町小池* = 0.5 浦安市日の出 = 0.5				
86	19 07 23	福島県中通り 福島県	37° 05.0' N	140° 36.2' E	7km	M: 2.5
		1 古殿町松川横川 = 0.7				

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
87	19 11 56	福島県中通り 福島県 1 古殿町松川横川=1.1	37° 05.3' N	140° 36.2' E	6km	M: 2.5
88	19 12 40	福島県中通り 福島県 1 古殿町松川新桑原*=1.4 古殿町松川横川=1.2	37° 05.3' N	140° 35.6' E	7km	M: 2.8
89	19 18 13	岐阜県飛騨地方 長野県 2 木曾町開田高原西野*=1.6 岐阜県 1 高山市高根町*=0.8	36° 00.7' N	137° 34.5' E	5km	M: 2.9
90	19 21 38	茨城県沖 茨城県 1 高萩市安良川*=1.0 日立市助川小学校*=0.5	36° 15.1' N	140° 54.2' E	45km	M: 3.2
91	19 21 45	伊豆大島近海 静岡県 1 東伊豆町奈良本*=0.6	34° 44.1' N	139° 38.7' E	21km	M: 2.9
92	20 23 27	豊後水道 大分県 5強 佐伯市鶴見*=5.0 4 佐伯市蒲江蒲江浦=4.2 佐伯市上浦*=4.1 佐伯市米水津*=4.1 津久見市宮本町*=3.9 佐伯市春日町*=3.9 竹田市荻町*=3.9 佐伯市弥生*=3.7 豊後大野市清川町*=3.7 佐伯市役所*=3.6 津久見市立花町*=3.5 3 豊後大野市大野町*=3.4 臼杵市臼杵*=3.3 大分市佐賀関*=3.3 竹田市会々*=3.3 大分市新春日町*=3.1 竹田市久住町*=3.1 佐伯市蒲江猪串浦=3.1 佐伯市宇目*=3.1 竹田市竹田小学校*=3.0 豊後大野市緒方町*=3.0 豊後大野市千歳町*=3.0 佐伯市直川*=3.0 竹田市直入町*=2.9 佐伯市堅田=2.9 大分市舞鶴町*=2.9 由布市湯布院町川上*=2.8 佐伯市本匠*=2.7 由布市挾間町*=2.6 大分市明野北=2.6 豊後大野市朝地町*=2.6 豊後大野市三重町=2.5 2 大分市野津原*=2.4 臼杵市乙見=2.4 豊後大野市大飼町大飼*=2.3 豊後大野市大飼町黒松*=2.2 別府市天間=2.1 別府市上野口町*=2.1 由布市庄内町*=2.1 国東市鶴川=2.1 国東市田深*=2.1 竹田市直入小学校*=2.0 杵築市山香町*=2.0 国東市国見町伊美*=2.0 宇佐市上田*=2.0 姫島村役場*=2.0 杵築市杵築*=1.9 日出町役場*=1.9 国東市安岐町*=1.9 別府市鶴見=1.9 豊後高田市真玉*=1.9 臼杵市野津町*=1.9 杵築市南杵築*=1.8 豊後高田市御玉*=1.7 豊後高田市香々地*=1.7 宇佐市安心院町*=1.6 国東市国見町西方寺=1.6 九重町後野上*=1.6 1 中津市植野*=1.4 国東市武蔵町*=1.3 杵築市大田*=1.3 日田市上津江町*=1.2 中津市三光*=1.1 日田市前津江町*=1.1 中津市上宮永=0.9 中津市豊田町*=0.9 宇佐市院内町*=0.9 玖珠町帆足=0.7 熊本県 4 熊本高森町高森*=4.0 3 産山村山鹿*=3.4 阿蘇市波野*=2.9 阿蘇市内牧*=2.8 阿蘇市一の宮町*=2.6 山都町今*=2.6 南阿蘇村吉田*=2.5 2 西原村小森*=2.3 合志市竹迫*=2.3 熊本美里町永富*=2.2 山都町大平*=2.2 玉名市天水町*=2.2 益城町山鹿=2.1 熊本南区富合町*=2.0 山鹿市老人福祉センター*=1.9 山鹿市菊鹿町*=1.9 山鹿市山鹿*=1.9 菊池市隈府*=1.9 宇土市新小路町=1.9 人吉市蟹作町*=1.8 あさぎり町岡原*=1.8 宇城市小川町*=1.8 菊池市旭志*=1.8 山鹿市鹿本町*=1.8 長洲町長洲*=1.7 多良木町上球磨消防署*=1.7 南阿蘇村中松=1.7 八代市鏡町*=1.7 人吉市西間下町=1.7 玉名市横島町*=1.7 宇城市松橋町=1.6 宇城市豊野町*=1.6 菊池市七城町*=1.6 和水町江田*=1.6 玉名市中尾*=1.6 あさぎり町須恵*=1.6 多良木町多良木=1.6 天草市五和町*=1.6 山鹿市鹿央町*=1.5 錦町一武*=1.5 玉名市岱明町*=1.5 芦北町芦北=1.5 氷川町島地*=1.5 南小国町赤馬場*=1.5 熊本北区植木町*=1.5 1 八代市千丁町*=1.4 嘉島町上島*=1.4 熊本美里町馬場*=1.4 山都町下馬尾*=1.4 熊本東区佐土原*=1.4 あさぎり町免田東*=1.4 湯前町役場*=1.4 山江村山田*=1.4 宇城市不知火町*=1.3 熊本西区春日=1.3 八代市平山新町=1.3 あさぎり町上*=1.2 八代市坂本町*=1.2 南関町関町*=1.2 上天草市大矢野町=1.1 菊陽町久保田*=1.1 和水町板橋*=1.1 熊本小国町宮原*=1.1 菊池市泗水町*=1.1 大津町引水*=1.0 甲佐町豊上*=1.0 宇城市三角町*=0.8 水上村岩野*=0.8 水俣市牧ノ内*=0.8 天草市天草町*=0.8 五木村甲*=0.7 八代市泉町=0.5 宮崎県 4 延岡市北川町川内名白石*=3.8 延岡市北浦町古江*=3.5 3 高千穂町三田井=3.3 高千穂町寺迫*=3.1 延岡市天神小路=2.9 宮崎都農町役場*=2.7 日向市大王谷運動公園=2.7 延岡市北川町総合支所*=2.6 西都市聖陵町*=2.5 高鍋町上江*=2.5 2 延岡市北方町卯*=2.4 延岡市東本小路*=2.4 日向市東郷町山陰*=2.4 川南町川南*=2.4 門川町本町*=2.4 西都市上の宮*=2.3 木城町高城*=2.3 日向市亀崎=2.2 延岡市北方町未=2.2 椎葉村総合運動公園*=2.1 宮崎市松橋*=2.1 小林市野尻町東麓*=2.1 新富町上富田=2.0 日之影町岩井川*=2.0 宮崎市高岡町内山*=2.0 国富町本庄*=2.0 小林市真方=2.0 高原町西麓*=2.0 椎葉村下福良*=1.9 五ヶ瀬町三ヶ所*=1.9 宮崎市霧島=1.9 宮崎市橋通東*=1.8 宮崎都農町川北=1.8 都城市高崎町大牟田*=1.8 えびの市加久藤*=1.8 宮崎市田野町体育館*=1.7 日南市南郷町南町*=1.6 綾町南俣健康センター*=1.6 綾町役場*=1.6 日向市富高*=1.5 小林市役所*=1.5 小林市中原*=1.5 1 宮崎美郷町宇納間*=1.4 小林市細野*=1.4 諸塚村家代*=1.3 宮崎美郷町神門*=1.3 宮崎市佐土原町下田島*=1.3 都城市葛蒲原=1.2 都城市北原*=1.2 西米良村村所*=1.1 日南市吾田東*=1.1 都城市高城町穂満坊*=1.1 西米良村板谷*=0.7 愛媛県 3 愛南町船越*=3.0 愛南町一本松*=2.6 伊方町湊浦*=2.6 2 愛南町柏*=2.4 宇和島市津島町*=2.3 西予市明浜町*=2.2 八幡浜市五反田*=2.1 愛南町城辺*=2.1 八幡浜市保内町*=2.0 西予市宇和町*=1.9 西予市三瓶町*=1.9 宇和島市吉田町*=1.8 宇和島市丸穂*=1.7 愛南町御荘*=1.6 宇和島市住吉町=1.5 1 八幡浜市広瀬=1.4 大洲市大洲*=1.4 伊方町三机*=1.4 松野町松丸*=1.4 伊方町三崎*=1.3 宇和島市三間町*=1.3 上島町弓削*=1.2 松山市中島大浦*=1.2 大洲市長浜*=1.1	32° 52.0' N	132° 01.8' E	42km	M: 5.0

地震番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
		今治市大西町*1.0 大洲市肱川町*1.0 西予市野村町=1.0 内子町内子*1.0 内子町平岡*1.0 愛媛鬼北町近永*0.9 松山市富久町*0.8 久万高原町久万*0.8 伊予市下吾川*0.7 伊予市中山町*0.7 今治市南宝来町二丁目=0.7 西条市丹原町鞆瀬=0.6 愛媛鬼北町成川=0.5 東温市南方*0.5 高知県 3 宿毛市桜町*2.5 2 宿毛市片島=2.4 大月町弘見*1.8 黒潮町入野=1.6 黒潮町佐賀*1.5 1 四万十市古津賀*1.1 高知市高須東町*0.9 土佐清水市天神町*0.9 土佐清水市有永=0.8 土佐清水市足摺岬=0.7 四万十町大正*0.7 土佐清水市松尾*0.6 三原村来栖野*0.6 高知香南市夜須町坪井*0.5 広島県 2 府中町大通り*1.5 1 呉市川尻町*1.3 大竹市小方*1.3 呉市安浦町*1.2 呉市二河町*1.2 東広島市黒瀬町=1.1 呉市広*1.0 安芸高田市向原町*1.0 呉市音戸町*0.9 安芸高田市向原町長田*0.8 尾道市向島町*0.8 尾道市瀬戸田町*0.8 江田島市沖美町*0.8 大崎上島町東野*0.8 呉市宝町=0.8 三原市本郷南*0.7 東広島市西条栄町*0.7 広島安佐北区可部南*0.7 呉市豊町*0.6 海田町上市*0.6 広島中区上八丁堀=0.6 江田島市大柿町*0.6 広島安芸区中野*0.5 尾道市久保*0.5 広島西区己斐*0.5 広島安佐南区祇園*0.5 呉市下蒲刈町*0.5 廿日市市津田*0.5 山口県 2 柳井市南町*1.5 上関町長島*1.5 1 宇部市東須恵*1.4 平生町平生*1.4 周防大島町東和総合支所*1.4 防府市西浦*1.4 山口市阿知須*1.3 山陽小野田市日の出*1.3 周防大島町平野*1.3 周防大島町久賀*1.2 山口市秋徳東*1.2 岩国市横山*1.2 柳井市大島*1.2 周防大島町小松*1.1 光市中央*1.0 岩国市今津=0.9 周防大島町西安下庄*0.9 田布施町下田布施=0.9 山口市阿東徳佐*0.8 周南市富田*0.8 宇部市常盤町*0.8 山口市小郡下郷*0.8 岩国市玖珂総合支所*0.7 下関市清未陣屋*0.7 下松市大手町*0.6 岩国市由宇町*0.6 下関市竹崎=0.6 山口市前町=0.5 周南市岐山通り*0.5 福岡県 2 柳川市本町*1.8 久留米市津福本町=1.7 柳川市三橋町*1.7 大川市酒見*1.6 みやま市高田町*1.6 久留米市城島町*1.6 1 柳川市大和町*1.4 大木町八町牟田*1.4 みやま市瀬高町*1.3 八女市矢部村*1.2 上毛町垂水*1.1 八女市本町*1.0 筑後市山ノ井*1.0 水巻町頃末*1.0 行橋市今井*0.9 みやま市勝山上田*0.9 みやま市山川町*0.8 豊前市吉木*0.8 飯塚市立岩*0.8 八女市吉田*0.8 朝倉市宮野*0.8 八女市黒木町今*0.7 新宮町緑ヶ浜*0.7 うきは市浮羽町*0.7 北九州八幡東区大谷*0.7 中間市長津*0.7 嘉麻市上臼井*0.6 北九州若松区桜町*0.6 添田町添田*0.6 築上町椎田*0.5 佐賀県 2 上峰町坊所*1.7 神埼市千代田*1.7 みやま町三根*1.6 みやま町北茂安*1.6 白石町有明*1.5 1 佐賀市川副*1.4 佐賀市東与賀*1.2 小城市芦刈*1.2 神埼市神埼*1.2 佐賀市久保田*1.1 みやま町中原*1.1 佐賀市諸富*1.1 白石町福富*1.0 白石町福田*0.9 吉野ヶ里町三田川*0.8 鹿児島県 2 伊佐市菱刈前目*2.3 湧水町吉松*1.8 さつま町神子*1.5 霧島市福山町牧之原*1.5 1 霧島市国分中央*1.2 伊佐市大口島巢*1.2 阿久根市鶴見町*1.1 薩摩川内市神田町*1.1 薩摩川内市祁答院町*1.1 湧水町栗野*1.1 霧島市横川町中ノ*0.9 鹿屋市新栄町=0.9 始良市蒲生町上久徳*0.8 さつま町宮之城保健センタ*0.7 錦江町田代支所*0.6 島根県 1 益田市常盤町*1.0 大田市仁摩町仁万*0.9 浜田市殿町*0.7 浜田市三隅町三隅*0.6 川本町川本*0.5 長崎県 1 南島原市口之津町*1.1 南島原市深江町*0.9 南島原市加津佐町*0.9 諫早市森山町*0.9 雲仙市小浜町雲仙=0.8				
93	21 05 05	安芸灘 広島県 山口県	33° 58.7' N	132° 22.6' E	48km	M: 3.2
		1 廿日市市大野*1.0 呉市二河町*0.5 1 上関町長島*0.7				
94	21 07 31	豊後水道 愛媛県 熊本県 大分県	32° 51.7' N	132° 01.5' E	42km	M: 3.6
		1 愛南町船越*0.9 愛南町柏*0.6 愛南町一本松*0.5 宇和島市津島町*0.5 1 産山村山鹿*1.1 1 佐伯市鶴見*1.4 津久見市宮本町*1.1 佐伯市蒲江蒲江浦=1.1 大分市佐賀関*1.0 佐伯市上浦*1.0 津久見市立花町*0.7 佐伯市米水津*0.7 佐伯市春日町*0.6 大分市新春日町*0.5 宮崎県 1 高千穂町三田井=0.7 延岡市北川町川内名白石*0.5				
95	21 07 56	沖縄本島近海 沖縄県	26° 29.0' N	127° 09.4' E	12km	M: 3.1
		1 渡名喜村渡名喜*0.6				
96	21 09 52	福島県沖 福島県	37° 11.1' N	141° 25.8' E	47km	M: 3.8
		1 いわき市三和町=1.1 福島広野町下北迫大谷地原*1.1 富岡町本岡*1.0 楡葉町北田*0.9 双葉町両竹*0.9 浪江町幾世橋=0.9 いわき市平四ツ波*0.8 大熊町野上*0.8 白河市新白河*0.5 田村市都路町*0.5				
97	21 13 05	新潟県上越地方 新潟県	37° 02.9' N	138° 23.8' E	15km	M: 2.3
		1 上越市安塚区安塚*0.6 上越市浦川原区釜淵*0.6				
98 (注)	21 14 59 21 14 59	茨城県北部 茨城県北部 茨城県	36° 43.3' N 36° 43.4' N	140° 37.2' E 140° 37.0' E	7km 7km	M: 3.1 M: 2.9
		1 高萩市下手綱*1.2 高萩市安良川*1.1 日立市助川小学校*1.0 日立市役所*0.9 日立市十王町友部*0.9 常陸太田市町屋町=0.5				

地震 番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
99	21 17 13	千葉県北東部 千葉県	35° 25.0' N	140° 20.7' E	29km	M: 3.5 2 長南町長南*=2.4 大網白里市大網*=2.3 九十九里町片貝*=2.2 東金市日吉台*=2.0 白子町関*=2.0 市原市姉崎*=2.0 茂原市道表*=1.9 芝山町小池*=1.8 山武市殿台*=1.8 一宮町一宮=1.7 長柄町桜谷*=1.7 東金市東新宿=1.6 山武市蓮沼二*=1.6 山武市埴谷*=1.6 長生村本郷*=1.5 千葉中央区都町*=1.5 山武市蓮沼ハ*=1.5 1 東金市東岩崎*=1.3 長柄町大津倉=1.3 千葉緑区おゆみ野*=1.3 山武市松尾町富士見台=1.2 睦沢町下之郷*=1.1 山武市松尾町五反田*=1.1 千葉中央区中央港=1.1 千葉中央区千葉市役所*=1.1 千葉若葉区小倉台*=1.1 横芝光町栗山*=1.1 横芝光町宮川*=0.9 成田市花崎町=0.9 市原市国分寺台中央*=0.8 八街市八街*=0.8 香取市仁良*=0.7 四街道市鹿渡*=0.6 酒々井町中央台*=0.6 君津市久留里市場*=0.6 千葉美浜区ひび野=0.5
100	22 04 49	沖縄本島近海 鹿児島県	27° 42.8' N	128° 25.9' E	67km	M: 3.8 1 和泊町国頭=0.7 知名町瀬利覚=0.7 伊仙町伊仙*=0.6 与論町茶花*=0.6
101	22 06 00	熊本県熊本地方 熊本県	32° 45.3' N	130° 39.8' E	12km	M: 2.3 1 熊本西区春日=1.3
102	22 11 41	択捉島南東沖 北海道 岩手県	45° 01.0' N	149° 41.4' E	30km F	M: 5.3 1 根室市落石東*=1.1 根室市瑠瑠瑠*=0.8 標津町北2条*=0.7 別海町常盤=0.7 標茶町塘路*=0.6 別海町本別海*=0.6 十勝大樹町生花*=0.5 1 盛岡市薮川*=0.5
103	22 15 36	福島県沖 福島県	37° 12.6' N	141° 18.1' E	22km	M: 3.9 1 白河市新白河*=1.0 玉川村小高*=0.9 天栄村下松本*=0.8 楡葉町北田*=0.6 福島広野町下北迫大谷地原*=0.5 白河市郭内=0.5
104	23 03 46	茨城県沖 茨城県	36° 25.6' N	140° 39.7' E	53km	M: 3.4 2 東海村東海*=1.9 1 日立市助川小学校*=1.4 水戸市金町=1.0 日立市役所*=1.0 ひたちなか市南神敷台*=0.8 水戸市内原町*=0.5 笠間市石井*=0.5 水戸市千波町*=0.5 常陸大宮市北町*=0.5
105	23 06 32	茨城県北部 茨城県	36° 37.3' N	140° 35.3' E	8km	M: 2.5 1 日立市助川小学校*=0.5
106	23 08 59	岩手県沖 岩手県	39° 20.3' N	142° 03.6' E	48km	M: 4.5 3 釜石市只越町=2.7 釜石市中妻町*=2.5 2 大船渡市大船渡町=2.4 住田町世田米*=1.7 遠野市青笹町*=1.7 大船渡市猪川町=1.7 大船渡市盛町*=1.6 一関市室根町*=1.6 山田町大沢*=1.6 山田町八幡町=1.5 1 大槌町小鍵*=1.4 宮古市田老*=1.3 陸前高田市高田町*=1.2 盛岡市薮川*=1.2 一関市大東町=1.1 一関市千厩町*=1.1 一関市藤沢町*=1.1 遠野市宮守町*=1.0 宮古市茂市*=1.0 宮古市鎌ヶ崎=1.0 北上市相去町*=1.0 宮古市川井*=0.9 奥州市胆沢区*=0.9 宮古市五月町*=0.9 矢巾町南矢幅*=0.8 盛岡市洺民*=0.8 一関市東山町*=0.8 八幡平市田頭*=0.8 平泉町平泉*=0.7 花巻市大迫町=0.6 宮古市区界*=0.5 葛巻町葛巻元木=0.5 盛岡市山王町=0.5 宮古市長沢=0.5 宮城県 2 気仙沼市唐桑町*=1.8 気仙沼市赤岩=1.6 気仙沼市笹が陣*=1.5 1 石巻市桃生町*=1.0 涌谷町新町裏=0.9 南三陸町歌津*=0.9 南三陸町志津川=0.8 登米市東和町*=0.6 栗原市一迫*=0.6 石巻市泉町=0.6 登米市中田町=0.6 栗原市栗駒=0.5 石巻市大街道南*=0.5 青森県 1 階上町道仏*=0.9
107	23 21 06	伊豆大島近海 東京都	34° 43.9' N	139° 18.3' E	4km	M: 2.7 1 伊豆大島町波浮港*=1.4 伊豆大島町元町=1.0
108	23 21 36	日向灘 宮崎県	32° 20.5' N	131° 48.3' E	32km	M: 3.0 1 門川町本町*=0.8 延岡市天神小路=0.5
109	23 21 54	熊本県熊本地方 熊本県	32° 23.4' N	130° 37.1' E	2km	M: 1.8 1 八代市坂本町*=0.6
110	24 03 10	釧路沖 北海道	42° 57.6' N	145° 27.3' E	48km	M: 3.6 2 根室市厚床*=1.7 浜中町霧多布*=1.5 1 浜中町湯沸=1.0 標茶町塘路*=0.6 根室市牧の内*=0.6 根室市落石東*=0.5 根室市瑠瑠瑠*=0.5
111	24 10 46	宮城県沖 岩手県 宮城県	38° 51.3' N	142° 02.9' E	46km	M: 3.4 1 一関市室根町*=0.7 一関市千厩町*=0.5 1 気仙沼市笹が陣*=0.5
112	24 16 05	福島県中通り 福島県	37° 05.4' N	140° 35.8' E	7km	M: 2.4 1 古殿町松川横川=0.7
113	24 19 32	長野県南部 長野県	35° 51.1' N	137° 33.6' E	5km	M: 1.6 1 木曾町三岳*=0.6
114	24 22 43	京都府南部 京都府	35° 00.5' N	135° 33.7' E	9km	M: 3.0 2 南丹市八木町八木*=1.5

地震番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度（計測震度）	緯度	経度	深さ	規模
115	25 02 05	大阪府 兵庫東南部 兵庫県	34° 46.1' N	135° 04.9' E	10km	M: 3.1
116	25 07 02	長野県南部 長野県	35° 52.0' N	137° 35.1' E	7km	M: 5.6
		<p>1 亀岡市安町=1.3 京都中京区西ノ京=1.2 南丹市園部町小桜町*=1.1 亀岡市余部町*=0.8 京都右京区北周山町*=0.7 京都下京区河原町塩小路*=0.5</p> <p>1 能勢町役場*=0.8 能勢町今西*=0.6</p> <p>5強 王滝村役場*=5.1 木曾町三岳*=5.1 王滝村鈴ヶ沢*=5.0</p> <p>5弱 木曾町開田高原西野*=4.9</p> <p>4 木曾町福島*=4.3 木曾町新開*=4.3 上松町駅前通り*=4.1 木曾町日義*=3.7 大桑村長野*=3.6</p> <p>3 塩尻市櫛川保育園*=3.4 飯田市高羽町*=3.4 諏訪市高島*=3.3 飯田上市郷黒田*=3.2 松本市奈川*=3.2 南木曾町読書小学校*=3.1 長野高森町下市田*=3.1 下條村陸沢*=3.1 茅野市葛井公園*=3.0 諏訪市湖岸通り*=3.0 阿智村駒場*=2.9 南木曾町役場*=2.9 箕輪町中箕輪*=2.8 阿智村清内路*=2.8 中川村大草*=2.8 塩尻市木曾平沢*=2.8 泰阜村役場*=2.7 伊那市下新田*=2.6 辰野町中央*=2.6 飯田市大久保町*=2.6 松本市丸の内*=2.5 南箕輪村役場*=2.5 壳木村役場*=2.5 朝日村小野沢*=2.5</p> <p>2 松本市寿*=2.4 立科町芦田*=2.4 平谷村役場*=2.4 泰阜村梨久保=2.4 豊丘村神稲*=2.3 筑北村西条*=2.3 飯田市南信濃*=2.3 飯島町飯島=2.3 松川町元大島*=2.3 阿南町東条*=2.3 松本市安曇*=2.3 喬木村役場*=2.3 山形村役場*=2.2 宮田村役場*=2.2 下諏訪町役場*=2.2 駒ヶ根市赤須町*=2.1 大鹿村大河原*=2.1 塩尻市広丘高出*=2.1 小川村高府*=2.0 松本市美須々*=2.0 安曇野市堀金*=1.9 長野市信州新町新町*=1.9 長野市大岡*=1.9 上田市上武石*=1.9 阿智村浪合*=1.9 天龍村清水*=1.9 天龍村平岡*=1.9 長野南牧村海ノ口*=1.8 松本市沢村=1.8 伊那市高遠町荊口=1.8 松本市波田*=1.7 根羽村役場*=1.7 青木村田沢青木*=1.7 原村役場*=1.7 長和町和田*=1.7 筑北村坂井=1.7 長野市中条*=1.7 上田市上田古戦場公園=1.6 東御市県*=1.6 安曇野市穂高福祉センター*=1.6 安曇野市豊科*=1.6 伊那市長谷溝口*=1.6 富士見町落合*=1.5 大町市美麻*=1.5 安曇野市穂高支所=1.5 松本市梓川梓*=1.5 安曇野市三郷*=1.5 岡谷市幸町*=1.5 長野市豊野町豊野*=1.5</p> <p>1 坂城町坂城*=1.4 信濃町柏原東裏*=1.4 千曲市杭瀬下*=1.4 上田市上丸子*=1.4 小諸市文化センター*=1.4 佐久市甲*=1.4 佐久市望月*=1.4 生坂村役場*=1.4 東御市大日向*=1.4 飯田上市村*=1.4 長野市戸隠*=1.3 大町市八坂*=1.3 上田市役所*=1.3 御代田町御代田*=1.3 麻績村麻*=1.3 伊那市高遠町西高遠*=1.3 軽井沢町追分=1.2 長和町古町*=1.2 安曇野市明科*=1.2 長野市箱清水=1.2 松川村役場*=1.2 佐久市中込*=1.2 筑北村坂北*=1.1 長野市鬼無里*=1.1 長野池田町池田*=1.1 松本市会田*=1.1 小諸市小諸消防署*=1.1 中野市豊津*=1.0 千曲市戸倉*=1.0 大町市役所=0.9 千曲市上山田温泉*=0.9 飯綱町牟礼*=0.9 飯綱町芋川*=0.9 長野川上村大深山*=0.9 軽井沢町長倉*=0.8 大町市大町図書館*=0.8 栄村北信*=0.8 佐久市下小田切=0.8 小海町豊里*=0.7 長野市鶴賀緑町*=0.7</p> <p>4 輪島市門前町走出*=3.6</p> <p>3 穴水町大町*=2.9 中能登町中能登部下*=2.5 七尾市田鶴浜町*=2.5</p> <p>2 志賀町末吉千古*=2.4 輪島市鳳至町=2.3 中能登町末坂*=2.2 七尾市能登島向田町*=2.1 加賀市大聖寺南町*=2.1 能美市中町*=2.0 七尾市袖ヶ江町*=1.9 室達志水町今浜*=1.9 中能登町井田*=1.8 津幡町加賀爪=1.8 志賀町富来領家町=1.7 室達志水町子浦*=1.7 白山市美川浜町*=1.7 かほく市高松*=1.6 能美市寺井町*=1.6 能登町宇出津=1.6 かほく市宇野気*=1.6 金沢市西念=1.5 小松市小馬出町=1.5</p> <p>1 七尾市本府中町=1.4 羽咋市旭町*=1.4 かほく市浜北*=1.4 能美市来丸町*=1.4 輪島市河井町*=1.3 志賀町香能*=1.3 金沢市弥生*=1.2 小松市向本折町*=1.2 珠洲市正院町*=1.1 加賀市直下町=0.9 白山市別宮町*=0.6 羽咋市柳田町=0.6</p> <p>4 中津川市加子母*=4.4 下呂市下呂小学校*=3.5 高山市高根町*=3.5 中津川市付知町*=3.5</p> <p>3 下呂市萩原町*=3.4 高山市丹生川町坊方*=3.2 下呂市森=3.1 岐南町八剣*=3.1 中津川市川上*=3.0 高山市朝日町*=3.0 高山市久々野町*=2.9 高山市国府町*=2.8 瑞穂市別府*=2.8 高山市上宝町本郷*=2.8 飛騨市河合町元田*=2.8 中津川市小栗山*=2.7 中津川市福岡*=2.7 中津川市山口*=2.7 恵那市上矢作町*=2.7 高山市清見町*=2.6 下呂市小坂町*=2.6 中津川市本町*=2.6 中津川市坂下*=2.6 高山市一之宮町*=2.6 飛騨市古川町*=2.6 岐阜市加納二之丸=2.6 中津川市かやの木町=2.5 岐阜市柳津町*=2.5</p> <p>2 高山市消防署*=2.4 高山市奥飛騨温泉郷栢尾*=2.4 飛騨市神岡町東町*=2.4 下呂市馬瀬*=2.4 土岐市泉町*=2.4 土岐市肥田*=2.4 可児市広見*=2.4 八百津町八百津*=2.4 東白川村神土*=2.4 大垣市墨俣町*=2.4 美濃市役所*=2.4 郡上市八幡町旭*=2.4 郡上市和良町*=2.4 岐阜市京町*=2.3 高山市桐生町=2.3 笠松町司町*=2.3 郡上市明宝*=2.3 多治見市笠原町*=2.3 白川村鳩谷*=2.2 関市若草通り*=2.2 恵那市長島町*=2.2 岐阜山県市高富*=2.2 海津市海津町*=2.2 関市武芸川町*=2.1 美濃加茂市太田町=2.1 輪之内町四郷*=2.1 安八町氷取*=2.1 大野町大野*=2.1 白川町河岐*=2.1 下呂市金山町*=2.0 瑞穂市宮田*=2.0 郡上市八幡町島谷=2.0 御嵩町御嵩*=2.0 郡上市大和町*=2.0 郡上市白鳥町白鳥*=2.0 郡上市美並町*=2.0 海津市平田町*=2.0 各務原市那加桜町*=2.0 養老町高田*=2.0 富加町滝田*=2.0 飛騨市宮川町*=2.0 揖斐川町東杉原*=2.0 揖斐川町東津汲*=2.0 岐阜山県市大門*=1.9 川辺町中川辺*=1.9 高山市荘川町*=1.9 飛騨市神岡町殿=1.9 恵那市長島小学校*=1.9 恵那市山岡町*=1.9 美濃加茂市西町*=1.9 恵那市岩村町*=1.8 北方町北方*=1.8 岐阜山県市美山支所*=1.8 大垣市丸の内*=1.8 本巣市文殊*=1.8 羽島市竹鼻町*=1.8 飛騨市河合町角川*=1.8 各務原市川島河田町*=1.8 本巣市下真桑*=1.7 多治見市三笠町*=1.7 中津川市蛭川*=1.7 揖斐川町谷汲*=1.7 郡上市高鷲町*=1.6 関市上之保*=1.6 関市中之保*=1.6 関市洞戸市場*=1.6 高山市丹生川町森部=1.6 七宗町上麻生*=1.6 白川町黒川=1.6 岐阜池田町六之井*=1.5 岐阜山県市谷合運動場=1.5 本巣市三橋*=1.5 坂祝町取組*=1.5 関ヶ原町関ヶ原*=1.5 神戸町神戸*=1.5</p> <p>1 恵那市明智町*=1.4 可児市兼山*=1.4 揖斐川町三輪=1.4 揖斐川町中籠橋*=1.4 本巣市根尾*=1.4</p>				

地震 番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
		富山県				垂井町役場*1.3 揖斐川町西横山*1.3 大垣市上石津町*1.1 関市板取*1.1 郡上市白鳥町長滝*1.1 海津市南濃町*1.1 恵那市串原*1.0 揖斐川町坂内*0.9 揖斐川町春日*0.9 3 射水市橋下条*2.7 射水市加茂中部*2.6 2 氷見市加納*2.4 射水市小島*2.4 射水市二口*2.2 射水市本町*2.1 小矢部市泉町*2.0 高岡市伏木*2.0 富山市八尾町福島*2.0 南砺市城端*1.9 富山市今泉*1.9 高岡市広小路*1.8 舟橋村仏生寺*1.8 富山市石坂*1.8 南砺市蛇喰*1.7 富山市新桜町*1.7 滑川市寺家町*1.7 上市町稗田*1.6 南砺市天池*1.6 富山市婦中町笹倉*1.6 南砺市下梨*1.6 南砺市荒木*1.5 南砺市上平細島*1.5
		静岡県				1 富山市花崎*1.4 立山町吉峰*1.4 高岡市福岡町*1.4 南砺市利賀村上瀬瀬*1.4 南砺市苗島*1.3 富山市上二杉*1.3 立山町芦峯寺*1.3 砺波市庄川町*1.2 富山市楡原*1.2 富山市山田湯*1.1 立山町米沢*1.1 砺波市栄町*1.1 南砺市井波*1.1 富山朝日町道下*0.6 魚津市釈迦堂*0.6 3 袋井市浅名*2.6 浜松天竜区佐久間町*2.6 2 浜松天竜区水窪町*2.3 静岡駿河区曲金*2.2 牧之原市静波*2.2 磐田市福田*2.2 静岡菊川市赤土*2.2 浜松天竜区龍山町*2.1 掛川市西大淵*2.1 掛川市長谷*2.1 富士宮市野中*2.0 静岡葵区梅ヶ島*2.0 袋井市新屋*2.0 湖西市吉美*2.0 静岡森町森*2.0 浜松中区三組町*2.0 浜松天竜区春野町*2.0 浜松天竜区二俣町鹿島*2.0 浜松中区元城町*1.9 浜松西区雄踏*1.9 浜松南区江之島町*1.9 浜松北区三ヶ日町*1.9 浜松北区細江町*1.9 伊豆市中伊豆グラウンド*1.9 富士宮市弓沢町*1.9 磐田市下野部*1.9 掛川市三俣*1.9 浜松北区引佐町*1.8 浜松浜北区西美園*1.8 富士市吉永*1.8 島田市川根町家山*1.8 川根本町東藤川*1.8 掛川市篠場*1.8 牧之原市鬼女新田*1.7 磐田市国府台*1.7 浜松東区流通元町*1.7 浜松西区舞阪町*1.7 伊豆の国市長岡*1.7 島田市中央町*1.6 藤枝市岡部町岡部*1.6 静岡葵区駒形通*1.6 磐田市見付*1.6 磐田市岡*1.6 湖西市新居町浜名*1.6 御前崎市池新田*1.6 浜松中区高丘東*1.6 富士市本市場*1.5 焼津市宗高*1.5 磐田市森岡*1.5 1 富士市永田町*1.4 富士市大淵*1.4 島田市金谷代官町*1.4 吉田町住吉*1.4 静岡清水区千歳町*1.4 河津町田中*1.3 伊豆の国市四日町*1.3 伊豆の国市田京*1.3 沼津市高島本町*1.3 川根本町上長尾*1.3 静岡菊川市堀之内*1.3 東伊豆町奈良本*1.2 富士宮市長貫*1.2 御前崎市御前崎*1.2 松崎町江奈*1.1 西伊豆町仁科*1.1 西伊豆町宇久須*1.1 三島市東本町*1.1 静岡清水町堂庭*1.1 島田市川根町笹岡上*1.1 焼津市本町*1.1 藤枝市岡出山*1.1 静岡清水区蒲原新栄*1.1 静岡葵区追手町市役所*1.0 函南町平井*1.0 富士宮市猪之頭*1.0 富士市岩淵*1.0 南伊豆町下賀茂*0.9 沼津市御幸町*0.9 御殿場市萩原*0.9 小山町藤曲*0.9 静岡葵区追手町県庁*0.9 三島市大社町*0.8 浜松北区滝沢町*0.8 沼津市戸田*0.7 富士市富士総合運動公園*0.7 藤枝市瀬戸新屋*0.7 西伊豆町一色*0.7 伊豆市八幡*0.6 静岡清水区由比北田*0.6 下田市中*0.6 熱海市網代*0.5 下田市加増野*0.5 南伊豆町石廊崎*0.5
		愛知県				3 名古屋北区荻野通*3.0 名古屋西区八筋町*3.0 新城市作手高里繩手上*2.7 豊根村富山*2.7 名古屋瑞穂区塩入町*2.7 知多市緑町*2.7 新城市作手高里松風呂*2.6 名古屋熱田区一番*2.6 名古屋南区鳴尾*2.6 半田市東洋町*2.6 蟹江町蟹江本町*2.6 清須市清洲*2.6 名古屋名東区名東本町*2.5 常滑市新開町*2.5 高浜市稗田町*2.5 愛西市石田町*2.5 愛西市諏訪町*2.5 名古屋中村区大宮町*2.5 2 名古屋中川区東春田*2.4 名古屋港区春田野*2.4 名古屋港区善進本町*2.4 稲沢市平和町*2.4 東海市加木屋町*2.4 岩倉市川井町*2.4 清須市西枇杷島町花咲*2.4 清須市須ヶ口*2.4 名古屋守山区下志段味*2.3 刈谷市寿町*2.3 豊田市小坂町*2.3 知立市弘法*2.3 弥富市前ヶ須町*2.3 あま市甚目寺*2.3 長久手市岩作城の内*2.3 名古屋昭和区阿由知通*2.2 名古屋天白区島田*2.2 一宮市千秋*2.2 愛知県津島市埋田町*2.2 碧南市松本町*2.2 安城市横山町*2.2 西尾市矢曾根町*2.2 大府市中央町*2.2 大治町馬島*2.2 飛島村竹之郷*2.2 北名古屋西之保*2.2 弥富市神戸*2.2 あま市七宝町*2.2 蒲郡市水竹町*2.2 新城市矢部*2.2 小牧市安田町*2.1 稲沢市稲府町*2.1 豊橋市向山*2.1 豊山町豊場*2.1 名古屋千種区日和町*2.1 阿久比町卯坂*2.1 愛知美浜町河和*2.1 名古屋東区筒井*2.1 名古屋中区県庁*2.1 名古屋港区金城ふ頭*2.1 あま市木田*2.1 名古屋緑区有松町*2.1 一宮市緑*2.1 豊田市長興寺*2.1 豊田市駒場町*2.1 東郷町春木*2.0 東栄町本郷*2.0 東浦町緒川*2.0 幸田町菱池*2.0 愛西市稲葉町*2.0 愛西市江西町*2.0 愛知みよし市三好町*2.0 一宮市木曾川町*2.0 豊田市大洞町*2.0 西尾市一色町*2.0 尾張旭市東大道町*2.0 豊橋市東松山町*2.0 豊明市沓掛町*2.0 日進市蟹甲町*2.0 豊田市保見町*1.9 中部国際空港*1.9 稲沢市祖父江町*1.9 豊根村下黒川*1.9 武豊町長尾山*1.9 名古屋守山区西新*1.9 一宮市西五城*1.9 春日井市鳥居松町*1.9 豊川市小坂井町*1.8 豊田市敵部西町*1.8 新城市東入船*1.8 安城市和泉町*1.8 名古屋中区市役所*1.8 岡崎市壘山町*1.8 豊田市小坂本町*1.7 蒲郡市御幸町*1.7 設楽町津具*1.7 設楽町田口*1.7 田原市福江町*1.7 西尾市西幡豆町*1.7 大口町下小口*1.7 瀬戸市苗場町*1.7 豊川市諏訪*1.6 豊川市一宮町*1.6 西尾市吉良町*1.6 大山市五郎丸*1.6 田原市田原町*1.6 岡崎市若宮町*1.6 扶桑町高雄*1.5 豊田市藤岡飯野町*1.5 田原市赤羽根町*1.5 愛知江南市赤童子町*1.5 1 豊川市御津町*1.4 新城市長篠*1.4 豊川市赤坂町*1.3 南知多町豊浜*1.3 新城市乗本*1.2 豊田市坂上町*0.8 豊田市百々町*0.8 田原市古田町*0.5 3 甲賀市信楽町*2.9 東近江市鉢光寺町*2.8 彦根市城町*2.7 彦根市元町*2.6 近江八幡市桜宮町*2.6 米原市下多良*2.5 竜王町小口*2.5 湖南市石部中央西庁舎*2.5 2 長浜市西浅井町大浦*2.3 高島市朽木市場*2.3 高島市勝野*2.3 彦根市西今町*2.2 長浜市落合町*2.2 長浜市木之本町木之本*2.2 豊郷町石畑*2.2 米原市長岡*2.2 愛荘町安孫子*2.2 野洲市西河原*2.2 米原市顔戸*2.1 近江八幡市出町*2.1 近江八幡市安土町下豊浦*2.1 滋賀日野町河原*2.1 湖南市中央森北公園*2.1 甲賀市甲賀町大久保*2.1 東近江市市子川原町*2.1 東近江市妹町*2.1 長浜市公園町*2.0 大津市南小松*2.0 大津市国分*2.0 大津市南郷*2.0 湖南市中央東庁舎*2.0 甲賀市水口町*2.0

地震番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
		東近江市上二俣町*2.0 東近江市池庄町*2.0 長浜市余呉町中之郷*1.9 高島市マキノ町*1.9 愛荘町愛知川*1.9 大津市御陵町=1.9 守山市石田町*1.9 栗東市安養寺*1.9 東近江市山上町*1.9 甲良町在土*1.8 多賀町多賀*1.8 高島市今津町日置前*1.8 大津市真野*1.8 草津市草津*1.8 東近江市五個荘小幡町*1.8 長浜市高月町渡岸寺*1.8 長浜市八幡東町*1.8 長浜市宮部町*1.8 甲賀市甲賀町相模*1.7 甲賀市甲南町*1.7 長浜市湖北町速水*1.7 高島市今津町弘川*1.7 米原市春照*1.7 野洲市小篠原*1.6 東近江市八日市緑町*1.6 高島市安曇川町*1.6 甲賀市土山町*1.5 1 高島市新旭町*1.4 高島市朽木柏*1.3 長浜市内保町*1.2 大津市木戸消防分団*1.1 東近江市君ヶ畑町=1.1 2 久喜市菖蒲*1.5				
		埼玉県 1 加須市三俣*1.4 鴻巣市吹上富士見*1.4 久喜市青葉*1.4 幸手市東*1.4 宮代町笠原*1.4 春日部市谷原新田*1.3 富士見市鶴馬*1.3 川島町下八ツ林*1.3 久喜市栗橋*1.3 八潮市中央*1.2 加須市大利根*1.2 熊谷市大里*1.2 吉見町下細谷*1.2 川口市三ツ和*1.2 さいたま大宮区天沼町*1.2 久喜市下早見=1.2 草加市高砂*1.2 久喜市鷲宮*1.1 さいたま中央区下落合*1.1 さいたま緑区中尾*1.1 春日部市粕壁*1.1 川口市青木*1.1 さいたま西区指扇*1.0 行田市本丸*1.0 戸田市上戸田*1.0 鶴ヶ島市三ツ木*1.0 毛呂山町中央*1.0 志木市中宗岡*1.0 鴻巣市中央*1.0 杉戸町清地*1.0 蕨市中央*0.9 行田市南河原*0.9 加須市騎西*0.9 さいたま桜区道場*0.9 加須市北川辺*0.9 秩父市中津川*0.9 鴻巣市川里*0.9 秩父市近戸町*0.8 さいたま見沼区堀崎*0.8 東松山市松葉町*0.8 和光市広沢*0.8 さいたま北区宮原*0.8 横瀬町横瀬*0.7 朝霞市本町*0.7 桶川市上日出谷*0.7 さいたま浦和区高砂=0.7 さいたま南区別所*0.7 春日部市金崎*0.7 入間市豊岡*0.7 秩父市熊木町*0.7 上尾市本町*0.6 秩父市上町=0.6 新座市野火止*0.6 狭山市入間川*0.6 熊谷市桜町=0.5 川越市旭町=0.5 2 横浜戸塚区島が丘*1.6				
		神奈川県 1 横浜港北区日吉本町*1.4 横浜神奈川区神大寺*1.3 横浜中区山手町=1.3 川崎宮前区野川*1.3 松田町松田惣領*1.3 藤沢市打戻*1.2 相模原南区相模大野*1.2 相模原緑区橋本*1.2 湯河原町中央=1.1 相模原緑区中野*1.1 横浜緑区十日市場町*1.1 川崎川崎区千鳥町*1.0 川崎幸区戸手本町*1.0 相模原中央区水郷田名*1.0 横浜旭区川井宿町*0.9 川崎川崎区中島*0.9 川崎中原区小杉町*0.9 川崎麻生区万福寺*0.9 三浦市城山町*0.9 茅ヶ崎市茅ヶ崎=0.8 秦野市曾屋=0.8 川崎宮前区宮前平*0.7 相模原緑区小淵*0.7 川崎中原区小杉陣屋町=0.6 相模原緑区若柳=0.6 秦野市平沢*0.5 2 高浜町宮崎=2.3 小浜市四谷町*2.2 越前町西田中*2.1 福井若狭町中央*2.0 小浜市大手町*1.9 大野市朝日*1.9 福井おおい町本郷*1.8 大野市貝皿*1.7 越前町織田*1.7 福井市豊島=1.7 越前市粟田部*1.6 敦賀市松栄町=1.6 福井市板垣*1.6 越前市村国*1.6 福井若狭町市場*1.5 敦賀市中央*1.5 1 越前町江波*1.4 あわら市市姫*1.4 福井坂井市坂井町下新庄*1.4 福井坂井市春江町随心寺*1.4 福井美浜町新庄=1.4 鯖江市水落町*1.3 あわら市国影*1.3 越前市高瀬=1.3 福井美浜町郷市*1.3 大野市天神町*1.2 南越前町東大道*1.0 福井坂井市三国町中央=1.0 福井坂井市丸岡町西里丸岡*1.0 福井おおい町名田庄久坂*1.0 永平寺町栗住波*0.9 永平寺町松岡春日*0.8 福井市小羽町*0.8 勝山市旭町=0.7 福井池田町稲荷*0.7 越前町道口*0.6 福井市美山町*0.5				
		山梨県 2 山梨北杜市長坂町*2.2 甲府市下曾根町*2.1 身延町役場*2.1 南アルプス市鮎沢*1.9 南アルプス市寺部*1.9 富士河口湖町長浜*1.8 昭和町押越*1.8 身延町大磯小磯=1.7 山梨北杜市高根町*1.7 中央市成島*1.7 山梨北杜市明野町*1.6 富士川町鯉沢*1.6 忍野村忍草*1.6 山中湖村山中*1.6 山梨北杜市大泉町*1.5 山梨北杜市小淵沢町*1.5 市川三郷町六郷支所*1.5 中央市白井阿原*1.5 甲斐市下今井*1.5 1 甲府市飯田=1.4 甲府市相生*1.4 山梨南部町富士*1.4 南アルプス市小笠原*1.4 笛吹市役所*1.4 山梨北杜市役所*1.4 上野原市役所*1.4 富士河口湖町船津=1.4 早川町葉袋*1.3 身延町梅平*1.3 甲斐市島上条*1.3 笛吹市八代町南*1.3 山梨北杜市健康ランド須玉*1.3 中央市大島居*1.3 上野原市上野原=1.3 早川町保*1.2 身延町常葉*1.2 甲斐市篠原*1.2 笛吹市境川町藤壘*1.2 甲州市塩山上於曾*1.2 甲州市勝沼町勝沼*1.2 大月市御太刀*1.2 西桂町小沼*1.2 笛吹市春日居町寺本*1.1 山梨南部町栄小学校*1.1 南アルプス市野牛島*1.1 南アルプス市飯野*1.1 山梨北杜市武川町*1.0 山梨北杜市白州町*1.0 甲州市役所*1.0 大月市大月=1.0 鳴沢村役場*1.0 富士河口湖町勝山*1.0 富士河口湖町役場*1.0 甲州市塩山下於曾=0.9 富士吉田市上吉田*0.9 富士河口湖町本栖*0.9 山梨南部町内船*0.9 甲府市古閑町*0.8 南アルプス市芦安芦倉*0.8 小菅村小菅小学校*0.5				
		三重県 2 四日市市新浜町*2.2 鈴鹿市西条=2.2 四日市市日永=2.1 亀山市椿世町*2.1 三重朝日町小向*1.8 津市島崎町=1.8 桑名市多度町多度*1.5 東員町山田*1.5 菰野町潤田*1.5 亀山市本丸町*1.5 松阪市魚町*1.5 1 四日市市諏訪町*1.4 木曽岬町西対海地*1.4 川越町豊田一色*1.4 四日市市楠町北五味塚*1.3 桑名市中央町*1.3 亀山市関町木崎*1.3 伊賀市緑ヶ丘本町=1.3 伊賀市小田町*1.3 いなべ市員弁町笠田新田*1.2 桑名市長島町松ヶ島*1.2 いなべ市北勢町阿下喜*1.1 津市片田薬王寺町=1.1 津市安濃町東観音寺*1.1 いなべ市大安町大井田*1.0 津市香良洲町*1.0 松阪市上川町=1.0 伊賀市馬場*1.0 津市河芸町浜田*0.9 津市芸濃町椋本*0.9 津市久居明神町*0.8 松阪市首原町*0.8 伊勢市楠部町*0.8 いなべ市藤原町市場*0.7 2 久御山町田井*2.1 京都下京区河原町塩小路*2.0 宇治市宇治琵琶=2.0 八幡市八幡*2.0 京丹後市網野町*1.9 京都市中京区西ノ京=1.9 城陽市寺田*1.9 宇治市折居台*1.8 長岡京市開田*1.8 大山崎町円明寺*1.8 南丹市八木町八木*1.8 与謝野町加悦*1.7 京都上京区藪ノ内町*1.7 向日市寺戸町*1.7 京丹後市弥栄町溝谷*1.6 亀岡市安町=1.6 宇治田原町荒木*1.6 京丹後市久美浜町広瀬*1.5 京丹後市久美浜市民局*1.5 京田辺市田辺*1.5 井手町井手*1.5 精華町南福八妻*1.5 南山城村北大河原*1.5 1 福知山市大江町河守*1.4 宮津市柳縄手*1.4 京丹後市峰山町*1.4 京都右京区京北周山町*1.4				
		京都府 1 福知山市大江町河守*1.4 宮津市柳縄手*1.4 京丹後市峰山町*1.4 京都右京区京北周山町*1.4				

地震番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
		<p>大阪府</p> <p>1 亀岡市余部町*1.4 与謝野町岩滝*1.3 与謝野町四辻*1.3 和東町釜塚*1.3 京丹波町蒲生*1.3 木津川市加茂町里*1.3 福知山市長田野町*1.1 舞鶴市下福井*1.1 南丹市園部町小椋町*1.1 木津川市木津*1.1 木津川市山城町上狛*1.0 福知山市三和町千束*1.0 伊根町日出*1.0 京丹後市大宮町*1.0 京都左京区広河原能見町*1.0 伊根町亀島*0.9 京都山科区安朱川向町*0.9 笠置町笠置*0.9 舞鶴市北吸*0.5 綾部市若竹町*0.5</p> <p>2 島本町若山*2.0 四條畷市中野*1.9 箕面市栗生外院*1.8 豊中市役所*1.7 高槻市立第2中学校*1.7 大阪淀川区千舟*1.6 大阪淀川区木川東*1.6 寝屋川市役所*1.6 能勢町役場*1.6 大阪東淀川区北江口*1.5 大阪平野区平野南*1.5 大阪国際空港*1.5 豊中市曾根南町*1.5 大東市新町*1.5 能勢町今西*1.5</p> <p>兵庫県</p> <p>1 大阪都島区都島本通*1.4 大阪福島区福島*1.4 大阪旭区大宮*1.4 大阪北区茶屋町*1.4 池田市城南*1.4 高槻市消防本部*1.4 箕面市箕面*1.4 門真市中町*1.4 交野市私部*1.4 大阪東成区東中本*1.3 大阪城東区放出西*1.3 大阪住之江区御崎*1.3 茨木市東中条町*1.3 摂津市三島*1.3 大阪港区築港*1.2 大阪東淀川区柴島*1.2 吹田市内本町*1.2 高槻市桃園町*1.2 守口市京阪本通*1.2 枚方市大垣内*1.2 東大阪市荒本北*1.2 大阪生野区舍利寺*1.1 大阪東住吉区杭全*1.1 大阪鶴見区横堤*1.1 大阪此花区春日出北*1.0 八尾市本町*1.0 豊能町余野*0.9 泉大津市東雲町*0.9 藤井寺市岡*0.9 大阪堺市南区桃山台*0.9 大阪太子町山田*0.8 千早赤阪村水分*0.8 大阪西区九条南*0.8 大阪大正区泉尾*0.8 大阪阿倍野区松崎町*0.8 大阪西成区岸里*0.8 富田林市高辺台*0.8 松原市阿保*0.8 羽曳野市菅田*0.8 柏原市安堂町*0.7 岸和田市畑町*0.7 富田林市本町*0.7 大阪堺市堺区大浜南町*0.7 大阪堺市西区鳳東町*0.7 大阪中央区大手前*0.7 大阪浪速区元町*0.6 岸和田市岸城町*0.6 大阪住吉区遠里小野*0.6 河内長野市役所*0.6 大阪和泉市府中町*0.6 大阪狭山市狭山*0.6 熊取町野田*0.6 大阪堺市中区深井清水町*0.6</p> <p>2 豊岡市桜町*1.9 篠山市北新町*1.6 篠山市杉*1.6 尼崎市昭和通*1.5 西宮市宮前町*1.5 加古川市加古川町*1.5 川西市中央町*1.5 三田市下深田*1.5 丹波市市島町*1.5</p> <p>茨城県</p> <p>1 西宮市平木*1.4 三木市福井*1.4 丹波市春日町*1.4 神戸中央区脇浜*1.3 豊岡市城崎町*1.2 神戸東灘区住吉東町*1.2 神戸北区藤原台南町*1.2 伊丹市千僧*1.2 三木市細川町*1.2 篠山市宮田*1.2 三田市下里*1.1 姫路市豊富*1.1 加東市社*1.0 加古川市志方町*0.9 朝来市和田山町枚田*0.8 姫路市安田*0.8 相生市旭*0.8 赤穂市加里屋*0.8 明石市中崎*0.6 西宮市名塩*0.6 豊岡市出石町*0.5 朝来市和田山町柳原*0.5</p> <p>栃木県</p> <p>1 石岡市柿岡*1.3 坂東市岩井*0.9 筑西市舟生*0.9</p> <p>群馬県</p> <p>1 宇都宮市明保野町*0.5</p> <p>1 東吾妻町本宿*0.9 安中市松井田町*0.9 群馬明和町新里*0.9 邑楽町中野*0.8 千代田町赤岩*0.7 安中市安中*0.7 渋川市赤城町*0.7 板倉町板倉*0.6 神流町神ヶ原*0.5 群馬上野村川和*0.5 神流町生利*0.5</p> <p>千葉県</p> <p>1 浦安市日の出*1.1 千葉中央区都町*1.0 市原市姉崎*0.9</p> <p>東京都</p> <p>1 東京足立区伊興*1.4 小平市小川町*1.3 東京千代田区大手町*1.2 東京江東区森下*1.2 青梅市日向和田*1.2 東京板橋区高島平*1.1 東京足立区神明南*1.1 東京江戸川区船堀*1.1 八王子市堀之内*1.1 日野市神明*1.1 東京江東区東陽*1.1 東京北区神谷*1.1 東京荒川区東尾久*1.1 東京江東区亀戸*1.0 東京中野区中野*1.0 東京荒川区荒川*1.0 東京葛飾区金町*1.0 調布市西つじヶ丘*1.0 東京墨田区東向島*1.0 東京江東区越中島*1.0 国分寺市戸倉*1.0 新島村本村*1.0 東京文京区大塚*0.9 東京墨田区横川*0.9 国分寺市本多*0.9 東京江東区枝川*0.9 東京大田区本羽田*0.9 東京世田谷区成城*0.9 東京北区西ヶ原*0.9 東京足立区中央本町*0.9 東京中央区日本橋兜町*0.9 東京中央区勝どき*0.9 昭島市田中町*0.9 東京文京区スポーツセンタ*0.9 東京足立区千住中居町*0.8 東京江東区青海*0.8 東京渋谷区宇田川町*0.8 東京渋谷区本町*0.8 東京杉並区高井戸*0.8 東京品川区北品川*0.8 西東京市中町*0.8 東大和市中央*0.8 武蔵村山市本町*0.8 東京板橋区板橋*0.8 東京大田区多摩川*0.8 東京杉並区阿佐谷*0.7 町田市森野*0.7 東京千代田区麹町*0.7 東京練馬区東大泉*0.7 東京品川区平塚*0.7 新島村式根島*0.7 東京港区海岸*0.7 武蔵野市緑町*0.7 武蔵野市吉祥寺南町*0.7 東京目黒区中央町*0.6 三鷹市野崎*0.6 東京府中市朝日町*0.6 伊豆大島町元町*0.6</p> <p>新潟県</p> <p>1 長岡市小国町法坂*1.4 上越市頸城区百間町*1.2 上越市三和区井ノ口*1.2 妙高市関川*1.2 上越市中ノ俣*1.1 上越市木田*1.1 上越市安塚区安塚*1.1 長岡市小島谷*1.1 十日町市松代*1.1 刈羽村割町新田*1.1 南魚沼市六日町*1.1 長岡市山古志竹沢*1.0 長岡市寺泊教ヶ曾根*1.0 上越市牧区柳島*1.0 長岡市上岩井*1.0 十日町市松之山*0.9 新潟西蒲区巻甲*0.9 上越市吉川区原之町*0.9 上越市大手町*0.8 上越市板倉区針*0.8 燕市分水桜町*0.8 新潟西蒲区役所*0.8 上越市中郷区藤沢*0.7 柏崎市高柳町岡野町*0.7 小千谷市旭町*0.7 長岡市東川口*0.6 上越市浦川原区釜淵*0.6 十日町市上山*0.6 糸魚川市一の宮*0.6 上越市清里区荒牧*0.5 長岡市与板町与板*0.5</p> <p>奈良県</p> <p>1 奈良市西紀寺町*1.3 天理市川原城町*1.3 桜井市粟殿*1.3 田原本町役場*1.3 高取町観音寺*1.3 大和郡山市北郡山町*1.2 宇陀市大宇陀迫間*1.2 奈良市二条大路南*1.1 三宅町伴堂*1.1 広陵町南郷*1.1 橿原市八木町*1.0 御所市役所*1.0 生駒市東新町*1.0 奈良川西町結崎*1.0 葛城市柿本*1.0 香芝市本町*0.9 安堵町東安堵*0.9 王寺町王寺*0.9 大和高田市大中*0.8 三郷町勢野西*0.8 葛城市長尾*0.8 大和高田市野口*0.7 山添村大西*0.7 上牧町上牧*0.7 河合町池部*0.7 大淀町檢垣*0.7 宇陀市室生大野*0.7 平群町吉新*0.6 斑鳩町法隆寺西*0.6 天川村洞川*0.6 奈良市月ヶ瀬尾山*0.6 五條市本町*0.6 曾爾村今井*0.5 御杖村菅野*0.5 桜井市初瀬*0.5 宇陀市榛原下井足*0.5</p> <p>和歌山県</p> <p>1 古座川町高池*0.9 御坊市園*0.6 みなべ町芝*0.6 田辺市中屋敷町*0.5 和歌山市男野芝丁*0.5 紀の川市粉河*0.5</p> <p>鳥取県</p> <p>1 鳥取市吉成*0.9 鳥取市福部町細川*0.9 北栄町土下*0.7 湯梨浜町久留*0.6 境港市上道町*0.6</p> <p>島根県</p> <p>1 大田市仁摩町仁万*0.9</p> <p>岡山県</p> <p>1 岡山南区浦安南町*1.1 赤磐市上市*1.0 真庭市蒜山下福田*0.9 玉野市宇野*0.9 真庭市蒜山上福田*0.8 倉敷市水島北幸町*0.8 倉敷市玉島阿賀崎*0.8 備前市東片上*0.7</p>				

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
		和気町矢田*=-0.7 瀬戸内市長船町*=-0.7 岡山東区瀬戸町*=-0.7 倉敷市船穂町*=-0.6 和気町尺所*=-0.6 里庄町里見*=-0.6 鏡野町上齋原*=-0.5 赤磐市松木*=-0.5 浅口市金光町*=-0.5 1 府中町大通り*=-1.0 呉市宝町=0.7				
		広島県 香川県 愛媛県				
117	25 07 03	長野県南部 長野県	35° 52.3' N	137° 34.9' E	6km	M: -,-
		1 木曾町三岳*=-0.8 木曾町開田高原西野*=-0.6				
118	25 07 05	長野県南部 長野県	35° 51.6' N	137° 34.4' E	6km	M: 2.2
		1 木曾町三岳*=-0.9				
119	25 07 07	長野県南部 長野県	35° 51.1' N	137° 34.4' E	7km	M: 2.1
		1 木曾町三岳*=-0.7				
120	25 07 09	長野県南部 長野県	35° 51.5' N	137° 35.0' E	7km	M: 2.3
		1 木曾町三岳*=-1.0 木曾町新開*=-0.6				
121	25 07 10	長野県南部 長野県	35° 51.7' N	137° 33.9' E	6km	M: 2.2
		1 木曾町開田高原西野*=-0.6				
122	25 07 19	長野県南部 長野県	35° 51.4' N	137° 35.2' E	7km	M: 2.8
		2 木曾町三岳*=-2.1 王滝村役場*=-1.7 1 王滝村鈴ヶ沢*=-1.4 上松町駅前通り*=-0.8 木曾町新開*=-0.7				
123	25 07 31	長野県南部 長野県	35° 52.4' N	137° 34.9' E	6km	M: 2.2
		1 木曾町開田高原西野*=-0.5				
124	25 07 48	長野県南部 長野県	35° 51.2' N	137° 35.0' E	7km	M: 1.8
		1 木曾町三岳*=-0.6				
125	25 07 58	長野県南部 長野県	35° 51.4' N	137° 35.1' E	7km	M: 2.0
		1 木曾町三岳*=-0.8				
126	25 08 11	長野県南部 長野県	35° 51.7' N	137° 34.0' E	5km	M: 2.1
		1 木曾町三岳*=-0.6				
127	25 08 20	長野県南部 長野県	35° 52.2' N	137° 33.7' E	5km	M: 2.4
		1 木曾町三岳*=-0.6				
128	25 08 25	長野県南部 長野県	35° 52.4' N	137° 34.9' E	6km	M: 2.9
		2 木曾町開田高原西野*=-1.9 1 木曾町三岳*=-1.4 木曾町新開*=-0.9 王滝村役場*=-0.7 王滝村鈴ヶ沢*=-0.6 木曾町日義*=-0.5 岐阜県 1 高山市高根町*=-0.7				
129	25 08 26	長野県南部 長野県	35° 51.4' N	137° 35.2' E	7km	M: 1.8
		1 木曾町三岳*=-0.6				
130	25 08 35	長野県南部 長野県	35° 51.6' N	137° 35.5' E	7km	M: 2.2
		1 木曾町三岳*=-1.0 木曾町新開*=-0.7				
131	25 08 43	長野県南部 長野県	35° 51.9' N	137° 35.7' E	7km	M: 3.1
		2 木曾町三岳*=-2.1 木曾町新開*=-1.9 1 王滝村役場*=-1.3 木曾町開田高原西野*=-1.0 木曾町日義*=-0.9 木曾町福島*=-0.9 王滝村鈴ヶ沢*=-0.8 岐阜県 1 高山市高根町*=-0.6				
132	25 08 48	長野県南部 長野県	35° 52.7' N	137° 35.2' E	6km	M: 2.4
		1 木曾町三岳*=-0.9				
133	25 09 24	長野県南部 長野県	35° 51.8' N	137° 34.0' E	6km	M: 4.5
		4 木曾町開田高原西野*=-3.5 3 木曾町三岳*=-3.3 王滝村役場*=-3.0 王滝村鈴ヶ沢*=-2.8 木曾町新開*=-2.6 2 木曾町日義*=-2.3 木曾町福島*=-2.1 上松町駅前通り*=-1.7 塩尻市檜川保育園*=-1.6 飯田市高羽町=-1.6 松本市奈川*=-1.5 大桑村長野*=-1.5 1 塩尻市木曾平沢*=-1.3 箕輪町中箕輪*=-1.3 下條村陸沢*=-1.3 長野高森町下市田*=-1.2 伊那市下新田*=-1.2 南木曾町読書小学校*=-1.2 飯田市上郷黒田*=-1.2 南箕輪村役場*=-1.2 南木曾町役場*=-1.0 諏訪市湖岸通り=1.0 茅野市葛井公園*=-1.0 阿智村駒場*=-1.0 松本市安曇*=-1.0 平谷村役場*=-0.9 辰野町中央=0.8 松本市丸の内*=-0.8 泰阜村役場*=-0.8 山形村役場*=-0.7 飯田市大久保町*=-0.7 朝日村小野沢*=-0.6 松本市寿*=-0.5 泰阜村梨久保=0.5 伊那市高遠町荊口=0.5 大鹿村大河原*=-0.5 岐阜県 2 下呂市下呂小学校*=-2.4 下呂市萩原町*=-2.4 中津川市加子母*=-2.3 下呂市馬瀬*=-2.0 下呂市森=2.0 下呂市小坂町*=-1.9 飛騨市河合町元田*=-1.8 高山市丹生川町坊方*=-1.8 中津川市付知町*=-1.7				

地震番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
		高山市国府町*1.7 飛騨市古川町*1.6 中津川市本町*1.5 高山市久々野町*1.5 中津川市川上*1.5 高山市高根町*1.5 1 高山市朝日町*1.4 郡上市明宝*1.4 高山市消防署*1.3 中津川市かやの木町*1.3 中津川市坂下*1.3 中津川市山口*1.3 高山市一之宮町*1.2 高山市清見町*1.2 白川村鳩谷*1.2 高山市桐生町*1.1 中津川市小栗山*1.1 高山市荘川町*1.1 高山市上宝町本郷*1.0 飛騨市河合町角川*1.0 飛騨市宮川町*1.0 多治見市笠原町*1.0 中津川市福岡*1.0 恵那市上矢作町*1.0 土岐市泉町*1.0 岐南町八剣*1.0 郡上市和良町*1.0 郡上市白鳥町白鳥*0.9 揖斐川町東津波*0.9 岐阜市加納二之丸*0.9 郡上市大和町*0.9 美濃市役所*0.8 大野町大野*0.8 瑞穂市別府*0.8 岐阜山県市高富*0.8 郡上市八幡町島谷*0.8 郡上市八幡町旭*0.8 恵那市長島町*0.8 土岐市肥田*0.8 飛騨市神岡町東町*0.7 可児市広見*0.7 八百津町八百津*0.7 郡上市高鷲町*0.7 高山市奥飛騨温泉郷栢尾*0.7 大垣市墨俣町*0.6 関市武芸川町*0.6 恵那市長島小学校*0.6 恵那市岩村町*0.5 関市若草通り*0.5 飛騨市神岡町殿*0.5 揖斐川町東杉原*0.5 東白川村神土*0.5 2 新城市作手高里繩手上*1.9 高浜市稗田町*1.8 新城市作手高里松風呂*1.5 1 西尾市矢曾根町*1.4 刈谷市寿町*1.3 安城市横山町*1.3 常滑市新開町*1.3 西尾市西幡豆町*1.2 知立市弘法*1.2 阿久比町卯坂*1.2 名古屋緑区有松町*1.1 半田市東洋町*1.1 安城市和泉町*1.1 豊橋市向山*1.1 名古屋北区萩野通*1.1 東海市加木屋町*1.1 名古屋瑞穂区塩入町*1.1 名古屋南区鳴尾*1.1 名古屋西区八筋町*1.0 碧南市松本町*1.0 豊田市小坂町*1.0 豊田市長興寺*1.0 稲沢市平和町*1.0 大府市中央町*1.0 知多市緑町*1.0 蟹江町蟹江本町*1.0 幸田町菱池*1.0 一宮市千秋*0.9 小牧市安田町*0.9 蒲郡市水竹町*0.8 名古屋熱田区一番*0.8 名古屋港区金城ふ頭*0.8 東郷町春木*0.8 東浦町緒川*0.8 愛西市諏訪町*0.8 愛知みよし市三好町*0.8 名古屋名東区名東本町*0.7 名古屋天白区島田*0.7 岡崎市若宮町*0.7 武豊町長尾山*0.7 愛西市石田町*0.7 豊根村富山*0.7 西尾市一色町*0.7 名古屋中川区東春田*0.7 西尾市吉良町*0.6 豊川市一宮町*0.6 名古屋港区善進本町*0.6 清須市清洲*0.6 北名古屋西之保*0.6 弥富市前ヶ須町*0.6 豊田市小坂本町*0.6 長久手市岩作城の内*0.6 名古屋守山区下志段味*0.6 岩倉市井川町*0.6 日進市蟹甲町*0.6 飛島村竹之郷*0.6 中部国際空港*0.5 豊川市赤坂町*0.5 蒲郡市御幸町*0.5 新城市矢部*0.5 一宮市緑*0.5 新城市東入船*0.5 豊明市沓掛町*0.5 名古屋中村区大宮町*0.5 名古屋中区県庁*0.5 富山県 1 南砺市上平細島*0.7 南砺市下梨*0.6 福井県 1 大野市朝日*1.0 小浜市四谷町*1.0 大野市貝皿*0.9 高浜町宮崎*0.8 越前町西田中*0.8 越前市村国*0.7 越前町江波*0.7 小浜市大手町*0.7 越前市粟田部*0.6 越前市高瀬*0.5 静岡県 1 袋井市浅名*1.2 浜松天竜区佐久間町*1.0 浜松北区三ヶ日町*0.9 静岡菊川市赤土*0.8 浜松中区元城町*0.8 湖西市吉美*0.7 浜松北区細江町*0.7 浜松中区三組町*0.6 伊豆の国市長岡*0.5 湖西市新居町浜名*0.5 三重県 1 鈴鹿市西条*0.8 滋賀県 1 高島市勝野*1.1 甲賀市信楽町*1.1 竜王町小口*1.0 長浜市余呉町中之郷*0.8 大津市南小松*0.8 近江八幡市桜宮町*0.8 東近江市市子川原町*0.8 彦根市城町*0.7 近江八幡市出町*0.5 甲賀市水口町*0.5 京都府 1 京丹後市網野町*0.6 八幡市八幡*0.6 与謝野町加悦*0.5 久御山町田井*0.5				
134	25 09 31	長野県南部 長野県 2 木曾町開田高原西野*1.5 1 木曾町三岳*0.9	35° 52.3' N	137° 34.8' E	6km	M: 2.6
135	25 09 36	長野県南部 長野県 1 木曾町三岳*1.1	35° 51.9' N	137° 35.7' E	8km	M: 2.2
136	25 09 41	長野県南部 長野県 1 木曾町開田高原西野*1.0 木曾町三岳*0.9	35° 52.7' N	137° 35.0' E	6km	M: 2.7
137	25 09 48	長野県南部 長野県 3 木曾町三岳*3.0 2 木曾町開田高原西野*2.4 木曾町新開*2.2 王滝村役場*1.7 木曾町福島*1.7 上松町駅前通り*1.6 木曾町日義*1.5 1 王滝村鈴ヶ沢*1.4 長野高森町下市田*0.7 塩尻市楡川保育園*0.6 岐阜県 1 高山市高根町*1.0 中津川市加子母*0.8 下呂市下呂小学校*0.5	35° 51.5' N	137° 34.1' E	6km	M: 3.5
138	25 11 17	長野県南部 長野県 1 木曾町三岳*0.6	35° 51.2' N	137° 33.8' E	5km	M: 2.7
139	25 11 36	長野県南部 長野県 1 木曾町三岳*1.0 木曾町開田高原西野*0.5	35° 51.1' N	137° 34.9' E	6km	M: 2.5
140	25 13 54	長野県南部 長野県 1 木曾町三岳*1.2 王滝村役場*0.9 王滝村鈴ヶ沢*0.6	35° 51.1' N	137° 34.3' E	6km	M: 2.6
141	25 14 04	長野県南部 長野県 2 木曾町三岳*2.1 1 王滝村役場*1.4 王滝村鈴ヶ沢*1.0 木曾町新開*0.8 上松町駅前通り*0.7 木曾町開田高原西野*0.7	35° 51.2' N	137° 34.0' E	6km	M: 2.9

地震 番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度（計測震度）	緯度	経度	深さ	規模
142 (注)	25 15 17	長野県南部	35° 51.4' N	137° 35.0' E	7km	M: 4.7
	25 15 16	長野県南部 長野県	35° 51.4' N	137° 34.9' E	7km	M: 3.4
		4 木曾町三岳*=-4.4 木曾町新開*=-4.2 王滝村役場*=-3.5 3 上松町駅前通り*=-3.4 木曾町開田高原西野*=-3.4 木曾町日義*=-3.4 木曾町福島*=-3.4 王滝村鈴ヶ沢*=-3.3 塩尻市櫛川保育園*=-2.8 木祖村藪原*=-2.7 2 松本市奈川*=-2.4 塩尻市木曾平沢*=-2.4 伊那市下新田*=-2.3 中川村大草*=-2.1 辰野町中央=-2.1 茅野市葛井公園*=-2.0 南箕輪村役場*=-1.9 諏訪市湖岸通り=1.9 大桑村長野*=-1.9 松本市寿*=-1.8 松本市安曇*=-1.8 箕輪町中箕輪*=-1.8 飯田市高羽町=1.8 伊那市高遠町荊口=1.8 長野高森町下市田*=-1.8 松本市丸の内*=-1.7 飯田市上郷黒田*=-1.7 南木曾町読書小学校*=-1.6 塩尻市広丘高出*=-1.6 1 立科町芦田*=-1.4 山形村役場*=-1.4 朝日村小野沢*=-1.4 長和町和田*=-1.3 阿智村清内路*=-1.3 下條村陸沢*=-1.3 大鹿村大河原*=-1.3 南木曾町役場*=-1.3 下諏訪町役場*=-1.3 阿智村駒場*=-1.2 原村役場*=-1.2 松本市美須々*=-1.2 筑北村西条*=-1.2 伊那市長谷溝口*=-1.2 飯島町飯島=1.2 飯田市大久保町*=-1.1 上田市上丸子*=-1.1 上田市上武石*=-1.1 泰阜村役場*=-1.1 筑北村坂井=-1.1 小川村高府*=-1.0 松本市波田*=-1.0 伊那市高遠町西高遠*=-1.0 駒ヶ根市赤須町*=-1.0 松川町元大島*=-1.0 青木村田沢青木*=-1.0 売木村役場*=-1.0 豊丘村神稲*=-1.0 長野市信州新町新町*=-1.0 東御市泉*=-0.9 松本市梓川梓*=-0.9 喬木村役場*=-0.9 飯田市南信濃*=-0.9 千曲市杭瀬下*=-0.9 宮田村役場*=-0.9 松本市沢村=-0.9 長野市中条*=-0.8 安曇野市穂高福祉センター*=-0.8 大町市美麻*=-0.8 佐久市下小田切=0.8 坂城町坂城*=-0.8 泰阜村梨久保=0.8 長野市大岡*=-0.8 長和町古町*=-0.7 阿南町東条*=-0.7 安曇野市穂高支所=0.7 安曇野市堀金*=-0.7 長野南牧村海ノ口*=-0.7 上田市上田古戦場公園=0.7 平谷村役場*=-0.6 安曇野市三郷*=-0.6 天龍村清水*=-0.5 信濃町柏原東裏*=-0.5 岐阜県 3 高山市高根町*=-2.6 2 下呂市下呂小学校*=-2.2 中津川市加子母*=-2.1 高山市丹生川町坊方*=-2.0 高山市上宝町本郷*=-1.9 下呂市萩原町*=-1.9 高山市久々野町*=-1.7 高山市朝日町*=-1.7 下呂市森=1.6 中津川市付知町*=-1.5 1 高山市消防署*=-1.4 飛騨市神岡町東町*=-1.4 高山市奥飛騨温泉郷榎尾*=-1.3 飛騨市古川町*=-1.3 下呂市馬瀬*=-1.3 高山市一之宮町*=-1.2 高山市国府町*=-1.2 飛騨市河合町元田*=-1.2 中津川市川上*=-1.2 高山市清見町*=-1.1 中津川市福岡*=-1.1 恵那市上矢作町*=-1.1 高山市桐生町=-1.0 飛騨市神岡町殿=-1.0 下呂市小坂町*=-1.0 中津川市山口*=-1.0 八百津町八百津*=-0.9 岐南町八剣*=-0.9 郡上市八幡町旭*=-0.9 郡上市明宝*=-0.9 郡上市八幡町島谷=0.8 中津川市坂下*=-0.8 美濃市役所*=-0.7 高山市荘川町*=-0.7 瑞穂市別府*=-0.7 郡上市和良町*=-0.7 中津川市本町*=-0.7 岐阜市加納二之丸=0.6 岐阜市京町*=-0.6 関市武芸川町*=-0.6 中津川市小栗山*=-0.6 可児市広見*=-0.6 川辺町中川辺*=-0.6 郡上市大和町*=-0.6 下呂市金山町*=-0.5 中津川市かやの木町=0.5 揖斐川町東杉原*=-0.5 大野町大野*=-0.5 白川村鳩谷*=-0.5 郡上市白鳥町白鳥*=-0.5 飛騨市宮川町*=-0.5 山梨県 2 山梨北杜市長坂町*=-1.7 富士河口湖町船津=1.5 1 身延町役場*=-1.4 上野原市役所*=-1.4 甲斐市下今井*=-1.2 甲斐市島上条*=-1.2 上野原市上野原=1.1 甲府市相生*=-1.1 山梨北杜市明野町*=-1.1 甲府市飯田=1.0 山梨北杜市高根町*=-1.0 山梨北杜市小淵沢町*=-1.0 南アルプス市鮎沢*=-1.0 昭和町押越*=-0.9 南アルプス市野牛島*=-0.9 山梨北杜市健康ランド須玉*=-0.9 甲州市勝沼町勝沼*=-0.8 中央市白井阿原*=-0.8 山梨北杜市大泉町*=-0.8 大月市御太刀*=-0.7 山梨北杜市白州町*=-0.7 小菅村小菅小学校*=-0.7 甲州市役所*=-0.7 身延町大磯小磯=-0.7 南アルプス市飯野*=-0.6 甲州市塩山上於曾*=-0.6 大月市大月=0.5 群馬県 1 群馬上野村川和*=-0.5 神流町神ヶ原*=-0.5 埼玉県 1 秩父市中津川*=-1.0 毛呂山町中央*=-0.5 川島町下八ツ林*=-0.5 東京都 1 青梅市日向和田*=-1.2 小平市小川町*=-1.2 国分寺市戸倉=1.1 調布市西つつじヶ丘*=-0.9 日野市神明*=-0.7 八王子市堀之内*=-0.5 神奈川県 1 相模原中央区水郷田名*=-1.0 相模原緑区中野*=-0.8 富山県 1 射水市橋下条*=-1.0 氷見市加納*=-0.9 射水市小島*=-0.9 射水市二口*=-0.8 射水市加茂中部*=-0.7 射水市本町*=-0.7 富山市今泉*=-0.5 高岡市伏木=0.5 石川県 1 穴水町大町*=-1.3 輪島市鳳至町=0.9 静岡県 1 静岡葵区梅ヶ島*=-1.1 浜松天竜区佐久間町*=-1.1 袋井市浅名*=-0.8 富士宮市野中*=-0.7 富士市大淵*=-0.6 静岡駿河区曲金=0.6 静岡菊川市赤土*=-0.6 伊豆市中伊豆グラウンド=0.6 富士宮市弓沢町=0.6 川根本町東藤川*=-0.5 浜松天竜区水窪町*=-0.5 伊豆の国市長岡*=-0.5 愛知県 1 豊根村富山*=-1.1 新城市作手高里松風呂*=-0.9 新城市作手高里繩手上*=-0.9 名古屋西区八筋町*=-0.9 新城市矢部=0.8 名古屋北区萩野通*=-0.8 名古屋瑞穂区塩入町*=-0.7 稲沢市平和町*=-0.6 蟹江町蟹江本町*=-0.6 清須市清洲*=-0.6 一宮市千秋=0.5 西尾市矢曾根町*=-0.5 小牧市安田町*=-0.5 高浜市稗田町*=-0.5 岩倉市川井町*=-0.5 愛西市石田町*=-0.5 愛西市諏訪町*=-0.5 北名古屋市西之保*=-0.5 滋賀県 1 彦根市城町=0.7 近江八幡市桜宮町=0.7				
143	25 15 20	長野県南部 長野県	35° 51.6' N	137° 35.7' E	7km	M: 2.3
		1 木曾町三岳*=-1.2				
144	25 15 26	長野県南部 長野県	35° 51.7' N	137° 35.7' E	8km	M: 2.1
		1 木曾町三岳*=-0.9				
145	25 17 59	長野県南部 長野県	35° 51.1' N	137° 34.5' E	6km	M: 2.7
		1 木曾町三岳*=-1.4 王滝村役場*=-0.9 木曾町開田高原西野*=-0.6 王滝村鈴ヶ沢*=-0.5 上松町駅前通り*=-0.5				
146	25 20 50	長野県南部 長野県	35° 52.7' N	137° 34.5' E	7km	M: 2.1
		1 木曾町三岳*=-0.5				

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
147	25 20 52	長野県南部 長野県	35° 51.0' N	137° 34.5' E	6km	M: 2.2
		1 木曾町三岳*=1.2				
148	25 21 49	伊豆大島近海 東京都	34° 43.7' N	139° 18.3' E	4km	M: 2.5
		1 伊豆大島町波浮港*=0.8 伊豆大島町元町=0.6				
149	25 21 54	長野県南部 長野県	35° 51.0' N	137° 33.6' E	5km	M: 2.0
		1 木曾町三岳*=0.8				
150	25 22 22	長野県南部 長野県	35° 51.2' N	137° 34.4' E	6km	M: 2.5
		1 木曾町三岳*=1.2 木曾町開田高原西野*=0.9 王滝村役場*=0.6				
151	25 23 13	長野県南部 長野県	35° 52.3' N	137° 34.8' E	6km	M: 3.6
		3 木曾町三岳*=2.6				
		2 木曾町開田高原西野*=2.2 木曾町新開*=1.8 王滝村役場*=1.6 木曾町日義*=1.6 上松町駅前通り*=1.5				
		1 王滝村鈴ヶ沢*=1.4 木曾町福島*=1.3 塩尻市楡川保育園*=1.2 松本市奈川*=0.8 大桑村長野*=0.8 南木曾町読書小学校*=0.6 飯田市高羽町=0.6 箕輪町中箕輪*=0.6 塩尻市木曾平沢*=0.5				
		岐阜県				
		1 中津川市加子母*=0.9 高山市高根町*=0.7 高山市丹生川町坊方*=0.6				
152	25 23 29	長野県南部 長野県	35° 52.3' N	137° 34.7' E	6km	M: 3.6
		3 木曾町三岳*=2.5				
		2 木曾町開田高原西野*=2.4 王滝村鈴ヶ沢*=2.1 王滝村役場*=2.0 木曾町新開*=1.5 上松町駅前通り*=1.5				
		1 木曾町福島*=1.2 木曾町日義*=1.2 南木曾町読書小学校*=1.0 大桑村長野*=1.0 飯田市高羽町=0.6 下條村陸沢*=0.6 塩尻市楡川保育園*=0.6 南木曾町役場*=0.5				
		岐阜県				
		1 高山市高根町*=1.4 中津川市加子母*=1.4 高山市丹生川町坊方*=1.3 下呂市萩原町*=1.1 高山市上宝町本郷*=1.0 飛騨市河合町元田*=1.0 下呂市下呂小学校*=0.9 飛騨市古川町*=0.7 高山市朝日町*=0.7 中津川市付知町*=0.7 飛騨市神岡町東町*=0.6 高山市久々野町*=0.5				
		愛知県				
		1 新城市作手高里松風呂*=0.6				
153	26 00 15	長野県南部 長野県	35° 51.6' N	137° 36.1' E	6km	M: 2.8
		2 木曾町三岳*=2.4				
		1 木曾町新開*=1.0 木曾町開田高原西野*=0.7 王滝村鈴ヶ沢*=0.5				
154	26 00 38	長野県南部 長野県	35° 52.2' N	137° 34.3' E	5km	M: 3.5
		3 木曾町三岳*=2.5				
		2 木曾町開田高原西野*=2.2 木曾町新開*=1.8 王滝村役場*=1.6 上松町駅前通り*=1.6 王滝村鈴ヶ沢*=1.6				
		1 木曾町日義*=1.4 木曾町福島*=1.2 塩尻市楡川保育園*=1.1 長野高森町下市田*=1.1 大桑村長野*=0.9 飯田市上郷黒田*=0.7 下條村陸沢*=0.6 飯田市高羽町=0.5 南木曾町読書小学校*=0.5				
		岐阜県				
		1 高山市高根町*=0.8 高山市丹生川町坊方*=0.6 高山市上宝町本郷*=0.6 飛騨市河合町元田*=0.6 中津川市加子母*=0.6				
155	26 01 24	長野県南部 長野県	35° 52.3' N	137° 34.8' E	6km	M: 2.4
		1 木曾町開田高原西野*=0.7				
156	26 01 38	長野県南部 長野県	35° 50.9' N	137° 33.6' E	5km	M: 2.6
		1 木曾町三岳*=1.3				
157	26 02 45	長野県南部 長野県	35° 51.1' N	137° 34.1' E	6km	M: 2.6
		2 木曾町三岳*=2.4				
		1 王滝村役場*=1.2 木曾町新開*=1.2 上松町駅前通り*=1.0				
158	26 05 16	宮城県沖 岩手県	38° 43.2' N	142° 11.2' E	41km	M: 4.1
		2 一関市室根町*=1.8 一関市藤沢町*=1.6				
		1 釜石市中妻町*=1.4 一関市千厩町*=1.4 住田町世田米*=1.1 大船渡市猪川町=0.9 陸前高田市高田町*=0.9 遠野市青笹町*=0.9 釜石市只越町=0.9 一関市東山町*=0.7 大船渡市大船渡町=0.5				
		宮城県				
		2 女川町女川浜*=1.9 石巻市桃生町*=1.7 石巻市北上町*=1.5 気仙沼市唐桑町*=1.5 南三陸町志津川=1.5				
		1 登米市豊里町*=1.3 気仙沼市笹が陣*=1.2 石巻市前谷地*=1.2 気仙沼市赤岩=1.0 涌谷町新町裏=0.8 登米市東和町*=0.7 登米市迫町*=0.7 宮城美里町北浦*=0.7 登米市中田町=0.7 石巻市大街道南*=0.6 栗原市栗駒=0.6 石巻市泉町=0.5 岩沼市桜*=0.5 石巻市雄勝町*=0.5 東松島市小野*=0.5				
159	26 07 13	長野県南部 長野県	35° 52.9' N	137° 34.8' E	6km	M: 2.3
		1 木曾町開田高原西野*=1.1				
160	26 07 43	伊豆大島近海 東京都	34° 43.7' N	139° 18.3' E	6km	M: 2.2
		1 伊豆大島町波浮港*=0.8				

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
161	26 08 13	長野県南部 長野県 1 木曾町三岳*=-0.6	35° 50.9' N	137° 33.6' E	5km	M: 2.1
162	26 08 57	長野県南部 長野県 1 王滝村鈴ヶ沢*=-0.9 王滝村役場*=-0.9 木曾町開田高原西野*=-0.9 木曾町三岳*=-0.6	35° 52.1' N	137° 33.9' E	5km	M: 2.7
163	26 10 00	長野県南部 長野県 1 木曾町三岳*=-1.2 木曾町開田高原西野*=-0.8 木曾町新開*=-0.7 王滝村役場*=-0.6	35° 51.2' N	137° 34.5' E	6km	M: 2.8
164	26 11 59	長野県南部 長野県 1 王滝村役場*=-0.6	35° 50.8' N	137° 33.6' E	5km	M: 2.1
165	26 16 51	長野県南部 長野県 1 木曾町開田高原西野*=-1.2 木曾町三岳*=-1.2 王滝村鈴ヶ沢*=-0.5	35° 52.3' N	137° 34.8' E	6km	M: 2.8
166	26 19 31	長野県南部 長野県 1 木曾町三岳*=-0.6	35° 51.8' N	137° 33.6' E	5km	M: 2.1
167	26 22 25	宮城県沖 岩手県 1 一関市千厩町*=-0.6	38° 51.9' N	141° 38.2' E	61km	M: 2.8
168	26 22 48	長野県南部 長野県 1 木曾町三岳*=-0.8	35° 51.8' N	137° 35.8' E	7km	M: 2.2
169	27 00 57	岐阜県美濃中西部 岐阜県 2 岐阜市京町*=-1.6 1 岐南町八剣*=-1.4 大野町大野*=-0.7 瑞穂市別府*=-0.7 各務原市川島河田町*=-0.7 大垣市墨俣町*=-0.6 北方町北方*=-0.5 愛知県 1 一宮市千秋*=-0.8	35° 22.5' N	136° 45.3' E	8km	M: 2.9
170	27 02 09	長野県南部 長野県 3 木曾町三岳*=-2.7 2 王滝村役場*=-1.7 王滝村鈴ヶ沢*=-1.6 木曾町新開*=-1.5 木曾町開田高原西野*=-1.5 1 木曾町福島*=-1.0 木曾町日義*=-0.9 上松町駅前通り*=-0.7 岐阜県 1 下呂市下呂小学校*=-0.5 中津川市加子母*=-0.5	35° 51.8' N	137° 33.7' E	5km	M: 3.3
171	27 03 32	千葉県北西部 千葉県 1 千葉稲毛区園生町*=-0.8 千葉花見川区花島町*=-0.7 千葉中央区都町*=-0.6	35° 37.3' N	140° 07.3' E	70km	M: 3.3
172	27 03 50	長野県南部 長野県 1 木曾町三岳*=-0.9	35° 51.3' N	137° 35.9' E	6km	M: 1.7
173	27 05 16	茨城県沖 茨城県 1 日立市助川小学校*=-0.5	36° 23.8' N	140° 49.2' E	28km	M: 3.1
174	27 05 30	長野県南部 長野県 1 木曾町三岳*=-1.4 王滝村役場*=-0.7 王滝村鈴ヶ沢*=-0.7	35° 51.0' N	137° 33.7' E	5km	M: 2.7
175	27 08 32	栃木県北部 栃木県 1 日光市足尾町中才*=-0.5 群馬県 1 沼田市利根町*=-1.3 片品村鎌田*=-1.3 片品村東小川*=-0.9	36° 42.6' N	139° 22.3' E	11km	M: 2.5
176	27 08 40	長野県南部 長野県 3 木曾町三岳*=-2.7 2 王滝村役場*=-2.0 木曾町新開*=-2.0 王滝村鈴ヶ沢*=-1.7 上松町駅前通り*=-1.6 1 木曾町開田高原西野*=-1.3 木曾町福島*=-1.2 木曾町日義*=-1.0 松本市奈川*=-0.7 岐阜県 1 高山市高根町*=-1.1 中津川市加子母*=-0.6	35° 51.9' N	137° 35.6' E	7km	M: 3.3
177	27 11 25	茨城県南部 栃木県 1 宇都宮市明保野町*=-1.1 鹿沼市晃望台*=-0.9 佐野市高砂町*=-0.8 下野市石橋*=-0.8 真岡市石島*=-0.7 下野市笹原*=-0.7 佐野市中町*=-0.6 群馬県 1 板倉町板倉*=-0.6 埼玉県 1 宮代町笠原*=-0.5	36° 04.6' N	140° 00.5' E	66km	M: 3.3
178	27 11 46	長野県南部 長野県 2 木曾町新開*=-1.5 1 木曾町日義*=-1.4 木曾町福島*=-0.7 塩尻市檜川保育園*=-0.6 木曾町三岳*=-0.6 上松町駅前通り*=-0.5	35° 51.1' N	137° 41.1' E	9km	M: 2.9
179	27 11 55	薩摩半島西方沖 鹿児島県 2 薩摩川内市下甕町手打*=-1.6	31° 35.4' N	129° 37.9' E	6km	M: 3.5

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
180	27 17 29	三重県北部 三重県	34° 53.7' N	136° 38.5' E	18km	M: 2.5 1 鈴鹿市西条=0.6
181	27 19 42	福岡県北西沖 福岡県	33° 45.6' N	130° 08.5' E	12km	M: 3.7 1 宗像市大島*=1.0 新宮町緑ヶ浜*=1.0 糸島市志摩初=0.9 宗像市神湊*=0.8 福岡西区今宿*=0.8 福岡空港=0.8 宮若市福丸*=0.8 宗像市江口神原*=0.7 福岡古賀市駅東*=0.7 福津市津屋崎*=0.7 福岡中央区大濠=0.6 福岡那珂川町西隈*=0.6 須恵町須恵*=0.6 糸島市前原東*=0.6 福岡城南区神松寺*=0.6 宗像市東郷*=0.5 久山町久原*=0.5 粕屋町仲原*=0.5 糸島市二丈深江*=0.5 福津市中央*=0.5 佐賀県 1 唐津市西城内=0.9 唐津市鎮西町*=0.9 唐津市竹木場*=0.9 長崎県 1 長崎対馬市美津島町鶏知*=1.0 松浦市志佐町*=0.7 平戸市鏡川町*=0.5 壱岐市芦辺町芦辺*=0.5
182	27 20 20	長野県南部 長野県	35° 50.6' N	137° 33.7' E	6km	M: 2.4 1 王滝村役場*=1.2 木曾町三岳*=1.1
183	27 20 54	千葉県南部 千葉県	35° 09.7' N	140° 09.3' E	15km	M: 2.4 1 勝浦市墨名=0.6 鴨川市横渚*=0.6
184	27 21 23	長野県南部 長野県	35° 50.9' N	137° 33.9' E	6km	M: 2.3 1 木曾町三岳*=0.8
185	27 22 55	長野県南部 長野県	35° 51.1' N	137° 41.1' E	9km	M: 3.1 2 木曾町日義*=1.7 1 木曾町新開*=1.4 塩尻市榑川保育園*=1.0 木曾町三岳*=0.9 木曾町福島*=0.9 木曾町開田高原西野*=0.8 上松町駅前通り*=0.7 岐阜県 1 高山市高根町*=0.5
186	27 23 12	長野県南部 長野県	35° 50.8' N	137° 34.5' E	6km	M: 2.6 2 木曾町三岳*=1.7 王滝村役場*=1.6 1 王滝村鈴ヶ沢*=1.2
187	28 00 10	鹿児島湾 鹿児島県	31° 22.4' N	130° 37.2' E	10km	M: 2.4 1 鹿児島市喜入町*=0.5
188	28 00 44	宮城県中部 宮城県	38° 17.2' N	140° 45.3' E	11km	M: 3.2 2 仙台青葉区作並*=1.7 1 仙台青葉区大倉=1.2 宮城川崎町前川*=1.0 仙台青葉区落合*=0.9 名取市増田*=0.6
189	28 03 33	長野県南部 長野県	35° 51.1' N	137° 33.8' E	5km	M: 3.1 2 木曾町三岳*=1.9 1 王滝村鈴ヶ沢*=1.2 王滝村役場*=1.2 木曾町新開*=1.0 木曾町開田高原西野*=0.7 岐阜県 1 中津川市加子母*=0.7 下呂市下呂小学校*=0.6
190	28 06 00	神奈川県東部 神奈川県	35° 33.8' N	139° 39.3' E	26km	M: 2.4 1 川崎川崎区宮前町*=0.8 横浜鶴見区末広町*=0.5
191	28 14 56	和歌山県北部 和歌山県	34° 09.0' N	135° 12.5' E	4km	M: 2.8 2 海南市下津*=1.6 1 紀美野町下佐々*=0.8 有田市初島町*=0.5
192	28 14 59	和歌山県北部 和歌山県	34° 09.0' N	135° 12.5' E	4km	M: 2.5 1 海南市日方*=1.4 紀美野町下佐々*=1.1 紀の川市貴志川町神戸*=0.8
193	28 18 23	長野県南部 長野県	35° 51.3' N	137° 33.7' E	5km	M: 3.5 2 王滝村役場*=2.3 木曾町開田高原西野*=2.2 木曾町三岳*=2.0 王滝村鈴ヶ沢*=1.9 木曾町新開*=1.6 1 木曾町日義*=1.2 木曾町福島*=1.0 上松町駅前通り*=1.0 南木曾町読書小学校*=0.6 岐阜県 1 高山市高根町*=1.1 高山市上宝町本郷*=0.9 中津川市加子母*=0.7 下呂市下呂小学校*=0.6
194	28 21 07	北海道東方沖 北海道	43° 33.7' N	147° 49.9' E	31km	M: 5.7 3 根室市落石東*=2.6 標津町北2条*=2.5 根室市瑠瑠瑠*=2.5 2 中標津町丸山*=2.4 清里町羽衣町*=2.3 羅臼町緑町*=2.3 浜中町霧多布*=2.2 別海町常盤=2.2 別海町本別海*=2.1 別海町西春別*=2.0 標茶町塘路*=2.0 釧路市黒金町*=1.9 斜里町本町=1.9 根室市牧の内*=1.9 根室市厚床*=1.8 羅臼町岬町*=1.8 根室市弥栄=1.7 浦幌町桜町*=1.7 釧路町別保*=1.7 白糠町西1条*=1.7 釧路市幸町=1.6 函館市新浜町*=1.6 釧路市阿寒町中央*=1.6 厚岸町真栄*=1.5 鶴居村鶴居東*=1.5 浜中町湯沸=1.5 弟子屈町弟子屈*=1.5 1 新冠町北星町*=1.4 十勝池田町西1条*=1.3 十勝大樹町生花*=1.3 釧路市音別町中園*=1.3 標茶町川上*=1.3 羅臼町春日=1.3 新得町2条*=1.3 弟子屈町美里=1.2 標津町薫別*=1.2 浦河町潮見=1.2 根室市豊里=1.2 標津町古多糠=1.1 小清水町小清水*=1.1 安平町早来北進*=1.1 厚岸町尾幌=1.0 様似町栄町*=1.0 新ひだか町静内山手町=1.0 足寄町上螺湾=1.0 弟子屈町サワチサップ*=1.0 十勝清水町南4条=1.0 幕別町本町*=0.9 幕別町忠類錦町*=0.9 中標津町養老牛=0.9 本別町北2丁目=0.9 十勝大樹町東本通*=0.9 浦河町築地*=0.8 本別町向陽町*=0.8 斜里町ウトロ香川*=0.8 浦河町野深=0.8 函館市泊町*=0.8 広尾町並木通=0.7

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
		<p>えりも町目黒*=0.7 帯広市東4条=0.6 帯広市東6条*=0.6 厚真町鹿沼=0.6 えりも町えりも岬*=0.6 函館市川汲町*=0.6 広尾町白樺通=0.6 むかわ町穂別*=0.6 豊頃町茂岩本町*=0.6 釧路市音別町尺別=0.6</p> <p>青森県 2 八戸市湊町=1.7 八戸市南郷*=1.6 青森南部町平*=1.6 東北町上北南*=1.5 階上町道仏*=1.5 1 おいらせ町中下田*=1.4 野辺地町田狭沢*=1.3 七戸町森ノ上*=1.3 五戸町古館=1.3 青森南部町苦米地*=1.3 八戸市内丸*=1.2 野辺地町野辺地*=1.2 五戸町倉石中市*=1.2 外ヶ浜町蟹田*=1.2 東通村砂子又沢内*=1.2 むつ市金曲=1.0 東通村砂子又蒲谷地=1.0 七戸町七戸*=1.0 東北町塔ノ沢山*=1.0 六戸町大落瀬*=0.9 おいらせ町上明堂*=0.8 大間町大間*=0.8 六ヶ所村尾駈=0.8 三戸町在府小路町*=0.8 青森南部町沖田面*=0.6 六ヶ所村出戸=0.6 青森市花園=0.6 横浜町林ノ脇*=0.5</p> <p>岩手県 2 盛岡市薮川*=1.9 普代村銅屋*=1.5 1 盛岡市洪民*=1.1 八幡平市田頭*=1.1 軽米町軽米*=1.1 岩手町五日市*=1.0 宮古市田老*=0.9 二戸市浄法寺町*=0.9 北上市相去町*=0.9 奥州市胆沢区*=0.9 二戸市福岡=0.7 盛岡市山王町=0.7 二戸市石切所*=0.6 葛巻町葛巻元木=0.6 九戸村伊保内*=0.6 遠野市青笹町*=0.6 宮古市区界*=0.6 岩手洋野町種市=0.6 北上市柳原町=0.5 八幡平市大更=0.5 釜石市中妻町*=0.5 久慈市枝成沢=0.5 花巻市大迫町=0.5 花巻市石鳥谷町*=0.5</p> <p>宮城県 1 石巻市桃生町*=1.2 登米市迫町*=1.0 登米市登米町*=0.9 登米市米山町*=0.9 栗原市若柳*=0.8 登米市中田町=0.7 登米市南方町*=0.7 気仙沼市赤岩=0.6 気仙沼市笹が陣*=0.6 宮城美里町木間塚*=0.6 南三陸町志津川=0.5</p>				
195	28 23 03	茨城県北部 茨城県 1 日立市助川小学校*=0.6	36° 41.8' N	140° 35.8' E	9km	M: 2.2
196	28 23 34	秋田県内陸北部 秋田県 1 大館市比内町扇田*=1.1 北秋田市花園町=0.6 大館市桜町*=0.5	40° 05.5' N	140° 37.4' E	6km	M: 3.2
197	28 23 37	長野県南部 長野県 1 木曾町三岳*=0.7	35° 51.5' N	137° 35.8' E	8km	M: 1.8
198	28 23 54	長野県南部 長野県 1 木曾町三岳*=1.0	35° 51.5' N	137° 35.8' E	8km	M: 2.1
199	29 02 23	根室地方中部 北海道 1 根室市厚床*=0.8	43° 22.4' N	145° 01.1' E	92km	M: 3.1
200	29 03 05	宮城県沖 岩手県 1 一関市室根町*=0.6	38° 41.9' N	141° 47.8' E	53km	M: 2.9
201	29 05 16	長野県南部 長野県 1 木曾町三岳*=0.9	35° 52.1' N	137° 34.2' E	5km	M: 2.5
202	29 10 37	奄美大島北西沖 鹿児島県 1 奄美市笠利町里*=1.2 奄美市名瀬港町=0.5	28° 45.2' N	128° 31.2' E	6km	M: 4.2
203	29 11 07	長野県南部 長野県 1 木曾町三岳*=0.7	35° 51.9' N	137° 33.7' E	5km	M: 2.3
204	29 13 54	山梨県東部・富士五湖 山梨県 2 上野原市役所*=1.8 富士河口湖町船津=1.5 1 大月市御太刀*=1.4 上野原市上野原=1.2 都留市上谷*=0.9 大月市大月=0.9 富士吉田市下吉田*=0.5 神奈川県 1 山北町山北*=1.1 相模原中央区上溝*=1.0 相模原緑区中野*=1.0 相模原中央区水郷田名*=0.8 南足柄市関本*=0.6 厚木市中町*=0.5 静岡県 1 小山町藤曲*=0.8	35° 29.4' N	138° 58.7' E	18km	M: 3.1
205	29 15 49	宮城県沖 宮城県 1 石巻市桃生町*=0.7	38° 19.7' N	142° 08.4' E	38km	M: 3.8
206	29 16 51	長野県南部 長野県 2 木曾町三岳*=1.6 1 木曾町開田高原西野*=1.4 王滝村役場*=1.1 王滝村鈴ヶ沢*=0.9	35° 51.8' N	137° 33.8' E	5km	M: 2.9
207	29 16 52	山口県北西沖 山口県 1 下関市豊浦町川棚=1.1 下関市清末陣屋*=1.1 下関市菊川町田部*=1.1 下関市豊浦町浄水場*=0.9 福岡県 1 北九州八幡東区大谷*=0.6	34° 01.8' N	130° 54.5' E	14km	M: 3.2
208	29 20 53	福島県会津 山形県 1 飯豊町上原*=1.2 福島県 1 喜多方市熱塩加納町*=1.0	37° 44.7' N	139° 55.4' E	7km	M: 3.2
209	29 22 58	長野県南部 長野県 1 木曾町三岳*=1.4 木曾町開田高原西野*=0.8 王滝村役場*=0.7 王滝村鈴ヶ沢*=0.6 上松町駅前通り*=0.6	35° 52.5' N	137° 35.2' E	6km	M: 2.8

地震 番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度（計測震度）	緯度	経度	深さ	規模
210	30 02 21	和歌山県北部 和歌山県	34° 09.1' N	135° 12.7' E	4km	M: 3.2
		2 海南市日方*=2.2 紀美野町下佐々*=1.9 紀の川市貴志川町神戸*=1.5 1 和歌山市男野芝丁=1.3 和歌山市一番丁*=1.3 紀の川市桃山町元*=1.1 海南市下津*=1.0 岩出市西野*=0.6				
211	30 07 41	茨城県沖 茨城県	36° 25.8' N	140° 39.3' E	53km	M: 3.7
		2 東海村東海*=2.2 日立市助川小学校*=1.6 笠間市石井*=1.5 水戸市金町=1.5 常陸大宮市上小瀬*=1.5 1 常陸大宮市北町*=1.3 城里町徳蔵*=1.2 ひたちなか市東石川*=1.1 水戸市内原町*=1.1 日立市役所*=1.1 ひたちなか市南神敷台*=1.0 水戸市千波町*=1.0 小美玉市堅倉*=1.0 大子町池田*=0.9 笠間市下郷*=0.9 土浦市常名=0.9 石岡市若宮*=0.9 桜川市羽田*=0.9 城里町石塚*=0.8 石岡市柿岡=0.8 小美玉市小川*=0.8 笠間市笠間*=0.8 筑西市門井*=0.7 桜川市岩瀬*=0.7 常陸大宮市山方*=0.7 常陸太田市町屋町=0.6 小美玉市上玉里*=0.6 常陸太田市町田町*=0.6 常陸大宮市野口*=0.6 那珂市瓜連*=0.6 常陸太田市高柿町*=0.6 茨城町小堤*=0.6 日立市十王町友部*=0.6 かすみがうら市上土田*=0.5				
		福島県 1 浅川町浅川*=0.5				
		栃木県 1 真岡市田町*=0.5				
212	30 15 52	熊本県熊本地方 熊本県	32° 32.0' N	130° 36.4' E	8km	M: 3.5
		3 八代市千丁町*=2.7 2 八代市松江城町*=2.3 氷川町島地*=2.2 宇城市不知火町*=2.1 宇城市小川町*=2.0 宇城市豊野町*=2.0 八代市坂本町*=2.0 八代市東陽町*=1.9 氷川町宮原*=1.7 宇城市松橋町=1.5 宇土市新小路町=1.5 熊本美里町永富*=1.5 1 上天草市松島町*=1.4 甲佐町豊内*=1.3 八代市平山新町=1.3 宇城市三角町*=1.2 山都町下馬尾*=1.2 八代市鏡町*=1.2 熊本美里町馬場*=1.1 八代市泉支所*=1.1 上天草市姫戸町*=1.1 熊本南区富合町*=1.0 上天草市大矢野町=0.9 八代市泉町=0.8 熊本西区春日=0.8 嘉島町上島*=0.7				
		長崎県 1 雲仙市小浜町雲仙=0.6				
213	30 16 55	種子島近海 鹿児島県	30° 17.1' N	130° 57.3' E	18km	M: 3.3
		1 南種子町西之*=1.1 南種子町中之上*=0.7				
214	30 17 39	種子島近海 鹿児島県	30° 17.1' N	130° 57.6' E	18km	M: 3.1
		1 南種子町西之*=0.8				
215	30 21 39	長野県南部 長野県	35° 51.8' N	137° 32.9' E	5km	M: 2.3
		1 王滝村役場*=0.6 王滝村鈴ヶ沢*=0.5				
216	30 21 48	青森県東方沖 青森県	41° 15.6' N	141° 27.0' E	82km	M: 3.1
		1 野辺地町田狭沢*=0.9				
217	30 23 04	宮古島北西沖 沖縄県	25° 41.2' N	125° 11.5' E	98km	M: 5.2
		3 宮古島市下地*=2.6 2 宮古島市平良狩俣*=2.0 宮古島市平良下里=1.6 多良間村塩川=1.6 石垣市平久保=1.6 宮古島市城辺福西*=1.5 宮古島市伊良部長浜*=1.5 石垣市登野城=1.5 宮古島市城辺福北=1.5 石垣市新栄町*=1.5 1 宮古島市平良西里*=1.4 宮古島市伊良部国仲=1.3 宮古島市平良池間=1.3 宮古島市上野支所*=1.3 石垣市美崎町*=1.3 宮古島市上野新里=1.1 多良間村仲筋*=1.0 竹富町黒島=0.7 石垣市伊原間*=0.6 竹富町船浮=0.6 石垣市新川=0.5 竹富町大原=0.5				
218	30 23 38	奄美大島北西沖 鹿児島県	28° 46.3' N	128° 34.5' E	7km	M: 3.6
		1 奄美市笠利町里*=0.7				

●過去 1 年間に震度 1 以上を観測した地震の最大震度別の月別回数
 <平成28年（2016年）7月～平成29年（2017年）6月>

	1	2	3	4	5弱	5強	6弱	6強	7	計	記事
平成28年（2016年）											
7月	174	71	33	5	1					284	「平成28年（2016年）熊本地震」の地震活動（震度1以上合計:113回） トカラ列島近海の地震活動（震度3：6回、震度2：6回、震度1：9回） 伊豆大島近海の地震活動（震度3：3回、震度2：8回、震度1：7回） 27日 茨城県北部（震度5弱）
8月	155	66	12	4	1					238	「平成28年（2016年）熊本地震」の地震活動（震度5弱:1回、震度1以上合計:111回）
9月	125	57	24	4	1					211	「平成28年（2016年）熊本地震」の地震活動（震度1以上合計:74回） 26日 沖縄本島近海の地震（震度5弱）
10月	378	136	44	12			1			571	「平成28年（2016年）熊本地震」の地震活動（震度1以上合計:55回） 21日 鳥取県中部（震度6弱） 地震活動（震度6弱:1回、震度4:7回、震度3:26回、震度2:71回、震度1:175回）
11月	237	114	19	6	1					377	「平成28年（2016年）熊本地震」の地震活動（震度1以上合計:42回） 鳥取県中部の地震活動（震度3:1回、震度2:8回、震度1:24回） 22日 福島県沖（震度5弱）※1 地震活動（震度5弱:1回、震度4:2回、震度3:9回、震度2:55回、震度1:120回）
12月	204	74	21	4			1			304	「平成28年（2016年）熊本地震」の地震活動（震度1以上合計:44回） 鳥取県中部の地震活動（震度1以上合計:18回） 福島県沖の地震活動（※1の周辺）（震度4:1回、震度3:5回、震度2:7回、震度1:21回） トカラ列島近海の地震活動（震度4:2回、震度3:5回、震度2:12回、震度1:36回） 28日 茨城県北部（震度6弱） 地震活動（震度6弱:1回、震度4:1回、震度3:1回、震度2:8回、震度1:18回）
平成29年（2017年）											
1月	98	42	9	4						153	「平成28年（2016年）熊本地震」の地震活動（震度1以上合計:32回） 福島県沖の地震活動（※1の周辺）（震度4:1回、震度2:3回、震度1:6回） 茨城県北部の地震活動（震度2:4回、震度1:9回）
2月	85	44	13	2	1					145	「平成28年（2016年）熊本地震」の地震活動（震度1以上合計:18回） 福島県沖の地震活動（※1の周辺）（震度3:1回、震度2:3回、震度1:6回） 茨城県北部の地震活動（震度3:1回、震度2:7回、震度1:8回） 28日 福島県沖（震度5弱）
3月	99	44	12	2						157	「平成28年（2016年）熊本地震」の地震活動（震度1以上合計:25回）
4月	123	40	18	3						184	「平成28年（2016年）熊本地震」の地震活動（震度1以上合計:25回） 新潟県中越地方の地震活動（震度1以上合計:10回）
5月	114	42	6	2						164	「平成28年（2016年）熊本地震」の地震活動（震度1以上合計:28回）
6月	153	42	18	3		2				218	「平成28年（2016年）熊本地震」の地震活動（震度1以上合計:10回） 伊豆大島近海の地震活動（震度1以上合計:11回） 20日 豊後水道（震度5強） 25日 長野県南部（震度5強） 地震活動（震度4:2回、震度3:6回、震度2:13回、震度1:45回）
平成29年計	672	254	76	16	1	2	0	0	0	1021	
過去1年計	1945	772	229	51	5	2	2	0	0	3006	（平成28年7月～平成29年6月）

注) 「記事」の欄には主に震度5弱以上を観測した地震、または震度1以上を10回以上観測した地震活動について記載した。

●日本及びその周辺におけるマグニチュード（M別）の月別地震回数
 <平成28年（2016年）7月～平成29年（2017年）6月>

	M3.0 ～ M3.9	M4.0 ～ M4.9	M5.0 ～ M5.9	M6.0 ～ M6.9	M7.0 以上	計 M3.0 以上	計 M4.0 以上	記事
平成28年（2016年）								
7月	451	88	12			551	100	
8月	401	59	12	4		476	75	5日 硫黄島近海（M6.4） 20日 三陸沖（M6.4） 21日 三陸沖（M6.2） 26日 鳥島近海（M6.1）
9月	468	81	19	2		570	102	21日 鳥島近海（M6.5） 23日 関東東方沖（M6.7）
10月	522	79	15	2		618	96	21日 鳥取県中部（M6.6） 24日 北海道東方沖（M6.0）
11月	817	172	18	1	1	1009	192	22日 福島県沖（M7.4） 24日 福島県沖（M6.2）
12月	497	84	12	3		596	99	14日 マリアナ諸島（M6.3） 22日 マリアナ諸島（M6.5） 28日 茨城県北部（M6.3）
平成29年（2017年）								
1月	413	66	10			489	76	
2月	289	75	7			371	82	
3月	418	55	8			481	63	
4月	349	64	11			424	75	
5月	386	48	9	1		444	58	9日 宮古島近海（M6.4）
6月	336	64	10			410	74	
平成29年計	2191	372	55	1	0	2619	428	
過去1年計	5347	935	143	13	1	6439	1092	（平成28年7月～平成29年6月）

注) 日本及びその周辺：原則、北緯 20～49 度、東経 121～154 度の範囲。「記事」の欄には主に M6.0 以上の地震を記載した。

● 付録 4. 緊急地震速報の提供状況

平成 29 年 6 月に緊急地震速報（警報）を発表した回数は 1 回であった。また、緊急地震速報（予報）を発表した回数は 55 回であった。

平成 29 年 6 月に発表した緊急地震速報（警報）

地震発生日時	震央地名	マグニチュード (M)	最大震度	予想最大震度	警報発表までの経過時間 (秒)
平成 29 年 06 月 25 日 07 時 02 分	長野県南部	5.6	5 強	5 弱	7.6

※表中の「予想最大震度」は緊急地震速報（警報）で発表した予想震度の最大値、「警報発表までの経過時間 (秒)」は地震検知から緊急地震速報（警報）第 1 報発表までの経過時間 (秒) を示す。

震度 5 弱以上を観測し、緊急地震速報（警報）を発表しなかった地震

地震発生日時	震央地名	マグニチュード (M)	最大震度	予想最大震度
平成 29 年 06 月 20 日 23 時 27 分	豊後水道	5.0	5 強	4

※表中の「予想最大震度」は緊急地震速報（予報）の最終報で発表した予想震度の最大値を示す。

平成 19 年 10 月～平成 29 年 6 月に発表した緊急地震速報の月別回数

年 \ 月	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	計
平成 19 年 (2007 年)	/	/	/	/	/	/	/	/	/	0 (48)	0 (33)	0 (39)	0 (120)
平成 20 年 (2008 年)	0 (35)	0 (41)	0 (48)	1 (42)	1 (70)	3 (75)	2 (63)	0 (47)	1 (58)	0 (46)	1 (40)	0 (57)	9 (622)
平成 21 年 (2009 年)	0 (44)	0 (39)	0 (34)	0 (34)	0 (24)	0 (54)	0 (36)	2 (65)	0 (47)	1 (44)	0 (39)	0 (47)	3 (507)
平成 22 年 (2010 年)	0 (53)	1 (44)	1 (50)	0 (36)	0 (27)	0 (35)	0 (47)	0 (51)	1 (40)	1 (50)	0 (40)	1 (34)	5 (507)
平成 23 年 (2011 年)	0 (50)	0 (74)	45 (1191)	26 (770)	5 (425)	5 (304)	5 (248)	3 (239)	4 (188)	1 (163)	2 (135)	1 (136)	97 (3923)
平成 24 年 (2012 年)	2 (149)	3 (141)	3 (142)	2 (128)	1 (129)	3 (118)	0 (102)	1 (107)	0 (70)	0 (109)	0 (77)	1 (134)	16 (1406)
平成 25 年 (2013 年)	0 (81)	2 (99)	0 (53)	3 (103)	0 (91)	0 (83)	0 (102)	2 (97)	1 (61)	0 (80)	0 (93)	1 (67)	9 (1010)
平成 26 年 (2014 年)	0 (70)	0 (70)	1 (68)	0 (62)	0 (53)	0 (57)	2 (97)	1 (96)	1 (68)	0 (84)	1 (87)	0 (75)	6 (887)
平成 27 年 (2015 年)	0 (67)	1 (88)	0 (90)	1 (77)	3 (71)	0 (84)	1 (74)	0 (88)	0 (81)	0 (92)	1 (86)	0 (75)	7 (973)
平成 28 年 (2016 年)	1 (76)	0 (71)	0 (65)	20 (228)	1 (101)	2 (89)	0 (95)	0 (71)	1 (80)	3 (92)	2 (124)	1 (86)	31 (1178)
平成 29 年 (2017 年)	0 (77)	0 (72)	0 (61)	0 (60)	0 (52)	1 (55)	/	/	/	/	/	/	1 (377)

※ 表中の数字は緊急地震速報（警報）の発表回数、() 内の数字は緊急地震速報（予報）の発表回数を示す。

緊急地震速報（警報及び予報）の提供には、気象庁の地震計の観測データに加え、国立研究開発法人防災科学技術研究所の地震観測データを利用している。

1. 平成 29 年 6 月 25 日 07 時 02 分 長野県南部の地震

発生した地震の概要（暫定値）

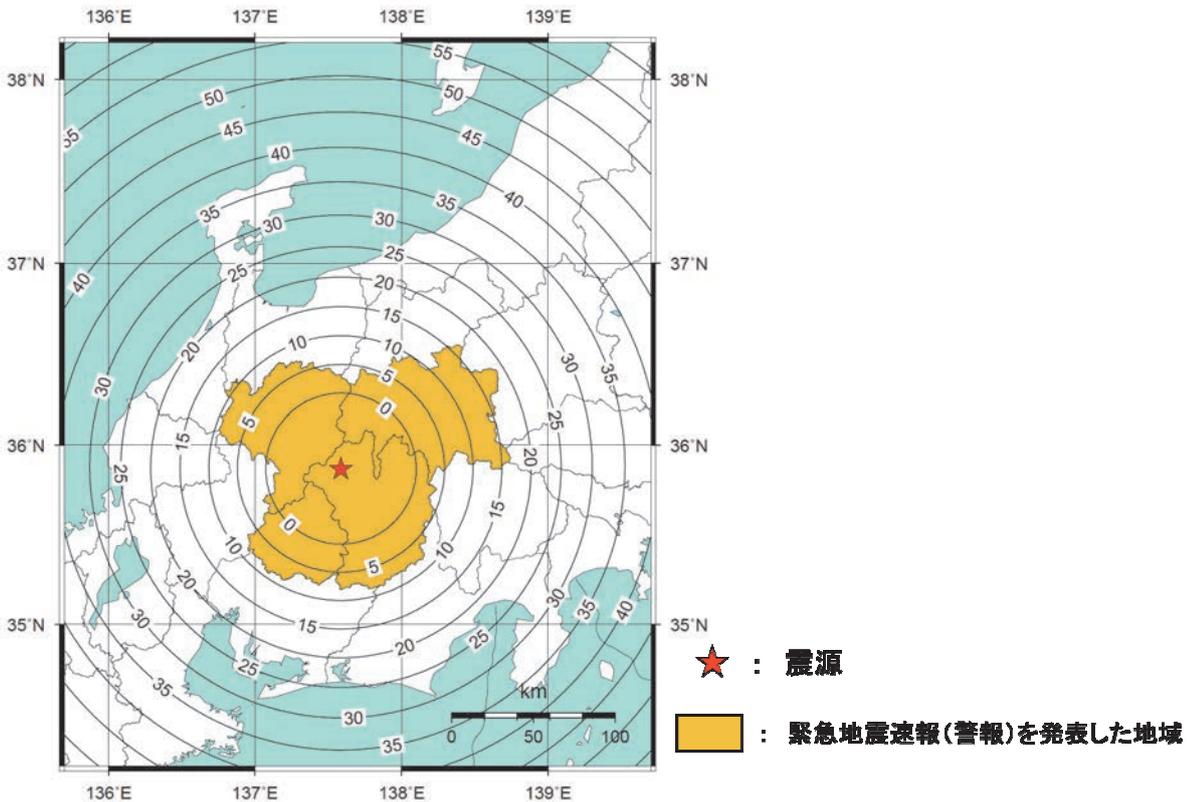
地震発生日時	震央地名	北緯	東経	深さ	M	最大震度
平成 29 年 06 月 25 日 07 時 02 分 15.3 秒	長野県南部	35° 52.0'	137° 35.1'	7km	5.6	5 強

緊急地震速報の詳細

地震波検知時刻		07 時 02 分 21.7 秒 (岐阜黒川)						
提供時刻		経過時間	震源要素					予測震度
			震央地名	北緯	東経	深さ	M	
第 1 報	07 時 02 分 24.0 秒	2.3	長野県南部	35.9	137.6	10km	4.1	最大震度 3 程度以上
第 2 報	07 時 02 分 25.1 秒	3.4	長野県南部	35.9	137.6	10km	4.8	※1
第 3 報	07 時 02 分 27.2 秒	5.5	長野県南部	35.9	137.6	10km	5.0	※1
第 4 報	07 時 02 分 29.3 秒	7.6	長野県南部	35.9	137.6	10km	5.5	※2
第 5 報	07 時 02 分 31.8 秒	10.1	長野県南部	35.9	137.6	10km	5.5	※2
第 6 報	07 時 02 分 40.0 秒	18.3	長野県南部	35.9	137.6	10km	5.4	※3
第 7 報	07 時 02 分 52.0 秒	30.3	長野県南部	35.9	137.6	10km	5.4	※3
第 8 報	07 時 03 分 10.2 秒	48.5	長野県南部	35.9	137.6	10km	5.4	※3

- ※1 震度 4 程度 長野県南部
- ※2 震度 5 弱程度 長野県南部
震度 4 程度 岐阜県美濃東部、岐阜県飛騨、長野県中部
- ※3 震度 4 から 5 弱程度 長野県南部
震度 4 程度 岐阜県美濃東部、長野県中部
震度 3 から 4 程度 岐阜県飛騨

警報第 1 報発表から主要動到達までの時間及び警報発表対象地域の分布図



● 付録 5. 長周期地震動階級 1 以上を観測した地震

平成 29 年 6 月に、長周期地震動階級※ 1 以上を観測した地震の回数は 1 回であった。

平成 25 年 3 月～平成 29 年 6 月に長周期地震動階級 1 以上を観測した地震の月別回数
（平成 25 年 3 月 28 日の長周期地震動に関する観測情報（試行）※※の提供開始以降）

年 \ 月	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	計
平成 25 年 (2013 年)			1	4	1	0	0	1	1	1	1	1	11
平成 26 年 (2014 年)	0	1	1	0	1	1	3	0	1	1	1	0	10
平成 27 年 (2015 年)	0	3	0	1	2	0	2	0	0	0	1	0	9
平成 28 年 (2016 年)	1	0	0	13	1	1	0	2	0	2	4	1	25
平成 29 年 (2017 年)	1	2	0	0	0	1							4

長周期地震動階級関連解説表

長周期地震動階級	人の体感・行動	室内の状況	備考
長周期地震動階級 1	室内にいたほとんどの人が揺れを感じる。驚く人もいる。	ブラインドなど吊り下げものが大きく揺れる。	—
長周期地震動階級 2	室内で大きな揺れを感じ、物に掴まりたいと感じる。物につかまらなると歩くことが難しいなど、行動に支障を感じる。	キャスター付き什器がわずかに動く。棚にある食器類、書棚の本が落ちることがある。	—
長周期地震動階級 3	立っていることが困難になる。	キャスター付き什器が大きく動く。固定していない家具が移動することがあり、不安定なものは倒れることがある。	間仕切壁などにひび割れ・亀裂が入ることがある。
長周期地震動階級 4	立っていることができず、はわないと動くことができない。揺れにほんろうされる。	キャスター付き什器が大きく動き、転倒するものがある。固定していない家具の大半が移動し、倒れるものもある。	間仕切壁などにひび割れ・亀裂が多くなる。

※ 長周期地震動階級に関する詳細は、平成 28 年 12 月号「付録 10. 長周期地震動階級関連解説表」を参照。

※※ 長周期地震動に関する観測情報（試行）に関する詳細は、地震・火山月報（防災編）平成 25 年 4 月号「特集 3. 長周期地震動に関する観測情報（試行）について」を参照。

1. 平成 29 年 6 月 25 日 07 時 02 分 長野県南部の地震

長周期地震動階級 1 以上を観測した地域・観測点

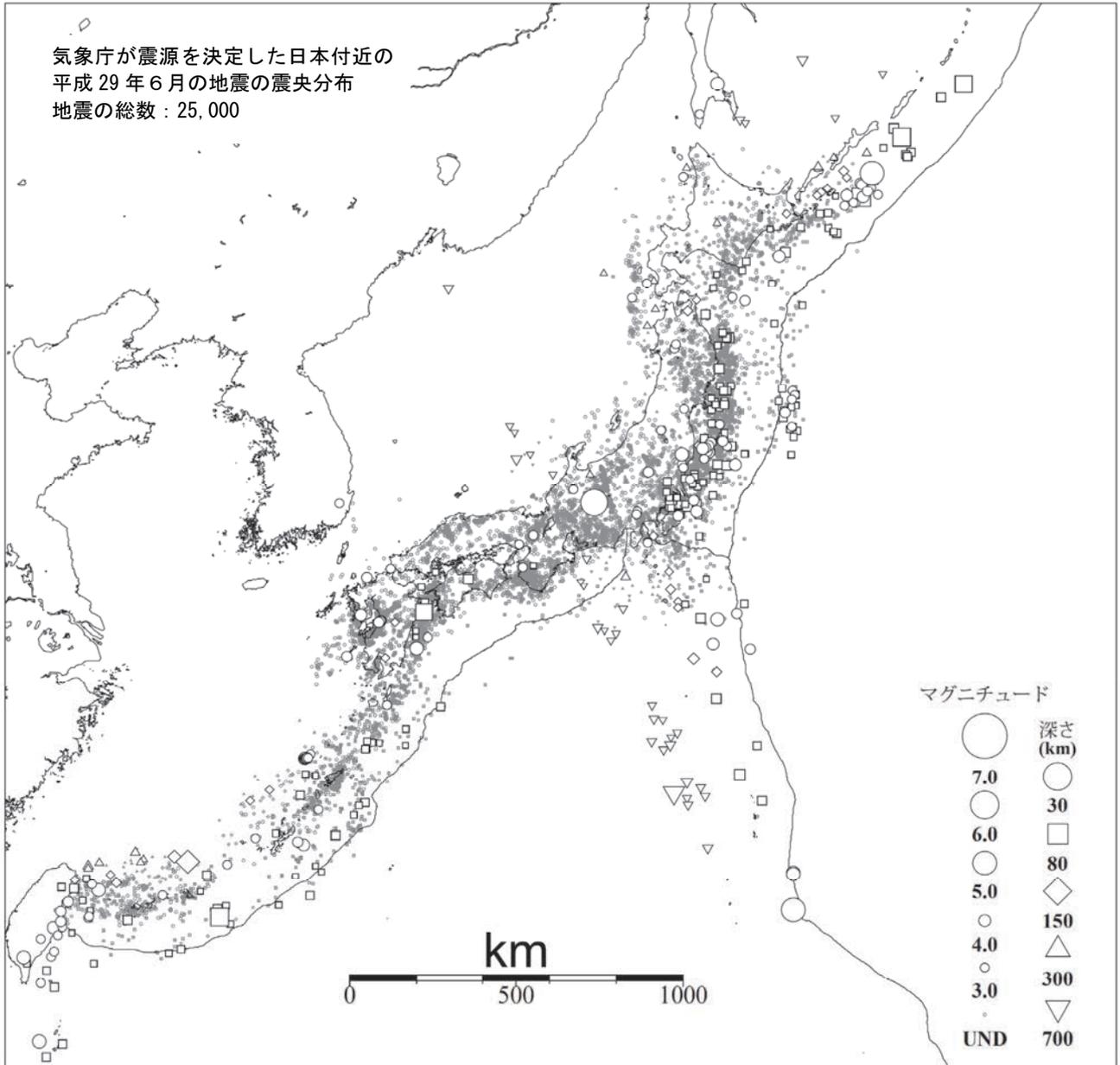
2017 年 6 月 25 日 07 時 02 分 長野県南部 北緯 35 度 52.0 分 東経 137 度 35.1 分 深さ 7km M5.6			
都道府県	地域	地点	長周期地震動階級
長野県	長野県中部	諏訪市湖岸通り	1

長周期地震動階級 1 以上が観測された地域



長周期地震動階級の凡例: ■ 階級1 ■ 階級2 ■ 階級3 ■ 階級4

気象庁が震源を決定した日本付近の
平成 29 年 6 月の地震の震央分布
地震の総数 : 25,000



(M3.0以上の地震については白抜きで示す)